令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 人事管理事業 事務事業名 710110306 事務事業整理番号 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 1 行政改革の推進 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 1 変化に対応した行政運営 付け 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 該当 □ 非該当 ■ 非該当 地方分権時代に的確に対応するため、簡素で効率的な行政運営の実現を図るとともに、新たな行政課題や多様 | 化する市民ニーズに適切かつ柔軟に対応し、質の高い行政サービスを提供することが必要である。 | 限られた職員数で最大の行政効果を発揮し、行政サービスの質の向上を図るため、久喜市定員適正化計画に基 事務事業本来 の目的・成果 <u> ブき適切な定員管理及び人事配置を行う</u> 所管部課 総務部人事課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 久喜市定員適正化計画に基づく適切な定員管理及び人事配置を行うため、人事ヒアリングを年2回実施し、職員 配置に係る各所属の意向を把握するとともに、自己申告書により職員の意向を把握し、適正な職員配置に努め た。また、職員の年齢構成の平準化及び組織の活性化を図るため、40人の職員を新規採用した。

			令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直	予 算 額	10,500	,000	円	8	, 840	,000	円		8,	876,000) 円
1X	接	決 算 額	9,558	, 226	円	8	618	, 865	円	予算額	頁とのと	比較(R3-	·R2)
_	費	特定財源の有無	□有	■無		□ 1	有	■無				36,000) 円
入		正規職員数		2.95	人			3 . 35	人		特証	書項	
	従事職	員 再任用職員数	_		人		_		人	(予算	額の主	こな増減理	里由)
\Box		会計年度任用職員数	_		人		_		人				
	正規職		22, 136	,800	円	23	, 919	,000	円				
ス	人件費	参考:平均人件費	7,504	,000	円	7	' , 140	,000	円				
	再任用暗		_		円		_		円				
	人件費 参考:平均人件費		3,997,000 円		4,093,000 円								
	会計年度任用職員の人件費		_		円		_		円				
	事業費	計(直接費+人件費)	31,695	,026	円	32	<u>, 537</u>	, 865	円				
	種類	指標	名	単位		和元年度	Ŧ	4	令和2年	度	f	和3年度	ŧ
	12//	10 10	н	十四	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下戶	2:実績	上段:		:実績
	活動	人事ヒアリング実施数			(2)	(2)	(2)
指	70.20					2			2				_
	成果	職員数(久喜市定員適正化計画)	人	(912)	(908)	(912)
	15071		,			905			905				_
					()	()	()
標													_
					()	()	()
													_
	指標に	関する特記事項											

3. 評価結果と今後の方向性

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日日中未り延め力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充		
□ C のりゆる円皮がり事業主体を見直り	塗りつぶしてく	入の方向性						
地方分権の進展に伴い、市民に最も身近な地方自治体は、限られた財源の中で多様化する市民ニーズへの的確な対応が求められており、引き続き適正な定員管理及び職員配置に努め、行政サービスの質の向上を図っていく必要がある。	制度の円流反映の中にる。また、ためによる。とは、との上を図れていません。	E力向上及で 計なに はは はは では では では では では では では では	生めていく あるため、 人員の中で の職員配置 ある。今後 ともに、人	こととき続いて検います。ことを続いて検いのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	いるが、評 対していく えの質を向 質及びモチ かた実を図り 事ヒアリン	価結果の 必要があ]上させる -ベーショ 、職員の		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 人事課長	飯塚 順-	_						

1

<u>1.事務事</u>	業概要		和2年度実施事業				
事務事業名	職員研修事業			事務事	業整理	番号	710310307
W A 15 (5) - 1 - 1	大綱 7 行財政を見直し、改革を	進めるまち	第2期総合	基本目標			-
総合振興計画における位置	施策 1 行政改革の推進		戦略におけ	施策	- -		
における位置 付け	<mark>細施策</mark> 3 人材育成の推進		る位置付け	KPI	_ -		
, 6 11	後期基本計画成果指標との関連 🗆 該	当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への	掲載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	公務員として意識の確立と職員の能	力を高め、まちづ	くりの担い	手としての	人材()育成を	図る。
所管部課	総務部人事課 関係部課						

2. 事務事業の実施結果

	2. 事務事業の実施結果														
- 1	3和2年 事務事業 実施内容	2. 派遣研修(彩の国さいたよろうくり仏域建合他) 3. 自主研修(職員自主研究グループなど)													
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算 額	3,886	,000	円	4	, 144	,000	円		4,	, 082, 000) 円
18	接		決	算 額	3, 281	, 974	円	3	, 055	, 201	円	予算額	真との	比較(R3-	-R2)
	費		特定財源	原の有無	□有	■無		□ 1		■無				-62,000) 円
入		Ī	E規職員数			0.50	人			0.50	人	特記事項			
	従事魔	損	再任用職員	数	_		人	- 人			(予算	額の	主な増減理	里由)	
\Box		1	会計年度任	用職員数	_		人		_		人				
	正規職	i i	E規職員数	[×平均人件費	3, 752	,000	円	3	,570	,000	円				
z	人件	費	参考: 5	平均人件費	7, 504	,000	円	7	, 140	40,000 <u>円</u>					
,	再任用耶	職員 F	再任用職員	数×平均人件費	_		円		_		円				
L	人件	費	参考:5	平均人件費	3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
	会計年度任用職員	員人件費 🛣	会計年度任	用職員の人件費	_		円	- 円			円				
	事業費	計 (直接費+人	、件費)	7, 033	,974	円	6	,625	, 201	円				
	種類		指	標	名	単位		和元年度	F د	ŕ	6和2年	隻		令和3年	隻
	1至人只		10	775	ъ	十四	上段:		:実績	上段:		と: 実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	 	研修実施回	可数			(21)	(23)	(25)
指	7,4,-3							23			13				_
	成果	 般	研修参加/	人数		人	(1,464)	(1,455)		1,683)
	7,0011						,	1, 299			446				_
1==	成果	研修	参加人数			人	(1 (50)	(— —))
標							,	1,679		,	761				<u></u>
	効率	研修	修了者一人	 当たりの研修費	(研修コスト)	円	(1 055)	(4 015))
	+比+ボー	_ 88 →		万	4.T7 78TT 16 42+- 13	#+1-1 **		1,955	# S.t ^	日ノ纲バー	4,015	「 佐 小 十		1 5-41-45	<u>_</u>
	指標し	- 関 9	る特記事項	<mark>貝</mark> 一般研修参加人数	枚及び研修参加人	数は、 新	型コロナ	'ノイル人!!	終発征の	影響に	けつ谷種研	が印工	تار کی	り、减となっ	つ/こ。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天祀又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日 B 事業の庭の力を允直9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日とのうゆる月度から事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投え	入の方向性	
職員の能力開発は、組織の活性化を図る上で必要不可欠なものできる。		多を計画的に				
のであるため、今後も継続して行う必要がある。 また、新たな視点や柔軟な発想により政策案を企画し、効果		能力の向上等 こから、今後				
めに提案していく能力を養成する政策形成能力向上研修や女性		- // 一層質の「				
職員の活躍を推進する女性職員キャリアアップ研修、公務員倫		を軽減できる				
理の再確認を図るための職員全体研修などを実施しているが、						
今後も時宜にかなった研修を行う必要がある。						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 人事課長		_				
The state of the s						

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 企画業務経費(高等教育機関連携分) 事務事業名 430210402 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 3 高等教育機関との連携 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 6 高等教育機関や民間事業者との新たな協働事業数 (累計) 細施策 2 学生との交流促進と地域の活性化 KP I 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 事務事業本来 市と高等教育機関が、双方の資源や教育研究の成果等を有効に活用し、さまざまな分野において連携協力する の目的・成果ことにより、地域の活性化を図る。 所管部課 総務部企画政策課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容				に基づく! に基づく! に基づく! に要び大学院と連携し		この連携協力に関する基本協
				令和元年度	令和2年度	令和3年度
	~	A-A-	èσ	122 000 0	202 000 00	12/ 000 📆

令和3年度 136,000 122**,** 000 💾 273,000 円 投 接 決 算 額 101, 869 198, 113 予算額との比較(R3-R2) 費 特定財源の有無 -137,000口有 ■無 口有 ■無 正規職員数 0.50 0.20 特記事項 人 人

従事職員 再任用職員数 人 Y 会計年度任用職員数 人 正規職員 正規職員数×平均人件費 3, 752, 000 円 1, 428, 000 円 人件費 参考: 平均人件費 7,504,000 円 7, 140, 000 円

(予算額の主な増減理由) PDF編集ソフトのライ センス料や反訳業務委託料 の皆減に伴う減額。

 再任用職員 再任用職員数×平均人件費
 一円

 人件費
 参考:平均人件費

 参考:平均人件費
 一円

 参考:平均人件費
 3,997,000円

 4,093,000円

 金計年度任用職員の人件費
 一円

 事業費計(直接費+人件費)
 3,853,869円

 1,626,113円

	争耒	美訂	(但按其十人什)	貝)	5, 7	555,80	1,020,				, 113	17					
	種类	뜜	指	標	名	単	仏	<u>수</u>	和元年度	隻	2	令和2年	度	•	令和3	年度	
	作里大	枳	18	ੀਨਾ	11	#	1111	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段:	目標	下段:	実績
١.	成身	果 高	ぶ等教育機関との	包括連携件数		华	ŧ	(3)	(3)	\smile	3)
扫	Ĭ								3			3				_	_
	成星	_₽ _₩	うじ 高等教育機関	の連携重業数		事	ӝ҇	(14)	(16)	(18)
	13,67	* '' ³		V)连劢争未级		7	*		23			14				_	
								()	()	()
桐	票														_	_	
								()	()	()
															_		
	指標	票に関	関する特記事項			•		•			•			•	•		•

3. 計画相来とう後の方向は						
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画にかりませなけ、展の方字を図え	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中未の年の月を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	りつぶして			コスト投入	入の方向性	
各課において、様々な高等教育機関と14件の連携事業が実施されたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、前年度より連携事業数は減少した。 今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、連携する事業の増加を図ることで、本市の活性化及び市民サービスの向上につながるものと考えられる。	民サービス ほか、新た そのため ともに、名 ていく。	き、連携事業スの向上を限した。 での向上を限したな連携事業の、協定を終 の、属所に対	図るため、 業を展開し 締結した相	毎年度継続 、連携事業 手先との情	して連携す 数の増加に 報交換を密	る事業の 努める。 ぎにすると
評価年月日	果長 関根	義寛				

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	企画業務経費(地方分権分)		事務事	業整理	番号	730110403
(() A IE (1) - I -	大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	<mark>・施等</mark> 1.3 地方分権・広は行政の推進	戦略におけ	施策	- -		
עונון 🗖	細施策 1 地方分権の推進	る位置付け	KPI	_ -		
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への挑	引載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	地方分権の進展による「自己決定と自己責任」のもと、 個性豊かなまちづくりが求められていることから、県かり 周辺自治体との連携を推進する。	地域の実施の権限移	情に沿った 譲の拡大、	行政運 広域的	営と地口な行政	域の特性を生かした 課題の解決に向けた
所管部課	総務部企画政策課 関係部課					

2	2. 事務事業の実施結果														
3	「埼玉県権限移譲方針」に基づき、久喜市における権限移譲に係る計画(3ヵ年)を作成し、埼玉県と調整を行 事務事業 実施内容 「埼玉県権限移譲を推進した。また、田園都市づくり協議会や加須市と公共施設の相互利用を行い、近隣市町 実施内容 令和元年度 令和元年度														
						令和	元年度		令和	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	122	, 000	円	27:	3,000	円			136,00	10 円
1X	接		決	算	額	101	, 869	円	198	3, 133	円	予算額との比較(R		比較(R3	-R2)
١,	費		特定則	オ源の有	無	□有	■無		□ 有 ■ 無			-137,000 円			
入			正規職員	数			0.50	人		0.30	人	特記事項			
	従事日	員	再任用職			_		人	- 人					な増減	
			会計年度			_		人	- 人			■ PDF編集ソフトのラ センス料や反訳業務委割			
	正規職				3,752,000 円		Z, 14Z, 000 🗖			□ でクスペマ及訳業務安託や □ の皆減に伴う減額。			安武科		
ス	人件			:平均人		7, 504	, 000	円	1, 1 1 1		円			,,,,,,,,	
					均人件費			円	_		円	•			
	人件			平均人		3, 997, 000		円	4, 093	3,000		•			
ľ	会計年度任用職		- 11 1 1 10 1		の人件費	_	0.40	円	_		円	•			
	事業費	計	(直接費+	人件費)	1	3, 853	, 869	円), 133					
	種類		指		標	名	単位		和元年度		令和2年			和3年	
								上段:自	101 \	上段:		没:実績 、	上段:		没:実績、
.	成果	県	からの権限	移譲事	務数		件	(101) 101	(101 101)		101)
指								1	101	(101		-		$\overline{}$
								()	())
		┢						(١	()	($\overline{}$
標								(,				_		
		T						()	()	()
												-			

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのう失肥人は 指の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×	
日日中来の定め力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
┃ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充	
7.1, -1, -1, -1, -1, -1, -1, -1, -1, -1, -	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性		
地方分権については、令和3年4月1日時点で埼玉県からの権限移譲事務数は、127事務中101事務、移譲率79.5%となっている。 また、広域行政については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、田園都市づくり協議会での活動に加え、加須市との公共施設の相互利用を実施し、連携の強化を図った。	対応が求め 広域行政 図っていく これらの	なについて く必要がある りことを踏ま ううため、	ま、埼玉県 る。 まえつつ、:	とも連携し 地域の市民	等に合わせ つつ、事業 ニーズに合 ついて、引	美展開を 合わせた行	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 企画政策認	果長 関根	義寛					

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	本多静六博士顕彰事業		事務事	業整理	番号	470710404
(() A IE (1) - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち	第2期総合	基本目標		•	
総合振興計画における位置	施策 7 歴史・文化の継承と活用	戦略におけ	施策	- -		
における位置 付け	細施策 7 本多静六博士の顕彰	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	<mark>合振興計画実施計画への掲載</mark> ■ 該当 □ 非讀			
事務事業本来の目的・成果	日本で最初の林学博士であり、「日本の公園の父」と 報発信を行うとともに、顕彰を実施することで、博士の					
所管部課	総務部企画政策課 関係部課 菖蒲総合支所総務	管理課、 教	育部文化則	け保護詞	果	

2	. 事務	事	業の実施	結果												
4	和2年月 事務事業 実施内容	É	(小学4	年生対	象の副読本	6会」と協働で の制作、『本 覧」について、 この博士顕彰バ	多静六道	預信』の	発行、「	本多	静六博:	土の森の	り管理し	など)	た。	
						令和	元年度			令和2	2年度			令和3	年度	
投	直		予	算	額	612	,000	円	1,	202	,000	円		49	91,000	円
1X	接			算	額		,808	円	1,	001	, 766	円	予算額	頁との比較		
١,	費			源の有	無	■有	□無		■有		□無				11,000	円
入			正規職員数				0.30	人			0.30	人		特記事		
	従事閥	員	再任用職員			_		人		_		人		額の主な		
			会計年度任			_	000	人		_	000	人		2年度は、 副読本を		
	正規職人件		正規職員数			2, 251		円			,000	円	したこ	とにより		
ス				平均人		7, 504	, 000	円	7,	140	,000	円	増額し	たため。		
	再任用職 人件費	~~	再任用職員			2 007	000	円円	1		000	円円	•			
1	会計年度任用職員		会計年度任	平均人		3, 997	, 000	円	4,	<u> </u>	,000	円				
	事業費		(直接費+)			2, 851	በበደ	円	3	1//3	, 766	円	·			
		-1		/(11 兵/					和元年度			<u>1</u> 3 和2年	度	今 和	03年度	F
	種類		指		標	名	単位	上段:					· 公 段:実績			-
	-4-8		7 = 4 = 7	<u>د</u> م	±> ₩-		,	(7,500)	(5,600)	(4	, 300)
指	成果	43	多静六記念		有 数		人		7,009			2,850				
								()	()	()
															_	
							()	()	()	
標													_			
								()	()	()
							L	<u> </u>								_
	指標に	.関	する特記事	項 緊急	急事態宣言	の発出に伴い、	本多計	产記念	:館はR2.4	月及(び5月と	R3.1月	及び2月	に休館と	なった	0

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり美胞文は一層の元美を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×						
日日日中未の年の月を見直り	性	向性 休廃止 廃止・終了 × × 投入の方向性、成果の方 (び事業の方向性を赤く 皆減 縮小 維持		×								
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す			皆減	縮小	維持	拡充						
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す				コスト投入	入の方向性							
令和2年度は、博士ゆかりの地である明治神宮が創建100周年を迎える記念の年であり、これに併せて博士を顕彰する英語併記のパンフレットを作製した。 当該パンフレットを、外国人観光客が多く訪れることが見込まれる明治神宮ミュージアム(令和元年に明治神宮の敷地内に新規オープン)に配架するなど、国内外に向けた積極的な情報発信を行った。 新規オープン)に配架するなど、国内外に向けた積極的な情報発信を行った。 発信を行った。 「対象の方向性 引き続き、博士の功績を国内外に発信するため、本多静六博士の地である久喜市の認知度の向上に努める。 そのため、本多静六博士を顕彰する会との連携を密にし、様々な手段を講じて博士の功績を国内外に発信していく。 なお、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況により、本多静六記念館の開館日数や入場者数に影響が出ると考えられる。												
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 企画政策課長 関根 義寛												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 行政改革推進事業 710110405 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 施策 における位置 細施策 1 変化に対応した行政運営 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 新たな行政課題や多様化するニーズに適切に対応するため、市が真に担うべき業務を「選択と集中」し、持続 の目的・成果可能な行政運営の実現を目指す。 所管部課 総務部企画政策課 関係部課

2	. 事務	事	業の実施	結果												
	和2年 事務事業 実施内容	Ě			政改革大綱 注推進した。	実施計画(H29)∼R3)	の50の〕	取組項目	につい	て、名	各所属所	fにおい [・]	て取組み	を進め、	、全
						令和法	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直		予	算	額	240	,000	円		396	,000	円		3	315,000) 円
1×	接		決	算	額	128	, 815	円		97	, 988	円	予算額	真との比	.較(R3-	R2)
-	費			源の有	無	□有	■無				■無				-81,000) 円
入			正規職員数	数			0.60	人			0.60	人	_	特記		
	従事的	損	再任用職員			1		人		_		人			な増減理	
			会計年度			_		人				人			、審議会 少見込み	
	正規暗		正規職員数	•		4, 502		<u>円</u>		4, 284		円	るため		シ 元火(0)	(0)
ス	人件			平均人		7, 504	, 000	<u>円</u>		7, 140	,000	円	4			
	再任用印		再任用職員			- 2 000	000	円			000	円	_			
 	人件		-	平均人		3, 997	,000	円	,	4, 093	, 000	円	_			
	会計年度任用職				の人件費	4 (21	215	円		<u> </u>	000	円	-			
	事業費	百	(直接費+	人件質)		4, 631	, 215	円	和元年	4, 381		円	- 	<u> </u>	红っケボ	+
	種類		指		標	名	単位	上段:				和2年			和3年度	
								<u> </u>	□惊 下的 50	・夫領	上权・	日信 「 50	技・夫領	上权•=	惊 下这 50	・夫禎
指	活動	行	改革 実施	計画に	おける取組	項目数	事業	(50	,	(50	,		<u> </u>	-
1日		红工	加工生物型	上面の法に	比较 / 田攻和小子	 況が計画どおり		(100)	(100)	(100	$\overline{}$
	成果		ととなった取			ルが計画とのり	%	`	81.3		`	74.0	,	<u> </u>	100	
								(0110)	(, 0)	($\overline{}$
標																
					()	()	()			
	指標は	こ関	する特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引回とのう失肥久は 信の元夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を充置す	性	休廃止 廃止・終了 × × × × ×	×			
┃ C あらゆる角度から事業全体を見直す			皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
平成29年度から、第2次久喜市行政改革大綱を推進している。関係所属所において、50の取組項目を実施しており、計画どおり以上の項目は37項目、74.0%の達成率となった。	直し、さらなるよう。 また、う としている	うなる改善を 適切に進捗で 第2次久喜市 ることから、	組項目につ を促すとと 管理してい 行び改革ナ 、令和2年度 今後の行政	もに、計画 く必要があ に綱が令和3 をに行われ <i>が</i>	iどおり以上 る。 3年度までを た行政改革	の進捗と 計画期間 惟進委員
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 企画政策	課長関根	義寛				

1. 事務事	業概要					対象	令和	02年度実施事業			
事務事業名	行政評価推進事業				事務事	業整理	番号	710210406			
(() A IE (1) - I -	大綱 7 行財政を見直し	、改革を進	めるまち	第2期総合	基本目標			•			
大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 第2期総合 基本 2 行政評価の推進 報略における位置付け 2 行政評価の推進 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画 2 株本分権の推展による「自己決定と自己素氏」の原則のまた。地域の	施策										
付け	細施策 2 行政評価の推進			る位置付け	KPI	_					
	後期基本計画成果指標との関	関連 ■ 該当	□ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当			
事務事業本来の目的・成果	地方分権の進展による「自 推進していくことが求められ 市政運営」「②市政運営の過	1ており、「	市民の視点に立	った市政運	営」を実現	するた	め、「(豊かなまちづくりを ①効果的・効率的な 立」を目的とする。			
所管部課	<mark>果</mark> 総務部企画政策課 <mark>関係部課</mark>										

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

全ての事務事業の洗い出しと総合振興計画及び総合戦略への体系付けを行うため、事業体系整理シートを作成

エ、い事が事業のがい山しと極口振興計画及び総合製暗への体系付けを行うため、事業体系整理ジートを作成し、事務事業の基礎的な情報と今後の方向性等の整理を実施した。 事務事業評価は、総合振興計画及び総合戦略への関連、性質、事業費の視点から選別を行い、205事業の評価を 実施し、施策評価は令和元年度実施施策を対象として、44施策の評価を実施した。また、市ホームページにおい て、評価結果の公表を行った。

			く、 amu	山柏末の2	ぶ衣を打つた	-0										
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	199	,000	円		199	,000	円			198,000	円
1X	接		決	算	額	113	, 750	円		96	,000	円	予算額	頁との	比較(R3-I	R2)
_	費		特定	財源の有	無	□有	■無		□ ≉]	■無				-1,000	円
入			正規職員	員数			0.60	人			0.60	人		特	記事項	
	従事	職員	再任用單	戰員数				人		_		人			主な増減理	
				度任用職員				人		_		人	新型	コロブ	トウイルス!	感染
	正規聯		正規職員	数×平均	自人件費	4, 502		円		_	,000	円	証の家 を見込	晉にd み. き	はる会議の 普通旅費を	減少 皆減
ス	人件	費		:平均人		7, 504	, 000	円	7	, 140	,000	円	したた			ш <i>и</i> -м
	再任用		再任用單	ij員数× ^I	P均人件費	_		円		_		円				
	人件	·費		:平均人		3, 997	, 000	円	4	<u>, 093</u>	,000	円				
Ι'	会計年度任用職				員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接費·	+人件費)	4, 616	<u>, 150</u>	円			,000	円				
	種類		指	}	標	名	単位	f	和元年度			命和2年			令和3年度	
	12//		11	•	120	н	714	上段:		:実績	上段:		2:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	事	務事業評	価実施数			事業	(200)	(200)	(200)
指	7,1,2,3		3.21421				3.214		212			205				_
	活動	施金	策評価実	施数			施策	(44)	(44)		44)
	7,1,2,3	,,,,,,	172111112				30211		44			44				
	成果	事	務事業評	価公表数			事業	(200)	(200)		200)
標	.,,,,,,						3 7 1 1	,	212			205			100.0	
	成果	施鈴	策評価の.	成果指標	の達成率		%	(100.0)	(100.0)		100.0)
	TK:T#1								58.8			53.4				_
	指標	に関	する特記	事 項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
■ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×						
■ D 事業の庭の力を允直す 	内 大廃止 廃止・終了 ×		×	×								
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す			皆減	縮小	維持	拡充						
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す				コスト投入	入の方向性							
事務事業評価は、毎年度約200事業の評価を実施し、予算編成や決算審査において、評価結果の活用が図られている。施策評価は、総合振興計画及び総合戦略の進捗管理ツールとして安定的な運用が図られているが、「施策評価の成果指標の達成率」が目標を下回っていることがら、事業の進め方を見直す必要がある。なお、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施の見合わせなどに伴う成果指標の達成率に影響が生じている。												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 企画政策課長 関根 義寛												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 公共施設予約管理システム維持管理事業 710410505 事務事業整理番号 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 4 電子市役所の推進 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 市内の文化・スポーツ施設の利用予約について、施設窓口での予約のほか、電子通信機器を使った公共施設予約管理システムによる予約サービスを行い、市民(利用者)サービスの向上を図るため、公共施設予約管理システムの適切な維持管理を行い、継続したサービスの提供を行う。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 総務部情報推進課 関係部課 文化・スポーツ施設の所管課

	2.	事務	事業の	実施網	結果													
	릨	和2年月 事務事業 長施内容	文化利	施設の	予約等	を円滑に行	ムの運用保守、 fえるようにし ンターネット/	た。										
L			利	用者端	沫は、	久喜地区	(8施設) 、菖蒲		(6地区)、栗				宮地区				
								元年度			令和2					03年度	-	
1	设	直		予	算	額	14, 016	,	円		14 , 230,					, 180,		円
ľ	$^{\sim}$	接		決	算	額	13, 963	, 715	円		14 , 130,	<u>, 191</u>	円	予算額		比較(2)
١.	٦ ا	費	牛	持定財源	原の有	無	□有	■無			有	■無	-			, 050,	000	円
-	시		正規	職員数				0.30	人		(0.30	人		特	記事項		
		従事職	員 再任	用職員	数		1		人		_		人	(予算	額の	主な増	減理E	自)
:	⊐l		会計	年度任	用職員	数	_		人		_		人			いて、『		-ス
		正規職	員 正規	職員数	(×平均]人件費	2, 251	, 200	円		2, 142,	,000	円	の実施		による派	戓。	
l.	٦l	人件費	量	参考: <u>¬</u>	平均人	件費	7, 504	,000	円		7, 140,	,000	円					
1		再任用單	員 再任	用職員	数×平	立均人件費	_		円		_		円					
		人件費	_	シ考: ^፯			3, 997	,000	円		4,093	,000	円					
	ᅡ	会計年度任用職員	人件費 会計	年度任	用職員	の人件費	_		円		_		円					
	ı	事業費詞	计(直接	費+人	、件費)		16, 214	, 915	円		16, 272	, 191	円					
		種類		指		 標	名	単位	f	和元年	度	4	令和2年	度		令和3	年度	
		俚块		1日		惊	10	丰加	上段:	目標	段:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段	:目標	下段:	実績
		活動	公共施設	设予約管	き理シ.	ステムの年	間稼働日数		(360)	(359)	(359))
Ė	指	石到	(12月2	9日~1	月3日	を除く)		I		360			359					
		出出	ハサ塩型	字约色	与田ミバ	ステムを利	田した仏粉	件	(;	224, 5	00)	(225,00	00)	(225, 5	500)
		以未	公元他的	くコパルカ目	5年ノ.	ヘノムで作り	可した下鉄	П		236, 6	39		234, 1	10		<u> </u>		
				共施設予約管理システムの不		具合が発生し		(0)	(0)	(0)	
1	漂	1950米	た日数					I		0			0					
		T				<u></u>			()	()	()
																_	_	
		指標に	関する特	寺記事項	項													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×						
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	× 縮小 × × 証・終了 × × × 皆減 縮小 維持 拡充 コスト投入の方向性 管理システムは、令和3年7月31日までのが、8月1日以降は、再保守、再リースで								
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充						
日でありずる内皮がり事業主体を元直す				コスト投入	入の方向性							
□ 公共施設予約管理システムは、年末年始を除き、年間稼働できており、公共施設予約管理システムを利用した利用件数も前年度より増えているなど、事業は順調に進捗している。また、令和3年4月1日から、公民館、コミュニティセンター(菖蒲コミュニティセンターを除く)及びしずか館において、当日予約ができるようになり、利用者の利便性の向上を実現できた。												
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 情報推進課長 木村 明信												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 AI・RPA導入事業 710410507 事務事業整理番号 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 戦略におけ 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 における位置 る位置付け K P I 7 AI・RPAの適用業務数(累計) 細施策 4 電子市役所の推進 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 AIやRPAなどの新たなデジタル技術を活用し、紙による申請等の処理の一部を自動化することによる、業 事務事業本来 の目的・成果務の効率化について検証を行う。 所管部課 総務部情報推進課 関係部課 全課

2. 事務事業の実施結果

	2. 事務事業の美施結果 ² 3業務を選定の上、事業を実施。うち2業務において一定の効果を見込むことができた。														
Į.	和2年原 事務事業 実施内容	支	市税過誤	納付金 受付業	還付請求テ 務(市民調	ータ入力業務 果(総合窓口)	(収納 年間6時	課)年 間(約	定の効果を見込 間62時間(約4 1120%)の増加 165%)の削減	1%)肖 □見込∂	削減見込 y				
						令和	元年度		令和 2	2年度			令和3	年度	
投	直		予	算	額			円	2,360	,000	円		4, 3	39,000	円
1×	接		決	算	額			円	2, 357	, 960	円	予算額	頁との比	較(R3-F	R2)
١,	費		特定財源	原の有	無	□有	□無		■ 有	□無			1,9	79,000	円
入		正	規職員数			1		人		0.50	人		特記	事項	
	従事職		任用職員					人	_		人			な増減理	
		会	計年度任	用職員	数			人	_		人			アライセ	
	正規職	$\overline{}$	規職員数	×平均]人件費			円	3,570		円		用 場 に よ に よ な	を新たに る増し	調達
ス	人件費		参考:5			7,504	,000	円	7, 140	,000	円	, 00	C1C0	סים	
	再任用暗	~~	任用職員	数×平	均人件費			円	_		円				
	人件費		参考:3			3, 997	,000	円	4, 093	,000	円				
l '	会計年度任用職員				の人件費			円	_		円				
	事業費	計(直	接費+人	.件費)		_		円	5, 927		円				
	種類		指		標	名	単位		和元年度		和2年			和3年度	-
	12791				1731		1 1-	上段:	目標 下段:実績	上段:		段:実績	上段:目		:実績
	成果	AI.	$RPA\sigma$	適用美	業務数(累	計)	件	(<u> </u>	(3)		6	
指								,		,	2		,		$\overline{}$
								()	()			
	<u> </u>							-	`	-			/		$\overline{}$
標								()	()			
ींग्र								()	()	($\overline{}$
								`	,	\ \ \		,			
	指標に	関する	る特記事項	頁											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×						
日日中来の庭の力を元直り		×	×									
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す			皆減	縮小	維持	拡充						
				コスト投入	入の方向性							
検証を行う業務の選定に当たり、業務の洗い出しを行い、「AI-OCRの適用効果が期待できるもの」「RPAの適用効果が期待できるもの」の側面から3業務を対象として検証を行った。 このうち、2業務について一定の削減効果が見込まれることから、引き続き実施していくとともに、新たな業務についても検証を実施する。	で効果の格とで、効果	注証を行った	こが、それ きる業務も	ぞれ単独の あることか	併せて活用 [・] ・ツールを活 ・ら、手法を ・	用するこ						
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 情報推進課長 木村 明信												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 公衆無線LAN整備事業 710110512 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 戦略におけ 施策 3 都市機能や道路・公共交通の充実 における位置 る位置付け 6 公衆無線LANの導入施設数(累計) 細施策 1 変化に対応した行政運営 KPI 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市内公共施設に公衆無線LANを整備することで、施設利用者に対するサービスの向上を図るとともに、職員 の目的・成果が行う業務の効率化を図る。 所管部課 総務部情報推進課 関係部課各施設の所管課

2	2.	事務	事	業の実施	拖結果												
	耳	和2年月 事務事業 長施内容	É				5内公共施設16)、菖蒲地区				区(3施設))、鷲	宮地区	(4施設))の公共	共施設にき	
							令和无	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
±	殳	直		予	算	額			円		6, 160	,000	円		2	230,000	円
J	<u>`</u>	接		決	算	額			円		5,962	, 947	円	予算額		:較(R3-	
١.		費			 財源の有	無	□有	□無			■有	□無				930,000	円
1	시			正規職員			_		人			0.30			特記	•	
		従事閥	員	再任用職			_		人		_		人			な増減理	
-	┚┃			会計年度			_		人		_		人			イ初予算に の事業費	
		正規職		正規職員			— —	000	円		2, 142		円		なって		0)/_
-	ス	人件劉			: 平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	,000	円				
		再任用單 人件費				² 均人件費	2 000	000	円		4 002	000	円				
	\vdash				: 平均人		3, 997	,000	円		4, 093	, 000	円	4			
		事業費		(直接費+		の人件費			円円		0 104	0.47	円円	_			
-	\dashv	事 未貝	ēΪ	(但按貝+	八件頁)					和元年	8, 104		户 令和 2 ^年	- 	_	和3年度	=
		種類		指		標	名	単位			+ 反 F段: 実績						-
										3)	<u></u>	20)		20)
‡	旨	成果	公別	 衆無線LAN	の導入旅	設数(累計	†)	施設		8	,	(26	,	<u> </u>		
	"								()	()	()
											,	`		,			
									()	()	()
木	票																
									()	()	()
		指標に	関:	する特記事	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調									
■ A 計画とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×									
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×									
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×									
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充									
	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性														
今まで公衆無線LANは、一部の指定管理者の運営する公共 施設にしか導入されていなかったが、庁内ネットワークを利用 して、16施設に公衆無線LANの導入を実施した。 また、特に利用者の多い施設に公衆無線LANを導入したことで、利用者の利便性を高めることができた。															
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 情報推進認	長 木村	明信		<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 情報推進課長 木村 明信											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 人権擁護事業 事務事業整理番号 130210603 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 3 人権の尊重 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 2 きめ細やかな相談活動 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 人権問題等に関する市民の相談に応じ、適切な指導及び助言を行い、きめ細やかな相談活動の充実を図る。ま 事務事業本来 た、広報紙「人権久喜」の発行や人権教室などを開催することにより、市民の様々な人権問題に対する理解と関 の目的・成果 心を深め、人権に対する意識の高揚を図る。 所管部課 総務部人権推進課 **関係部課** 菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容
天旭门台

人権相談・女性相談は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の影響により、人権擁護委員が派遣されなくなったことから実施できなかったが、職員による相談や関係機関の専門ダイヤル等の周知をすることで対応した。

また、人権尊重思想を育むために「人権の花運動」を市内の小学校10校を対象に実施した。

_																
				令和为	元年度		令和2年度				令和3年度					
	投	直	予 算 額	1, 186	,000	円	1	, 385	,000	円		1,	095,00	0 円		
	IX	接	決 算 額	1, 106	,770	円	872, 061 円			予算額との比較 (R3-R2)			-R2)			
		費	特定財源の有無	□有	■無		■ 有 □無				-290,000 <u>円</u>					
	入		正規職員数		1.19	人	1.19 人			特記事項						
		従事職員	再任用職員数	_		人		_		人	(予算額の主な増減			理由)		
	⊐l		会計年度任用職員数	_		人		_		人		消耗品費の削減により				
		正規職員	正規職員数×平均人件費	8,929	,760	円 8, 496,		,600	円	額とな	った。					
	ᅰ	人件費	参考:平均人件費	7, 504	7, 504, 000 円			, 140	,000	円	'					
		再任用職員	再任用職員数×平均人件費	_		円		_	円		1					
	.	人件費	参考:平均人件費	3, 997	,000	円	4,093,000 円									
	^	会計年度任用職員人件	会計年度任用職員の人件費	_		円		_		円	1					
	ı	事業費計	(直接費+人件費)	10, 036	ó,530 <u>⊞</u>		9, 368, 661 F		円							
Ī		種類		 名	単位	수	和元年度		ŕ	3和2年	度	4	令和3年	度		
		性块	1日 信示	10	丰加	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績		
		活動人	権に関する相談窓口の設置数			(51)	(51)	(51)		
	指	ル動人	作に対する伯談芯口の改直数		ıı		51			0						
		成果人	権相談窓口の利用者数		人	(128)	(60)	(60)		
		从来入	作品の心口の作品自然				57			0						
						()	()	()		
	標															
						()	()	()		
		指標に関	関する特記事項	•	•		•		•		•	•	•			

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、人権擁護委員による人権相談・女性相談を実施できなかったため、関係機関の専門ダイヤル等の周知や職員による相談を実施した。 また「人権の花運動」を実施し、花を小学校の児童たちが協力しあって育てることで、協力・感謝することの大切さを学び、人権に対する意識の高揚を図ることができた。	ネットを思 中、市民の ることで、 も継続して 人権相認	同和問題を1 思用した差別 の基本権が 人材 にいく で が、女性相 に で は に い を に い を に と に り に の に の に の が に の が に が に が い が り が り が り で り に り に り に り に り に り に り に り に に に に	別事件等の 権を擁護し 相談所の活! がある。 淡について	様々な人権 、自由人権 動が果たす は、久喜地	問題が発生 思想の普及 役割は大き	Eしている は高揚を図 Fく、今後 図・栗橋					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 人権推進課長 小沢 俊明											

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	人権啓発推進事業		事務事	業整理	番号	130110604
(() A E E E	大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち	第2期総合	基本目標	- -		
総合振興計画における位置		戦略におけ	施策	- -		
における位直 付け	<mark>細施策</mark> 1 人権教育と啓発活動の充実・推進	る位置付け	KPI	- -		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への挑	引載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	人権啓発活動を行うことによって市民の人権意識の高持ることを目的とし、同和問題をはじめとする様々な人権同	易を図ると。 問題の啓発!	ともに、人 に努める。	権問題	に対す	る理解と関心を深め
所管部課	総務部人権推進課 関係部課 菖蒲総合支所総務領	管理課、栗橋	5総合支所総	務管理	課、鷲語	宮総合支所総務管理課

_	2.	事務	事業の実施結果											
	昌	和2年度 事務事業 実施内容	新型コロナウイルス感染症 し、人権啓発作品の展示や人 動を実施した。	Eの感染拡大防 、権尊重事業の	i止によ i様子を	り、例 ³ 撮影し7	年実施し た動画の	ている 放映に	・駅頭 <i>人</i> :併せ、	、権啓発 啓発品	などの を配布・	啓発活 すると	動を一部 いった啓	変更 発活
				令和元	元年度		令和2年度				令和3年度			
1	投	直	予 算 額	1,588	,000	円	1	, 473,	, 000	円		1,	360,000	円
	JX	接	決 算 額	1, 360	, 498	円	1	, 022	, 950	円	予算額		北較(R3−	
	,	費	特定財源の有無	□有	■無		□ 1		■無				-113, 000	円
	入		正規職員数		0.39	人			0.39	人			记事項	
		従事職員				人		_		人			上な増減理	
1	⊐∣		会計年度任用職員数			人				人	消耗品費の削減により減 額となった。			
		正規職員		2, 926			2, 704, 000 🗖		DRC 6 7/C0					
1	ス	大件費 参考:平均人件費		7, 504	, 000	円	'/	, 140	, 000	円				
		再任用職		2 007	000	円		_	000	円				
	 	人件費	2 J - 1 - 17 (11 K	3, 997	,000	円	4	, 093	, 000	円				
		会計年度任用職員人	ム川十次江川柳浜サバ川兵	4 207	円 7 050 田		2		ΕΕΛ	円円	-			
H		事業費計	十(直接費+人件費)	4, 28 /	7,058 円		3,807 令和元年度		77,550 <u>日</u> 令和2年		· #		令和3年度	F
		種類	指標	名	単位			_					目標 下段	-
						<u></u>	19	・大順	<u></u>	四原 14 19	以・大順		19	· 大 順
l.	指	活動	人権啓発を実施した回数		回		21			5	,			
	, 11	-1> FF				(58)	(58)	(125)
		成果 /	人権啓発を実施した日数			·	125			191	,	_		
						()	()	()
7	標													
						()	()	()
		指標に	関する特記事項											

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容												
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×							
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性、成果の方向性を赤く □ 皆減 □ 縮小 ■ 維持 ■ 拡張													
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性												
は、人権問題解消のためには不可欠なことであり、市内4地区で人権啓発作品の展示や人権尊重事業の様子を撮影した動画放映に併せ、啓発品を配布した。なお、令和2年度は駅頭人権啓	あらゆる機会を通じて、市民の基本的人権の尊重を図ること は、人権問題解消のためには不可欠なことであり、市内4地区 で人権啓発作品の展示や人権尊重事業の様子を撮影した動画放 映に併せ、啓発品を配布した。なお、令和2年度は駅頭人権啓 発などの啓発活動を一部変更し、人権啓発行燈掲出の期間を長 くするなど、市民が人権問題に関心を持つ機会を増やすこと												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 人権推進課長 小沢 俊明													

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 人権尊重事業 事務事業整理番号 130110606 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 3 人権の尊重 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 人権教育と啓発活動の充実・推進 付け ■ 非該当 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 個人の人格をお互いに認めあいながら、平和で暮らしやすい郷土の建設を目指すとともに、人権問題の正しい 事務事業本来 の目的・成果 い」等のイベントを通じて、多くの参加者のもと、行政と民間団体、市民等の協働により人権意識の高揚を図 所管部課 総務部人権推進課 <mark>関係部課</mark> 菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課

2. 事務事業の実施結果

_2	· · ·	事務	事業の実施結果										
-2	事務	2年度 第事業 他内容	コロナソイル人窓来征の終え	息と人権意識の	高揚を	図るたる	め「祈りの燈	火」を	実施した。	,			
				令和	元年度		令和	令和3年度					
挼	ļ	直	予 算 額	5, 529	,000	円	3, 92	5, 083, 000 F			0 円		
1>		接	決 算 額	3, 651	, 313	円	2, 32	2,599	円	予算額		比較(R3-	
٦.		費	特定財源の有無	□有	■無		□有	■ 無				<u>, 161, 00</u>	0 <mark>円</mark>
入			正規職員数		1.68	人		1.68				記事項	
		生事職		_		人	_		人			主な増減理	
=	_		会計年度任用職員数	-	700	人	— 人			消耗品費などの増加I り、増額となった。			اادح
		規職的		12,606	-	円	11, 995, 200 円 7, 140, 000 円			<i>/ / / / / / / / / /</i>	, O	U 27C	
ス	·			7, 504	, 000	円	7, 14	0,000					
		任用職 人件費		2 007	000	円	4 00	2 000	円				
۲		八丁兵	参考:平均人件費 会計年度任用職員の人件費	3, 997	, 000	円円	4, 09	3,000	円円				
	車	業費記	- 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	16, 258			14, 31	7 700					
	+	T			Í		和元年度	う			令和3年度		连
	種	類	指標	名	単位	上段: [: 目標 下段	
		T = 1 \	ᄊᆉᆂᄴᇰᇝᆉᇊᇊᄣ			(5)	(5)	(5)
指	沿	動	当該事業の実施回数		回	·	5		5	,			
		t: EE =			人	(15,638)	(15,638)	(15,638)
	נפו	X /* 1	参加有 数				15, 717		11, 141				
	☆	加率	参加者1人当たりの事業費			(970)	(970)	(970)
標		,, ,	シ加山ハコ/こ) ジェール		' '		1,034	4	1, 285				_
						()	())
													_

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	一 今後の課題、事業の方向性と具体的内容											
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
□ B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充						
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性											
行政と民間団体、市民等との協働により人権尊重事業が開催され、人権問題の正しい認識と理解を深め、人権意識の高揚等を図ることができる本事業の効果は非常に大きいものと考える。 その効果が人から人へ伝わることで、多くの市民等に対し、人権意識の高揚を図ることができた。 その効果が人から人へ伝わることで、多くの市民等に対し、人権意識の高揚を図ることができた。												
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 人権推進課長 小沢 俊明												

1. 事務事	業概要			_	対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	男女共同参画啓発事業			事務事	業整理	番号	140210609
(() A JE (2) - I -	大綱 1 市民が参加し、地	也域コミュニティ豊かなま	ち 第2期総合	基本目標			
総合振興計画	施策 4 男女共同参画社	会の実現	戦略におけ	施策			
1917	細施策 2 男女共同参画の	意識づくり	る位置付け	KPI			
, 5	後期基本計画成果指標との	関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	男女平等意識の定着化と	男女共同参画社会の形成促	進を図るため	、さまざま	な啓発	活動を	推進する。
所管部課	総務部人権推進課	関係部課					

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、予定していた事業の多くが中止となったが、感染状況を確認しながら市民団体との協働による、女(ひと)と男(ひと)の共生セミナー(参加者合計147人)を実施した。また、性的少数者に対する市民の意識を把握するため、性的マイノリティに関する市民アンケート(有効回答435通)を実施するとともに、性的少数者に関して職員が正しい理解や知識を深められるよう、性的マイノリティに関する市職員研修会(参加者254人)を実施した。

							令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	5	算	額	793	3,000	円	1	1,077	,000	円			867,000) 円
1X	接			5	算	額	709	, 829	円		838	, 671	円	予算額	質との」	北較(R3-	-R2)
٦	費		特別	定財	原の有	無	□有	■無		_ ;			■ 無			-210,000	
入			正規職	員数	[1.00	人		1.00 人		特記事項				
	従事閥	員	再任用	職員	数		_		人		_		人		算額の主な増減理		
\Box			会計年				— 人			— 人			市民アンケート実施に伴				
	正規職					月人件費	7,504		円	7,140,000 円				□う印刷製本費や郵送料が減 ■額となった。			
ス	人件費				平均人		7,504	l, 000	円	7, 140, 000 円				рх С 0.	770		
	再任用單	, v > -				^平 均人件費	-		円		_		円				
+	人件費				平均人		3, 997			4,093,000 円							
l '	会計年度任用職員の人件費						_		円	一 円							
	事業費	計 (直接費	人+ 为	、件費)	1	8, 213, 829 🖽				7,978		円	ļ			
	種類		=	指		標	名	単位		和元年			令和2年			令和3年	
				10 10		1.5			上段:	目標下段	:実績	上段:		段:実績	上段:		:実績
11-	活動	男女	x 共同参	画	8発事	業の実施回	数	回	(7)	(9)		6)
指									,	1		,	5		,	250	
	成果	男女	大共同参	画	8発事	業の参加人	数	人	(700		(750)		250)
									,	646		,	401	`	,		$\overline{}$
標												())
尓									/		`	/		\	-		$\overline{}$
												())
	指標に	- 関 -	する特詞	7事]	百												_
	1 HINGE	-1/1	ונו עט י	10 1 1,	~												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのグ夫心人は一層の儿夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
日でありゆる内皮がり事未上体で元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施を見合わせた事業が多かったが、性的少数者に関する市民アンケートにより新たな啓発の機会を提供するとともに、感染状況を確認しながら女(ひと)と男(ひと)の共生セミナーを実施し、男女共同参画に対する理解の促進に努めた。	症対策を図 により、男 社会情勢 野に参画し	啓発事業の 別り、引きを 別り、引きを 別女共同参正 別の変化を 対し、 別組みを実が 別組みを実が	売き、市民 国を推進し 足え、性別 十分に発揮	や市民団体 ていく。 にかかわら	、事業者等 ず誰もがあ	いい おり かい					
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 人権推進課長 小沢 俊明											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 広報発行事業 170110703 事務事業名 事務事業整理番号 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 7 戦力的かつ効果的な広報・広聴活動の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け | 細施策 | 1 | 広報・広聴活動の充実 | **KPI** 付け 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 市政運営に対する理解と協力を深めていただくため、毎月1回広報紙を発行し、行政の持つ様々な情報を全ての市 の目的・成果民に公平に提供する。 所管部課 総務部市政情報課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

毎月1日に「広報くき」を発行し、区長及び公共施設等に仕分け搬送した上で、区長を通じて各世帯に配布した。 また、令和元年5月号から紙面をリニューアルし、全ページをフルカラー化するとともに、毎月特集ページを設け た。

令和2年度

令和3年度

「広報くき」に広告を掲載し、広告収入を得ることで事業費を抑制した。(広報紙広告掲載料3,500,000円)

令和元年度

4	设	直		予	算	額	25, 353	3,000	円	30), 056	,000	円		29	, 021, 000) 円	
1	X	接		決	算	額	24, 846	, 004	円	29	9, 222	, 960	円	予算額	領との	比較(R3-	·R2)	
		費		特定則	排の有	無	■ 有	□無		■ 7	有	□無	Ħ		-1	, 035, 000) 円	
•	入		Ī	E規職員数	数			0.90	人			1.40	人		特	記事項		
		従事職	員目	F任用職 員	員数		_		人		_		人	(予算額の主な増減理由)				
	⊒ [ź	会計年度係	壬用職員	数	_		人		— 人			令和3年度については、令 和2年度と比較して、ポス				
		正規職		E規職員数	数×平均	人件費	6,753	3,600	円	Ç	9, 996	,000	円	1412年及と比較して、ホス ティングによる配布の委託				
	ス	人件費		_	平均人		7,504	円	7, 140, 000 💾				料を削減したため減額と					
		再任用職	V> -	F任用職	員数×平	均人件費	— 円			一 円			なった	0				
	,	人件費		参考:	平均人	件費	3, 997	3,997,000			1, 093	<u>, 000</u>	円					
	١.	会計年度任用職員	t年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費						円		_		円					
L		事業費調	業費計(直接費+人件費)				31, 599, 604 🖰) , 218	_						
		種類		指標		名	単位		和元年度			令和2年			令和3年			
		12291		,,,		173.		1 1—	上段:		:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:		:実績	
ı.		活動	広報:	紙総ペー	ジ数			頁	(384)	(384)	(384)	
	自								,	384		,	350			(0,000		
		活動	広報	紙1回当力	きりの平	均発行部数		部		61,800)	(61, 900		(62,000)	
	-								,	61, 942		,	63, 517		,	12	<u> </u>	
	æ	成果	広報	紙発行回	数			回	(12)	(12)		12)	
1	票.								,	12		,	12		,		<u> </u>	
		効率	1ペー	ページ当たりのコスト				円	(1 22)	(1 7/)				
		1F1±1-	. BB	· フ 4+=コ=	= T + +=	total in sullet		5771		1.33			1.76			15 +0===+ 1 %-A .I.		
		指標に	.) 関 9	る特記事	上 以	袱総ベージ数につ り	いては、令和2年度は新	が空コロナワ	イル人感染	症の影響によ	り、多く(ハイベン	ト寺か中止と	よつにことを	安けて、	掲載記事か減少	いした。	

3. 計画相外と / 及のが同正											
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ 八 可画とのう天地人は 信の元天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め力を発置す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性						
公平性の観点から、市が行うことが適当な事業であると考える。行政や市民活動等に関する様々な情報を、定期的に全ての市民に届ける手段として、確実性が高く有用である。また、インターネット環境がない方にも情報を提供することができるため、新型コロナウイルス感染症関連情報のような、多くの人が必要としている情報を確実に届けるのに最適な事業である。 「対している情報を確実に届けるのに最適な事業である。 「対している情報を確実に届けるのに最適な事業である。 「対している情報をではいるできるには、関連に対しているできるとができるため、対している情報を確実に届けるのに最適な事業である。 「対している情報を確実に届けるのに最適な事業である。 「対している情報をできる。」 「おいてにない。」 「おいてにない。」 「本のではいるできる。全への世代に伝わる広報紙とする。 本面の内容を精査し、わかりやすく、読んでみようと思えるようで、 は面づくりを実施する。 具体的には、掲載記事の言い回し等の表現を精査する事での文字数では、できる。 はいるでは、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現											
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市政情報課長 福原 佳世子											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 ホームページ事業 170110704 事務事業整理番号 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 - -第2期総合 総合振興計画 施策 7 戦力的かつ効果的な広報・広聴活動の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 1 広報・広聴活動の充実 KPI - |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 市内外の方々がいつでも手軽に久喜市に関する最新の情報にアクセスできる環境を整え、併せて市政への市民 参加を促進するため、インターネットの双方向性を活用しつつ、市ホームページを通じて多種多様な情報を提供 事務事業本来 の目的・成果 する。 所管部課 総務部市政情報課 関係部課

2	. 事務	事業の実施結果										
1	和2年月 事務事業 実施内容		キに努めた。ま ឱ急情報エリア	た、新 」を活	型コロ: 用する。	ナウイルス感染 ことで、迅速な	ヒ症の拡大にイ ヒ情報発信をイ	半う情報ぎ テった。	発信として、	、「ブラ		
			令和法	元年度		令和2		令和3年度				
投	直	予 算 額	2,880	,000	円	4, 865	,000 円		2, 598,	,000 円		
1X	接		2,877	, 236	円	4, 863	,452 円	予算客	頁との比較	(R3-R2)		
١,	費	特定財源の有無	■有□無			■ 有	□無		-2,267,000 円			
入		正規職員数		0.50	人		0.90 人		特記事項	Į		
	従事閥		_		人	_	人	_	曾減理由)			
		会計年度任用職員数			人	— 人			D2年度は、サーバO			
	正規職	-	3, 752	_	円	6, 426			Sが稼働推奨年数である5 -年を超過した事による更新			
ス	人件費	9011707(II)	7, 504	,000	円	7, 140			発生したた			
	再任用職				円	_	円					
	人件費	> J - I - J / II A	3, 997	,000	円	4, 093						
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	- (20	227	円		円 452 円					
	事業費	計(直接費+人件費)	6, 629	, 236	円	11, 289			^ T- C	\ 		
	種類	指標	名	単位		和元年度	令和2年		令和3			
指	成果	市ホームページの閲覧件数		件		423,000) 027,128	(4, 823, 0		(5, 223	5,000)		
百					(\	11, 960,	112				
	効率	市ホームページ閲覧1ページ当た	こりのコスト	円		0.94	0.94	<i></i>		,		
					()	()	()		
標						,	•	,				
					()	()	()		

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのが美地大は 層の九天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本代の世の月と元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入の方向性							
情報通信技術(ICT)の発展・普及により、多くの人が必要な情報をいつでも入手できるようになっている。市内外の方々に市に関する最新の情報を提供し、併せて市政への市民参加を促進するためにも、市の情報発信ツールとして市ホームページをさらに充実させる必要がある。	てホーム/ 情報を探し そのため 掛ける他、	ページを閲覧 いやすい充実 かには、各打 ブランディンターフ:	覧すること 実したホー 旦当課に情 ィングエリ	から、誰に ムページと 報の整理や アや緊急情	マなデバイ でもわかり する必要か 積極的な発 報エリア等 で、情報を)やすく、 (ある。 経信を呼び 手、トップ					
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 市政情報課長 福原 佳世子											

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	02年度実施事業					
事務事業名	メール配信事業		事務事	業整理	番号	170110705					
(A) A 15 (B) - 1 - 1	大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち	第2期総合	基本目標	- -							
総合振興計画における位置	<mark>- 梅等 7 戦力的かつ効果的か広報・広聴活動の推准 </mark>	戦略におけ	施策								
付け	細施策 1 広報・広聴活動の充実	る位置付け	KPI	_							
1011	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への打	曷載 □	該当 ■ 非該当					
事務事業本来の目的・成果	市民等のニーズに合わせて市からの情報を迅速に提供するとともに、市政への市民参加を促進するため、メール配信登録者へ情報を積極的に発信する。										
所管部課	総務部市政情報課 関係部課										

2. 事務事業の実施結果

市政・イベント情報や防災行政無線情報、安全・安心情報、子育て支援情報といった各カテゴリー別に、メール配信を登録している市民等が必要とする様々な情報を、携帯電話やスマートフォン、パソコン等の媒体を通じて積極的に提供した。特に新型コロナウイルス感染症に関連した情報や、市内での不審者・防犯情報など、速やかに発信する必要がある情報については、SNS等と併せてメール配信を活用し、迅速に発信を行った。

												-	
			令和	元年度		-2	令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	1,008	,000	円	1,	622	,000	円		1,	743,00	0 円
18	接	決 算 額	1,007	, 160	円	1,	621	, 400	円	予算額	質との	比較(R3	-R2)
	費	特定財源の有無	□有	■無		□有		■無	ŧ			121,00	0 円
入		正規職員数		0.10	人			0.20	人		特	記事項	
	従事職員	再任用職員数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
		会計年度任用職員数	_		人		_		人	令和3年度は令和2年度に			
	正規職員		750, 400 <u>円</u>			1,	,000	円	比べて、利用者の増加によるシステム月額費用の増額				
ス	人件費	2 1 · 1 · 37 (11 ×	7,504	,000	, 000 円		7,140,000 円			が見込	>>DDX		
	再任用職員		_	円		_		円					
_	人件費	参考:平均人件費	3, 997	3, 997, 000 🖰			093	,000	円				
'	会計年度任用職員人們	一人可一人人口「一人人」	_	— 円 1 FFF F(0 FF			_		円				
	事業費計	- (直接費+人件費)	1,757,560 円		円	0,0.2,.00			円		•		
	種類	指標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年	度
	ITW	111 187	I	1 14	上段:		実績	上段:		设:実績	上段:		段:実績
	成果メ	ベール配信件数		件	(550)	(550)	(550)
指	,,,,,					570			843		,	15.000	_
	成果 利	川用登録者数(延べ)		人		12,000)	(14,000		(15,000)
					,	13,002		,	13, 926				_
135					()	())
標											,		_
					()	())
	15121-8												_
	指標に関	関する特記事項 利用登録者数につい	ては、より実態に即し	た報告とす	「るため、~	計和2年度から、	それぞ	れのカラ	ーゴリーごとに	こカウント	し、その	総計を報告し	ている。

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容											
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのが失肥文は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向件	縮小	×	縮小	×	×						
日日中来の定の力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	i向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充						
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性							
市民が安全に安心して暮らすため、防災情報や防犯情報を迅速に発信することはもとより、子育て世代の方の支援や、市政への市民参加の促進のためにも、市からメールで積極的に各種情報を提供することは重要である。また、メール配信の登録・解除は自由かつ無料であることから、市民等のニーズに応じて、特定の情報を必要とする方へ情報発信できるツールとして有効である。												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市政情報語	果長 福原	佳世子										

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	02年度実施事業					
事務事業名	公文書館活動事業		事務事業整理番号 1			160310710					
(() A I= (III - I - I	大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち	第2期総合	基本目標	-		•					
総合振興計画 における位置 付け	梅笠 6 情報小関の堆准	戦略におけ	施策	-							
	細施策 3 公文書の適正管理	る位置付け	KPI	1							
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当					
事務事業本来の目的・成果	市の公文書を、公文書のライフサイクルに基づき管理するとともに、公文書の評価選別を行った「歴史資料と して重要な市の公文書その他の記録」を保存し、市民・職員等が公文書館資料として利用できるようにする。										
所管部課	総務部市政情報課 関係部課										

2. 事務事業の実施結果

. 事	和2年度 事務事業 ミ施内容	「歴史資料	料として	重要な市の		対象公文書を、公文書館職員 ともに、毎年度発行される行	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度
ኯ	直	予	算	額	489,000 円	518,000 <u>⊞</u>	397,000

1	投	直		予	算	額		489	,000	田	518	,000	円		397	7,000	円
	JX	接		決	算	額		437	, 944	円	459	, 859	円	予算額	頁との比較	(R3-R2	2)
	_	費		特定財	源の有	無		有	■無		□有	■無			-121	,000	円
	시		正規	見職員数	ζ				1.10	人		1.00	人		特記事	項	
		従事職員	再任	壬用職員	数				0.40	人	0.50 人			(予算額の主な増減理			自)
	⊐		会詞	計年度任	用職員	数		_		人	1		人				
		正規職員	正規	正規職員数×平均人件費			8, 254	, 400	円	7, 140	,000	円					
	z	人件書		参考:平均人件費			7, 504		円	7, 140	,000	円					
		再任用職員	再任	壬用職員	数×平	均人件費	1,598		,800	円	2,046	,500	円				
	L	人件費		参考:	平均人·	件費		3,997,000 円		円	4, 093, 000 P		円				
	17	会計年度任用職員人件費	会計年度任用職員の人件費		- 円		円	ı		円							
		事業費計	費計(直接費+人件費)		10, 291, 144 <u>F</u>		円	9,646	, 359	円							
		種類		指		 標	名	·	単位	令	和元年度	f	和2年	度	令和	3年度	·
		作生大只		3日		1িক্য			丰江	上段: 日		上段:	日標下	段:宝績	上段:日煙	下段:	宝績

I		種類	指	標	名	単位	4	令和元年	蒦		令和2	年度		4	令和3	4度	
ı		俚块	18	尓	11	丰加	上段:	目標 下段	3:実績	上段	:目標	下段:	実績	上段:	目標	下段:	実績
	指	活動	歴史公文書(公文書	・行政資料)	の所蔵件数	件	(21, 000 21, 201		(22, 0)		23,	000)
	"	 活動	 企画展の開催回数				(1)	(1)	(1)
		伯刬	正凹版の刑能凹数			<u>I</u>		1			1				_		
		成果	公文書館所蔵資料()	歴史公文書・	古文書)の	点	(520)	(52	-)	(52	20)
	標	170,71	利用点数			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		146			31	0			_	_	
		成果	企画展の展示観覧者	*h		٨	(350)	(35	0)	(35	0)
		以木	正凹成り成小既見付き	奴				324			10	7			_	_	
ı		指標に	関する特記事項		_												

3. 計画相条とう後の方向性													
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×							
□ B 事業の進め方を兄直9 	性	休廃止	廃止・終了										
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充							
□ こ ののゆる円皮がの事業主体を見直り	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性								
歴史公文書の収集点数は、評価選別の対象年度により変動はあるが、公文書館の歴史公文書として保存する必要がある資料は、計画どおり順調に収集ができている。 公文書館や公文書資料を紹介する企画展(年1回)及び常設展(年2回)については、企画展の展示閲覧者数は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。	公文書ので めていく。 また、「 展の開催や やツイック	うち、特に3 市民等の公3 や、市ホール ターなどの3	か更なる充 30年保存公 文書館の利 ムページを SNSを活 言を行って	文書の評価 用をさらに はじめとす 用し、公文	選別を、効 推進するだ る、フェィ	か率的に進 が、企画 イスブック							
	果長 福原	佳世子											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 低公害車購入事業 710710908 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 施策 戦略におけ における位置 る位置付け 細施策 7 公有財産の有効活用 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 低公害車(九都県市指定低公害車等)の導入率を高める。 事務事業本来 の目的・成果 低公害車の入れ替えが行われることにより、従来の車両と比べて二酸化炭素排出量を削減することができる。 所管部課 財政部アセットマネジメント推進課 関係部課

2	. 事剂	务事	業の実施	結果												
	6和2年 事務事 実施内	業			上経過した れ替えを行	き車両や燃費基 うった。	準を達	成してい	いない事	画向につ	いて、	平成27	生度燃	費達成	基準を達	成し
						令和无	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	11,019	,000	円		8 , 015,	, 000	円		8,	125,000	0 円
1×	接		決	算	額	10, 719	, 234	円		7 , 857,	, 516	円	予算額とのは		:の比較 (R3-R2)	
١,	費			排源の有無	#	■ 有	□無		■有□無					110,000 🖰		
入			正規職員数				0.25	人			0.25 人			特記事項		
	従事	戰員	再任用職員			1		人		_		人		⁵ 算額の主な増減理		
			会計年度			_		人				人			:数は減少 :自動車2:	
	正規聯		正規職員数			1,876		円	1, 785, 000			円	購入を	、 电× 予定し	ける新年に	ことか
ス		人件費 参考:平均人件費				7, 504			7, 140, 000		, 000			規模の)予算措置	
	再任用	750	再任用職員			2 000	000	円			000	円	なった	0		
	人件			平均人例		3, 997	,000	円		4, 093,	, 000	円				
	会計年度任用時		会計年度		の人件質	12 505	224	円		<u> </u>	Г1/	円				
	事業費	Tat	(直接費+	人什貫)		12, 595			9,642 令和元年度			<mark>円</mark> 和2年	曲	_	令和3年	÷
	種類		指		標	名	単位	上段:							目標 下段	-
								<u></u>	刘宗 1年 9	メ・大順	<u></u>	口惊 17 7	マ・大順	<u></u>	口标 11	・大順
指	活動	低	公害車の購	入			台		9			<u>'</u>	,		<u> </u>	
1		1						(168)	(, 171)	(170	$\overline{}$
	成果	低:	公害車保有	台数			台		168	,		170	,	_		
	****	/rr	八中士等。				0/	(93.3)	(95.0)	(94.4)
標	効率	153	公害車導入	.举			%		93.3			94. 4		_		
								()	()	()
	指標	に関	する特記事	項 公用	目車保有台	数 令和元年原	隻:180	台、令	口2年度	: 180台	、令和	13年度	(見込み	.) :1	80台	

総合評価と判断理由	_	今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのう天旭大は 信の九天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の月を元巨り	性 作用 作用 King King King King King King King King										
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
	塗りつぶしてく	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
低公害車の導入が進んでいることで、公用車の燃費が向上 し、環境負荷の低減化が進んでいる。	稚園の送迎する必要が る必要があ	型用バス等原 があると考え ある。 「する公用!! 公害車の購え	用途が限定えるが、当 えるが、当 車が全て燃 入を進める	されるもの 該車両の必 費基準を達 とともに、	要性も含め 成する低か より環境質	: は、更新) て検討す 公害車とな 負荷の低減					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 アセッ	ヽ マネジメント	推進課長	髙田 健	-		·					

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 公共施設アセットマネジメント推進事業 事務事業名 事務事業整理番号 710610909 基本目標 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 1 行政改革の推進 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け **細施策** 6 公共施設等の適正管理の推進 KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 公共施設のあり方や必要性について、人口減少・少子高齢化、厳しい財政状況、市民の利用状況・ニーズ等の の目的・成果の面から総合的に検討し、適正な保有量を実現する。 所管部課 財政部アセットマネジメント推進課 関係部課 各公共施設所管部課

2. 事務事業の実施結果

	令和2年度 事務事業 実施内容	施設計画検討委員会」及び	査を実施した。 こ関する動画配信」、「アセ 「久喜市公共施設個別施設計i 施設個別施設計画を策定した。	画(案)に対するパブリック	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
扌	直	予 算 額	18, 596, 000 円	10, 594, 300 円	2,874,000 円
J.	接		17, 605, 018 円	10, 452, 455 円	予算額との比較 (R3-R2)
	費	特定財源の有無	■有□無	□有 ■無	-7,720,300 円
7		正規職員数	1.80 人	1.80 人	特記事項
	従事職員	再任用職員数	— 人	— 人	(予算額の主な増減理由)
=	ם	会計年度任用職員数	— 人	— 人	令和元年度及び令和2年
	正規職員	正規職員数×平均人件費	13, 507, 200 🖽	12, 852, 000 <u>円</u>	度の2か年で久喜市公共施 設個別施設計画を策定し
-	人件費	参考:平均人件費	7, 504, 000 <u>H</u>	7, 140, 000 円	た。事業費の大部分を占め
	再任用職員	再任用職員数×平均人件費	一 円	— 円	ていた個別施設計画策定支
,	人件費	参考:平均人件費	3,997,000 円	4, 093, 000 円	援業務委託料の皆減によ り、令和3年度予算額は大
	会計年度任用職員人件費	会計年度任用職員の人件費	一 円	— 円	幅減となった。
			0.1 1.1.0 0.1.0		

		事業費	計(直接費+人件費)	31, 112	., 218	円	2	3, 304	, 455	円				
		種類	指 標	名	単位	f	和元年	度	v	令和2年	度	v	令和3年	度
		作生大只	7日 7示	11	丰田	上段:	目標 下段	役: 実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標 下	段:実績
		活動	劣化状況調査		棟	(_)	(_)	(287)
ŧ	指	归到	力心外心的且		1/1/		281			291				
		活動	計画策定に関する市民説明及	が市民会加	件	(2)	(4)	(_)
		伯刬	可画水だに対する中氏説の水	の中を多加	IT		1			4				
		活動	アセットマネジメントに関す	ス融昌ជ修会		(_)	(_)	(_)
木	票	/山刬	アピットマネンバントに関す	の概算別形式			3			1				
		3.8	公共施設個別施設計画進捗率		%	(_)	(_)	(4.6)
		以木	公六		/0		_			_				
	- [指標は	関する特記事項の共施設個別施	設計画進捗率=当該年度	までの延	未而積削温	雄量の合計÷	-計画期間	満了 (全	·和37年度)	までの日標	削減量1	40, 312, 04n	ก้×100

3. 評価結果と今後の方向性

令和3年6月28日

評価年月日

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
久喜市公共施設個別施設計画の策定過程において、新型コロ		公共施設個別				
ナウイルス感染症の感染拡大防止のため、アセットマネジメン		ハくことがえ			進仃官埋を	:徹底する
ト講演会を中止し、代替措置として、アセットマネジメントに		進行状況				
関する動画配信を実施するなど、市民参加の手法を変更するこ						
とになったが、計画どおり令和3年3月に久喜市公共施設個別施	と、道路や	や上下水道な	など各種イ	ンフラ施設	の個別施設	計画の内
	1 /-2020 1	3/3/(AL) C	13 143 112	1 100001 9	3 0	
ド語演会を中止し、代音指直として、アピッドマネジスプドに 関する動画配信を実施するなど、市民参加の手法を変更するこ とになったが、計画どおり令和3年3月に久喜市公共施設個別施 設計画を策定することができた。	また、2 と、道路 ^や 容を踏まえ	進行状況 公共建築物で や上下水道で え、上位計画 3月策定)を	を対象とすなど各種イ あである久	る久喜市公 ンフラ施設 喜市公共施	の個別施設 設等総合管	計画の内

髙田

健-

評価者職氏名 アセットマネジメント推進課長

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 市民税・諸税賦課事業 720111004 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 健全な財政基盤の確保 _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 地方税法及び久喜市税条例の規定に基づき、納税義務者等に係る的確な調査・資料収集により、公平かつ適正 の目的・成果 な賦課決定を行い、市税収入を確保する。 所管部課 財政部市民税課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

提出された各税(個人市民税、法人市民税、軽自動車税(種別割)、市たばこ税、入湯税)に係る申告書及び 調査資料等に基づき、賦課決定を行い、個人市民税及び軽自動車税(種別割)については、納税通知書を送付した。

未申告者等について、呼出通知を送付し、申告手続きを促した。

						A	人们 2左连				A10.0 /r m					
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
找	n.	直	予	算	額	69, 135	,000	円	69	, 561	,000	円		56,	362,00	0 円
1)	×	接	決	算	額	67, 516	, 248	円	66	, 707	, 999	円	予算額	買とのは	比較(R3-	-R2)
		費	特定則	排の有	無	□有	■無		□ 有	1	■無			-13,	199,00	0 円
フ	4		正規職員	数		1	9.00	人		1	7. 17	人		特詞	書項	
		従事職員	再任用職	員数			1.00	人		_		人	(予算		算額の主な増減理	
=][会計年度	任用職員	数	_		人		1	2.75	人			託につい	
	Γ	正規職員	正規職員	数×平均]人件費	142,576	,000 円					実施による効果を検証した うえで計上することとなっ				
-	z	人件費	参考:	平均人	件費	7, 504	, 000	円						前年度予		
		再任用職員数×平均人件費				3, 997	,000	円			円		減とな			
	ı	人件費 参考:平均人件費				3, 997	円	4	,000	円						
1		会計年度任用職員の人件費		_		円	18	18, 750, 391 円								
	1	事業費計	(直接費+	人件費)		214, 089	, 248	円	208	, 052	, 190	円	,			
	T	種類	指			名	単位	ŕ	和元年度		4	和2年	度	ŕ	命和3年原	芰
	L	住块	18		ी क	11	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下戶	2:実績	上段:	目標 下段	2:実績
		活動個	人市民税現	在分賦	里件粉		件	(_)	()	(_)
排	Í	/山乡/ 旧	7(1312(1)(2)(7J XIVID	MII 9X		- ' '		83, 273			83, 505)			
		活動法	人市民税申	生主学	计件数		件	()	()	()
	L	/山邦 /仏.	ハいひいけ		XXIIC		-		4,563			4, 481				
		成果個	人市民税申	告率		課件数/申告	%	(100)	(100)	(100)
根	票	が、 を	要する件数	() × 1 (0 0		70		97.43			97. 45				
			人市民税申			告件数/申告	%	(100)	(100)	(100)
		**** を	要する件数	() ×1(0 0		/0		98.49			99.51				
		指標に関	する特記事	耳												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
口 B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ ○ おらゆる角度から車業全体を目直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
U											
安定した市税収入を確保するため、地方税法及び久喜市税条例等の関係法令に基づき、賦課資料、課税客体等を的確に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行うことができた。	のであり、 現状のとお しかし、 スト面の削 電子申告	果事務につい 市としてで らり最小のして 別滅にかった。 別の推進で はなど、課 でなど、課	D裁量の余 ていく。 ストで最大 て見直しを ⁵ 武課作業の	地は限定さ の効果を生 行う。 見直しによ	れているこ み出すよう る更なる電	ことから、					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民税課長	長 山崎 朋	勝義									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 固定資産税・都市計画税賦課事業 事務事業名 720011103 事務事業整理番号 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - -第2期総合 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 戦略における位置付け 施策 における位置 細施策 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 事務事業本来 固定資産税及び都市計画税を適正に賦課することにより、健全な財政運営のための自主財源を確保する。 の目的・成果 所管部課 財政部資産税課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

2	. 事務	事務事業の実施結果													
1	和2年 事務事業 実施内容	業	て、適正な賦 るための電算	・都市計画税 <i>0</i> 課業務を行うる 業務委託を行っ ・都市計画税間	ことができた。 oた。	これら	納税義 の賦課(務者管 こ関す	理、課税る様々な	物件管理 データで	里、納 をシス	税通知語	書の発送 より効率	等におい 的に利用	,\ 用す
					令和	元年度			令和2	2年度			令和3	年度	
投	直		予算	算 額	13, 859	,000	円		13, 122,	, 000 F	9		13, 46	59,000	円
1X	接		決	算 額	13, 778	, 171	円		13, 058,	, 300 F	9	予算額との比較 (R3-R2)			R2)
١,	費		特定財源の	の有無	■ 有	□無		■有□無			347,000 <u>F</u>			円	
入			正規職員数			5.70	人		5. 18				特記事	項	
	従事日	損	再任用職員数		_		人		_		人	(予算額の主な増減理			曲)
\Box			会計年度任用				人				人				
	正規暗		正規職員数×		42, 772		円		36, 985,		ŋ				
ス	人件		参考:平均		7, 504	, 000	円	7,140,000 🖰							
	再任用題	1747	再任用職員数		_		円				9				
 	人件		参考:平均		3, 997	,000	円		4, 093,	,					
	会計年度任用職		会計年度任用			0.71	円		1, 105,		<u> </u>				
	事業費	計	(直接費+人件	-費)	56, 550	, 971	円	10 - 1	51, 149,		<u> </u>		A 1	- o /= r	-
	種類		指	標	名	単位		和元年			12年			13年度	-
							上段:目	1	F段:実績 、	上段:日	標	没:美績	上段:目標	<u></u> 下段	美績
指	活動	業科	务委託契約			件	(<u> </u> 1)	(1)			
扫		┢					(400)	(400	\	(400	$\overline{}$
	活動	償劫	即資産実地(台	計帳)調査		件		348		(109	,		400	
							(11		662)	(11,		RO4)	(11)	313, 21	6)
標	成果	賦詞	課調定額(固定	『資産税・都市	計画税)			, 414,			624 , 5		(11)		<u> </u>
		41.7				\ 2		58 , 30			8, 77		(59	9, 123)
	成果	科列木	说通知書発送			通		58, 7			9, 123				
	指	標に関	引する特記事項	償却資産実地(台帳)調査	が大幅に減となった理由に	ま、新型コロ	ナウイルス感	染症の影響	により、税務署		_		台帳調査のみと	したことによ	るもの。

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 司画とのグ夫旭人は 層の儿夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性			
納税義務者・課税客体の管理、償却資産台帳調査、納税通知書の送付等、適切な賦課業務を行うことができた。 また、電算システムを活用することで、定められた期日までに納税通知書、償却資産申告書等を発送することができた。	対応し、引 なお、国 の根幹税目	加する納税! 引き続き適り 固定資産税 目であること した税収ので	刃な賦課業・都市計画 とから、今	務を行って 税は財政運 後も適正か	いく必要か 営に必要な	ヾある。 ♪自主財源		
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 資産税課長	長 齋藤	英行						

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	固定資産評価事業		事務事	業整理	番号	720011104
W A 15 (7) - 1 - 1	大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち	第2期総合 第2期総合	基本目標	- -		-
総合振興計画における位置	施策 2 健全な財政運営の確立	戦略におけ		- -		
付け	<mark>細施策</mark> — —	る位置付け	KPI	- -		
, 5 11	<mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非詞	核当 <mark>総合振興</mark> 記	画実施計画	画への排	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	固定資産を適正に評価することで、公平な課税? 与する。	を担保し、もって	健全な財政	運営の	ための	自主財源の確保に寄
所管部課	財政部資産税課 関係部課					

2	. 事務	事業の実	施結果												
	和2年度 事務事業	宝 家屋語			13基準年度の記 19年記録 19年記録 19年記録 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1973年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1974年 1										
	実施内容				(令和2年度730 種用保守業務委		〇固定	資産税評	価整備	業務才	〔話	不動産銀	監定業	務委託	
						元年度			令和2	2年度				3年度	
投	直	予	算	額	51,825	,000	円	26	6 , 231,	,000	円		22,	327,000) 円
100	接		算	額	51,823	, 586	円	20	6 , 229	, 269	円	予算額		比較(R3-	
,	費	特定	財源の有	無	□有	■無		:		■無			-3,	904, 000) 円
入		正規職員				7.60	人		ı	7. 76	人			書項	
	従事閥				_		人		_		人			Eな増減理	
			E任用職				人		_		人			、評価替の E資産税評(
	正規職			均人件費	57,030	•	円		5, 406		円	業務の第	業務量が	が多かったが	が、令
ス	人件費	. 27	:平均人		7, 504	, 000	円	,	7 , 140,	,000	円			2年度と業績 2なった。	務内容
	再任用職	~>~		平均人件費	_		円				円	7 7 6 .	<i>) </i>	- 0 7/20	
 	人件費	- J	:平均人		3, 997	,000	円	4	4 , 093	,000	円				
'	会計年度任用職員			員の人件費	_		円				円				
	事業費	計(直接費	+人件費)	108, 853	, 986	円		1,635		円				
	種類	指	i	標	名	単位		和元年	-		和2年			令和3年度	-
	12797		•	120		1 12	上段:		と: 実績	上段:		段:実績	上段:	目標下段	:実績
	活動	業務委託契	約			件	(4)	(3)		3)
指							,	4		,	3		,	240	<u> </u>
	活動	不動産鑑定	評価			地点	(840)	(340)		340)
	\vdash						-	827	\	/	339	\	,	720	$\overline{}$
標	活動	新増築家屋	実地調査	Ē		棟	(800 853)	(853 730)		730)
	4.8	=== /== + - -+	7 7 10 ct	14-¥4-		/#-	(0)	(0)	(0)
	成未	評価に対す	つ个版中	11年数		件		0			0				
	指標に	関する特記	事項	築家屋実地調査の件数減の	理由として、緊急事態宣言等の	発出による、エ	朝の延長等により)、工事完成がずれ	心込んだことが	一因である。	また、全体的に新	築家屋の棟数が鈴	吨化の傾向であ	53.	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥文は一層の九天を図る	成果の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を允良す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃	コスト投入の方向性及び事業の	- う向性、成果の方 うち向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日である内皮がり事業上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
専門性の高い不動産鑑定評価や固定資産評価整備を業務委託することで、適正な固定資産評価のための基礎資料等を整備することができた。 また、これらの成果物を基に、令和3基準年度の評価替に適正な固定資産評価を実施することができた。	のもとで、かまこ今にから、 で、 かも、 で、 かも、 で、 かもい で、 が 発 い で 課 税 平 な 課 税 を	については、 率的に事業を 価基準の見直 、不動産鑑に ・ 、不動を鑑して は現すること 要めていく。	実施してい しや税制改 かし職員個 誘をはじめ 誘奏託を実	く必要がある 正に適切に対 々の能力向」 システム関連 施し、より-	る。 対応すること 上に努めてい 車などの専門 -層の適正な	が必要であ く。 性の高い業 評価及び公
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 資産税課	長 齋藤	英行				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 固定資産空間データ整備事業 事務事業名 事務事業整理番号 720011105 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 多くの資産情報をGIS(地理情報システム)で管理することで、より適正な評価を実現させ、公平な課税を 事務事業本来 の目的・成果担保し、もって健全な財政運営のための自主財源の確保に寄与する。 所管部課 財政部資産税課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

<u>_</u>	• 事 務		(の実)	也衍未												
1	和2年 事務事第 実施内容	É	税客体の 〇航空	的確な打 写真撮影	巴握から調査 影業務委託	iする各種空間 i・確認、公平 ○地番図デー で更新業務委託	適正な ·夕更新	評価を 業務委	実現した 託 〇家	。 !屋図テ	<u>-</u> ータ	更新業務	委託		≧資産税等(の課
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	21,886	,000	円	21	1,459	,000	円		21	, 263, 000	円
1X	接		決	算	額	21,885	,800	円	21	1,417	,000	円	予算額	真との	比較(R3-	R2)
_	費		特定則	財源の有	無	□有	■無			有	■無	ŧ			-196,000	円
入			正規職員	.数			1.90	人			1. 72	人		特	記事項	
	従事的	損	再任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
\Box			会計年度	任用職員	員数	_		人		_		人				
	正規職	~~	正規職員	数×平均	匀人件費	14, 257	, 600	円	12	2, 280	, 800	円				
ス	人件	費	参考	:平均人	件費	7, 504	, 000	円	7	7, 140	,000	円				
	再任用罪	->-	再任用職	員数× ^I	P均人件費	1		円		_		円				
L	人件	費	参考	:平均人	件費	3, 997	,000	円		1, 093	,000	円				
	会計年度任用職員	員人件費	会計年度	任用職員	の人件費	-		円		_		円				
	事業費	計(直接費+	-人件費)	36, 143	, 400	円	33	3, 697	,800	円				
	種類		指		標	名	単位	仝	和元年周	隻		令和2年	度		令和3年度	Ę
	住块		18		1亦	11	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	设:実績	上段:	: 目標 下段	:実績
	活動	業 業	委託契約	5 1			件	(6)	(5)	(4)
指	70.20	76.37					''		6			5				
	活動	航空	写真撮影	K			地点	(419)	(419)	(419)
	71125	737 0	- 5 / (140.5)				- 0///		419	_		419				_
	活動	家屋	異動判認	売			棟		5, 761)	(6,032)		5,666)
標	.,							,	<u>6, 032</u>	,	,	5,666	,	,		_
	成果	空間	データ割	Ě備(更	新)		回	(7)	(7)		7)
	TF.T#.	- 88-	L 7 4+=7=	±					7			7				
	指標に	_関す	る特記	事リ												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の几天を図る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×						
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ ○ あらゆる角度から重業全体を目直す		i向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充						
□ C あらゆる用度から事業全体を見直す												
固定資産税務GISにおいて、航空写真データ及び土地・家屋等の異動状況を適宜反映することで、固定資産評価の基盤となる空間データを最適環境に整備することができた。 これにより、課税客体の的確な把握と評価業務の効率化が図られるとともに、納税者へ課税根拠を説明する際にも有効に活用できた。	なる固定資 である。 今後も固 定資産の適 正かつ有効 公図は、	ける共用空間 産税務GIS 定資産税務G 正評価と公平 な利用を図る 令和3年度を 、データ管理	における毎 GISが保有でな課税に資 ら。 もって廃止し	年度の空間ラ する各種地図 するため、図 い、公図と地	データ更新が 図情報の整備 固定資産税務 番図の地図ラ	必要不可欠 に加え、固 GISの適						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 資産税課長	長 齋藤 三	 英行	•		•	•						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 市税徴収事業 720111202 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 施策 における位置 細施策 1 健全な財政基盤の確保 KP I - |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 未納となっている市税の滞納整理を進め、税収の確保及び収入未済額の圧縮を図る。 の目的・成果 所管部課 財政部収納課 関係部課

_	2.	事務	事業	美の実施	結果												
	具	和2年月 事務事業 実施内容	É	財産調	査:滞紗	者の給与、	税催告及び来庁 生命保険、預 県、納税資力の 産調査の結果、	貯金及	び不動	産など	の財産調	査を	実施した	E。 分金等)()執行停 ₋	の差押を実施	を実施し 施した。	た。
ľ							令和	元年度			令和2	2年度			令和:	3年度	
ı,	投	直		予	算	額	17, 810	,000	円		5 , 413	,000	円		4,	814,00	0 円
1	JΧ	接			算	額	16, 428		円		4, 210	, 247	円	予算額		比較(R3	
	,	費			排の有	無	■ 有	□無			■有	□無	-			599,00	0 円
1	入			E規職員				7.60	人			7. 84				事項	
		従事閥		F任用職			_		人		_		人			となります。	
	⊐			計年度			_	100	人			4.36				き催告書 たことな	
		正規職	v—	E規職員			57, 030		円		55, 977					委託料0	
	ス	人件			平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	, 000					
		再任用職 人件費				均人件費	2 007	000	円田		4 002	000	円	_			
	۲	会計年度任用職員			平均人	件質 の人件費	3, 997	, 000	円円		4, 093	,					
		事業費	_	ェニエー (支) 直接費 +		の人計頁	73, 458	105	<u>円</u>		11, 705, 71, 893,			_			
ŀ		尹未貝	51 (L	旦汝貝丁	八仟貝)		75,450	, 490		和元年			 令和 2 ⁵	FFE	_	和3年	÷
		種類		指		標	名	単位			+/文 「段:実績						
									(600		(600)	(600)
1	指	活動	財産	の差押件	数			件		539	,		493		<u> </u>	<u> </u>	
		いてチム	`*#* & 	hn // a ++		L 14.		/14	(500		(500)	(500)
		活動	滞納:	処分の執	们学业的	干釵		件		332			433				
		成果	ılπı	未済額((丰代)			億円	('	7.33以	(下)	(6.97以	下)	(6	. 63以	下)
ŀ	標	以木	収入	小月 ((117代月)			心门		4. 94	4		4.84			_	
									()	()	()
																_	
		指標に	関す	る特記事	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのう夫地人は 盾の儿夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	i向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でのプラの方反がプラデ来上陸で元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
滞納整理の実施により、市税の収入未済額は前年度比2.0% 縮減され、成果の目標を達成した。	成果では	ある収入未済 党資力に応じ	斉額は目標	を達成して	いるが、今	後も、滞し
稲水され、以木の日信を建成した。		ガリカに心り				
※国民健康保険税に係る徴収業務については、一般管理業務経	滞納者には	は差押を、絹	枘税資力の	ない滞納者	には滞納処	
費の事務事業整理番号370121201で事務事業評価を実施した。	停止を実済 	もし、引き約	売き収入未	済額の圧縮	に努める。	
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 収納課長	河内 真	美 				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 市税収納事業 720111203 事務事業整理番号 大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 _ |-第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 施策 における位置 細施策 1 健全な財政基盤の確保 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 🗆 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 地方税法、久喜市税条例に基づき賦課された個人市民税、法人市民税、固定資産税・都市計画税及び軽自動車 の目的・成果税の収納状況を正確に把握し、適正な収納管理を行う。 所管部課 財政部収納課 関係部課 出納室

2. 事務事業の実施結果

	尹/	労争:	業の実施結果	₹										
-	令和2年 事務事		課税誤り、	こ収納するため 申告修正、納入 王の手続き等に	、誤り、二重納	付等に	よる市積	说過誤納を修正	Eした。	≎を還付	l , <i>t</i> = .			
	実施内		市税の未納	者に督促状を発 督促状及び還	経送し、早期納	入を促	した。							
						元年度			2年度			令和3	年度	
找	直	Ī	予 算	額	121, 191	,000	円	182, 482	,000	円		105, 74	6,000	円
17	接		決 算	額	117, 034	, 897	円	153, 891	,820	円	予算額	真との比較	交(R3-R	2)
	費	Ì	特定財源の)有無	■有	□無		■有	□無			-76, 73	6,000	円
フ	$\overline{}$		正規職員数			3.20	人		3.80	人		特記事	項	
	従事	麗員	再任用職員数				人			人	(予算	額の主な	:増減理I	由)
=			会計年度任用單				人		0.64	人		納還付金		
	正規	職員	正規職員数×	平均人件費	24, 012	_	円	27, 132	-	円	ヤ和Zェ 額な過	F度は例知 誤納金が	手にない 発生しな	多山山
1	人件		参考:平均		7, 504	,000	円	7, 140	,000	円	等で対	応したた	め。	
	再任用	2-1002	再任用職員数		_		円	_		円				
	人件	-費	参考:平均		3, 997	,000	円	4, 093		円				
ľ	会計年度任用	職員人件費	会計年度任用				円	1,718	-	円				
	事業費	計	(直接費+人件	費)	141, 047	, 697	円	182, 742		円				
	種類		指	標	名	単位		和元年度		和2年			13年度	
							上段:	目標 下段:実績	上段:	目標下	设: 実績	上段:目標	票 下段:	実績
11	活動	督位	足状発送件数(市税)		件	(—) 42 OFF	(<u></u>)			
拮	—	+					(43, 055	(37, 778	7	($\overline{}$
	活動	還信	付件数(市税)			件	((1,841)			
	_						(1,014	(1,041)	($\overline{}$
枵	<u> </u>							,	(,			
12.	`	+					()	()	($\overline{}$
							<u> </u>	,	`					
	指標	に関	する特記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の年の月を元世9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
地方税法に基づいた課税により、日常的に発生する収納管理業務であるため。	を実施し、	市税の還行	寸や督促なる	どの収納管	定期的に事理方法の再	点検と、
※国民健康保険税に係る収納管理業務については、一般管理業 務経費の事務事業整理番号370121201で事務事業評価を実施し た。	図る。)事務以苦る	と打りこと	により、更	[なる事務 <i>の</i>	別率11を
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 収納課長	河内 真	美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 -般管理業務経費(収納課分) 事務事業名 370121201 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 施策 における位置 細施策 1 国民健康保険事業の推進 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 未納となっている国民健康保険税の滞納整理を進め、税収の確保及び収入未済額の圧縮を図る。 の目的・成果 所管部課 財政部収納課 関係部課

2		事務	事業の実施結果	果											
4	事務	2年度 务事業 を内容	新税催告: 財産調査: 滞納処分:	限までに納付か 文書による納利 滞納者の給与、 財産調査の結り 執行停止:財産	税催告及び来庁 生命保険、預 星、納税資力の	要請、 貯金及 ある滞	日曜開 び不動 納者の!	テ時の納税 産などの財 財産(給与	<mark>産調</mark> 査 、生命	を実施 なな なな なな ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	施した 、預貯	金等)(の差押を上を実施	を実施し 施した。	た。
					令和法	元年度		令	和24	年度			令和3	3年度	
投	ı 🗀	直	予第	算 額	16,815	,000	円	16, 6	642, (000	円		15, 5	16,00	0 円
۷.		接		算 額	14, 567	, 391	円	15, 1	108,6	676	円	予算額	真との比	蛟(R3·	-R2)
l,		費	特定財源の	D有無	□有	■無		□有		■無			-1,1	126,00	0 円
入	`		正規職員数			6.90	人		7.	. 10	人		特記	事項	
		É事 職 員			_		人	_	_		人			な増減理	,
	<u>ا</u> ا		会計年度任用				人				人			く郵送料 付書等 <i>0</i>	
		規職員			51, 777		円		694, (円	物の数	光1」衲1	isi 直す り らしたこ	ことに
ス	:L	人件費	27.15		7, 504	, 000	円	7, 1	40, (円	よる電	算業務	委託料0)減。
		任用職			_		円	-	-		<u>円</u>	•			
	·├─	人件費	2 3 - 1 -		3, 997	,000	円	-)93, (円				
	会計算	年度任用職員人	五日十尺江/13		- (()(4)	001	円		752,6		円	•			
	争	業費計	†(直接費+人件	· 貸)	66, 344	, 991	円		55, 2		円 2 年	œ	^	10つケ!	-
	種	重類	指	標	名	単位	上段:[和元年度	₽ (基 L		和2年	·		和3年月	
	\vdash						上段・1	一	大領工	/	信 C	ダ・夫領	上按・目		・夫領
指	。 活	舌動 む	督促状発送件数	(国保)		件		27, 932	1	2	25, 049))			
]⊨							(600)	(600)	(600	$\overline{}$
	污	話動 貝	材産の差押件数			件		539	′	`	493	,			
	Н						(500)	(500)	(500	$\overline{}$
標	[] 活	括動 港	帯納処分の執行停	让件数		件		332			433	,		<u> </u>	
				1)		/*	(11	.76以下)	(11.		下)	(10	. 84以	下)
	月	以果川	又入未済額(国保	₹)		億円		7. 02			6. 45				
	指	皆標に	関する特記事項				•								

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引回とのう失応人は 信の儿夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	i向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事業主体を先置す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
滞納整理の実施により、国民健康保険税の収入未済額は前年 度比8.1%縮減され、成果の目標を達成した。	納者の納利のの表別のある。国民ののある。例のの教行の教行の教行の。	ある収入未決 税資力に応し 建康保険税の る滞納者には テ停止を実施	ごた滞納整 の滞納者に は差押を、	理を適切に 対しては財 納税資力の	実施する必 産調査を行 ない滞納者	必要があ 示い、納税 話には滞納
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 収納課長	河内 真	美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 外国籍市民支援事業 150311303 事務事業整理番号 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 5 交流活動の推進 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 3 外国籍市民の住みやすい環境整備 細施策 KP I _ |_ 付け **後期基本計画成果指標との関連** ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 外国籍市民に日本語を勉強する機会を提供することや、本庁舎1階の「外国人住民お知らせコーナー」や各総合 支所に外国籍市民向けの生活情報紙等を配架することで、日本語が不自由な外国籍市民の不安解消を図るととも に、交流の機会を提供することを目的とする。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 市民部市民生活課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

	· + 17/1/	争夫の夫他和未										
	令和2年 事務事第 実施内容		12日・19日・2	26日、1	0月3日	・10日・17日		. 11月7日	∃・14⊟	l • 28E	日、12月5日	∄
			令和	元年度		令和	2年度			令和	13年度	
+л.	直	予 算 額	454	, 000	円	48	6,000	円			352,000	円
投	接			, 367	円		5,047	円	予算額	頁との	比較 (R3-	
	費	特定財源の有無	□有	■無		□有	■ 無	ŧ		-	-134,000	円
入		正規職員数		0.16	人		0.16	人			記事項	
	従事日	强 員 再任用職員数	_		人	_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
\Box		会計年度任用職員数	_	人 − 人			コロナ禍の予算削減によ					
	正規暗	_{職員} 正規職員数×平均人件費	1, 200	1,200,640 円			2,400	円	り、実	施回数	なを12回か - た ぬ	58
la	人/生		7,504,000 円			7, 14	0,000	円	回に減	りした	こ/こめり。	
	再任用罪	職員再任用職員数×平均人件費	_	円		_		円				
	人件		3, 997	, 000	円	4, 09	3,000	円	1			
	会計年度任用職	会計年度任用職員の人件費	_		円	_		円				
	事業費	計(直接費+人件費)	1, 654	, 007	円	1,62	7, 447	円				
	種類	指標	名	単位	수	和元年度	*	令和2年	度	4	令和3年度	F گ
	但块	1日 1示	11	丰田	上段:	目標 下段:実終	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	日本語教室開催			(12)	(12)	(8)
指	加到	口作的外里所能				12		12				_
	成果	 日本語教室参加者数			(105)	(110)	(115)
	13021					141		146				
					()	()	()
標												_
					()	())
	lia le											_
	指標は	こ関する特記事項										

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 前画とのう天旭大は 眉の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本代の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
│ │□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日でありゆる内皮がり事未上体で元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
日本語教室を開催し、日本語が不自由な外国籍市民の不安解 消を図るとともに、交流の機会を提供することができ、教室参加者数の目標値を達成することができた。 日本語教室に、より多くの方に参加していただくことが課題であると考えるため、日本語教室の内容の充実を図るとともに、市内の事業所への周知及び市のSNSで積極的に情報を発信し、参加者の増加につなげる。										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民生活認	長 小森谷	谷 修								

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 コミュニティ協議会運営事業 事務事業名 事務事業整理番号 110211313 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 コミュニティ活動の推進 施策 1 住環境を整備し、定住を促進 1 戦略におけ における位置 る位置付け KP J 細施策 2 コミュニティ活動の活性化支援 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりを通じて、コミュニティづくりの推 進を図る。市民が積極的に地域のコミュニティに参加し、地域のコミュニティを活性化することにより、地域の 事務事業本来 の目的・成果 課題の解決に取り組む。 <mark>関係部課</mark> 菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課 所管部課 市民部市民生活課

2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	<u>. 事務事</u> 業の実施結果															
4	事	12年原務事業施内容	<u></u> ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±]ミュ: f型コ	ニティ ロナウ	′団体に対して フイルス感染症	、財政的支援 E拡大防止のた	及び事 め、各	務的支持 地区コ	爰を実 ミュニ	施した。 ティ協諱	会の)	舌動を縮	小又は「	中止し	た。	
							令和无	令和元年度		令和2年度			令和3年度				
+/	٦Г	直		予	算	額	4, 410	,000	円		4, 210	,000	円		4.	, 010, 0	00 円
找	又	接		決	算	額	4,010		円		3,076			予算額		比較(R	
		費		特定則	材源の	有無	□有	■無]有	■無				-200,0	00 円
フ	۱		正規	職員	数			0.16	人			0.16	人		特	記事項	
	彳	従事閥	員 再任	E用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	(理由)
=] [会計	年度	任用聙	貴数	_		人		_		人				
	Ī	正規職	_員 正規	職員	数×平	^Z 均人件費	1,200	, 640	円		1, 142	, 400	円				
-	z L	人件費	費	参考:	平均	均人件費 7,504,(, 000	円	7,140,000 円 一 円							
		耳任用 單	戦員 再任	E用職	員数×	平均人件費	均人件費 — — —		円								
L		人件費	費	参考:	平均	人件費	3, 997	,000	円	4, 093,		,000	円				
1	会計	計年度任用職員	会計	 年度	任用聙	は員の人件費		円			_		円				
	事	非業費	計(直接	妾費+	人件費	貴)	5, 210	, 640	円		4, 218						
	1 ;	種類		指		標	名	単位		和元年度		令和2年			令和3年度		
	L	工工人人		111		137	н	一世	上段:	目標 下	段:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下	段:実績
	3	 活動	4地域二	1371	ニティ	推進協議会 <i>0</i> .)合同会議		(2)	(2)	(2)
排		,,,,,,	1.0.3%			JEACHARIA A.	ППДПЛ			2			0				
	,	成果	地区コ	ミュニ	ティ†	協議会の新規	設立数	地区	(1)	(1)		1_)
	L								,	1	,	,	0	,	,		
12	F								()	())
枵	-								,		`	,			,		$\overline{}$
									()	())
		+七+西 / -	明士フ	州土ミ コ き	古古												
	指標に関する特記事項																

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりを通じて、コミュニティづくりの支援を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定期総会を書面表決で実施した。また、会議や催し等についても三密対策や参加者を限定するなど、感染症対策に努めた。 「おいている。」の目的や感染症対策を含めた課題を共有し、相互に役割を分担して活動できるよう地区コミュニティの組織化を推進、強化する必要がある。 コミュニティの組織化を推進、強化する必要がある。 コミュニティがくりの推進を図るため、コミュニティ協議会や地域固有のコミュニティ活動に対する財政的支援等を通じて、地域のコミュニティ活動の活性化に取り組む。また、地区コミュニティ協議会の設立を支援する。										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民生活認	果長 小森谷	谷 修								

1. 事務事	業概要				対象	令和	和2年度実施事業			
事務事業名	防犯灯管理事業			事務事	業整理	番号	570211317			
(A) A 15 (B) - 1 - 1	大綱 5 安全で調和のと	第2期総合	基本目標			-				
総合振興計画における位置	施策 7 防犯体制の強化	, I	戦略におけ	施策						
付け	細施策 2 犯罪が起きにく	い環境整備	る位置付け	KPI						
, 5 11	後期基本計画成果指標との	総合振興計	<mark>総合振興計画実施計画への掲載</mark> ■ 該当 [
事務事業本来の目的・成果										
所管部課	市民部市民生活課	関係部課 菖蒲総合支所総務	管理課、栗橋	喬総合支所総	務管理	E課、鷲	宮総合支所総務管理課			

_2	<u>2.事</u>	事務事業の実施結果									
4	令和 2 事務事 実施内	事業	地元行政	区長からの要望を	そもとに、防犯	灯101基	基を設置	むた。			
					令和为	元年度		令和2	2年度		令和3年度
找	լ i	直	予	算 額	41, 995	,000	円	44, 249	,000 円		41,836,000 円
37] 3	接	決	算 額	41, 716	, 125	円	41, 240	,909 円	予算額	額との比較(R3-R2)
١,		費	特定財源	原の有無	□有	■無		□有	■無		-2,413,000 円
ス			正規職員数			0.46	人		0.46 人		特記事項
	従事	職員	再任用職員	_		人	_	人		算額の主な増減理由)	
=	1		会計年度任				人	_	人		別の電気料を実績に
						3, 204, 400 🔽		المال المال	応じて見直したため。		
7				7, 504	, ,		7, 140				
	再任	用職員		数×平均人件費			円	_	円		
1	\ <u> </u>	件費		平均人件費 	3, 997	,000	円	4, 093			
•		E用職員人件費		用職員の人件費		0/5	円	一 円			
	事業	費計	(直接費+人	、件質)	45, 167	, 965	円	44, 525) (= + + + + + + + + + 	∆10.0 /c rt
	種类	頁	指	標	名	単位		和元年度		2年度	令和3年度
							上段:日				上段:目標 下段:実績
推	. 活動	動┃防	犯灯設置基数	文(単年度)		基	(100) 101	10)0)	(100)
†	-	+					1	10, 100		160)	(10, 240)
	成身	₹ 防	犯灯設置基数	文		基		10, 100		272	(10, 240)
	\vdash	+					()	()	
樗	Ē						`	,	`		
		+					()	()	()
							`	,	`	,	
	指標	票に関	する特記事項	<mark>頁</mark>							

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
口は事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
地元行政区長から要望のあった箇所について、現地調査を実施し、防犯灯設置基準に照らしながら計画的に防犯灯の設置をすることができた。 毎年、地元行政区長から多くの設置要望をいただいている。 過去に要望のあった箇所も含め、防犯灯設置基準の範囲内において、計画的な防犯灯の設置を行っていく。										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民生活認	果長 小森谷	谷 修		•						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 防犯体制充実事業 事務事業整理番号 570111318 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 7 防犯体制の強化 戦略における位置付け 施策 2 市民が地域の防災・防犯の担い手となる環境の整備 における位置 細施策 1 防犯推進体制の充実 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市民が安全に暮らせるまちの実現に向けて、地域の防犯活動を支援する。 の目的・成果 所管部課 市民部市民生活課 <mark>関係部課</mark> 菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課

	2.	事務事業の実施結果											
	耳	和2年原 事務事業 実施内容		進協議会への	負担金	を拠出	した。				אנ—ו	隊の募集を	行っ
Ī				令和元	令和元年度		令和	12年度		令和3年度			
ı,	投	直	予 算 額	6, 335	,000	円	6, 43	9,000	円		5	, 769, 000	円
		接		6,022	, 338	円	6, 20	1,534	円	予算額	頁との	比較(R3-I	R2)
	. ا	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■ 有	□無	ŧ			-670,000	円
	시		正規職員数		1.26	人		1.26	人		特	記事項	
		従事職		_		人	_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
	ו⊏		会計年度任用職員数	_		人	_		人				
					.,,		8,996,400 円						
	ス	人件費	20.1500HA	7,504	7,504,000 円		7, 14	0,000					
		再任用職				円	_		円				
	\vdash	人件費	- 50.150/UK	3, 997	,000	円	4, 09	3,000					
		会計年度任用職員	ム川十尺江川柳兵のハー兵	15 400	200	円			円				
ŀ	_	事業費詞	計(直接費+人件費)	15, 477	, 378	円				r t r		A100 F	-
		種類	指標	名	単位		和元年度	_	令和2年			令和3年度	
						上段:[上段:		ダ・美領	上段	: 目標 下段	· 美 傾
1.	指	活動	こどもレディース110番の家林 促進活動(単年度)	目談員の加入	回	(13		4)		6)
	归		<u>こどもレディース110番の家</u> 材	日沙吕粉 (1		(1,035	(1,035)	(1, 035	$\overline{}$
			こともレティース(「U番の家作 戸あたり1人)	日談貝数(1	人		1,033	+	921	,		1,000	
	ı		,,			()	(721)	()
1	標						,	+		,	_		,
						()	()	()
							,	† `			<u> </u>		
		指標に	関する特記事項					•					

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
口口の事業の庭の力を充邑り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
口でありゆる内皮がり事業主体を允直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性						
新型コロナウイルス感染症対策を講じ、警察署、防犯協会、 関係団体等と連携し防犯活動を行ったほか、ランニングを行っ ている市民の方にも防犯パトロールに協力をいただくなど、市 民の防犯意識の向上を図ることができた。 また、犯罪の抑止に効果が見込める防犯カメラを、警察署と 現地調査の上、人の往来が多い駅前等へ設置し、安全で安心な まちづくりを推進することができた。	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、警察署、防犯協会、 関係団体等と連携し防犯活動を行ったほか、ランニングを行っ ている市民の方にも防犯パトロールに協力をいただくなど、市 民の防犯意識の向上を図ることができた。 また、犯罪の抑止に効果が見込める防犯カメラを、警察署と 現地調査の上、人の往来が多い駅前等へ設置し、安全で安心な 「方法により、効果的な防犯体制を推進していく必要がある。										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民生活調	長 小森谷	学 修									

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 消費生活事業 事務事業名 事務事業整理番号 660211319 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 6 消費生活の充実 施策 における位置付け 細施策 2 消費生活相談の充実 KP I _ |-後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 日常生活を営むうえで、消費生活に関する問題を抱える市民に対し、消費生活相談で解決のための助言を与え の目的・成果る。 所管部課 市民部市民生活課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

_2	2. 事務事業の実施結果													
	3和2年月 事務事業 実施内容	度 相談日 特設消費 相談日	生活相談(各総合	5金曜日まで 3支所)の実施 1 10時から12 回開催	i けまで		から16時まで							
				令和元	令和元年度			令和2年度			令和3年度			
投	直	予	算 額	3, 255	,000	円	63	3,000	円			572,000	円	
1×	接	決	算 額	3, 174	, 729	円	61	5, 178	円	予算額	真との」	比較(R3-I	₹2)	
	費	特定財源	原の有無	■有	□無		□有	■無	Ħ			-66,000	円	
入		正規職員数			0.40	人		0.40	人		特詞	記事項		
	従事閥	再任用職員	数	_		人	_		人	(予算	額の主	主な増減理	曲)	
\Box		会計年度任	用職員数	_		人	_		人					
	正規職		(×平均人件費	3, 001	,600	円	2,85	ó, 000	円					
la	人件	参考:3	平均人件費	7, 504	,000	円	7, 140, 000 <u>円</u>							
	再任用單	W>	数×平均人件費			円	_	円						
L	人件	2 3 -	平均人件費	3, 997, 000		円	, , , , , , , , ,		1					
	会計年度任用職員	会計年度任	用職員の人件費			円	_		円					
	事業費	計(直接費+人	、件費)	6, 176	, 329	円		2, 178						
	種類	指	標	名	単位		和元年度	令和2年				令和3年度	-	
	工工人只	18	177	. Н	十四		目標 下段:実績	上段:					:実績	
	活動	消費生活相談件	牛数		件	(4	170以下)	(470以7	-)	(470以下)	
指	711,243	//JX_/_/	120		''		645		514				_	
	成果	消費生活講座受	受講者数		人	(50)	(55)		55)	
			320.0.27		, ,	,	17		43	,			_	
						()	()	$\smile \bigg $			
標						,	`						$\overline{}$	
						()	()	-			
	+12.4年.1-	- BB -+ フ ++ =¬ -+ -	E										_	
	指標に	関する特記事具	<mark>녯</mark>											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
消費生活センターの相談件数は514件と昨年度よりも減少している。 個々の相談案件に応じて、適切な助言や事業者へのあっせんを行い、相談者の不安を解消することができた。 また、消費者トラブルを未然に防止するために消費生活講座を2回開催し、自立した消費者の育成を図ることができた。	消費生活センターの相談件数は514件と昨年度よりも減少し ている。 個々の相談案件に応じて、適切な助言や事業者へのあっせん を行い、相談者の不安を解消することができた。 また、消費者トラブルを未然に防止するために消費生活講座 は開発した、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費を持ちます。 は、消費をは、 は、消費をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民生活詞	果長 小森谷	谷 修									

1. 事務事	業概要				対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	交通安全対策事業			事務事	業整理	番号	580111403
(() A J= (3) - I =	大綱 5 安全で調和のと	れた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	- -		
総合振興計画における位置	施策 8 交通安全対策の	充実	戦略におけ	施策	- -		
にあける位直 付け	細施策 1 交通安全運動の	推進	る位置付け	KPI	- -		
13.7	後期基本計画成果指標との関	連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	画実施計画	国への挑	『載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	交通安全対策の推進を図る	5.				·	
所管部課	市民部交通企画課	関係部課 菖蒲総合支所総務管	管理課、栗橋	5総合支所総	務管理	課、鷲宮	宮総合支所総務管理課

2. 事務事業の実施結果

交通安全啓発活動として、広報車による広報活動、懸垂幕やのぼり旗の掲出、街頭啓発活動、チラシによる広報活動を行うとともに、交通安全教育として、交通安全教室、入学準備説明会を開催した。 また、交通事故により被害を受けた方の救済のため、共済制度への加入を推奨するとともに、ゆうちょ銀行・郵便窓口における加入受付、交通企画課・各総合支所総務管理課窓口における加入受付及び給付受付を行った。

ſ					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
	投	直	予 第	算 額	39, 737	,000	円	38,	859	,000	円		38,	, 669, 000	円
	1X	接	決	章 額	35,862	, 125	円	37,	302	, 649	円	予算額	頁との	比較(R3-	R2)
		費	特定財源の	の有無	■ 有	□無		■有	Ī	□無				-190 , 000) 円
	入		正規職員数			3.03	人			3.03	人	特記事項			
ı		従事職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	胆由)
	⊐		会計年度任用	職員数			人			0.20 人		久喜地方交通安			
		正規職員		平均人件費	22, 737	, 120	円	21,	634	, 200		担金及び久喜市交通安全母 の会補助金の減額によるも			
	ス	人件費	参考:平均	匀人件費	7, 504	, 000	円	7, 140, 000 F				の	14) 217 C	7/19/10 C	٥٥
		再任用職員		×平均人件費			円	_			円				
	٦	人件費 参考:平均人件費		3, 997	,000	円	4,093,000 円								
	1.	会計年度任用職員人件費会計年度任用職		職員の人件費	_	円		557,637 円		円					
L		事業費計			58, 599	, 245	円	59,	494	, 486	円				
ı		種類	指	標	名	単位		和元年度			令和2年	芰		令和3年度	ŧ
ı		7主人共	18	Jak	'Н	十四	上段:	目標 下段	実績	上段:		と: 実績	上段:	目標 下段	:実績
ı		成果る	交通事故発生件数	∀		件	(679)	(672)	(664)
ı	指	750211	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~								353				_
		活動 玄	交通安全啓発活動	h			(20)	(20)	(20)
		7,1,-3, 7						19			4				_
ı		成果る	这通災害共済加 <i>入</i>	、件数		件	(11,090)	(11,090			11,090)
ı	標		7771 77721 17 W 10H7 VI 1 XA			· · ·	,	13, 332			12, 232		,		
ı		活動 玄	这通災害共済加 <i>入</i>	、促進活動			(1)	(1)		1)
ı				1				1			1				_
		指標に	関する特記事項												

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
□ B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性								
駅頭や商業施設で行う交通事故防止に向けた啓発活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4回の実施にとどまったが、交通事故件数は前年度比で172件減少した。 交通災害共済は、交通事故により負傷した会員に見舞金を支払う相互扶助制度。チラシ等を全戸配布することで、制度の周知を図った。加入件数は、前年度比で1,100件減少となった。	合、警察署る。 交通事故的に啓発流 交通災害ホームペー	などにより、 となどを通し 女の防止に同 を実施し ・ジを通じ ・ジを通じて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	びて、速や 向けて、各 いていく。 入を推奨す て制度の周	かに情報収 種関係団体 るため、引 知を図ると	(集を行う必 なと連携を図 き続き、広	る要があ 図り、継続 転報紙や			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 交通企画語	果長 野中	賢一							

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	12年度実施事業							
事務事業名	交通安全施設管理事業(市民部分)		事務事	業整理	番号	580211404							
(A) A 15 (B) - 1 - 1	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標			-							
総合振興計画における位置	施策 8 交通安全対策の充実	戦略におけ											
付け	細施策 2 道路交通環境の整備	る位置付け	KPI	-									
, 5	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興言	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当							
事務事業本来の目的・成果	業本来												
所管部課	市民部交通企画課 関係部課 菖蒲総合支所総務	管理課、栗橋	喬総合支所総	総務管理	課、鷲宮	宮総合支所総務管理課							

2	. 事務	事	業0	り実施結	果											
=	令和2年度 事務事業 実施内容 市内に設置した道路反射鏡の修繕や維持管理を行うとともに、区長からの要望により、道路反射鏡を新設した。														ر	
						令和	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直			予	算 額	18, 34	1,000	円	19	, 451	,000	円	16, 024, 000 F			円
12	接	Ī		決	算 額	17, 465, 830 <u>⊞</u>			18,094,560 円				予算額との比較 (R3-R2)			R2)
	費			特定財源	の有無	■ 有	■有□無				-3, 427, 000			円		
入			正规	見職員数			1.33	人	1.33 人					特記	事項	
	従事閥	員	再信	£用職員数	Ż.	_		人	- 人			(予算額の主な増減理				
					— 人			0.20 人				令和3年度予算額の主な				
	正規職員 正規職員数×平均人件費				9, 980, 320 <u>H</u>			9, 496, 200 🖽				□増減は、工事請負費、修繕 □料等の減額によるもの。				
ス	人件費 参考:平均人件費		, ,		円	7	' , 140	,000	円		# 74 E 7 () = 1					
	再任用單	742			X×平均人件費			円		_		円				
	人件費			参考:平		3, 99	円	4	<u>, 093</u>	•	円	_				
	会計年度任用職員		_		職員の人件費	-	/ 150	円	20		, 637	円				
	事業費	計(. 但	妾費+人作	干費)	27, 44	6, 150	円	28, 148					^	<u> </u>	_
	種類			指	標	名	単位		和元年度			和2年			和3年度	
								上段:		・美績	上段:		段:実績		# 下段 4 221	・美績
指	成果	道路	阪:	射鏡設置	基数		基	(4, 103 4, 247)	(4, 162 4, 311			4, 221)
扫								(42)	(4, 311)	(42	$\overline{}$
	活動	道路	!反	射鏡設置	基数(単年度)		基		 58	,	\	64			72	,
								()	()	()
標										-			-			
								()	()	()
	指標に	関す	する	特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日でのプログラグラグ	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
地元区長からの通報や道路パトロールにより、道路反射鏡の破損などを発見した場合、速やかに対応している。 交差点等の死角解消のために新設する道路反射鏡は、地元区 長から提出された要望書をもとに実施しており、64基設置し た。その結果、市全体の設置基数は4,311基となった。	多く、全て	などが確認 を設置する で、安全性 る。	らことがで							
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 交通企画語	果長 野中	賢一								

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 市内循環バス運行事業 事務事業整理番号 520411408 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 戦略におけ る位置付け 2 道路・公共交通の整備・充実 総合振興計画 施策 3 都市機能や道路・公共交通の充実 施策 における位置 細施策 4 公共交通の充実 KP I 5 市の公共交通の利用者数 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 公共施設や駅などへの交通手段の確保に加え、市民の通勤、通学や買い物等、日常生活の利便性を高める。 の目的・成果 所管部課 市民部交通企画課 関係部課

+26+W 4 + H-/-

	<u>2.</u>	事務	事美	業の実施結果														
	事	和2年原 事務事業 ミ施内容	ŧ	市民の)方に	土曜日(祝日及 市内の公共交通 化による入れ春	風を積極的に	ご利用い	ただく	ため、原	広報紙や	行した ・ホーク	ムペー	ジなどで	周知を	を図った	た。	
							令和	元年度			令和2	2年度			令和	03年	隻	
t	殳	直		予	Ĵ	章 額	61, 24	4,000	円	6	6, 450	,000	円		68, 099, 000 円			円
1.	ᄝ	接		決	Ĵ	章 額	61, 17	8,849	円	6	55, 081	, 777	円	予算額	質との	比較	(R3-R2	2)
		費		特定	財源の	D有無	■ 有	□無			有	□無	į		1,649,000 円			円
1	시		Ī	E規職員	数			0.30	人			0.30	人		特記事項			
		従事職員 再任用職員数					_		人		_		人			主な増		
-	ַןוּ	会計年度任用職員数					- 人			0.10 <mark>人</mark>						バス運		錗
			正規職員 正規職員数×平均人件費					1,200	円	2, 142, 000 円			二 託料が増加したため。					
-	٦ .	人件費	シリ・1~3八川 具		7, 50	4,000	円		7,140,000 円									
						×平均人件費			円		_		円					
H		人件費				匀人件費	3, 997, 000		円		4, 093		円					
Ι.	L	会計年度任用職員				職員の人件費	- (2.40	0.040	円			<u>, 819</u>	円					
	4	事業費	計(直接費-	+人件	·費)	63, 43	0, 049	円		67, 502					^ 1- O		
		種類		指	i	標	名	単位		和元年			令和2		1.60	令和3		ch./=
	ŀ													下段:実績	上段			美績
4	E	成果	市内	循環バ	ス乗車	5人数		人		62, 600 45, 83			164, 7 107, 8			166,	800)
1	ii.							+	/	40, 00 1	1	(107,0	<u>)</u>	(1		$\overline{}$
		活動	動 市内循環バス利用促進啓発活動]促進啓発活動		回		1	,	(<u> </u>		_			$\overline{}$	
	ŀ								(<u>'</u>)	(- ')	($\overline{}$
k	票										,				_			
"	•								()	()	()
									<u> </u>			`			Ì	_		
		指標に	関す	る特記	事項				•						1			

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭大は 盾の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	の方向性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
日でのラッの内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
市内循環バスは、平成6年から旧久喜市で運行しており、平成25年10月にはデマンド交通の運行開始と同時に、菖蒲町三箇地域及びわし宮団地へ延伸を行い、利便性の向上を図っている。 令和2年度の乗車人数は、107,831人であった。	する。 乗車人数 ら減少に車 た。新型ニ 減少したが のための対	5、久喜地D 数は、平成2 数は、中成2 コロナウイル が、今もも 対策を行いれ で運行を維持	25年度以降 2年度は、前 ルス感染症 新型コロナ ながら、利	増加してい 対年度比38, の流行によ ウイルス感	たが、平成 000人の減 り、利用者 染症の感済	就30年度か 少となっ が大幅に 終拡大防止		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 交通企画語		賢一						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 デマンド交通運行事業 事務事業名 520411409 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 施策 3 都市機能や道路・公共交通の充実 戦略におけ における位置 る位置付け 細施策 4 公共交通の充実 KP I 5 市の公共交通の利用者数 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 交通手段の選択肢の少ない高齢者や障がいのある方の移動手段と、近くにバス停などがない公共交通不便地域 <mark>の目的・成果</mark>における日常交通の確保などを目的として、平成25年10月から運行を開始した。 所管部課 市民部交通企画課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

事	和2年度 事務事業 長施内容	市民の方に	こ市内の	の公共交通	及び年末年始を除く)に、1E 通を積極的にご利用いただく ゾなどで周知を図った。	340便(1台10便×4台)で運 ため、市内の公共施設等に/	行した。 パンフレットを配架するとと
					令和元年度	令和2年度	令和3年度
投	直	予	算	額	44,066,000 円	45,020,000 円	45,080,000 円
1X	接	決	算	額	42, 325, 650 円	44, 718, 540 円	予算額との比較(R3-R2)
	費	特定財源	の有無	ţ	□ 有 ■ 無	□有 ■無	60,000 <u>H</u>

	1×	八开以	TL, JLJ, UJU 1 J	TT, 110, JT0	J. HER CONDITY (NO NE)
	費	特定財源の有無	□ 有 ■ 無	□ 有 ■ 無	60,000 <u>H</u>
٨		正規職員数	0.41 人	0.41 人	特記事項
	従事職員	再任用職員数	- 人	- 人	(予算額の主な増減理由)
ןכ		会計年度任用職員数	- 人	0.10 人	デマンド交通運行業務委
	正規職員	正規職員数×平均人件費	3, 076, 640 円	2,927,400 円	託料が増加したため。
۷	人件費	参考:平均人件費	7,504,000 円	7,140,000 円	
	再任用職員	再任用職員数×平均人件費	- 円	- 円	
	人件費	参考:平均人件費	3,997,000 円	4,093,000 円	
`	会計年度任用職員人件費	会計年度任用職員の人件費	- 円	278,819 円	
	事業費計	(直接費+人件費)	45, 402, 290 円	47, 924, 759 円	

	種類	指	標	 名	単位		令和元年	度	令和2年度			令和3年度			
	性知	1 目	际	1	半世	上段	: 目標 下戶	殳: 実績	上段	: 目標 下段	:実績	上段:	:目標	下段:	実績
指	成果	80歳以上の方のテ	" マンド交通	の利用人数	人	(5,830 9,882)	(6, 000 7, 619)		6, 05	57)
	汗動	デマンド交通利用	1/0.44改杂谷	- a th	回	(1)	(1)	(1)
	心到	アマンド文理が出	化连合无位	到			1			1				_	
	成里	デマンド交通乗車	■ 人数		人	(21,000		(21, 200)	(21, 4	00)
楞	从人	ノ ヘント 久远米寺	-/\9X				20, 294			15,588				_	
						()	()	()
													_		
	指標は	関する特記事項			•		•				•				

3. 評価結果とう後の方内性						
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり美胞文は一層の元美を図る	成果の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ B 事業の進め方を見直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ めらゆる円反から事業主体を允直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
デマンド交通は、平成25年10月から、菖蒲地区及び栗橋・鷺宮地区で運行しており、随時、目的地(乗降ポイント)を追加し、利便性の向上を図っている。 また、平成28年4月からは、80歳以上の方の利用料金を300円から半額の150円に引き下げた。 令和2年度の乗車人数は、15,588人であった。	乗車人数 が、減少とな の減少とな 新型コロ 少したが、 ための対象	5、菖蒲地I 牧は、連行る 元年度か。 コナウイルス 今後いなが まを行いなが 重行を維持す	を開始した。 咸少に転じ ス感染症の 型コロナウ がら、利用	平成25年度 、令和2年原 流行により イルス感染	以降増加し 度は前年度 、利用者か 症の感染拡	アいた 比4,706人 ド大幅に減 大防止の
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 交通企画	課長野中	賢一				

<u> 1. 事務事</u>	業概要		_	対象	令林	12年度美施事業			
事務事業名	くきふれあいタクシー	(補助タク)事業		事務事	業整理	番号	520411413		
(() A I= (III - I - I	大綱 5 安全で調和のと	第2期総合	基本目標	2 住ん	でよかった、来で	てよかったと思える魅力的なまちをつくる			
総合振興計画 における位置	施策 2 道路・公共交通	の整備・充実	戦略におけ	730-14	3 都	市機能や	道路・公共交通の充実		
付け	細施策 4 公共交通の充実		る位置付け	KPI	5 市	市の公共交通の利用者数			
1577	後期基本計画成果指標との関	総合振興計	画実施計画	画への	掲載■	該当 🗆 非該当			
事務事業本来の目的・成果	高齢者や障がい者等の交通	通弱者の移動手段を確保する	ことを目的	とし、令和	12年4月	から運	行を開始した。		
所管部課	市民部交通企画課	関係部課							

	<u>2.</u>	事務	事:	業の	<u>実施</u>	結果	<u>!</u>													
	耳	和2年月 事務事業 長施内容	É	市	民の方	に市	i内の公共	交通	及び年末年始を 通を積極的にご (補助タク)の	利用い	ただくだ	ため、	広報紙や	ホーム	ムページ こ配架し	゚などでſ た。	割知を	図る	ととも	
									令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年	隻	
l _±	殳	直			予	算	額		_		円		9, 454	, 000	円		10,	, 433,	000	円
3.	$^{\times} $	接			決	算	額		_		円		8,819	, 554	円	予算額	頁との	比較	(R3-R2	2)
١.	. [費		牛	寺定財	原の	有無		□有	□無			□有	■無				979,	000	円
/	시			正規	職員数	Ţ			_		人		(0.51	人		特	記事項	Į	
		従事閥				月職員数 - -				人		_		人				減理E		
-	ן⊏				年度任				_		人			0.20	人				金補助	金
		正規職	_	_			均人件費	Ì	_		円		3, 641		円	の増加による。				
-	ス	人件費					人件費		7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円					
							平均人件	-費			円				円					
П		人件費		_	_		人件費		3, 997	,000	<u>円</u>		4, 093		円	_				
1		会計年度任用職員					員の人件	費	_		円	557, 637 円			1					
	4	事業費	計 ((直接	費+人	(件員	()				円	1	13, 018		円 0 年			^ 1= 0		
		種類			指		標		名	単位		和元		令和2年				令和3		
											上段:日	目標	下段:実績	上段:	目標 ト	段:美績、	上段:			美績
	ь	成果	ふれ	າສເ	\ タクシ	シー	(補助タ	ク) (の利用人数	人	()	(12 445	·)		11,8	00)
1	自										1		\		12, 465)	1	1		$\overline{}$
		活動	ふれ	あい	タクシ	– (?	補助タク)	利用	用促進啓発活動	回	(1)	1)			_	
											(<u> </u>)	(<u> </u>)	(`
 	票										(,			,	$\overline{}$			$\overline{}$
"	"										()	()	()
											`		,	`		,	<u>`</u>	_		
		指標に	関	する特	寺記事	項					1									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 引回とのう失肥久は 信の元夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	an × 縮小 ×	×				
口 日 事業の進め力を允良す		休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	う 向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充	
日とのうゆる内皮がり事業上体と光色す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性						
令和2年3月31日まで実施していたデマンドタクシー実証実験の結果から得た各種データを検証し、運行内容等を見直した上で、令和2年4月から、運行を開始した。 令和2年度の利用人数は、12,465人であった。			どを通じて きの浸透を		行うことで	が、市民に	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 交通企画	課長 野中	賢一				·	

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 防災訓練事業 事務事業名 560111512 事務事業整理番号 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 6 防災・消防体制の充実 施策 2 市民が地域の防災・防犯の担い手となる環境の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 1 総合的な防災体制の確立 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 大規模災害等発生時に、市、市民及び防災関係機関等が取るべき行動について訓練を実施することにより、相 の目的・成果互連携の強化と、防災技術、防災意識の向上を図る。 **関係部課** 福祉部社会福祉課、菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課 所管部課 市民部消防防災課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
가게스꾸정
事務事業
于加于木
実施内容
大儿!!!

毎年、防災週間に合わせて総合防災訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年9月5日(土)に市職員による新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所開設・運営訓練を実施した。

。 また、令和2年11月2日(月)に福祉避難所施設職員及び市職員を対象とした福祉避難所開設訓練を実施した。

					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度			
	投	直	予 第	算 額	3, 359	,000	円		765	,000	円		3,	642,000	円		
	1X	接	決	章 額	2,545	, 902	円		386,052 円					予算額との比較(R3-R2)			
		費	特定財源の	の有無	□有	■無		■有□無			ŧ		2,	877,000	円		
	시		正規職員数			0.80	人	0.80 人			人	特記事項					
		従事職	員 再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)		
	⊐Į		会計年度任用	職員数	_		人		- 人								
		正規職		平均人件費	6,003	, 200	円	5,712,000 円									
	ار	人件費	参考:平均	匀人件費	7, 504	, 000	円	7	, 140	,000	円						
		再任用職		×平均人件費	_		円	— 円									
		人件費	参考:平均	匀人件費	3, 997	,000					円						
	' [会計年度任用職員	会計年度任用	職員の人件費	_		円		_		円						
		事業費詞	計(直接費+人件	費)	8,549	, 102	円	6,098,052 円									
		種類	指	標	名	単位	介	和元年度	<u> </u>	4	令和2年度	₹	,	令和3年度	Ę		
		任主大只	111	1275	1	十四	上段:	目標 下段	:実績	上段:		:実績	上段:		:実績		
		活動	防災訓練実施回数	∀			(1)	(2)	(2)		
	指	7433	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>				2			2				_		
		成果	 防災訓練参加者数				(2,400)	(1, 400		(1,400)		
		790514 1						1,288			147				_		
		効率	参加者1人あたりの	の事業費(事業領	掛計/参加者)	一円	(_)	()		_)		
	標			- 10102 (1010	7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7	' -		6,638			41, 483				_		
							()	())		
ı		指標に	関する特記事項														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容			
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充		
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性							
<u> 防災講話など実際の開設を想定した訓練を行うことができた。</u>	つ効果的な 「事業の方」 防意識の所 災意識の高 福祉避難 成を図る。	感染症を意識訓練が必要で 削練が必要で 向性と具体的 機関の災害対 揚と知識の習 所開設訓練も	ある。 内容】 抗力の向上 得を図って	及び地域住民いく。	民一人ひとり	の防災・減		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 消防防災認	果長 菊地	諭						

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 防災体制整備事業 事務事業名 事務事業整理番号 560111513 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 6 防災・消防体制の充実 施策 2 市民が地域の防災・防犯の担い手となる環境の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KPI 細施策 1 総合的な防災体制の確立 ③ ④ 福祉避難所指定施設数、防災行政無線情報メール提供サービス登録者数 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 事務事業本来 地震等の大規模災害発生時における被害状況や避難情報を、迅速かつ正確に市民に伝達し、被害を最小限に抑 <mark>の目的・成果</mark>えるとともに、平常時には防災関連施設の管理及び防災に関する啓発活動を実施し、防災体制の整備を図る。 **関係部課** 福祉部社会福祉課、菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課 所管部課 市民部消防防災課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

地震等の大規模災害発生時を想定して、防災行政無線をはじめ、防災行政無線情報メールや市ホームページ、各種SNS等を活用し、防災情報伝達手段の適切な運用を図るほか、新たな情報伝達手段として緊急情報架電サービスを導入した。

防災行政無線の保守点検業務委託を実施し、適切な維持管理を行うほか、指定避難所である各小学校の避難所 標識の更新工事を実施し、地区ごとに異なっていた標識の統一化を図った。

				かしてに共る		/こ1示明			/ C 0						
				令和法	元年度		Ŷ	和2	年度			令和	13年度		
ı,	投	直	予 算 額	5, 953	,000	円	23,	881,	000	円	20, 424, 000 💾				
ľ		接	決 算 額	5, 687	, 746	円	22,	016,	796	円	予算額	R2)			
	_	費	特定財源の有無	□有	■無		□ 有 ■ 無			-3, 457, 000			円		
	시		正規職員数		1.17	人	1.17 人			特記事項					
		従事閥	再任用職員数	_		人	-	- 人		人	(予算	額の	主な増減理	曲)	
	⊐[会計年度任用職員数	_		人	-	- 人							
		正規職		8, 779	,680	円	8,	353,	800	円					
	ᅬ	人件費	2 7 1 1 2 3 (11 5)	7, 504	,000	円	7,	140,	000	円					
		再任用職		_		円	-	_		円					
		人件費	参考:平均人件費	3, 997	,000	円	4,	093,	000	円					
	'	会計年度任用職員。	ムロー区は川根英のハー英	_		円	-	_		円					
L		事業費言	計(直接費+人件費)	14, 467	<u>, 426</u>	円		370 <u>,</u>		円					
		種類	指標	名	単位		和元年度			6和2年			令和3年度	Ę	
		12//	111 197		712	上段:	目標 下段:	実績 .	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績	
		活動	防災行政無線情報メール配信数			(_)	(_)	(_)	
1	指	.,,_,,				,	125	,		263	,		10.000		
		成果	防災行政無線情報メール登録件数	数	人	(8,000)	(9,000)	(10,000)	
						,	8, 693	<u> </u>	,	9,360	,		<u> </u>	,	
		効率	防災情報伝達手段		個	(8)	(8)	(9)	
ľ	標					,	8	$\overline{}$		9				<u> </u>	
		成果	福祉避難所指定施設数		件	(10)	(29)		29)	
				-mı\\ -\ -\\	7 ** !# !!!	11.1.4.1.1.1	18	/-r o =	= /++	31	\1. \1.	- A -	- 10 7 t 0 =		
		指標に	に関する特記事項 福祉部社会福祉	課に当該事業の	予算措置	はないな	か、福祉避難	別数	怪備・	指定等は、	当事業	に含る	まれるもので	である。	

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう失肥大は、信の九夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め方を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	う 向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日である内皮がつ事末王体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。		コスト投入	入の方向性	
防災行政無線、防災行政無線情報メールや各種SNS等を活用し、情報伝達手段の適切な運用及び保守点検業務委託の実施により適切な維持管理に努めた。また、緊急情報架電サービスを開始し、防災情報の伝達手段を拡充した。さらに、新たに13旅設を福祉避難所として指定し、目標数を上回って福祉避難所を拡充することができた。	運用及びサ 制の整備を 事業の方 引き続き 理・運用に	正確な情報伝 ービス利用者	が拡大を図 の内容】 一次を託等を実 ・被害を最小	る。また防ジ 施し、情報(限に抑える <i>が</i>	後に関する啓 伝達手段の適 きめ、平時か	発、防災体 切な維持管 ら防災関連
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 消防防災	課長 菊地	諭				

<u>1. 事務</u>事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 自主防災組織育成事業 事務事業整理番号 560111514 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 6 防災・消防体制の充実 施策 戦略におけ 2 市民が地域の防災・防犯の担い手となる環境の整備 における位置 る位置付け KPI 5 自主防災組織の組織率 細施策 1 総合的な防災体制の確立 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 地震等の大規模災害時においては、自主的な避難誘導、救助活動等の地域の防災活動が必要不可欠であり、自 事務事業本来 主防災組織未設置の行政区、自治会等に対し、組織の結成を促す。また、すでに結成されている自主防災組織の の目的・成果 活動の充実、育成を図る。 所管部課 市民部消防防災課 <mark>関係部課</mark> 菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課

	<u>2.</u>	<u>事務</u>	事業の実施結果											
	를	和2年原 事務事業 実施内容	【補助事業】自主防災組織は											
			•	令和元	元年度		令	和2	2年度			令和	13年度	
l	投	直	予 算 額	8, 780	,000	円	8, 5	780	, 000	円		10,	780,000	円
	1X	接		5, 339	, 700	円	3, 4	499	, 300	円	予算額	真との!	比較(R3-	R2)
	_	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■ 有		□無			2,	000,000	円
	入		正規職員数		0.91	人			0.91	人		特語	記事項	
		従事閥	員 再任用職員数			人	_	_		人			主な増減理	
	⊐		会計年度任用職員数	_		人	-	_		人			イ助成事	
		正規職		6,828	-	円	6, 497, 400 円			助金の予算措置を行ったため。				
	ス	人件費	P D T P D T I P	7, 504	,000	円	7, 1	140	, 000	円				
		再任用職		_		円	-			円	•			
	 	人件費	> 3 1 37 (11)	3, 997	,000	円	4, (093	, 000	円	•			
		会計年度任用職員。	ム川十爻江川枫兵の八川兵	_		円	-			円	•			
L		事業費詞	計(直接費+人件費)	12, 168	, 340	円		996	, 700	円				
		種類	指標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
						上段:		実績	上段:		设:実績	上段:	目標 下段	:実績
		活動	自主防災組織組織数		団体	(160)	(174)	(174)
1	指					,	160	,		163	,	,	TO 0	<u> </u>
		成果	自主防災組織組織率		%	(76.0		(77.5)		79.0	
			+ > = 1 // / (a/th 4 = 1/1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1	NIZ - 11 2		/	78.3	\	/	79.6	\	/		$\overline{}$
	標	効率	自主防災組織1団体あたりの事 (事業費/団体数)	業費	円	()	(<u> </u>	<i>)</i>	$\overline{}$		
1	示		(事未負/ 団件処/			1	76, 052	\		61, 329)			$\overline{}$
						(()	$\overline{}$		
		指標に	関する特記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×	
日日日中来の庭の月を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充	
□ C のりずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性						
の自粛等が目立った。	政区に対し 【事業の力 地震等の えや避難認 可欠である を図る。	災組織の組織の組織の組織の担定を付けた。 では、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次に	足す。 本的内容】 害発生時に 舌動等の地:	おいては、 域住民によ	自主的な災 る防災活動	と書への備 かが必要不	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 消防防災認	果長 菊地	諭					

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 防災備蓄品整備事業 事務事業名 560111515 事務事業整理番号 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 6 防災・消防体制の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 総合的な防災体制の確立 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 該当 □ 非該当 事務事業本来 地震等の大規模災害発生時における市民生活に必要な物資を確保する。 の目的・成果 所管部課 市民部消防防災課 <mark>関係部課</mark>福祉部社会福祉課、健康・子ども未来部健康医療課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

備蓄計画に基づき、避難者等への食料品や防災資機材を計画的に備蓄した。また、令和元年台風19号の対応で使用した防災備蓄品の補充や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対応する備蓄品の整備、要配慮者(高齢者や障がい者、乳幼児等)に配慮した備蓄品の充実に努めた。

							令和元	元年度			令和2	2年度			令和	03年度	
l.	投	直		予	算	額	6,543	,000	円	31	, 312	,000	円		5	, 276, 000) 円
	IX	接		決	算	額	6, 492	, 946	円	31	, 128	, 595	円	予算額	質との)比較(R3-	R2)
	_ [費		特定財	源の有	無	□有	■無		■ 有	1	□無	Ħ		-26	,036,000	円
١.	入		正規	見職員数	故			0.32	人			0.32	人		特	記事項	
		従事職	員 再信	壬用職員	員数		_		人		_		人			主な増減理	
1	⊐Į		会計	†年度(壬用職員	数	_		人		_		人	令和	2年度	は、令和元	年
		正規職員		見職員数	数×平均]人件費	2, 401	, 280	円	2	, 284	,800	円			対応で使用 の補充や、	
I.	٦l	人件費			平均人		7, 504	,000	円	7	, 140	,000	円			ルス感染症	
		再任用職		壬用職員	員数×平	均人件費	_		円		_		円			こ対応する	
	\downarrow	人件費	Ī	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円	4	,093	,000	円	品の整	備を	行ったため	٥
		会計年度任用職員人	会計	十年度任	壬用職員	の人件費	_		円		_		円				
		事業費請	+ (直	接費+.	人件費)		8, 894	, 226	円	33	, 413	, 395	円				
		種類		指		標	名	単位	f	和元年度		令和2年		度		令和3年度	Ę
		1至7只		11		'וגד	74	十四	上段:		:実績	上段:		设:実績	上段		:実績
		活動(苗葢食	糧購入	数			個	(9,000)	(9,000		(11, 450)
1	指	711337 1/	加田及	1主ハサノ へ	*^					9,000			9,000				
		活動	コ 煙 借	蓄食糧	数			個		54,000)	(55,000		(53, 370)
		71133	מוויינו ו	田以恒	*^					55,080			55, 450)			_
				蓄率(実績備	藍食糧数/	目標備蓄食糧	%	(100)	(100)	(100)
7	漂	79,071	数)					70		102			100				
		効率「	市民1	人あた	りの事績	業 書		円	()	()	(_)
						1175		, ,		58			219				_
1		指標に	関する	特記事	項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ ○ おらゆる角度から重要全体を目直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す											
備蓄計画に基づく、災害発生時に必要となる防災備蓄品の整備に加えて、令和元年台風19号で使用した備蓄品の補充や、新型コロナウイルス感染症に対応するための感染予防用品を備蓄品として整備した。また、要配慮者(高齢者や障がい者、乳幼児等)に配慮した、備蓄品の充実に努めた。	行う。 【事業のガ	コナウイル こうしょ こうしょう こうしょう こうしょう しょうしょ しゅうしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	本的内容】								
地震等の大規模災害発生に備え、備蓄計画に基づく防災備蓄 品の整備のほか、感染症対策を目的とした備蓄品の充実に努 め、安心安全な避難所運営ができるよう準備を行う。											
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 消防防災詞	果長 菊地	諭									

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	洪水避難決断ブック作成事業		事務事	業整理	番号	560111521
40 A IE 65 - I =	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 6 防災・消防体制の充実	戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 1 総合的な防災体制の確立	る位置付け	KPI	-		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計		画への挑	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来 の目的・成果	洪水避難決断ブックを作成し、水害リスクの実態の整 じた避難について市民へ周知を図る。	理及び住民	の避難の方	策を示	すこと	で、個々の状況に応
所管部課	市民部消防防災課 関係部課					

2	. 事	務事	業の実施	結果											
	令和2年 事務事 実施内	業		こついて	市民へ周知	找し、水害リス 口を図った。ま									
						令和	元年度		令和2年度			令和3年度			
挼	直	Ī	予	算	額	_		円		9,043	,000	円	0		
12	接		決	算	額	_		円	9,042,200 円			予算額との比較(R3-F			
	費	Ì	特定財	源の有	無	□有	□無]有	■無			-9,043	3,000 円
入	\ <u> </u>		正規職員数	汝		_		人			0.50	人		頁	
	従事	麗員	再任用職員	員数		_		人		_		人	(予算	額の主な	曽減理由)
=			会計年度信			_		人		_		人	- 令和	2年度をも	って廃止
	正規	職員正規職員数×平均人件費						円	3, 570, 000 <u>F</u>			円	事業と		
lz	人件			平均人		7, 504, 000		円	7, 140		l40,000 <mark>円</mark>				
			再任用職員	員数×ゴ	P均人件費	_		円		_		円			
	人件	-費	参考:	平均人	件費	3, 997	997,000 🖰			4, 093	,000	円			
1	会計年度任用		会計年度信	壬用職員	員の人件費	_		円円		_		円			
	事業費	計	(直接費+/	人件費)		_	_			12, 612		円			
	│ 種類		指		標	名	単位		和元年			和2年			3年度
	12700		111		la.	П	1 14	上段:	目標	段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:目標	下段:実績
l	成果	発:	行部数				l _m	()	(<u> </u>)	(_)
指	<u> </u>	-						,		,	,	75,000)		
	成果	11	部あたりの	単価			円	()	(110)		_)
								(_		1	118	\		
標	5							()	())
12	<u> </u>	+						()	()	(
										,	(,		
	指標	に関	する特記事	項											
	10.12			·											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前側とのり天爬入は 盾の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
 □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのうゆる丹皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
令和元年に発生した台風19号の教訓から、市民へ適切な水害リスクや、個々の状況に応じた避難方法について周知するため、洪水避難決断ブックを作成した。そのほか、音訳版も作成し、市ホームページへの掲載及び広報くき4月号と併せて全戸配布を実施することで、市民の防災意識の高揚を図ることができた。	内容の理解		活用方法		水避難決断窓口や出前	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 消防防災認	果長 菊地	諭				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 コンビニ交付事業 710511607 事務事業整理番号 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 1 行政改革の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 5 窓口サービスの向上 付け ≦標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 コンビニエンスストアのマルチコピー機にマイナンバーカードを利用して各種証明書の取得ができる「コンビニ交付」を実施することで、各種証明書を取得できる場所や時間の拡大が図られ、市民の利便性が向上する。 また、「コンビニ交付」が普及することで、同様の証明書を扱う窓口の混雑の解消につながり、効率的な行財 事務事業本来 の目的・成果 政運営が可能となる。 所管部課 市民部市民課(総合窓口) 関係部課 財政部市民税課、財政部収納課

2. 事務事業の実施結果

	· 丁 份	多事業の美施結果										
	令和2年 事務事業 実施内容	፟≰ 平成28年1月25日から「コ	ンビニ交付」	ナービス	スを開始	おし、令和2年度	そにおい こ	ても継糸	売して乳	実施した	<u>-</u> -0	
			令和	元年度		令和:	2年度		令和3年度		4度	
投	, 直	予 算 額	10,032	,000	円	35,093,000 円			11,770,000 円			円
ÍΣ	接	決 算 額	9,626		円	34, 998	円	予算額との比較 (R3-R2)				
	費	特定財源の有無	口有	■無		口有			-23, 3	23,000	円	
入		正規職員数		0.90 人			0.89	人		特記	事項	
	従事閥	再任用職員数	_		人	_		人	(予算	額の主	な増減理	由)
		会計年度任用職員数	_		人	_		人	令和	2年度に	、コンビ	<u>" — </u>
	正規職	追 正規職員数×平均人件費	6,753	,600	円	6,354	,600 円		交付シ	ステム! シがウェ	用サーバ ^す 了したたど	建新
l ス	人件	参考:平均人件費	7,504	, 000	円	7, 140	,000 円		未协女	567775、) 0/2/20	^y ,
	再任用單	職員再任用職員数×平均人件費	_		円	_		円				
L	人件	参考:平均人件費	3, 997	3, 997, 000		4, 093	,000	円				
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	_		円	_		円				
	事業費	計(直接費+人件費)	16, 380, 474		円	41,352		円				
	種類	 指 標	名	単位		和元年度			-		和3年度	-
		19 197	н	十四	上段:	目標 下段:実績			:実績			:実績
	成果	 コンビニ交付利用件数		件	(3,500)		5,000)	(0,000)
指	1,70211	=== 2(131373712X				4, 282		8,354				_
					()	())
					,				,			<u> </u>
120					()	()			
標	<u> </u>				(/					$\overline{}$
					()	()	$\stackrel{\smile}{\longrightarrow}$		
	七七十四1-	 - 関する特記事項										_
	担保に	- 因りつ付記事件										

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×	
日日日中未の年の月を兄直り	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充	
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性		
を達成することができた。 コンビニ交付の実施により、各種証明書を取得できる場所や	あることから 促進収集を行う は り り と り と か る う で と が る う で と り く で に り し し し し う し う し う り く し う り う く う う う く う り ら う 、 う く う ら う 、 う 、 う ら 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う	、マイナンバー ともに、国等(。 付事業を安定(ーカードのサー のマイナンバー 的に運用してい めコンビニ交付 は「拡大」とな	ービス内容のD ーカードの普及 いくため、コス 対サービスの利 する。	での交付率の向 な報活動等、力 な促進の施策等 スト投入の方向 リ用件数の拡大 とした。	ードの発行 について情 性は「維	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 市民課(編	総合窓口)上	長 川田 i	直美	•			

1. 事務事	美概安		对家	令本	旧2年度美施事業
事務事業名	出産育児一時金支給事業	事務事	業整理	号	370121718
۸// ۸ احرات ا	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期	総合 基本目標			
総合振興計画	<mark>施策</mark> 7│社会保障制度の充実 <mark>戦略に</mark>	おけ 施策	- -		
における位置 付け	<mark>細施策</mark> 1 国民健康保険事業の推進 る位置	付け KPI	- -		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合 抗	辰興計画実施計	画への掲	■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	国民健康保険法における相対的必要給付である出産育児一時会 支給金額については、条例に基づき40万4千円(産科医療補償制	金の支給を行っ 度対象出産の場	ている。 易合は42	万円)。	としている。
所管部課	市民部国民健康保険課 関係部課				

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

国民健康保険の被保険者が出産したときは、国保世帯主からの申請に基づき1児につき40万4千円(産科医療補償

制度に加入している医療機関で出産した場合は42万円)を支給した。 直接支払制度を利用する場合は、国民健康保険から国保連合会を通じて医療機関へ出産費用として直接支払われるので、被保険者の費用負担の軽減が図られた。

				令和元年度			令和2年度				令和3年度			
投	直	予 算	額	32,056	,000	円	35	,700	,000	円		35,	700,000) 円
ΊX	接	決 算	額	31,011	,770	円	31	,807	,000	円	予算額	頁との	比較(R3-	R2)
_	費	特定財源の有	無	□有	■無		口有	1	■無	ŧ			() 円
入		正規職員数			0.25 人				0.25	人	特記事項			
	従事職	員 再任用職員数				人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
\Box		会計年度任用職員	数			人		_		人				
	正規職員		1人件費	1,876	,000	円	1	, 785	,000	円				
ス	人件費	9.3 - 15.37		7,504	,000	円	7	<u>, 140</u>	<u>,000</u>	円				
	再任用職		^工 均人件費	_		円		_		円				
+	人件費	2 3 - 1 - 37 (3,997	,000	円	4	<u>, 093</u>	<u>,000</u>					
1	会計年度任用職員人	五山十及江川柳夕		_		円		_		円				
	事業費計	計(直接費+人件費)		32,887	, 770	円			,000					
	種類	指	標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年度	
	12//	70	N.		714	上段:	目標 下段	:実績	上段:		设:実績	上段:	目標下段	:実績
	活動	国保被保険者出産件	数		件	(100)	(90)	(85)
指	1,1,2,0					ļ ,	74			75				
	成果	直接支払制度利用件	数		件	(90)	(90)		75)
						,	70	,	,	72	,	,	00.04	
13E		直接支払制度利用割っ		! -	%	(90.00)	(90.00			88.24)
標	Г	直接支払制度利用件	以・出座件 録	<u>X</u>		,	94. 59	,	,	96.00	,	,		<u> </u>
						()	())
	北北西(一													_
	指標に	関する特記事項												

総合評価と判断理由	_	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
 ■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成里	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ 八 可画にのり天旭人は 眉の九天で図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中来の庭の方と元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
7.1	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
国民健康保険は、被保険者の疾病・負傷・出産・死亡に関して必要な給付を行うこととされている。 出産育児一時金は、被保険者の出産費用を軽減し、安心して出産できる環境を提供しているものと考えている。また、直接支払制度や受取代理制度を利用した場合、40万4千円(産科医療補償制度に加入している医療機関で出産した場合は42万円)を限度として医療機関での窓口払いが不要となるため、経済的負担の軽減につながることから、引き続き当該制度の利用を推進する。	つつ適正か 発生してい	けである出産いつ迅速にすいる被保険するではない。	を給する。 ⁷ 針についてl	なお、42万	円までの差	額支給が
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 国民健康任	保課長	山田 誠				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 事務事業名 特定健康診査事業 370121729 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 -第2期総合 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け K P I 細施策 1 国民健康保険事業の推進 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 平成20年4月から施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき医療保険者に義務付けられたもので 当該年度に40歳から74歳に達する被保険者を対象に、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した検 査項目での健康診査を実施する。国・県が対象経費の1/3ずつを負担し、市に交付している。生活習慣病を早期に発 事務事業本来 の目的・成果 見し、早い段階で生活習慣を改善することにより、被保険者の健康を増進し、医療費の抑制につなげるものであ 所管部課 市民部国民健康保険課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

実施期間:8月1日から12月31日、受診費用:無料

特定健康診査実施のため、南埼玉郡市医師会と委託契約を締結するとともに、健診実施医療機関に対し、実施方法に係る説明資料を送付した。なお、健診実施後は、各医療機関に医師会を通じて委託料を支払った。 40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者に受診券及び受診案内のお知らせを送付し、実施医療機関で受診して

いただいた。

	+ V W W			令和元年度			令和2年度				令和3年度				
投	直	予	算 額	149, 177	, 000	円	133	, 152	,000	円		148	, 726, 00)0 円	
12	接	決	算 額	134, 975	, 347	円	114	, 700	, 236	円	予算額	頂との	比較(R3	-R2)	
_	費	特定財源	の有無	■ 有	□無		■ 有	<u> </u>	□無	Ħ	15, 574, 000 <u>F</u>			00 円	
入		正規職員数			0.75	人	<u> </u>			人	特記事項				
	従事職員			_		人	— 人			(予算額の主な増減理由)					
		会計年度任用		_		人		_		人	申請状況の実績に基づき 減額補正をした令和2年度の				
	正規職員			5, 628		円		_	,000	IJ	水 砂 不算額	正をし	7だで和2 03年度の	4度の 当初予	
ス	人件費	2 3 - 1	均人件費	7, 504	. , 000	円	7	<u>, 140</u>	,000		算額を	比較し	したため、		
	再任用職員	^	枚×平均人件費	_		円		_		円	となっ	た。			
	人件費 参考:平均人件費			3,997,000 円			4, 093, 000 🖰								
'	会計年度任用職員人作		開職員の人件費			円	100			円					
	事業費計	(直接費+人作	牛費)	, ,		円			, 236						
	種類	指	標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年		
						上段:		:実績	上段		2:実績	上段:		段:実績	
	活動対	付象者数			人	(25, 479)	(24, 623			23, 678	3)	
指						,	28, 714		,	28, 237		,	12.00	\sim	
	活動 年	F間受診者数			人	(12, 485)	(12,804)		13, 023	3)	
						(11, 296 49, 00	`	/	9,678 52.00	``	-	EE 00	$\overline{}$	
標	成果 受	記率 (年間受	診者数/対象者数	()	%		39.34)	(34. 27		_	55.00	,	
137						(<u> </u>	``	(<u> </u>	``	($\overline{}$	
	効率 受	を診者1人あたり)経費(事業費/3	羊間受診者数)	円		12, 447		(12,405	<i>)</i>	_			
	指標に	関する特記事項	ī				14,747			12,403	1				

総合評価と判断理由							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのう天旭大は 信い九天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×	
日日中来の庭の力を充直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充	
	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性		
	向により、 る可能性か 実施期間と 健康上のリ 療機関・し な る で 連 な で は の り は の り は り と り り り り り り り り り り り り り り し り り り り	指定医療機 があている はない はない は は は は は は は は は は る に る い る い ま る い ま る い ま る い ま う い る い ら い ら い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	市和元年度 を実施する。 かてしまうる う受診機会の	本制や実施兵 に同様の6月 また、健 恐れがある。 D確保に努め	期間等に影響 1日から12 診の過度な ことから、「 めていくと。	響が出てく 目末までを 受診控えは 医師会や医 ともに、広	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 国民健康係	険課長 山	山田誠					

1. 事務事	業概要				対象	令林	12年度実施事業
事務事業名	保養施設利用者助成事業			事務事	業整理	番号	370121732
۸/	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰も	らが健康で安心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画	施策 7 社会保障制度の充実	美	戦略におけ	施策	1		
における位置 付け	<mark>細施策</mark> 1 国民健康保険事業の	の推進	る位置付け	KPI	1		
	後期基本計画成果指標との関連	□ 該当 ■ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への挑	引載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	市民の健康保持・増進を図る 市民の利用に供する。利用促進	ため、埼玉県国民健康保険 のために、国民健康保険被	対域を 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象	€を窓口とし は助成金を3	ンて全国 を付する	国各地 <i>0</i> .)保養施設と契約し、
所管部課	市民部国民健康保険課 関	係部課	•	•			

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 市民に対して利用券を交付し、希望する被保険者には年度内1泊を限度とし、助成券も併せて交付した。 助成額は、大人3,000円、子ども1,500円で、宿泊会計時に差し引いて精算する方法で助成した。 事業の周知及び利用推進のために、保養施設一覧パンフレットを作成し、庁舎等に配架した。

	7 hh hI						令和	元年度		令和2年度					令和3年度				
投	直			予	算	額	4,509	,000	円		1, 794	,000) 円			4	,002	,000	円
1,0	接			決	算	額	3, 598	, 446	円		1,018	, 920) 円		予算額	質との	比較	(R3-F	(2)
١,	費		特	定財	源の有	無	□有	■無			有	■ 魚	#			2	, 208	,000	円
入			正規	職員数				0.25	人			0.25	, 人			特記事項			
	従事日	損	再任用	用職員	数				人		_		人					曽減理	
			会計算	丰度日	E用職員	数			人		_		人					に基:	
	正規暗		正規	職員数	b×平均]人件費	1,876	,000	円		1,785	,000) 円		減額補正をした令和2年度の 予算額と令和3年度の当初				- 段の 初予
ス	人件				平均人		7,504	,000	円		7, 140	,000) 円		算額を比較したため、増額				曽額
		再任用職員 再任用職員数×平均人件費				均人件費	_		円	- 円				となっ	た。				
	大件費 参考:平均人件費					3,997,000 円			4,093,000 円										
	会計年度任用職員の人件費				の人件費		円		— 円										
	事業費	計 (直接	費+/	(件費)		5, 474	<u>, 446</u>	円		2,803	-							
	種類		指標		名	単位		和元年			令和					3年度			
	12797			7.1		173.		, ,	上段:		段:実績	上段			と: 実績	上段		下段	:実績
	成果	利用	月者数					人	(1,560		(600)		1,	350)
指										1, 329		,		31		,			_
	成果	助反	战者数	〔(利用	用者の内	勺数)		人	(1,500		(<u>570</u>)	$\overline{}$	1,	300)
									,	1, 190)			07		,			_
+==	効率	■ ■助成者1人あたり経費(事業費 <i>)</i>				(事業費/	助成者数)	円	(4 (0)	<u>)</u>	(<u> </u>)			_	
標									,	4,600)	,	9,	133	`	,			$\overline{}$
									()	()				
	+15+至1.	- 月日-	ᆂᄀᄹ	ᄩᄀᆂ	т古														_
	指標は	し 判	9 句代	tiに手	坦														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成里	拡大	×	革新	改善	拡大基調
一 八 月回このグスルスは 信の元天を囚る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	X	×
日日子来の延め力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	X	×
┃ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
新型コロナウイルス感染症の影響により、移動の自粛等が呼びかけられたことから、年間利用者数及び助成者数について、目標値には到達しなかった。令和2年度はコロナ禍により利用者数、助成者数ともに大きく減少しているものの、コロナ禍前の平成25年度から平成30年度までは年間約1,300人程度の助成の負績があり、また県内市町村の60%以上が助成を実施していることから、事業は継続する。 助成金額については、合併時に助成金額が最も高かった鷲宮地区に合わせていることから、助成金額の改定は必要ないと考える。	周知し、ア	ッットの庁舎 市民に保養が きだき、市民	施設の活用に	こよる心身	のリフレッ	シュを
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 国民健康	呆険課長 1	山田 誠				

1. 事務事	業概要		対象	令和	112年度実施事業
事務事業名	人間ドック事業	事務事	業整理	番号	370121734
₩ A IE @ = I =	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 7 社会保障制度の充実	カー 施策	-		
付け	細施策 1 国民健康保険事業の推進 る位置付 る	KPI	-		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興	則画実施計画	画への挑	『載 ■	該当 🗆 非該当
の目的・成果	市(保険者)は、被保険者の健康の保持増進のために必要な事業 予防及び疾病の早期発見を目的として、総合予防型検診(人間ドッ 実施方法については、①委託方式②指定方式③その他方式のいずれ 制度としている。	/ク) 及び脳	ドックに	対して	助成を行っている。
所管部課	市民部国民健康保険課 関係部課				

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

①委託方式:久喜市内の委託医療機関で受診する場合、受診前に申請し、受診票を持参することで受診費用38,940円のうち28,940円を市が助成 した(自己負担額10,000円)。 ②指定方式:指定医療機関で受診した場合、受診前に申請し、利用券を持参することで受診費用のうち28,000円を上限として助成した。 ③その他方式:①、②以外の医療機関を受診した場合、受診後に受診費用のうち28,000円を上限として助成した。

		ŕ				令和元	元年度			令和2	2年度	Ē	令和3年度				
投	直		予	算	額	37,057	,000	円	26,	517	,000	円			, 426, 000		
10	接		決	算	額	35,800	, 087	円	21,	991	, 758	円	予算額	質との	比較(R3-	R2)	
_	費		特定財	源の有類	#	□有	■無		口有	Ī	■無	#		9,	, 909, 000) 円	
入		正規	現職員数	攵			0.25	人			0. 25	人		特	記事項		
	従事職員	再 再 任	E用職員	曼数				人		_		人			主な増減理		
\Box				£用職員		_		人		_		人	申請	状況の	り実績に基	づき	
	正規職員		現職員数	枚×平均	I人件費	1,876		円			<u>,000</u>		─減額補正をした令和2年度─予算額と令和3年度の当初				
ス	人件費			平均人		7, 504	,000	円	7,	140	<u>, 000</u>		算額を比較したため、増額				
	再任用職員	to the second se				_		円	— 円				となっ	た。			
_	人件費	2 J - 1 - 37 (11 A				3, 997	,000	円	4, 093, 000 <u>⊞</u>								
1.	会計年度任用職員人	ム川十尺江川柳央マバ川央		_		円	— 円										
	事業費計	†(直持	妾費+。	人件費)		37, 676, 087		円			, 758						
	種類		指		標	名	単位		令和元年度			令和2年			令和3年時		
	12791		,,,		170	_	- 1 1	上段:	目標 下段	実績	上段		设:実績	上段:		:実績	
	活動 制	引度広	報				回	(2)	(2)		2)	
指								,	2			2			1 004	_	
	成果年	F間助/	戓者数				人	(1,312)	(1, 355)		1, 284)	
								,	1, 284		,	786	,			<u> </u>	
+==					/年間助成者	円	()	(20 25)					
標	安	汝)						,	29, 343		,	30, 250)	,		<u> </u>	
								()	()				
	+12+31-15	88 十 フ	4+=7 =	7 .												_	
	指標に関する特記事項																

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天肥文は一層の元天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の庭の力を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日である中では一世末王体を元巨り	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性					
新型コロナウイルス感染症の影響により、検診の受診控えがあったことから、年間助成者数について、目標値には到達しなかった。 人間ドック助成事業は任意給付事業であるものの長寿社会における疾病予防や疾病の早期発見の見地から、必要性が高く、今後も継続して実施していく。	りの意識 <i>の</i> できるよう	早期発見、5 0高揚を図る う、引き続き を行い、適立	るとともに、 s、広報や7	健康の保	ジ等で分か	すことが				
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 国民健康保険課長 山田 誠										

1. 事務事	業概要			-	対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	徴収事業			事務事	業整理	番号	370241703
۸/ ۸ IE @ = I = -	大綱 3 子どもから高齢者まで、	誰もが健康で安心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 7 社会保障制度の3	充実	戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 2 高齢者医療制度の	の円滑な運営	る位置付け	KPI	1		
	後期基本計画成果指標との関	連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への掲	□	該当 ■ 非該当
事務事業本来 の目的・成果	期高齢者医療制度が創設され を行い、徴収事業は各市町村	が保険に与える影響が大きく た。制度の財源となる保険料 において行っている。当事業 保険料の負担の公平を図る。	については	t、埼玉県		令者医療	広域連合で賦課事務
所管部課	市民部国民健康保険課	関係部課					

2. 事務事業の実施結果

	<u>. 争</u> 於	多事業の美	- 他 桁 未												
	分和2年 事務事第 実施内容	業 保険	料納入通知	『書の発送、	督促状の発送	、催告	書の発送	送及び滞納	者宅	への戸	別訪問る	を実施し	た。		
		·			令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		5 算	額	4, 792	, 000	円	4,	, 073	,000	円		4,	, 137, 000) 円
1×	接	7	单 算	額	4, 199	, 726	円	3,	529	, 506	円	予算額	頁との	比較(R3-	R2)
	費	特別	定財源の有	無	■有	□無		■有	Ī	□無	ŧ			64, 000) 円
入		正規職	員数			3.00 人				3.00	人	特記事項			
	従事	麗員 再任用	職員数		_	- 人			- 人			(予算	額の	主な増減理	曲)
\Box		会計年	度任用職員	数	1		人			2.00	人	被保険者に増加により			
	正規單	-yv,	員数×平均	1人件費	22, 512, 000 <u>⊞</u>			21, 420, 000 円			<mark>▼納入通知書等の郵送料等が</mark> ■増加することを見込んだこ				
ス	人件		考:平均人		7,504,000 円 一			7,	, 140	,000	円	とによ	るもの	_ <u> </u>	,
	再任用		E用職員数×平均人件費						_		円				
	人件		考:平均人		3,997,000		円			,000	円				
1	会計年度任用職		度任用職員	の人件費			円	1,870,80		-	円				
	事業費	計(直接費	+人件費)		26, 711	, 726	円	26,820							
	種類		指	標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年度	-
	1277		Н	120	П	1 1-	上段:		実績	上段:		段:実績	上段:	目標下段	:実績
	活動	納入通知書	この発送(3	年間の発送値	牛数)	件		24,000)	(24, 50		(25,000)
指							,	23, 823	,	,	24, 22	4	,	0.00	<u> </u>
	活動	臨宅及び電				件	(975)	(975)		975)
							,	931			709			00.00	<u> </u>
+##	成果	収納率(音	(普通徴収現年度分)			%	(99.00)	(99.00			99.00)
標							,	98.52	`	/	99. 13		-	20.04	
	成果	収納率(清	帯納繰越分))		%	(41.00)	(31.30			38.84	
	15.12.						23.88			37.06)			_	

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天肥文は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	×	縮小	×	×							
<u>性</u> 休廃止 廃止・終了 × × ×											
コスト投入の方向性、成果の方											
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す											
後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上の方または障がい認定を受けた65歳以上の方であり、これらの方に保険料の納付を促す場合には、書面による方法よりも、直接面前で制度の説明や相談を行うことが望ましい。収納推進員による臨宅訪問等により、被保険者の状況確認を行うだけでなく、収納率の向上も図られた。また、令和2年度からは、滞納繰越額が10万円以上ある方について、収納課へ滞納整理事務の移管(7件)を実施した。	険料の滞納 納課との選 事業の力 年々増加し ている。納	果題について 対だけでなく 連携を強化し 対して が入り が入り が入り が が が が が が で が が が に が が が が が が が が が	く、市税を済 し、滞納の飼いては、高齢 いては、高齢 記であること や督促状の記	帯納してい 解消に努め 齢化の影響 とから、事	る方も多い る。 により、被 業の事務量	ため、収 保険者が が増加し					
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 国民健康保険課長 山田 誠											

1. 事務事	業概要		_	対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	環境団体支援事業		事務事	業整理	番号	210111805
(() A IE (T) - I -	大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち	第2期総合	基本目標			•
総合振興計画における位置	施策 1 自然環境の保全・創造	戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 1 意識啓発の推進	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興言	画実施計画	画への挑	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	環境美化活動を支援するため、環境保全活動を行う区 4団体)に対し、補助金を交付する。 団体の育成及び活動を支援することにより、河川の身		手毛堀・稲 荷	苛台用才	〈環境係	全会をはじめとする
所管部課	環境経済部環境課 <mark>関係部課</mark>					

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容
実施内容
3 375 3 7 1

補助金交付要綱において規定する補助対象団体からの交付申請に基づき、予算の範囲内において補助金を交付

している。 久喜市青毛堀・稲荷台用水環境保全会、河川浄化対策協議会、青毛堀環境保全会、大中落環境保全会への補助 金を交付した。

					令和元	元年度			令和2	2年度		令和3年度					
1	设	直	予	算 額	568	,000	円		568	,000	円		5	68,00	0 円		
1	又	接	決	算 額	564	, 363	円		480	, 310	円	予算額	真との比	較(R3-	-R2)		
		費	特定財源の	の有無	□有	■無		□ ⁷	有	■無				(0 円		
-	入		正規職員数			0.12	人			0.12	人		特記	事項			
		従事職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の主	な増減理	里由)		
-	ו⊏		会計年度任用	職員数	_		人		_		人						
	ľ	正規職員	正規職員数×	平均人件費	900	, 480	円		856	,800	円						
-	ے ا	人件費	参考:平均	匀人件費	7,504	, 000	円	7	7, 140	,000	円						
1		再任用職員	再任用職員数	×平均人件費	_		円		_		円						
	.	人件費	参考:平均	匀人件費	3,997	,000	円	4,093,000 円			円						
	_	計年度任用職員の人件費			_	円		一 円									
		事業費計	(直接費+人件	-費)	1, 464	, 843	843 円		, 337	, 110	円						
		種類	七	指標名単位		?	令和元年度 令和25			和2年	度	令	和3年	隻			
		作生共	18	1ਨਾ	11	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:目	標下	设:実績	上段:目	標下段	: 実績		
		成里 瑨	環境関係住民団体	╁╩ケ		団体	(7)	(7)	(7)		
ŧ	旨	133.7× 34	^{《元} 因》	+ 4X		四件		4			4			_			
							()	()	()		
														_			
							()	()	()		
†	票													_			
							()	()	()		
														_			
		指標に関	関する特記事項														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
日本・計画とのう失肥人は一届の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
 ■ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
■ 10 事業の延め力で元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	前性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
	塗りつぶしてく	ださい。									
支援をしている各団体は活発に活動しており、地域の環境保 菖蒲地区においては、土地改良区や農家組合等が 全に貢献している。 全活動を行ってきた経緯があり、地域の特性を尊重し											
さらに、河川の環境保全活動の普及啓発及び清掃等を行う環		対して、									
境関係市民団体を育成し、増やしていくことが目標であった が、達成には至らなかった。											
が、建成には至うながった。											
□ 評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 環境課長	<u>I</u> 木村 昌	 幸									
ELIE LANGE AND	, _										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 環境マネジメントシステム運用事業 250311806 事務事業整理番号 大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 5 地球環境問題への対応 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 環境マネジメントシステムの運用 付け ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 市の活動における環境負荷の低減及び市民の模範となるため、環境に対する市職員の意識改革を図る。市が率 事務事業本来 の目的・成果 取組みがより促進されることを期待できる。また、「計画」→「実施及び運用」→「点検及び是正措置」→「見 直し」のPDCAサイクルは、職員の意識の向上につながる。 所管部課 環境経済部環境課 関係部課

	<u>. 事</u> 務	多事	業の実施	插 結果									
4	令和2年 事務事	業	取組対 達成する 取り組ん	ために責	利用する市 任の所在、	5民及び勤務す 手段及び達成	る市職 までの	員、施 期間を2	設管理のための 定めた環境目標)委託業者を 『プログラ <i>L</i>	対象に、	環境目標を 、目標達成	を設定し、 戈に向けて
	実施内容	容			美:37事業	○一般事務:	11項目	O公 ·	共工事:環境配]慮の実施	○施設管	理:施設 <i>0</i>	D適正管理
						令和元	定年度		令和2	2年度		令和3年	度
找	,直		予	算	額	278	,000	円		,000 円			1,000 円
12	接		決	算	額	272	,000	円	272	,000 円	予算額	真との比較	
١,	費	<u> </u>	特定則	オ源の有	無	□有	■無		□有	■無			7,000 円
ノ			正規職員				0.20	人	(0.20 人		特記事	* *
	従事	戰員	再任用職					人	_	人			増減理由)
-	1		会計年度			_		人	_	人		13年度予算	では、内 養成研修負
	正規聯		正規職員			1,500	,	円	1, 428	,	世金の	計上を見る	送ったため
7	人件			平均人		7, 504	,000	円	7, 140				
			再任用職				000	円		円 円			
1	人件			平均人		3, 997	,000	円	4, 093				
	会計年度任用職				の人件費	1 772	000	円	1 700	円 000 円			
	事業費	訂	(直接費+	人件質)		1, 772	, 800	円	1,700) 左连	۵10	った曲
	種類		指		標	名	単位		和元年度	令和2			13年度
			- 	W 4 . ~ I II . I		+1 		上段:E					<mark>・下段: 実績</mark> 46以下)
指	成果				はされる温室 実行計画によ	効果ガス総排出(る数値)	t		,746以下) 2,809	(11, 74 11, 6		(11, 1	40以下)
TE	1	+	() 32) (-) (-)	170)(13B1EI1=0	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		(2,009	(102	($\overline{}$
									,	(
		+						()	()	($\overline{}$
樗	<u> </u>							(,				
								()	()	()
								`	,	`	,		
	指標	に関	する特記事	事項									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
コスト投入の方向性、成果の方 皆減 縮小 維持 拡充													
コスト投入の方向性、成果の方し 皆減 縮小 維持 拡充 向性及び事業の方向性を赤く塗													
日 C あらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性													
市の事務・事業による環境への影響を客観的に評価し、改善につなげる活動において、環境マネジメントシステムは有効な手段である。 この取組みにより、指標の達成に至ったことからAとした。	方法や書式等 実施要領・ における目標 いく。 温室効果ガ	メントシステ について改善 附属文書集に 数値等につい ス総排出量に 目標値(11,746	できる部分は ついては、年原 て、不適合が ついては、第2	改善し、率先し 度ごとに適宜は 主じた場合の是 と次久喜市環境	ンて環境問題に 対訂を行い、名 是正・改善措置 保全率先実行	取り組む。 部署・施設 を徹底して							
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長	評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 環境課長 木村 昌幸												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 新エネルギー導入事業 250211807 事務事業整理番号 大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 5 地球環境問題への対応 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 再生可能エネルギー・省エネルギー導入の促進 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 久喜市住宅用エネルギーシステム設置費補助金交付要綱に基づき、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を積極的に導入することにより、地球温暖化防止に寄与するとともに、市民の環境保全意識を高める。 補助金を交付することにより、地球温暖化防止に寄与するとともに、市民の環境保全意識の向上を図る。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 環境経済部環境課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

		·扮 事	業の実施結果	-											
-	令和 2 事務事 実施内	詳	○太陽光発電 ○自然冷媒ヒ-	ジステム:92件 -トポ゚ンプ 給湯器	助対象機器、記 ○太陽熱利用 B(IJキュート): 85件 ○家庭F	システム: 81 件	4件 ○ ○潜熱I)家庭用燃 回収型が	燃料電流 ス給湯	他コージ 器及び	ェネレーションシ `ハイフ゛リット糸	ステム (I 拾湯器	エネファーム (エコジ	。):2件 ョーズ):	107件
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
找	υĪ	直	予 算	額	11, 760	,000	円	14	, 000	,000	円		15,	000,000) 円
12	² ‡	接	決 算	額	11, 450	,000	円	13	960	,000	円	予算額	ことのと	比較(R2-I	(元)
		費	特定財源の	有無	□有	■無			有	■無			1,	000,000) 円
ス			正規職員数			0.10	人			0.10	人		特詞	記事項	
	従事	職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	胆由)
=]		会計年度任用職	員数	_		人		_		人				
			正規職員数×平	均人件費	750	, 400	円		714	,000	円				
1	人人	件費	参考:平均.	人件費	7, 504	, 000	円	7	', 140	,000	円				
	再任用	13-1942 ~	再任用職員数×	平均人件費	1		円		_		円				
L	人	件費	参考:平均,	人件費	3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
	会計年度任	E用職員人件費	会計年度任用職		_		円		_		円				
	事業	費計	(直接費+人件費	量)	12, 200	, 400	円		, 674	,000	円				
	種類	盲	指	標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年度	
	1= /	, <u> </u>	70	131	н	7 12	上段:		:実績	上段:		と: 実績	上段:	目標 下段	:実績
	成男	₹ 補題	助金交付件数			件	(427)	(412)		436)
指	1							312		,	407	,	,	100	
	成月	₹ 設語	置済み発電出力量			kW	(500)	(100)	-	100)
	_						-	450 . 83	\	/	460.06	\	-		<u> </u>
楊	5						()	()	-)
作	<u> </u>	+					(\	(($\overline{}$
							()	())
	指揮	画厂即	する特記事項												_
	1日位	示に因	タでは中央												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
■ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
コスト投入の方向性、成果の方												
コスト投入の方向性、成果の方向性、成果の方向性、成果の方向性、成果の方向性、成果の方向性を赤く後												
してあらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性												
令和2年度の決算額については、令和元年度と比較すると、11,450千円から13,960千円と、実績額が増加した。これは環境問題に対する市民意識が向上したことや、制度の有効性が浸透してきた成果と考えられる。 計上した予算はほぼ支出できた一方、指標の目標達成には至らなかったため、B評価とした。	けて、太陽: 拡大は、極。 本事業は	光をはじめと めて重要であ	でする再生可 ある。)低減と環境	能エネルギー 意識の向上を		設備の導入						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長	木村 昌	幸	•	•								

1. 事務事	業概要				対象	令和	02年度	実施事業
事務事業名	環境学習事業			事務事	業整理	番号	210)111810
(A) A IE (The I I I	大綱 2 自然とふれあえる	る、環境に優しいまち	第2期総合	基本目標	4 あら	ゆる世代が健	康で安心して暮	\$ らせるまちをつくる
総合振興計画における位置	施策 1 自然環境の保全・		戦略におけ	施策	3 住ā	タ続けら	れるまち	づくりの推進
付け	細施策 1 意識啓発の推進		る位置付け	KPI	1			
	後期基本計画成果指標との関	連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当	□ 非該当
事務事業本来 の目的・成果		知識の向上や環境の大切さる に対する関心や知識の向上を				·		
所管部課	環境経済部環境課	関係部課						

2	. 事務	8事業(の実施	拖結果														
	和2年 事務事第 実施内容	美			が市民を対象 1回(参加:					会:1回	回(参加	省数	8人)○檍	村木観察	绘:1	回(参	参加者	徴
						令	和元	年度			令和2	2 年度	Ę.		令和	13年月	麦	
投	直		予	算	額	1	54,	000	円		154	,000	円			116,	000	円
1×	接			算	額	1	54,	000	円		115	,500	円	予算額	[との]	北較(R2-R5	元)
١,	費			は源の有	無	□有		■無				■無				-38,		円
入			規職員				0	0.04	人			0.04	人		特	記事項		
	従事日	損 再				_	_		人		_		人	(予算	額の	主な増	減理	由)
				任用職員			_		人				人					
	正規暗			数×平均				160	円			<u>, 600</u>						
ス	人件		-	: 平均人		7, 5	04,	000	円		7 , 140	<u>, 000</u>						
	再任用明	1.747			^Z 均人件費	_	-	000	<u>円</u>		_	222	円					
	人件			: 平均人		3, 9	197,	000	円		4,093	,000						
	会計年度任用職				の人件費	_	-	1/0	円		401	100	円					
	事業費	計(直	.接費+	·人件費)			154,	160	円	10 - 1-		, 100		nt-		^ 1n 0	/	
	種類		指		標	名		単位		和元年			令和2年			令和3		
	<u> </u>								上段:	3標	g:実績 、	上段	7	没:実績、	上段:	8		美領
指	成果	各種観	察会	開催回	数				(6)	(3		-	<u> </u>		
扫	<u> </u>						\dashv		(120)	(120	١	(12	$\overline{}$	_
	成果	各種観	察会	参加人	数			人	(95	,	(48	,			_	
	-						\dashv		(93)		40		($\overline{}$
標									`		,							
123	-						-		1		1	1		١	($\overline{}$

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容							
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
日 日 日間とのり天旭大は 眉の儿天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
■ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
コスト投入の方向性、成果の方												
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す												
」 C あらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性												
当該事業を実施することにより、市民の環境意識の向上を図ることができる。令和2年度については、7回開催で120人の参加という目標に対し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出を受け、今和3年1月~3月に開催を予定していた「目で見る環境学習」(3回)及び第4回環境学習会を中止したため、3回開催で48人の参加という結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響以外の部分では、開催回数については順調に進捗したものの、参加人数については、7回開催したと仮定しても目標達成は難しかったと考えるのでBと判断した。	し興味を持 また、発 特に、子 未来の本情	持ち続けるP ff規の参加₹ FどもたちⅠ	内容とする 者を開拓し こ対する環 全につなが	必要がある ていく必要 境学習事業		える。 ことは、						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長 木村 昌幸												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 公害監視調査事業 事務事業名 公害 220311818 事務事業整理番号 大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 2 快適な生活環境の創造 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 3 公害等の環境問題への対応 細施策 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法及び水質汚濁防止法 に基づく各種公害調査の実施によって、生活環境における公害発生の実態を定期的に把握するとともに、その監 事務事業本来 の目的・成果 視を行うことにより、生活環境の保全を図る。 所管部課 環境経済部環境課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

	. 事務	分事 :	業の実施結	i <u>米</u>											
-	令和2年 事務事第 実施内容	業	○自動車騒音 濃度汚染調査	言実態調査を、専 音・振動調査(騒 査(ダイオキシン 『汚染物質4物質	音規制法及び技 類特別措置法)	辰動規制 ○有	引法) 事害大気	, 〇大気汚 泛洗物質 調査(水質)	周査(環境基	基本法の領		第1項(イオキシ D趣旨に基 方止法)	
					令和元	元年度		f	3和2	2年度			令和	3年度	
挼	直		予	算 額	10, 998	,000	円	11,	416,	, 000	円		11,	359,000) 円
17	接		決	算 額	9,878	, 854	円	10,	604,	, 000	円	予算額	真との」	北較(R3−	R2)
_	費		特定財源	の有無	■ 有	□無		■ 有		□無				-57,000) 円
入	\ <u> </u>		正規職員数			1.55	人		•	1.55	人		特詞	記事項	
	従事的	員	再任用職員数	女	_		人				人	(予算	額の主	Eな増減理	胜)
=	1		会計年度任用	開職員数	_		人				人				
	正規鵈	韻	正規職員数×	平均人件費	11, 631	, 200	円	11,	067,	, 000	円				
l۶	人件:	費	参考:平	均人件費	7, 504	,000	円	7,	140,	, 000	円				
	再任用	1-0/2	再任用職員数	枚×平均人件費	1		円				円				
	人件	費	参考:平	均人件費	3, 997	,000	円	4,	093,	, 000	円				
1	会計年度任用職	員人件費	会計年度任用	開職員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接費+人作	牛費)	21,510	, 054	円		<u>671,</u>	, 000	円				
	種類		指	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
	12//		111	120		712	上段:	目標 下段:	実績	上段:		と: 実績	上段:		:実績
	活動	環境	竟保全パトロ-	ール		回	(24)	(24)	(24)
指	i						,	24	,		24	,		1.40	_
	成果	公語	害に関する苦	情件数		件	(140)	(140)	$\overline{}$	140)
	<u> </u>						,	87(20)	\	/	94(24)		,		$\overline{}$
楊	5						()	()	$\overline{}$)
行							(\						$\overline{}$
							()	()	$\overline{}$)
	指標!	_	する特記事項	公害に関する苦情が	加理件数は、埼玉県	■の公害#	 談記録デ	ータバースシ	ステル	の其進し	こ合わせたも	生数をかっ	っこ書き	で併記してい	いる。
	1日1水1		2 のいの手供			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1127日しかか ノ	<i>7</i> · \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<i>ハ, L</i>	~~/	- п 17 с /с1	1 3/4 //	_ _ = _		, · 0/0

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
日日日日日のグ大肥大は一層の元大を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
■ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×						
■ D 事業の庭の力を允直9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C おらゆる角度から重要全体を目直す	縮小	維持	拡充									
□ C あらゆる 角度から 事業全体を見直す												
<u> </u>												
生活環境の保全を図るため、大気や騒音、振動等の状況を調調査・監視における実施頻度やポイントの密度												
		と化を確認す										
る。		るため、今後										
今後も引き続き、環境保全のため、必要となる調査・監視の												
元実を図っていきたい。												
	 	±										
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長	木村 昌											

1. 事務事	業概要			_	対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	公害監視調査事業 水	質		事務事	業整理	番号	210211819
(() A IE (T) - I -	大綱 2 自然とふれあえ	.る、環境に優しいまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 1 自然環境の保全	・創造	戦略におけ	施策	-		
付け	細施策 2 緑化の推進		る位置付け	KPI	-		
	後期基本計画成果指標との	関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
	環境基本法、騒音規制法、 に基づく各種公害調査の実施 視を行うことにより、生活理	施によって、生活環境におけ	法、ダイオートる公害発生	キシン類対 の実態を定	策特別 期的に	措置法 把握す	及び水質汚濁防止法 るとともに、その監
所管部課	環境経済部環境課	関係部課					

2. 事務事業の実施結果

	<u>. 事務</u>	争未	システル	也 行天													
<	令和2年 事務事第 実施内容	湯	度汚染	調査(ダ	イオキシン	評門業者に委託 音規制法及び! 類特別措置法) の調査) ○河	○≰	害大気	汚染物	質調査	(環境基	基本法の	证法) 第16条第 気調査(第1項	の趣旨	こ基づ	頁
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	口3年度	F	
挼	直		予	算	額	10, 998	,000	円	1	1,416	,000	円		11	, 359,	000	円
12	接		決	算	額	9,878	, 854	円	1	0,604	,000	円	予算額	真との	比較(R3-R2)	
	費		特定	財源の有	無	■ 有	□無			有	□無				-57,	000	円
入	\ <u> </u>	ΙĒ	規職員	数			1.55	人			1 . 55	人		特	記事項		
	従事日	損再	任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増	咸理由)
=	1	숲	計年度	任用職員	数	_		人		_		人					
	正規聙	~	規職員	数×平均]人件費	11, 631	, 200	円	1	1,067	,000	円					
اا	人件	費	参考	:平均人	件費	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円					
	再任用單		任用職	員数×平	^Z 均人件費			円		_		円					
	人件	費	参考	:平均人	件費	3, 997	,000	円		4, 093	,000	円					
	会計年度任用職	_			の人件費			円		_		円					
	事業費	計(直	接費+	人件費)		21,510	, 054	円		1,671		円					
	種類		指		標	名	単位		和元年			令和2年			令和3		
	12//		111		125		712	上段:		设:実績	上段:		段:実績	上段	: 目標 「		績
	成果	河川の	の水質基	準達成	率		%	(77.5)	(77.6)	(77.	8)
指	1							,	88.1		,	66.1					_
								()	()	()
								,		,	,		,				_
1=	5							()	())
標								,		\	-		\				$\overline{}$
								()	()				-
	+₽+⊞1.	一問之	る特記	丰石												<u> </u>	_
	担信に	L 关 9	の付記	尹坦													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
□ B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充						
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	向性及び事業の方向性を赤く 塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性											
生活環境の保全を図るため、河川等の水質状況を調査・監視することは必要不可欠である。また、その数値を公表するとともに、環境基準を超過した項目があった場合は、原因分析を行い、関係者に改善を求めるためにも重要な事業である。今後とも引き続き、環境保全のため、必要となる調査・監視の充実を図っていきたい。												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長	木村 昌	幸										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 地域保健衛生事業 220111823 事務事業整理番号 大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 2 快適な生活環境の創造 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I <mark>細施策</mark> 1 まちをきれいにする運動の推進 _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動をはじめとする環境美化運動を推進するとともに、その啓発に努める。 また、スズメバチの駆除費用の一部を補助金として交付することにより市民の生命・安全確保を推進するとと もに、道路上等における犬猫等小動物の死骸を速やかに処理し、公衆衛生の早期回復を図る。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 環境経済部環境課 <mark>関係部課</mark>総務部庶務課、栗橋総合支所総務管理課、鷲宮総合支所総務管理課

2. 事務事業の実施結果

	<u> 尹</u>	加尹	美の美施結	<u>木</u>												
2	令和 2 事務事 実施内	業	地域清掃活 (※ゴミセ 犬猫等小動	i・安全を確保す 動の支援 「ロ・クリーンク 物の死骸処理作 駆除費補助金交	く マスタイト マスタ マスタイト マスティス マスタイト マスティス マスティス マスティス マスティス マイス マスティス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイ	新型コ			感染症の)感染技		のためい	中止)			
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	03年度	麦	
挼	ιĪ	直	予	算 額	11, 496	,000	円	1	1,905	, 000	円		6	, 606,	000	円
12	' ‡	妾	決	算 額	11, 155	, 483	円	1	1, 184	, 030	円	予算額	頁との)比較((R3-R	2)
		費	特定財源の	の有無	■ 有	□無			有	□無	ŧ		-5	, 299,	000	円
入	\ <u> </u>		正規職員数			1.65	人		,	1.65	人		特	記事項		
	従事	職員	再任用職員数	Ţ	_		人		_		人	(予算	額の	主な増	減理	由)
=]		会計年度任用	職員数			人		_		人			・クリ・		
		職員	正規職員数×	平均人件費	12, 381	,600 <mark>円</mark>		11, 781,		, 000	円	市民運 全業務				
اا		牛費	参考:平		7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円			行動日		
			再任用職員数	(×平均人件費	1		円		_		円	いる現		実施方法	法を見	直
L	人	牛費	参考:平:	均人件費	3, 997	,000	円		4, 093,	, 000	円	すため 環境保		森奴書	乳 質皮	百 .
	会計年度任	用職員人件費	会計年度任用	職員の人件費			円		_		円	3, 650,			J' ፓፐ ከ	д.
	事業	費計	(直接費+人作	‡費)	23, 537	,083	円		2,965	, 030	円					
	種類	百	指	標	名	単位	<u>수</u>	和元年	度	4	令和2年	度		令和3	年度	
	1至大	H .	18	'।য়া	Ţ	+44	上段:	目標 下戶	设:実績		目標下		上段			実績
	活動	_и I⊸т	ミゼロ・クリ-	-ン久喜市民運	動参加人数	人	-	22 , 144	-	(22, 762	.)	(23, 3	380)
指	i /li=	"		クハ日中以連	#J > JH / (X/	^		25, 428			_				_	
	成月		ミゼロ・クリー	ーン久喜市民運	動ゴミ回収実	kg		21, 702		(19, 531)	(17, 5	578)
	1-2021	積				11.3		24 , 45()		_				_	
							()	()	()
標															_	_
							()	()	()
	11-21-			1											_	_
	指標	祟に関	する特記事項	令和2年度、令和3	年度のゴミゼロ・	クリーン	/久喜市民	運動は、	新型コロ	ナウイ	ルス感染症	Eの感染拡	大防」	Lのため「	中止し;	た。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×						
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
ロ C ちらゆる色度から東学令体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充						
□ こ のうゆる円反から事業主体を允直す				コスト投入	人の方向性							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す 市民の生命・安全の確保及び道路上等における犬猫等小動物の死骸により損なわれた公衆衛生の速やかな回復という見地から、非常に重要かつ効果的な事業である。また、ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動については、市民一人ひとりの環境美化意識を高める意味でも意義ある事業である。また、スズメバチ駆除費の補助や犬猫等小動物の死骸回収・処理という事業の性質上、予算の確保など正確な事業費等を想定しにくいことが課題である。												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 環境課長	木村 昌幸	‡										

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	久喜宮代衛生組合負担金事業		事務事	業整理	番号	240311903
40 A IE 65 - I =	大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち	第2期総合	基本目標	- -		
総合振興計画における位置		戦略におけ	施策	- -		
付け	<mark>細施策</mark> 3 ごみ・し尿処理体制の充実	る位置付け	KPI	_ -		
			 画実施計画			該当 ■ 非該当
事務事業本来 の目的・成果		勿行政の充	実を図るこ	とを目	的とし ⁻	ている。
所管部課	環境経済部資源循環推進課 関係部課	•	•	•		

	<u>2.</u>	事務	事:	業の実施	話果_												
	틬	和2年原 事務事業 長施内容	€	久喜宮6 金を支払・		1合規約に基	望 づき、本市の	ごみ処	理事務の	の担い手	€である	久喜宮	3代衛生	組合に	対し、	運営経費	負担
							令和法	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
1	投	直		予	算	額	2, 374, 747	,000	円	2,50	6,750	,000	円	2	, 529,	642,00	0 円
	IX	接			算	額	2, 374, 747	,000	円	2,50	6,750	,000	円	予算額	買との」	比較(R3·	-R2)
	_	費		特定則	排の有意	無	□有	■無			有	■無			22,	892,00	0 円
1	入			正規職員	数			0.01	人			0.01	人		特詞	記事項	
		従事閥	員	再任用職			_		人		_		人	(予算	額の主	主な増減理	理由)
1	┚┃			会計年度					人		_		人				
		正規職	- ~	正規職員				, 040	円	,		円	_				
	ス	人件			平均人		7,504	,000	円	7, 140, 000		,000	円				
		再任用暗	7 V ~			均人件費	_		円				円				
	-	人件費			送考:平均人件費 3,99 年度任用職員の人件費 –			,000	円		4, 093	,000	円				
		会計年度任用職員				の人件費	_	0.40	円	0.50	_	100	円	4			
_		事業費	計	(直接費+	人件費)		2, 374, 822	, 040	円		6,821		円			^ - - -	_
		種類		指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年	
									上段:		设:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	と 実績
	LI	成果	市国	引人あたり	りごみ排	出量(資源	類を除く)	g	(480)	(415 ()===)		415)
1	指								(512	\	524	(速報		(24.6	$\overline{}$
		成果	再生	E利用率((リサイ:	クル率)		%	(32.4)	20. 6	34.6			34.6	
									(30.2	\	29.6	(速幸		($\overline{}$
+	謤)	())
1	亦								(\	()	($\overline{}$
											,	(,	_		,
		指標に	関:	する特記事	耳			<u> </u>								_	

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容			
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充		
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	向性及び事業の方向性を赤く 塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性							
久喜宮代衛生組合は、久喜市及び宮代町のごみ処理事務を効率的に行うために設立された特別地方公共団体であり、市民の衛生的かつ快適な生活環境の確保に広く貢献している。 また、環境問題などへの対応が求められる中で、ごみ処理事務の充実を図るためには、同組合の役割が重要である。今後も効率的で質の高い運営を促すため、引き続き、同組合の構成市として運営経費を負担していく必要がある。	対応するだ ともに、 びみ処理だ 同組合の	代衛生組合に こめ、この負荷 ででは での での で で で で で で で で で で で で で で で	の排出抑制 時の抑制と している。 して、今後	や減量化・ 資源の効率 も効率的で	資源化に取る 的な回収に 質の高い選	双り組むと 配慮した		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 資源循環抗	推進課長	灰野 和久						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 ごみ処理施設整備推進事業 事務事業名 240311904 事務事業整理番号 大綱 2 自然とふれあえる、環境に優しいまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 4 廃棄物処理の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 ごみ・し尿処理体制の充実 付け 計画成果指標との関連 口 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 ごみ処理施設の老朽化に起因する修繕等管理経費の増大等により、効率的で持続可能なごみ処理体制の構築が急務となっていることから、市内3か所のごみ処理施設を統合し、新たなごみ処理施設の整備を推進する。 新たな施設の整備により、ごみの減量化・再資源化等に対する市民意識を醸成するとともに、施設の統合及び集約による合理的なごみ処理運営によって、ごみ処理経費の削減が図れる。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 環境経済部資源循環推進課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

_	<u>∠.</u>	争狄) 事 未	シーチが	地行朱	<u> </u>											
	耳	和2年月 事務事業 実施内容	<u> </u>	新ごみ	処理施 廃棄物	設整備に当た 」(ごみ)処理	÷り、ごみの分 関基本計画の変	更及び	、事業 ごみ処 ³	方式等 浬施設	整備基本	計画の	の策定を	。また、 行った。	•		
							令和元	元年度			令和2	年度			令和	13年度	<u> </u>
١,	投	直		予	算	額	8,085	,000	円		65, 858,	000	円		78,	742,	000 円
	IX	接		決	算	額	7, 894	, 415	円		61, 971,	549	円	予算額	頁との	比較(R3-R2)
		費		特定則	オ源の7	有無	■ 有	□無			Ⅰ 有	□無	ŧ		12,	884,	000 円
-	入		П	規職員	数			2.71	人			3.34	人		特語	記事項	
		従事閥	員再	任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増	咸理由)
	⊐		£	計年度	任用職	員数	_		人		_		人				
		正規職	員』	規職員	数×平	均人件費	20, 335	, 840	円	23,847,600 円							
	٦	人件		参考:	平均。	人件費	7,504	,000	円		7, 140,	000	円				
		再任用單	哉員 拝	任用職	員数×	平均人件費	_	円		一 円							
		人件	費	参考:	平均。	人件費	3,997	,000	円		4, 093,	000	円				
	_	会計年度任用職員	員人件費 会	計年度	任用職	員の人件費	_		円		_		円				
		事業費	計(正	直接費+	人件費	量)	28, 230	, 255	円		85,819,	149	円				
		種類		指			名	単位	<u>수</u>	和元年	F度	-	令和2年	度	-	令和3	年度
		俚块		扫		信示	10	丰加	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績	上段:	目標	下段:実績
		活動		処理施設	整備基	基本計画検討	委員会開催回		(6)	(6)	(5)
=	指	/山邦	数					ıī		6			8			_	
		活動	二笛:	クリート	/晋倍基	整備協議会開係			(5)	(5)	(5)
		/113/1	1		*********	上阴伽战公所	EUW			4			1				
									()	()	()
7	標																
									()	()	()
		指標に	関す	る特記等	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	プログランボしてください。 コスト投入の方向性										
ごみ処理施設の老朽化に起因する修繕等管理経費の増大等により、効率的で持続可能なごみ処理体制の構築が急務となっている。 将来のごみ処理情勢や、効率的で持続可能なごみ処理運営等を考慮すると、ごみ処理施設の集約化による合理的なごみ処理体制の構築が不可欠であることから、市内3か所のごみ処理施設の統合及び新たなごみ処理施設の整備について、引き続き推進していく。	じめ、関係 要な手続き また、地	里施設の令称 系機関や検討 を遅滞なく 也元協議会と ることにより	対委員との く実施する。 との連携を	協議・調整 。 密にし、地	を重ねるこれ	とで、必					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 資源循環推進課長 荻野 和久											

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 環境保全型農業推進事業 事務事業名 事務事業整理番号 610612005 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 1 農業の振興 戦略における位置付け 施策 2 生産性の高い、持続可能な農業の推進 における位置 細施策 6 環境に配慮した農業の推進 KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 安全・安心な農産物の生産・販売による消費拡大、地産地消の推進を図る。 の目的・成果 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

Ę	和2年度 事務事業 実施内容	減農薬、 た。 市内産 ^決 を実施し <i>1</i>	米の消費		る特別栽培農産物の生産者に対し、特別栽培米をPRするため			
					令和元年度	令和2年度		令和3年度
投	直	予	算	額	660,000 円	770,000	円	774,000 円
1X	接	決	算	額	650, 940 <u>⊞</u>	741,850	円	予算額との比較 (R3-R2)

ı	1X	接		決	算	額		650	, 940	円		74	1,850	円		予算額	頁との比	蛟(R3-R2	2)
ı	_	費		特定財	原の有無	#		有	■無		[□有	■無	Ħ,				4, (000	円
ı	시		正規	現職員数	Ţ				0.15	人			0.15	人			特記	事項		
ı		従事職員	再日	E用職員	数			_		人		_		人		(予算	額の主	な増減	咸理E	由)
	⊐		会計	年度任	用職員	数		_		人		_		人	4-	特別	栽培農	産物 🖁	上産さ	援
		正規職員	正規	現職員数	(×平均	人件費		1, 125	,600	円		1,07	1,000	円			につい ^っ 増やし)舗
ı	ار	人件費		参考:	平均人作	牛費		7,504	,000	円		7, 14	0,000	円	14	71 C	7 11 (* 07	, , , , ,	70	
ı		再任用職員	再日	E用職員	数×平	均人件費		_		円		_		円						
ı	L	人件費		参考:	平均人作	牛費		3,997	,000	円		4, 09	3,000	円						
ı		会計年度任用職員人件	会計	 年度任	用職員	の人件費		_		円		_		円						
		事業費計	(直接	妾費 + /	(件費)			1, 776	,540	円		1,81	2,850	円						
Ī		種類		指			名		単位	令	和元	年度		令和2	2年度	F	令	和3	年度	
		作生大只		1日		作 亦	10		丰加	上段:目	目標	下段:実績	責 上段	:目標	下段	:実績	上段:目	標	下段:	実績
								•		/	1 2	`	1	1	<u> </u>	`	/	12		`

	種類	指	標	 名	単位		令和元年度	ŧ		令和2年度			令和3年	隻
	性規	1 目	示	1	半世	上段	: 目標 下段	:実績	上段	: 目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績
11-	活動	特別栽培農産物の	の学校給食提	供者数(野菜)	人	(12)	(12)	$\overline{}$	13)
指							11			13				_
	は田	 特別栽培農産物質	生体五结 (蚊	芸 /	_	(180)	(200)	(230)
	以未	付別税均最连例。	大心山(食(土)	术 /	а		208			263				
	汗動	特別栽培農産物の	7.4.产业物(水)	٨	(16)	(18)	(18)
標	/白刬	竹別秋塩辰生物	り工圧日奴(本)			18			16				
	出出	特別栽培農産物質	5体五锤 /少	`		(1200.0)	(1200.0)	(1200.0)
	风木	付別秋垣辰生物	天心田恨 (不)	а		1123.41			1068.41				
	指標は	に関する特記事項					·						·	

3. 計画相来とう後の万円圧												
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画がわけまななけ、展の方字を図え	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×						
□ B 事業の進め方を見直り 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □												
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す												
日												
	果長 芝﨑	智士										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 農業経営安定推進事業 事務事業名 610212006 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 1 農業の振興 戦略における位置付け 施策 における位置 細施策 2 多様な担い手の確保と育成 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 農業の担い手の育成や農業生産団体の育成を図る。 事務事業本来 農業者制度資金の利子補給や農業生産団体への補助金交付により、農業の担い手や農業生産団体の育成を図る の目的・成果 ことができる。 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

	. 事務	手 業	少夫が	地桁朱												
	令和2年月 事務事業 実施内容	¥	農業生 個性的 農業近	産団体ので生きません。 で生きません。 代化資金)運営費(タ ミきとしたむ 会や農業経営	が重点作物であ を進技術の導入 いらづくりを推 は基盤強化資金 の共同で利用	、及び各 進する 等の農 する農	種会議(ための! 業者制!	の開催 事業等 度の借	等)に対 こ対する 入者に対 等に対す	する神 補助st し、和 る補助	補助金を 金を交付 句子補給	交付した。 した。 を実施し	た。 した。		
						令和:	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	9, 792	-	円		98, 754,		円			422,00	
	接		<u></u> 決	算	額	8, 203	3, 703	円	(66, 047,	<u>, 969</u>	円	予算額		北較(R3-	
١,	費			対源の有	無	■ 有	□無			有	□無	ŧ		-93,	332,00	0 円
入	٠	正	規職員	数			0.39	人			0.39	人		特詞	己事項	
	従事閥	損 再	任用職	員数		1		人		_		人			Eな増減球	
		会	計年度	任用職員	数	1		人		_		人	強い	農業・	担い手つ	ごくり
	正規職	V.——	規職員	数×平均]人件費	2,926	, 560	円		2, 784,	, 600	円	総合文	抜父气 斌敷佔	t金及びま 請事業補助	ト・问呂 h仝を
la	人件	費	参考:	:平均人	件費	7, 504	, 000	円		7, 140,	, 000	円	活用し	た事業	事来所以 とが皆減し	ルたた
	再任用單	戦員 再	任用職	員数×平	立均人件費	_		円		_		円	め。			
L	人件	費	参考:	: 平均人	件費	3, 997	, 000	円		4, 093,	, 000	円				
	会計年度任用職員	是	計年度	任用職員	の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計(直	接費+	人件費)		11, 130	, 263	円	(68 , 832,	, 569	円				
	種類		指		標	名	単位	全	和元年	度	2	令和2年	度	2	令和3年	芰
	主人共		10		TAN	Ъ	十四	上段:		段:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	と: 実績
	活動	補助	事業数				事業	(23)	(23)	(21)
指	10.23	111323	- / \				5//		25			23				/
	成果	補助	1、基本生	の可否			可否	(可)	(可)	(可)
	13021	1111247		700.1 III			.,,,,,		可			可				
								()	()	()
標																
								()	()	()
	指標に	関す	る特記	事項												

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容 成									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る									
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
B 事業の進め方を見直す (大) 内性 (株廃止) 株廃止・終了 (株廃止・終了) × (株廃止・終了) ×									
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を示く □ 皆減 □ 縮打 拡充 □ 拡充									
日 C あらゆる月度から事業主体を見直9									
経営が安定していない農業の担い手や農業生産団体に対して、事業費を補助することは、安定的な農業経営を推進するうえで有効なものであると考える。									
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 農業振興課長 芝﨑 智士									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 人・農地問題解決推進事業 事務事業名 事務事業整理番号 610112011 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 1 農業の振興 施策 2 生産性の高い、持続可能な農業の推進 戦略におけ における位置 る位置付け KP I 細施策 1 土地改良事業の推進と優良農地の保全 4 耕作放棄地解消面積(累計) 付け **後期基本計画成果指標との関連** ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 地域農業の中心となる担い手へ、効率的な農地集積を図る。 地域農業の中心となる担い手に農地の集積、集約化を図ることにより、農業者の高齢化や後継者不足、耕作放 事務事業本来 の目的・成果 棄地の増大等の問題を解消することができる。 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課

	<u>2.</u>	事務	事	業の実施	結果												
	哥	和2年月 事務事業 長施内容	ŧ	農地中間 付した。	間管理機	構を活用し	,、地域農業の	中心と	なる担い	ハ手に農	地を集	積し た	-地域に	対し、村	機構集	積協力金	を交
							令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
±	设	直		予	算	額	60	,000	円	49	9,088	,000	円			60,00	0 円
J	×	接		決	算	額	60	,000	円	26	6,668	,800	円	予算額		七較(R3-	
		費			排源の有額	Ħ	■有	□無		= 7		□無				028,00	0 円
1	시			正規職員数	• •			0.78	人			0.78	人	_		書項	
		従事閥	員	再任用職員			_		人		_		人			Eな増減理	
-	┚┃			会計年度					人				人			こ農地中 に で利用権	
		正規職	V —	正規職員数			5, 853	•	円		5, 569	-	円			に協力金	
-	ス	人件			平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	,000	円	付する	ことか	いら、当初]予算
		再任用單	~~~	再任用職			_		円		_	000	円	に交付いため		上をして	いな
	\vdash	人件			平均人		3, 997	,000	円		4 , 093	,000	円	01/207	0		
		会計年度任用職員		会計年度化		の人件費	_ 	100	円	2.0		000	円	-			
-	_	事業費	計	(直接費+	人件費)		5, 913	, 120	円		2, 238		円	- crite		^ 1n	*-
		種類		指		標	名	単位		和元年月			3和2年			6和3年	_
									上段: [と: 実績	上段:		段:美績、	上段:	目標 下段	美績
4	旨	活動	人	・農地プラ	ンに関す	する会合実施	拖地区数	地区	(12 12)	(12)		12)
j	百								1	12	\	(12)	(12	$\overline{}$
		成果	人	・農地プラ	ン作成り	也区数		地区	(12)	(0))
									(12)	(U)	($\overline{}$
*	票								`			(,	<u>`</u>		
	Δ,								()	()	($\overline{}$
									`		,	`		,			
		指標に	関	する特記事	項 新型	型コロナウ·	イルス感染症の	り感染拡	大防止	のため、	令和2	年度 <i>0</i> .	会合は	実施でき	きなか	った。	

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容													
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×							
□ B 事業の進め方を見直り 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
ロ C ちらゆる色度から東学令体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す													
農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化が実施されたことから、地域の担い手への農地集積が進みつつあると考えられる。また、「人・農地プラン」策定済みの12地区で、農地の集積・集約化に向けた地域会合の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催することができなかった。													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 農業振興語	果長 芝﨑	智士			評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 農業振興課長 芝﨑 智士								

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 農産物ブランド化推進事業 事務事業名 610312012 事務事業整理番号 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 1 農業の振興 2 生産性の高い、持続可能な農業の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 3 地域特産物の振興とブランド化の推進 細施策 KP I 3 農産物ブランド認証件数(累計) 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 久喜市産農産物について、ブランド化及び地産地消の推進を図る。 久喜市産農産物を市内外へPRすることにより、ブランド化及び地産地消の推進を図ることができる。 の目的・成果 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

久喜市農産物直売所ガイドマップの改訂版を作成し、市内の公共施設、商業施設及び直売所等に設置して配布するなど、久喜市産農産物のPRやブランド化に向けた取組みを行った。 また、久喜市産農産物用の野菜包装袋を作成し、市内の直売所に配布し、久喜市産農産物のPRに向けた取組

みを行った。

					→ 令和:	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
ı,	· 投	直	予	算 額	389	9,000	円		757	,000	円			230,000	円
ľ	JX	接	決	算 額	370), 700	円		753	, 126	円	予算額	頁との	比較(R3-F	R2)
	_	費	特定財源	原の有無	□有	■無			有	■無	ŧ			-527,000	円
	入		正規職員数			0.08	人			0.08	人		特	記事項	
		従事職員	再任用職員	数	_		人		_		人			主な増減理	
	⊐Į		会計年度任	用職員数	_		人		_		人			費が皆減と	なっ
		正規職員	<u> </u>	×平均人件費	600), 320	円		571	, 200	円	たため	0		
	ᅵ	人件費	参考: 3	平均人件費	7, 504	1, 000	円	7	' , 140	,000	円				
		再任用職員		数×平均人件費	-		円		一 円						
		人件費	参考: 3	3, 997	7,000	円	4	, 093	,000	円					
	٦ [会計年度任用職員人	会計年度任	-		円		_		円					
		事業費計	十(直接費+人	、件費)	971	,020	円	1	, 324	, 326	円				
		種類	指	標	名	単位	弇	和元年度	ŧ	4	令和2年	隻		令和3年度	
		任政	18	135	Т Ц	十四	上段:		:実績	上段:		と: 実績	上段	: 目標 下段	:実績
		活動 F	PR箇所数(カ	ゴイドマップ)		箇所	(3)	(5)	(10)
1	指	71137	NB//IXX (/			四//		3			102				
		成里里	野菜結束テープ	プ配布数		巻き	(500)	(500)	(0)
		7-20/1	コントルロントン	, HD 11-3X				500			0				
		成果した	ス支市ブラント	・認証シール配?	万类 √	枚数	(_)	(50,000		(60,000)
1	標	1307	(11)			1/2/					60,000				_
							()	()	()
		指標に	関する特記事項	項 幅広く利用で	できるよう野菜	結束テー	-プに替	えて野菜	包装组	炎を38	,000枚配	布した	0		

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容			
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
日本計画とのう天旭人は一層の九天を囚る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×		
■ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×		
■ B 事業の庭の力を充邑す	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を示く □ 皆減 □ 縮小 ■ 維持 ■ 対								
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性								
久喜市産農産物を広く周知し認知してもらうことにより、消								
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 農業振興	課長 芝﨑	智士						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 コスモスふれあいロード推進事業 事務事業整理番号 640112025 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 4 観光の振興 戦略におけ 施策 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 における位置 る位置付け 細施策 1 観光資源の発掘・活用 KP I 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 葛西用水路の両岸に市の花コスモスやポピーを栽培し、市民の一体感の醸成、ウォーキング等による健康づく の目的・成果り及び花を生かした観光資源化を図る。 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課環境経済部久喜ブランド推進課

2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	事務	事 。	業の実施	他結果														
	事	和2年原 事務事業 尾施内容				あいロード沿 水路管理者と							て年	間150万円	の収入	、があ	った。		
								令和为	元年度			令和2	2年度			令和	03年度		
t	殳	直		予	算	額		10, 314	,000	円	2	, 896	,000	円		2	, 686, 0	00	円
1.	$^{z} $	接		決	算	額		8,831	, 976	円	2	, 839	, 679	円	予算額	頁との	比較(R	3-R2)
		費		特定	財源の有	無		■有	□無		■ 1	Ī	□無	ŧ			-210,0	00	円
7	۷[正規職員	数				0.80	人			0.80	人		特	記事項		
		従事閥	員	再任用職	員数			_		人			0.80	人	(予算	額の	主な増減	姓生	3)
-	ןכ		4.	会計年度	任用職員	員数		_		人			3.00	人			ふれあい		
		正規職	_	正規職員	数×平均	匀人件費		6,003	, 200	円	5	, 712	,000	円	関係の	际早! 減ら	業務委託	い夫に上	他
-	٦ [人件費	責	参考	:平均人	、件費		7,504	,000	円	7	, 140	,000	円	回数を減らしたことによる 減額。				٦
		再任用職	~~	再任用職	員数× ³	平均人件費				円	3	, 274	, 400	円					
١,		人件費			: 平均人			3,997	,000	円		-	,000	円					
'	Ì	会計年度任用職員				員の人件費		_		円		-	, 342	円					
		事業費	計 (直接費+	-人件費)		14,835	<u>, 176</u>	円		, 394		円					
		種類		指		標	名		単位		和元年度			令和2年			令和3年		
	ļ	1277		,11		120			1 1-2	上段:	目標 下段	:実績	上段:		段: 実績	上段		段:	実績
		活動	コス	.モス一番	筝種まき	ボランティ	ア数		人	(750)	(750)		750)
扌	i			•						, ,	731		,	-			10.00	_	Į.
		成果	市ホ	ニームペー	-ジへの	アクセス数			件	(14,000)	(19,000			19,00	10)
	ŀ									/	14, 219		/	8,519		,	ΓΛ Λ	<u> </u>	$\overline{}$
+	票	成果	コス	モスフェ	ιスタ来	場者数			人		50,000)	(50,000)		50,00	10)
T	示									(40,000	\	(\	-		_	$\overline{}$
										()	()				
	-	お	- 関ラ	トス特記	車頂 並	刑コロナウ	イルフ	成沙壳鱼		 ─₩₨₺ः	· かたか	△和?	生度/	ハコフエ・	フフェニ	7 <i>わ</i> l-	thut V		-
		指標に関する特記事項 新型コロナウ					・ルク	心心不证	バジオル	インノトリコエ	_0//_0/\	다 자 다	十尺り	ソコヘヒ	ヘノエノ	ヘノロ	トナエし	<u> Ф Л</u>	<u> </u>

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容				
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ 八 計画とのう天旭久は 信の九天を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を示く □ 皆減 □ 縮小 ■ 維持 ■ 拡充 □ 放力 □ 放力 □ 放力 □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □									
塗りつがしてください。 コスト投入の方向性									
コスモスふれあいロードにコスモス及びポピーを栽培し、適 正な維持管理を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、コスモスの種まきや除草等の市民との協働作業は取り止め、コスモスの種まきや除草等の市民との協働作業は取り止め、コスモスの表増については、SNS等を活用し市民ボランティア参加者の更なる増加を図る。 また、コスモスふれあいロードが、市民の健康づくりや観光資源として活用されるよう適正な維持管理に努める。									
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 農業振興	課長 芝﨑	智士							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 あやめ・ラベンダー植栽維持管理事業 事務事業名 事務事業整理番号 640112026 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 大綱 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 4 観光の振興 施策 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 戦略におけ における位置 る位置付け KP I 細施策 1 観光資源の発掘・活用 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 環境にやさしいまちづくりを基本理念として、花しょうぶ・ラベンダー育成のための圃場の管理を行い、緑化 事務事業本来 の目的・成果 の推進並びにブルーフェスティバルの開催に貢献することを目的とする。 所管部課 環境経済部農業振興課 関係部課 環境経済部久喜ブランド推進課

重発重業の実施結果 2

		未り大心心不			
1	和2年度事務事業実施内容	蒲城趾あやめ園では、老朽化	とした木道及び手摺の修繕を もした。なお、新型コロナウ	支所周辺のラベンダーの適正 実施した。また、ラベンダー イルス感染症の感染拡大防止	圃場では、枯死してしまっ
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
投	直	予 算 額	10,521,000 円	10,432,000 円	8,260,000 円
1X	接	決 算 額	10, 433, 487 円	10,318,430 円	予算額との比較(R3-R2)
_	費	特定財源の有無	□有 ■無	□ 有 ■ 無	-2, 172, 000 円
入		正規職員数	0.90 人	— 人	特記事項
	従事職員	再任用職員数	一人	0.90 人	(予算額の主な増減理由)
⊐		会計年度任用職員数	— 人	- 人	令和元年度、令和2年度
	正規職員	正規職員数×平均人件費	6, 753, 600 円	一	と菖蒲城趾あやめ園及びラ ベンダー圃場の老朽化に伴
l ス	人件費	参考:平均人件費	7,504,000 円	7,140,000 円	う修繕を行った。施設の不

3,683,700 再任用職員 人件費 参考:平均人件費 3,997,000 円 4, 093, 000 円 会計年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費 円 円 14,002,130 事業費計(直接費+人件費) 17, 187, 087 円

う修繕を行った。施設の不 具合が解消された令和3年 度は修繕料を減額した。

円

権類 指 名 単位 令和元年度 令和2年度 令和3年度 上段:目標 下段:実績 上段:目標 「日本 上面:」目標			,		. , ,	,			,	00-	,							
指 上段:目標 下段:実績 上段:目標 「日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日本:日			括粨		9	半位	4	令和元	年度			令和2	2年度	產		令和3	3年度	
指 活動 あやめ (花じょうか)・ラベフター育成数 株 27,000 27,000 成果 ブルーフェスティバル入場者数 人 (200,000) (200,000) (200,000) () () () () ()			作出块	1日 1示	11	丰山	上段:	目標	下段:	実績	上段	:目標	下段	:実績	上段	:目標	下段:	実績
成果 ブルーフェスティバル入場者数 人 (27,000 27,000 27,000) (200,000) (200,000) (200,000) () () () () () ()			汗 新	ちかめ (花しょうぶ) ・ラベン	ガー会成物	批	(27, 0	000)	(27,	000)	(27,	000)
	ŧ	旨	心到		ター 自以奴	1本		27, 0	000			27,	000			_		
() ()			出出	ブル・フェフニッパル 7 担之粉			(200,	000)	(200,	000)	(200,	000)
			风未	ノルー ノエスティハル八場有致 				170,	000			_	_			_		
							()	()	()
	木	票														_		
							()	()	()
																_		

円

指標に関する特記事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度のブルーフェスティバルは中止となった。

3. 評価結果と今後の方向性

再任用職員数×平均人件費

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容				
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □スト投入の方向性、成果の方向性を赤く 皆減 縮小 維持 拡充 向性及び事業の方向性を赤く									
ロ C のうゆる声度から事業主体を見直9									
花の欠損株部の植替えを実施した。 また、菖蒲城趾あやめ園の施設の老朽化に伴い、修繕を実施した。 した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ブルーフェスティバルは中止となり、あやめ(花しょうぶ)、ラベンダーについても開花前剪定を実施した。 「大ラクターの老朽化が進行していることから、買替を検討する必要がある。 あやめ(花しょうぶ)やラベンダーの補完として、昨今の長雨や猛暑といった厳しい気候の中でも比較的育成がしやすい、新たな植物の導入も視野に入れ、菖蒲城趾あやめ園、菖蒲総合支所周辺ラベンダー圃場の生育状況を全面的に向上、安定を目標とした適正管理を実行し、花の充実を図る。									
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 農業振興課長 芝﨑 智士									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 婚活支援事業 事務事業整理番号 360212102 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 6 地域福祉・地域ボランティアの充実 戦略におけ 1 結婚・妊娠・出産の支援の充実 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 地域福祉推進組織の活動支援 KP I 1 婚活支援事業補助金交付件数 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 結婚を希望する市民が、活動しやすい環境づくりを促進する。 の目的・成果 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

2. 事務事業の実施結果

			出張登録会を8月、12月、1月 リの運営や婚活パーティーな	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
古	字 質 妬	400 UUU III	QQ	113 UUU <u>m</u>

	投	直		予	算	額		488	,000	円		88	,000	円			443,	000	円
	1X	接		決	算	額		153	,000	円		88	,000	円	予算	額との)比較	(R3-R	2)
	_	費		特定財	源の有類	無		有	■無			有	■無	Ę			355,	000	円
	人		正規	見職員数	攵				0.18	人			0.18	人		特	記事項	Į	
		従事職員	再	壬用職員	数			_		人		_		人		算額の			
	\Box		会	十年度任	£用職員	数		_		人		_		人		和2年度			
		正規職員	正規	見職員数	女×平均]人件費		1, 350	,720	円		1,285	, 200	円	が かった	支援事 績に基	美佣助 づき減	金を必 額した	<u></u> シナ
	ス人件費		参考:	平均人(件費		7,504	,000	円		7, 140	,000	円	め。	以に生	J C 1194	DR O /	_,_	
	再任用職員	再何	壬用職員	員数×平	均人件費		_		円		_		円						
	L	人件費		参考:	平均人(件費		3,997	,000	円		4, 093	,000	円					
	1	会計年度任用職員人件	会	計年度任	£用職員	の人件費		_		円		_		円					
		事業費計	(直	接費+人	人件費)			1,503	,720	円		1,373	, 200	円					
		種類 指		標	名		単位	<u>수</u>	和元年	篗	4	令和2	年度		令和3	年度			
		作生大只		18		你	11		丰世	上段:	目標 下段	: 実績	上段:	目標	下段:実	漬 上段	:目標	下段:	実績
		成果婚	活支	摇事業	補助金で	交付件数			件	(3)	(4)	(5))
- 1	ᅫ	/-/V/N ND	$^{\prime\prime}$		1111247777	~ I J I I X X				I	2		I	Λ			_		

	俚規	相	示	4	半位	上段	:目標	下段:	: 実績	上段	:目標	下段:	実績	上段:	目標	下段	:実績
	成里	婚活支援事業補助	h全交付 供 数		件	(3)	(4)	(5)
指	PA.A.	知/1人]及 丁木 們以					2				0				_		
						()	()	()
															_		
						()	()	()
標															_		
						()	()	()
															_		
	指標に	関する特記事項	令和2年度は	コロナ禍である	ため募	集を行	うわなれ	かった									

3. 計画相来とう後の方向性						
総合評価と判断理由	_	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天旭大は 層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
令和2年度からの新たな取組みとして、SAITAMA出会いサポートセンターの出張登録会を受け入れた。8月、12月、1月、3月の4回実施し、すべて定員(10人)に達した。3市3町結婚支援広域連携事業として婚活パーティーを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止した。	できるよう また、新	う、オンラィ ffたな取組る	域連携事業 イン形式も; みとして、,	含めて検討	していく。	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 久喜ブラン	ンド推進課長	長 榎本 〕	正則			

<u>1. 事務</u>事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 雇用対策事業 650112105 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 5 勤労者福祉と就業支援の充実 施策 3 市内で働く人材を育て生かす 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 1 雇用機会の確保と地元就職の促進 付け ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 就職を希望する市民や求人の斡旋を希望する事業者に対して、必要な情報の提供を行い地域住民の雇用対策の充実を図る。また、国が設置するふるさとハローワークの円滑な運営の支援を実施する。 各相談事業へのニーズは依然として高く、就業希望者への情報提供や相談の場を提供することで、雇用機会の 事務事業本来 の目的・成果 確保や地元就職の促進に寄与する。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

2	. 事務	8事業の実施結果										
2	3和2年 事務事第 実施内容	<mark>業</mark> 実施した。また、ハローワ−	引職員)を1名配 -ク春日部と連 3介を実施した	配置し、 携し、 。	毎週火 市役所2	く・金曜日の1 2Fでふるさと	10:00~1 :ハロー	12:00、13 ワークを3	3:00〜1 運営し、	6:00ま 月〜金	で内職相 全の9:00	談を 〜
			令和元	元年度		令和	02年度			令和3	3年度	
投	直	予 算 額	927	,000	円	30	00,000	円		2	276,000	円
1×	接	決 算 額	854	, 951	円	25	76, 664	円	予算額	真との比	.較(R3-F	₹2)
_	費	特定財源の有無	□有	■無		□有	■無	ŧ		-	-24,000	円
入		正規職員数		0.06	人		0.07	人		特記	事項	
	従事日	雅 員 再任用職員数	_		人	_		人			な増減理	
		会計年度任用職員数	_		人		0.40	人			を過去の! したため。	
	正規暗			, 240	円	-	99,800		に至ノ	ごが供り	U1=1=0)	3
ス	人件	5.0 · 120/01 K	7, 504	, 000	円	7, 14	10,000					
		職員 再任用職員数×平均人件費	_		円	_		円				
	人件	タリ・ドが付兵	3, 997	,000	円	,	93, 000					
	会計年度任用職	ム川十及江川柳兵の八川兵	_	101	円		2, 322					
	事業費	計(直接費+人件費)	1, 305	, 191	円		38, 786			^	<u> </u>	
	種類	指標	名	単位		和元年度	_	令和2年			和3年度	-
					上段:日	3標 下段:実	植上段:		党:美績	上段:日		美績
指	成果	内職相談利用者数		人	(150) 134		150 145)		150	
担					(27)	(27)	(27	_
	成果	内職あっ旋率		%	(20.2		20.6	,			
		久喜市ふるさとハローワークで(の恵田知談に		(64.2	(65.5)	(66.5	$\overline{}$
標	成果	おける市内就職率	7/雇用怕談に	%		77.8		73. 7	,		00.5	
		久喜市ふるさとハローワークの	 雇用相談にお		(9,500	(9,500)	(9,500)
	成果	ける雇用相談利用者数	E. 13 [HEX.100)	人	`	6,581		6,548		_		
	指標は	こ関する特記事項					•					

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのが天肥文は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッの内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
ふるさとハローワークの雇用相談における市内就職率は、目標を超えている。雇用相談利用者数は、令和元年度から横ばい傾向にあり、身近な場所に窓口があることから、コロナ禍においても雇用機会の確保や地元就職の促進に寄与している。内職相談については、利用者数及び斡旋率は令和元年度より上昇しており、引き続き、子育て等のため外で働けない方やコロナ禍による求職者の身近な相談場所として維持する必要がある。	あることだる。 他市町村 とから、現	物についてにから、関係が対に出向かる 対に出向かる 見状を維持し なページだけ ていく。	機関と連携 ず、身近な っていく。	を図り、適 相談窓口と	切な対応か	び要であしているこ
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 久喜ブラン	ノド推進課	長 榎本 [正則			

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 商工融資事業 630112113 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 3 商業の振興 戦略における位置付け 施策 における位置 <mark>細施策</mark> 1 魅力ある商店街づくり KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 市内で事業を営む中小企業者を対象に必要な資金を融資することにより、中小企業者の経営の安定化・合理化、 設備の近代化等を図り、市の商工業振興に寄与することを目的としている。 事務事業本来 の目的・成果 市内の中小企業者に資金の支援が行われ、安定した経営に寄与している。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

_2	· ·	事務	事業の	実施	結果												
,	事務	2年度 多事業 極内容	融資	はなく	く、令和	13年3月31日	特別小口資金融 日現在で5件融 済に伴う信用(資中でま	5る。						資事	業があり	、新規
							令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
抄	Ţ	直		予	算	額	3, 774	,000	円		3, 114	, 000	円		1,	504,0	00 円
32	1	接		決	算	額	2, 273	3, 573	円		1, 183	, 290	円	予算額	頁との	比較(Ri	3-R2)
١,		費	特	持定財	源の有	無	□有	■無			有	■無			-1,	610,0	00 円
J				職員数	文			0.03	人			0.09	人		特語	記事項	
	従	事職					_		人		_		人			主な増減	
=	_اٍ ا				£用職員		_		人				人			が令和元 ノている	
		規職	~ I —]人件費		, 120	円			, 600	円	יייייי	ルジし	ノしいる	/_0/0
7	` <u> </u>	人件費	=		平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	, 000	円	_			
						均人件費	_		円			000	円				
ŀ	├	人件費	=		平均人		3, 997	,000	円		4, 093	, 000	円				
		度任用職員人	- 11-1	1		の人件費	2 400	(02	円		1 025	000	円	_			
_	争	業費記	†(但接	賀+ノ	人件費)		2, 498	6,693	円	10-7-	1,825		円	曲		Δ10 2 <i>t</i> r	oric .
	種	類		指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年 目標 下	
	-								上段:日	∃信 N	段・夫領	上按・	日信 P. 1	段・夫領	上技・	日信	技・夫 領
指	』 活	動制	制度融資	件数				件	(0			0	,			
31									(100)	(100)	(100)
	成	成果 融資実行率						%		0	,		0	,		100	
							()	()	()		
桐	Ē									,			,	_			
						()	()	()			
	指	標に	関する特	寺記事	項			-									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天心大は 眉の儿天を図る	かの	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中未の年の月を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
市内中小企業者が必要とする運転資金や設備の近代化に対する資金融資制度の存在は欠かせない。 融資5件が継続中である。 令和2年度は既存融資の内、1件が期限内完済されたことから、信用保証料の補助を実施し、中小企業者の負担軽減が図られたと考えている。	資利用者が用、税収の金融資制度 1.40%とし保証となる	ュページ等で が少ない状況 り安定に寄り きはいいでで いる見制される が運用される	兄である。: 与するため ある。平成: 令和2年度 舎 等が創設	企業の安定 、セーフテ 29年度から ぎはコロナギ された。今	経営が、市 ィネットと 市制度融資 間により、 後も、本市	i民の雇 :しての資 近の利率を 無利子無 i以外で有
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 久喜ブラン	ノド推進課	長 榎本 .	正則			

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名商工会補助事業 630112114 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 3 商業の振興 施策 における位置 <mark>細施策</mark> 1 魅力ある商店街づくり KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市内商工業の総合的な発展を図るため、また地域の経済団体として活躍する商工会の運営費等について、予算 の目的・成果の範囲内で補助金を交付し、円滑な事業の推進を図る。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

2	. 事務	事:	業の実施	結果												
1	和2年 事務事業 実施内容	≝	補助金3 予算の範			商工会が実施	する経	営改善	普及事業、	、地均	ぱ総合 振	興事業	等の事績	業費の1/	/3以内、	かつ
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和3	年度	
投	直		予	算	額	64, 576	,000	円	66	, 771	,000	円		64,5	76,00	0 円
1×	接			算	額	64, 576	,000	円	65	, 921	, 525	円	予算額	真との比		
١,	費			挪の有	無	□有	■無		□ ≉		■無				95,00	0 円
入			正規職員数	• •			0.05	人			0.08	人		特記		
	従事的	員	再任用職員			_		人		_		人		額の主		
			会計年度任					人				人	新型 完分等	コロナワ 事業(労	フイルス 終相談:	(感染 으
	正規職	V.—	正規職員数				, 200	<u>円</u>			, 200	円		ずえ (カ ーデリ/		
ス	人件	_		平均人		7, 504	,000	円	7	, 140	,000	円	が終了	したため	か。	
	再任用單人件資	-VV -	再任用職員			2 007	000	<u>円</u>	4		000	円	•			
1		_		平均人		3, 997	,000	<u>円</u>	4	, 093	,000	円	•			
	事業費		会訂年度1		の人件費	64, 951	200	<u>円</u> 円	66	402	, 725	円円	•			
	尹未貝	ēΙ	(但汝貝丁.	八十貝)		04, 931	, 200		和元年度	_		<u>口</u> 和2年	r it		和3年	÷
	種類		指		標	名	単位	上段:		· :実績			·区 设:実績		加る平原	-
									2,670)	<u></u>	$\frac{2,670}{2}$			2,670)
指	活動	商_	C会加盟商	店数			数		2,539	,		2, 535			2,010	,
,,,							(58)	(58)	(58	$\overline{}$	
	成果	成果 商工会組織率				%	`	52.6	,		54.1	,				
						()	()	()		
標														_		
								()	()	()
															_	
	指標に	.関	する特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう失肥人は 指の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
商工業者の自主的な組織である商工会は、商工業の振興はもとより、地域社会の社会的、文化的側面においても大きな役割を果たしている。また、地域活性化の推進役としての期待もされている。 補助金の交付により、商工会の円滑な事業推進に寄与している。	れた地域の 商工会は	の発展のため は商工業の技	めに、支援 _{振興} だけで	の継続が必 なく、地域	支援強化、 要である。 活性化にま を行ってい	いて重要
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 久喜ブラン	ノド推進課	長 榎本	正則			

<u>1. 事務</u>事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 企業等誘致事業 620212117 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 2 工業の振興 施策 戦略におけ 施策 ビジネスチャンスを拡大し、地域産業を活性化 における位置 る位置付け KP J 細施策 2 企業誘致の積極的推進 付け □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 奨励金・助成金を交付する優遇措置を講じて企業を誘致をすることにより、産業の振興及び雇用機会の拡大を図 り、経済の発展及び市民生活の向上を図ることを目的にしている。 企業を誘致することにより、工業を中心とした産業の発展と、市民の雇用機会を創出でき、さらに、企業の進 事務事業本来 の目的・成果 出により固定資産税、法人市民税、個人市民税などの税収の増加につながり、自主財源の確保ができる。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課 建設部都市整備課

2	. 事務	8事業の実施結果												
	3和2年 事務事第 実施内容				久工業	団地周边	辺地区に対	進出し	た企業	美を対象	:に、条(列で定め	る範囲	にお
				令和元	元年度			令和2	2年度			令和3	年度	
+ л	直	予 算	額	112,830	,000	円	51	, 603,	, 000	円		22, 7	60,000) 円
投	接	決 算	額	112,829	,005	円	49	, 944,	800	円	予算額	頁との比	較(R3-	R2)
	費	特定財源の有	Ħ.	□有	■無		口有	Ī	■無			-28, 8	43,000) 円
入		正規職員数			0.10	人		(0.12	人		特記事	事項	
	従事日	再任用職員数				人		_		人		額の主な		
		会計年度任用職員		_		人		_		人		対象企業	(数の減	等に
	正規暗				, 400	円			, 800	円	よるも	Ο)。		
ス	人件	27.120		7, 504	,000	円	7	<u>, 140,</u>	, 000	円				
		職員 再任用職員数×平		_	200	円		_	200	円	_			
	人件	2 3 1.37		3, 997	,000	円	4,	, 093,	, 000	円	-			
	会計年度任用職	五川十及江川県兵	の人件質	112 570	405	円	го		(00	円	-			
	事業費	計(直接費+人件費)		113, 579	, 405	円		, 801,		円		<u>^</u> 1		-
	種類	指	標	名	単位		和元年度			和2年			和3年度	
						上段:E	3 6,433,000			日信 「 1,603,		上段:目:	信 下段 760,00	
指	活動	奨励金交付額			円	`	, 433, 000 ., 829, 00	,		, 944,		(22,	700,00	10)
110						(6)	(3)	(2	$\overline{}$
	成果	奨励金交付対象企業数	汝		件		6			3		<u> </u>		
						(-)	()	()
標	:													
						()	()	()
	指標は	に関する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
他自治体との競争に勝ち、進出先として選択してもらえる工業団地にすることは重要である。また、工業団地に進出する企業にとっても、手厚い優遇措置は本市に立地を決定する上で大きな要因となる。 現在、特定地域のすべての区画が売却済みとなり、企業進出・操業が行われていることから、市内雇用及び財源確保が図れていると判断している。	進出を希 団地の選別 奨励金等 蒲南部産業	希望する企業 Eを行う必要 等交付は、第 美団地6年、	業はあるが、 要がある。 条例・規則 清久工業団	、空き区画 により期限 団地周辺地[進出が見込 がなく、新 ! (菖蒲北部 ヹ3年) を設 業を継続し	たな産業 が地区・菖 けている
評価年月日令和3年6月28日評価者職氏名久喜ブラン	ノド推進課	長 榎本 .	正則			

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 創業支援補助事業 620312119 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 2 工業の振興 施策 戦略におけ 施策 1 ビジネスチャンスを拡大し、地域産業を活性化 における位置 る位置付け 2 空き店舗活用創業等支援補助金交付件数(累計) KP I 細施策 3 新産業創出等への誘導 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 平成26年6月20日付で国から認定を受けた久喜市創業支援事業計画に基づき、久喜市商工会主催の創業塾の開催 事務事業本来 や、特定創業支援事業を受けた証明書の発行等を行い、市内の創業希望者を支援する。 また、空き店舗を活用した新規創業を支援することにより、商店街の活性化及び空き店舗の解消を図る。 の目的・成果 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

-	2.	事務	事業の実	施約	課												
	•			2年11	1月17日	日から12月	8日にかけて、	久喜市	商工会	こて計4回	の創	業塾を	オンライ	イン形式	CZ00	M) にて	実施し
	月	和2年原務事業長施内容	創業	金交值	付要綱	業支援を受 に基づき、 限100万円	受けた者に対し 空き店舗を活)	、特定 用し新	創業支持 たに創	援事業を 業する者	受けた に対し	:証明書 ,て、賃	書の発行 賃借料、	を行った 改修等紙	た。 経費、	広報費の	01/2を
			·				令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
l,	设	直	予	7	算	額	5,000	,000	円	2	, 500	,000	円		4,	000,00	10 円
,	^	接			算	額	3, 926	,000	円	2	, 460	,000	円	予算額		比較(R3	
	,	費			の有	無	□有	■無		□ 1	_	■無				500,00	0 円
1	시		正規職					0.09	人			0.14	人			己事項	
		従事閥					_		人		_		人			Eな増減	
-	וי		会計年						人		_		人				
		正規職				人件費		, 360	円			, 600	円	か。	J. H. C	· 假开 U /	د/ <i>د</i>
-	ス	人件費 参考:平均 再任用職員 再任用職員数×				7, 504	, 000	円	7	, 140	,000	円	<u> </u>				
		~~~				_		円		_	000	円	_				
	$\vdash$				均人		3, 997	,000	円	4	<b>,</b> 093	, 000	円	<u> </u>			
		会計年度任用職員				の人件費	4 (01	270	円	_	<u> </u>	(00	円	<u> </u>			
	4	事業費	計(直接費	[十人	件費)		4, 601	, 300	円		459		円	<u></u>		<u> </u>	ᅉ
		種類	į	旨		標	名	単位	上段: [	和元年度			和2年			和3年	
									上段・日	<u> </u>	· <del>夫</del> 領	上按・	<u>日信 「</u> 5	技・夫領	上段・	<u>目標 下</u> 野	文・ <del>夫</del> 領 \
١,	诣	成果	空き店舗活	師創	業等	支援事業補	助件数	件	(	<u> </u>	)	(	3	)			)
]	日						(	30	)	(	30	)	(	30			
		成果 創業塾参加者数			人	(	10	,	(	15	,						
	ŀ					(	5	)	(	5	)	(	5				
ŧ	票	成果	成果   特定創業支援事業を受けた証明書の発行数	書の発行数	件	`	12	,	`	4	,						
									(		)	(	•	)	(		)
											-	-		-			
		指標に	関する特調	己事項	Į.												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×				
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日でのグラの内皮がグラ子未上体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
久喜市商工会主催の創業塾等において、市内での創業を促すとともに、補助金交付により3件の空き店舗を活用した創業を支援し、商店街活性化及び空き店舗の活用に繋がった。今後も本事業を継続することで、市内での創業を促し、商工業の活性化及び空き店舗の解消を図る。	強化を図る 引き続き 金を交付す	る創業支援を る。 き、創業塾等 けることで、 空き店舗の原	等の開催及 市内創業	び補助金交者への支援	付要綱に基	でき補助				
<u>評価年月日</u> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 久喜ブランド推進課長 榎本 正則										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 ビジネスグランプリ事業 事務事業名 事務事業整理番号 620312120 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 工業の振興 戦略におけ 施策 1 ビジネスチャンスを拡大し、地域産業を活性化 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 新産業創出等への誘導 1 ビジネスコンテストの応募件数 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 全国からビジネスプランを募集し、ビジネスグランプリを実施することで、新たなビジネスチャレンジを支援 の目的・成果し、本市をビジネス拠点とする起業家の創出を図る。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

	2.	事務	事	業の実施	結果												
	耳	和2年度事務事業 実施内容		20日(土)	に開催	した。	義所及び久喜市 1件、優秀賞2 [,]						ブネス <i>:</i>	グランプ	با2020 لرا	を令和3年	3月
							令和:	元年度		令和2年度				令和3年度			
	投	直		予 算 額		607,000 P		円			, 000	円		559,000 円			
		接		<u>決</u>	算	額		,905	円			, 380	円	予算客		比較(R3-F	
	,	費			排源の有無	#	□有	■無			有	■無	_			-70,000	円
•	入		- 1	正規職員	• •			0.11	人			0.19	人		特記事項		
		従事職		再任用職員			_		人				人			な増減理	
	⊐		_	会計年度			_		人			100	人	報償費及び需用費を過去 の実績に基づき減額したた			
		正規職		正規職員数			825, 440		円	1, 356, 600 円		め。			, , , ,		
	ス	人件費			平均人作		7, 504	1,000	円		7, 140	, 000	円				
		再任用職 人件費	損	再任用職員					円			_					
	<b> </b>	会計年度任用職員.		参考 : 会計年度(	平均人的		3, 99 1	97,000 円 · 円			4, 093	, 000	円	_			
		事業費記		云訂平反1		の人件頁	1,377			1,910,980 円							
H		尹未貝司	51 (	(巴)女貝丁.	八仟貝)		1,377	, 343		1,910 6和元年度		<del>○</del> <b>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>		上 F度 今和2年		和3年度	
		種類		指		標	名	単位		741元年度 ア州 2 年 目標 下段:実績 上段:目標 下段					-		
									(	30	)	(	30	)	(	30	)
-	指	成果	ビシ	バネスコン	テストの	D応募件数		件		16	,		6	,	<u> </u>	<u> </u>	
									(		)	(		)	(		)
											-			-			
									(		)	(		)	(		)
7	標																
									(		)	(		)	(		)
		指標に	関	する特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	の	維持	×	改善	現状維持	×					
■ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
■ B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			人の方向性						
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、原則無観客での開催となったが、ビジネスグランプリを開催し、市内での創業者を増やすこで、空き店舗対策や地域経済の活性化へ繋げていく。リを開催することで、潜在的創業者の発掘や創業への意欲醸成に寄与していると考えている。 令和2年度の応募件数が6件であったため、情報発信や開催方法の見直しを検討する。											
<u>評価年月日</u> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 久喜ブランド推進課長 榎本 正則											

1. 事務事	業概要		対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	産学共同研究支援事業	事務事	業整理	番号	430112122
総合振興計画 における位置 付け	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 第2期総合	基本目標	-  -		
	施策 3 高等教育機関との連携 戦略におけ	施策	-  -		
	<mark>細施策</mark> 1 高等教育機関との連携 additional a	KPI	_  -		
		十画実施計画	画への掲	<b>引載</b>	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	市内企業の技術向上及び新事業創出を図るため、大学等の有する 開発を行う市内の中小企業等に対し補助金を交付する。	優れた技術	等を活	用し、店	産学共同により研究
所管部課	環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課				

## 2. 事務事業の実施結果

	<u>. 事務</u>	) <del> </del> 十	:V/ <del>/</del>	ルビ小ロフ	<u> </u>												
- 1	和2年 事務事業 実施内容	<b>善</b>	補助金	金制度の	の活用を図るだ	こめ市ホ	៶ームペ	ニージ上	に掲載	するこ	とで周知	Dを図 [·]	った。				
							令和为	元年度		令和2年度			令和3年度				
投	直		予	算			1, 107, 000 円				1,108	,000	円	0 円			
JX	接		決	箅	額	454,		,000	円			0	円	予算額	予算額との比較(R3-R2)		
	費		特定	財源の	)有無		有	■無			]有	■無	ŧ		-1,	108,00	)0 円
入		Ī	正規職員数			0.02 人				0.03	人		特訓	2事項			
	従事閥	損再	再任用職員数				- 人				_		人			Eな増減	
		会	計年	度任用單	<b>職員数</b>		_		人 — 人					の見直			
	正規職	V.—	正規職員数×平均人件費		150,080 🖰				214, 200 🖽			<mark>─</mark> 検討をすることとしたこと <mark>─</mark> による皆減。			اعت		
ス	人件	費	参考	:平均	]人件費	7,504,000 円			7, 140	,000	円	1000	□ // <del>-</del> // ₀				
	再任用職	.,,,,			×平均人件費				_		円						
	人件		参考:平均人件費		3,997,000 円			4, 093	,000	円							
	会計年度任用職員人件費 会計年度任			職員の人件費			円		- 円								
	事業費	計(直	ī接費·	+人件	費)		604	, 080	円	214, 200 円							
	種類		指	á	標	名	夕	単位		令和元年度		令和2年			令和3年度		
	12700		1日 1示		П		1 14	上段:	標下	段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:		设:実績	
	活動	事業	当と大	学等と	の調整件数			件	(	2	)	(	2	)	(	0	)
指	.,,								,	1	,		0			$\stackrel{}{\longrightarrow}$	
	活動	事業	きへの	補助金	の交付件数			件	(	2	)	(	2	)		0	)
									,		,	,	0		,		$\overline{}$
標									(		)	(		)			)
你									(		``	(		\	(		$\overline{}$
									(		,	(		)			
	指標に	問さ	ス性記	車佰													<u> </u>
	1日/示し	-  天] 9	今は町	争识													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容						
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
日 A 計画とのグ天旭人は 盾の儿子を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
■ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
■ D 事業の庭の力を允良す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
日でのうゆる丹皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性						
大学等の優れた技術を生かし、産学共同研究を行うことは、 市内企業の技術向上及び新事業創出を図るために有効である。 しかし、令和2年度は本事業の活用企業が無かった。そのため、本事業の成果を上げられるように事業内容等を見直す必要がある。	交付企業の 産学共同 ホームペー 促進を図っ	)その後の終 同研究支援 - ジ等への持	経過につい 事業を推進 掲載により また、交付	ても注視す するため、 制度周知を 実績等を加	て総合的に る必要があ チラシの活 図り、事業 I味し、ニー	る。 用や市 者の利用					
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 久喜ブランド推進課長 榎本 正則											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 観光協会補助事業 640112132 事務事業整理番号 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 4 観光の振興 施策 における位置 細施策 1 観光資源の発掘・活用 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 観光事業の振興により市の繁栄を図るとともに、観光資源の創造と地域社会の発展に資するため、観光協会に の目的・成果対し補助金を交付する。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	<u>. 争约</u>	争未	り美他	<u> </u>									
1	令和2年度 事務事業 実施内容												
					令和	元年度	F度 令和2年度			令和3年度			
投	直		予	算 額	21,013	21,013,000 円			,000 円	24, 203, 000 円			
18	接		決	算 額	21,013	,000	円	20,500	,720 円	予算額	質との比較 (R3-R2)		
	費		特定財	源の有無	■ 有	□無		■有	□無		1, 264, 000 P		
入		ī	E規職員数			0.29 人			0.29 人		特記事項		
	従事日	員	<b>F任用職員</b>	数	_	- 人			人	(予算額の主な増減理由)			
$\Box$		쉳	計年度任	E用職員数	_		人	_	人	観光協会職員の勤務日数			
	正規聵	V	E規職員数	<b>X</b> ×平均人件費	2, 176	2, 176, 160 円		2,070	,600 円	■を増やしたことに伴う、補助金増額のため。			
z	人件費		参考:	平均人件費	7, 504	, 000	円	7, 140	,000 円	內亚坦	<b>市民のファミロフ</b> 。		
	再任用耶	-742	任用職員	数×平均人件費			円	1	円				
	人件	費	参考:平均人件費		.,,		円	4, 093	,000 円				
	会計年度任用職	員人件費	会計年度任用職員の人件費		_		円						
	事業費	計 (i	直接費+)	人件費)	23, 189	, 160	円	22, 571	,320 円				
	種類		指	標	名	単位		和元年度	元年度 令和2年		令和3年度		
	一十八八		10	13%	.н	十四	上段: 目				上段:目標 下段:実統		
	活動	補助:	金			円		,013,000)	( 22, 329,		( 24, 203, 000 )		
指	71123	1113-73.					21,	, 013, 000	20, 500,	720			
	活動	観光	協会会員	数		人	(	450 )	( 450	)	( 450 )		
	71123	1,070		~~				175	177				
	活動	補助	対象事業	費		円		, 211, 791 )	( 26, 509, 100				
標			コン・コン・エントア				26	, 622, 939	30, 799,	814	(54)		
	効率	   効率   観光協会総支出額に占める事業			費率	%	(	46 )	( 49	)	( 54 )		
	+12+1番1・	- 88 -+	った司事	T古				42	15				
	指標は	-	る特記事	· · · · ·									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前側とのり天爬入は 盾の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
日でありゆる内皮がり事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性						
観光協会は、各地区を代表する祭りへの人的支援、財政的支援、財政的支援や各種イベントへの出店や後援、観光のPRなどを行っている。 る。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントや祭り等が中止や規模縮小になったが、花火大会テレビ中継を行うなど、コロナ禍においても久喜市の観光振興が図られた。今後の新型コロナウイルス感染症の収束も見据えて観光振興の充実を図る必要がある。											
評価年月日   令和3年6月28日   <mark>評価者職氏名</mark> 久喜ブランド推進課長 榎本 正則											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 観光情報発信事業 事務事業整理番号 640212133 大綱 6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 4 観光の振興 戦略におけ 施策 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 における位置 る位置付け 4 観光イベントの来場者数 細施策 2 観光PR活動の強化 KPI 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 市ホームページ、広報紙などの媒体や情報誌への関係記事の掲載、パンフレットの配布などを通して、観光情 事務事業本来 の目的・成果報を市内外に広く周知することにより、市の魅力向上を図った。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

2	. 事務	事	業の実施	結果												
1	和2年 事務事第 実施内容	業				ュページやS♪ ♪ど、積極的に					1、栗橋宿	゙゚ガイ	ドマッ	プの増刷や	や、観光	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙
						令和	元年度			令和2	2年度			令和3年	F.度	
投	直		予	算	額		5,000	円		1,920,	,000 🖺	3		29	3,000	円
JX	接			算	額	663	3,074	円		1 <b>,</b> 889,	, 178 🖺	}	予算額	頁との比較		2)
١,	費			源の有	#	□有	■無		□有 ■無				-1, 62		円	
入			正規職員数	-			0.50	0.50 人			0.41 <mark>ㅅ</mark>	<u> </u>		特記事		
	従事日	員	再任用職員	4541		_		人		_	人			算額の主な増減理院		.,
			会計年度任			_		人			0.31 <mark>사</mark>			12年度は観光ガイ え委託料等を計上し		
		規職員 人件費 「会者:亚均人件费					2,000	円		2, 927,	400 <mark>ロ</mark> が.			バ、令和3年度について		
ス		人件費 参考:平均人件費 近日職員 再任用職員数×平均人件費			7,504	4,000	円	.,				委託料等の計上 から減額となっ		がないこ	こと	
	再任用第	1007				2 001	7 000	円		4 002			かり减	観となっ	(いる。	
1	八十	貝		平均人		3, 99	7,000	円		4, 093,			•			
	事業費	6員人件費 <b>3三上</b>	会計年度任 (直接費+)		の人件質	/ /1/	. 07/	円円	5, 339,		, 826 <u>F</u>		*			
	争未貝		(但按貝土)	八什貝)		4, 41:	5,074		1 3,339 和元年度		<b>○ 令和2</b> 年		r <del>ic</del>	△€	13年度	
	種類		指		標	名	単位	上段:						上段:目標		
									54 <b>,</b> (			, 000			, 000	入順
指	成果	観	光ホームペ	ージアク	クセス数		件		52, 2			, 203			, 000	
10		<u> </u>					<b>.</b>			,000)			00 )	( 1.00	00,000	$\overline{}$
	成果	観:	光イベント	来場者数	汝		人		396,	_		6,00			,,,,,,,	
								(	, ,	)	(	-,	)	(		)
標																
								(		)	(		)	(		)
	指標は	こ関	する特記事	項												

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×	
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充	
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性		
コロナ禍においても、作成した観光ガイド等を通じ、観光情報の発信を行った。また、市ホームページ、市広報紙、フェイスブックやツイッターなどにより情報発信を行った他、事態収束後を見据え、観光ガイドブックの作成を行った。今後も、交流人口の拡大を図るため観光情報の発信を行う必要がある。	方法につい 据え、観光 行う必要が このよう を分かりて	規光資源を加 いて検討する 化施策の国際 がある。 うなこと発信で 投発信を行っ	る必要があ 祭化や多様 う、ホーム するととも	る。また、 化により、 ページの充	アフターニ さらにPR 実を進め本	1ロナを見 Rの拡大を 市の魅力	
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   久喜ブラン	ノド推進課長	長 榎本 .	正則	•	•		

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 シティプロモーション推進事業 事務事業整理番号 170212136 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 7 戦力的かつ効果的な広報・広聴活動の推進 戦略におけ 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 施策 における位置 る位置付け 2 PR動画が再生された回数(累計) <mark>細施策</mark> 2 シティプロモーションの推進 KP I 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 久喜市の魅力や資源を市内外に積極的に発信することで、久喜市の知名度の向上をはじめ、交流・定住人口の の目的・成果増加や、市民の愛着・誇り、一体感の醸成を図る。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課<mark>関係部課</mark>全課

#### 2. 事務事業の実施結果

_2	. 事	<u> </u>	<u>業の</u>	<u>実施</u>	洁果												
4	令和2年 事務事 実施内	業	市( 市(こ)	内外で ゆかり	行われ のある	,る各種イク 著名人やE	ヾント等におい 団体に「久喜市	て、市 くき親	の魅力: 善大使.	を効果的に 」を委嘱し	こPRす ノ、S	るため	)のピン うの情報	バッジ? 発信なる	を作 <b>集</b> どを行	⊌した。ま テった。	た、
							令和元	元年度		4	令和2	2年度			令和	13年度	
+5	直	Ī		予	算	額	2,567	,000	円		795	, 000	円		1	, 161, 00	) 円
挼	·   接			決	算	額	1,942	, 559	円		376	, 064	円	予算額	真との	比較 (R3-	-R2)
	費	Ì	朱	<b>持定財</b> 派	原の有類	Ħ	□有	■無		□有		■無		366,000 円			) 円
入	\ <u> </u>		正規	職員数				1.08 人		0.94 人			人		特	記事項	
	従事	麗員	再任	用職員	数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
=	ı		会計:	年度任	用職員	数	_		人		_		人			甲子園の開	催に
	正規即					]人件費	8, 104	, 320	円	6,	711	,600 円		係る経	費の記	<b></b>	
l z	1.44		参	参考:平均人件費			7,504	,000	円	7, 140		,000 円		1			
	再任用	職員	再任	用職員	数×平	均人件費	_		円		_		円	1			
١.	人件				平均人		3, 997, 000		円	4,	093	, 000	円	1			
	会計年度任用	職員人件費	会計	年度任	用職員	の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接	費+人	、件費)		10,046	, 879 円		7,087		, 664	円				
	種類			指		<del></del>	名	単位	4	和元年度		Î	和2年	度		令和3年	隻
	作出块			1日		ੀਨਾ	11	丰山	上段:	目標 下段:	実績	上段:	目標下具	段:実績	上段:	: 目標 下段	:実績
	成果	久喜	喜市 P	Rビラ	デオY(	outub	e 再生回数			370,000	)		370,00		(	950,000	) )
指	19001	( }	製計)					П	8	353, 843		(	907, 76	9			
	成果					話動等にお	けるクッキー	件	(	45	)	(	20	)	(	10	)
	19071	93	ノス取	り組み	・件数			''		35			1				_
	成果	観分	とガイ	5 ۲ ۲	ことりっ	つぷ」配布	冊数	₩		15,000	)	(	5,000			10,000	)
標	120214	7.,						,,,,		10,000	,		10,000	)		<u> </u>	
	成果	クッ	ッキー	·甲子園	園出場村	交数		校	(	11	)	(	3	)		5	)
			-							10			0				
	指標	に関	する特	f記事 []]	貝 新型	コロナウイルス	感染症の感染拡大の	影響により	、クッキー	-ダンスの取組	1みは1何	牛のみだっ	た。クッキ	キー甲子園	は中止し	ったため、0校と	≤した。

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
日本計画とのう天旭大は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
■ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×				
■ B 事業の進め力を充邑9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日とのうずる内皮がつ事来主体を元直す	塗りつぶしてく		コスト投入の方向性							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるイベントの延期・中止や施設の休業・閉館等により、クッキーダンスの普及のための取組みを実施することがほとんどできなかった。また、クッキー甲子園も中止した。	画チャンネ く、かつダ 今般の第 ベントの3	ネルなどのな 効果的に発信が が関コロナロ	様々な手段 言していく ウイルス感 や施設の休	を活用する 。 染症の感染 業・閉館等	-ジやSNS っことで、† *拡大の影響 を踏まえた	内外に広 によるイ				
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   久喜ブラ	ンド推進課	長 榎本	正則							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 ふるさと納税寄附金推進事業 事務事業整理番号 720112137 大綱 7|行財政を見直し、改革を進めるまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 健全な財政運営の確立 戦略におけ 施策 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 健全な財政基盤の確保 3 ふるさと納税寄附金の寄附件数 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 久喜市を応援したい、久喜市に貢献したいという方の思いを寄附という形を通して反映させ、自主財源の確 の目的・成果保、地域振興、特産品のPRに繋げる。 所管部課 環境経済部久喜ブランド推進課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	· 于7刀	<del>事素の夫</del> 肥柏未							
1	和2年原 事務事業 実施内容	└ 返礼品の取り扱い事業者に			し、返れ	礼品の拡充に努	らめた。		
			令和为	元年度		令和2	2年度		令和3年度
投	直	予 算 額	5, 444	,000	円	5, 539	, 000 円		5,335,000 円
18	接	決 算 額	3, 351	,907	円	4, 623	, 244 円	予算額	頁との比較 (R3-R2)
	費	特定財源の有無	□有	■無		□有	■無		-204,000 円
入		正規職員数		0.41	人		0.72 人		特記事項
	従事職	<b>再任用職員数</b>	_		人	_	人	(予算	「額の主な増減理由)
		会計年度任用職員数	_		人	_	人	印刷	製本費の皆減。
	正規職		3, 076	, 640	円	5, 140	, 800 円		
ス	人件費	20.170MIR	7, 504	,000	円	7,140,000 円			
		再任用職員数×平均人件費	_		円	_	円		
<b> </b>	人件費	2 J 1 37 (11 50	3, 997	,000	円	4, 093			
1 -	会計年度任用職員	ム川十尺江川柳兵のハ川兵	_		円	_	円		
	事業費	計(直接費+人件費)	6, 428	<u>, 547</u>	円	9, 764	, 044 円		
	種類	指標	名	単位		和元年度	令和2年		令和3年度
	1主人共	1H 134	.н	十四	上段:目				上段:目標 下段:実績
	成果 [:]	寄附件数		件	(	1,000 )	( 1,000	)	( 1,000 )
指	750514	20012		- ''		558	753		
	成果	寄附金額		円		,000,000 )	( 10,000,0		( 10,000,000 )
	7,0014				6,	400,000	13, 554, (	)00	
					(	)	(	)	(
標					,			,	
					(	)	(	)	
	1512								
	指標に	関する特記事項							

総合評価と判断理由	今後の	今後の課題、事業の方向性と具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	盛 拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ 片 計画とのう天旭大は 信の九天を囚る	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	成果の 維持 縮小 休廃止	×	縮小	×	×			
ロ B 事業の進め力を充邑す	性 休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性、成果の向性及び事業の方向性を赤く		縮小	維持	拡充			
口でのグダる内皮がプザ米王体を元直す	塗りつぶしてください。		コスト投	入の方向性				
久喜市商工会青年部との連携などにより返礼品の拡充を図 たこともあり、寄附金額が過去最高となり、目標を上回るこのができた。		ことになった ,た返礼品の ドファンディ :により、久	ため、指定さらなる拡 ングの導入 喜市を応援	基準を遵守 充に努める 、や思いやり	Fし、久喜 る。また、 J型返礼品			
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 久喜ブラ	ンド推進課長 榎本	正則						

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	社会福祉協議会補助事業		事務事第	業整理	番号	360212202
40 A IE 65 - I =	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期	総合基準	本目標	-  -		
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 6 地域福祉・地域ボランティアの充実 <mark>戦略に</mark>	おけ	施策	-  -		
付け	<mark>細施策</mark> 2 地域福祉推進組織の活動支援 るんぱん	^{付け} K	(PI	_  -		
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 <mark>総合</mark> 排	画信興	実施計画	回への掲	<b>引載</b>	該当 🗆 非該当
の目的・成果	社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図るこ心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進することをまた、地域福祉活動の中核を担っている団体であり、在宅福活動の実施など、地域福祉の充実を図るため、運営費補助とし	使命とす 祉事業、	る非営が	利の民  ティア	間組織 ⁻ センタ-	である。
所管部課	福祉部社会福祉課 関係部課					

# 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

社会福祉法人久喜市社会福祉協議会運営費補助金交付要綱に基づき、地域福祉活動の中核的担い手である社会福祉法人久喜市社会福祉協議会に対し、人件費の補助を行った。

						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直			予 🤅	算 額	106, 849	,000	円	109	, 989	,000	円		106,	, 849, 000	) 円
1X	接			決	算 額	106, 849	,000	円	98	, 945	, 980	円	予算額	真との	比較(R3-	R2)
	費		朱	持定財源(	の有無	□有	■無		口有	1	■無	ŧ		-3.	, 140, 000	) 円
入			正規	職員数			0.10	人			0.10				記事項	
	従事日	韻		用職員数	•	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
	" = 5			年度任用		_		人		_		人			手に伴う影	
	正規暗	出			平均人件費	750	, 400	円		714	,000			件費な	バ減額とな	った
l _ス	人件	~ ~	_		匀人件費	7,504		円	7		,000	円	ため。			
	再任用單	職員	_		×平均人件費	1_	,	円		_	,	円				
١.	人件		参	考:平均	匀人件費	3, 997	, 000	円	4	, 093	,000	円				
	会計年度任用職	員人件費	会計	年度任用	職員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接	費+人件	-費)	107, 599	, 400	円	99	, 659	, 980	円				
	種類			指	<del></del>	名	単位	f	和元年度			令和2年	芰		令和3年度	Ę.
	性知			相	示	白	半位	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	设: 実績	上段:	目標 下段	:実績
	成果	<b>/⊞</b>	۱ <del>۱</del> ۴=	シティュ	7登録者数		人	(	380	)	(	380	)	(	380	)
指	以未	回ノ	ベハン	, , , , , , ,	豆蚁白奴				268			283				
	成里	<del>         </del>	ランテ	· ィア登録	品田休数		団体	(	88	)	(	88	)	(	88	)
	从未	/IV .	,,,	1 7 丑败	<b>水凹件数</b>		四件		87			84				
	成果	Հ+∠	스垣체	協議会会	≥昌粉		世帯	(	32,000	)	(	32,000	)	(	32,000	)
標	133.75	11.2			<b>4.</b>		Ŀπ		30, 249			29, 716	)			
	成果	ふォ	1.あし <u>`</u>	. • l.\ <b>≑</b> l.	いきサロン設置	₹₩	   箇所	(	60	)	(	60	)	(	60	)
						-2/			67			65				
	指標は	こ関	する特	詩記事項												

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の几天を図る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×		
日日日本来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
社会福祉協議会は、地域福祉活動の推進を図るために設立された。		動で策定した						
れた非営利の民間組織で、高齢者や障がい者、児童などに対する各種福祉サービスを提供し、広く市民に貢献している。		度で終了す 多発する{						
また、少子高齢社会が進展する中、地域福祉の充実を図るた		シエッシン 様化、深刻(						
めには、社会福祉協議会の役割が重要であり、同協議会の基盤	域福祉の担	旦い手となる	る人材の育	成に努める	必要がある	5。地域福		
強化を図るため、市が支援していく必要がある。		る推進を図る						
	重要なもの	りとなること	とから、引	き続き市の	支援が必要	そである。		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 社会福祉談	展 田中	寿久						

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 久喜市民生委員及び児童委員活動補助事業 事務事業名 360212203 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 6 地域福祉・地域ボランティアの充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 2 地域福祉推進組織の活動支援 _ 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 民生委員・児童委員は、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、 事務事業本来 の目的・成果社会福祉の増進に努める方々である。民生委員・児童委員の活動を促進し、地域社会の福祉の増進を図る。 所管部課 福祉部社会福祉課 関係部課

2	. 事剂	多事	業の実施	<b>話果</b>												
	令和2年 事務事 実施内容	業	久喜市! 動費の補!			<b>美員活動費等補</b>	助金交	付要綱	に基づき、	久喜	市民生	三委員・	児童委員	員協請	養会に対し	、活
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	03年度	
投	直		予	算	額	31, 353	,000	円	31	, 417	,000	円		31	, 946, 000	) 円
1X	接		決	算	額	31, 349	, 428	円	28	, 009	, 466	円	予算額	頁との	比較(R3-	-R2)
١,	費		特定則	排の有類	無	■ 有	□無		■ 有		□無				529,000	) 円
入			正規職員				1.72	人			1.72	人	_		記事項	
	従事	戰員	再任用職			_		人		_		人			主な増減理	
			会計年度			_		人				人			算定基準の	
	正規聯		正規職員			12, 906	-	<u>円</u>			,800	000		に伴い、市補助金におい も同様の措置を行った。		
ス	人件			平均人		7, 504	, 000	<u>円</u>	7	, 140	,000	円	め。			
			再任用職員数×平均人件費		- 2 000	000	円	4 002		000	円	_				
	人件			平均人		3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
	会計年度任用職		会計年度		の人件質	44 257	円 5,308 円		40	200	2//	円円	-			
	事業費	Tat	(直接費+	人什貫)		44, 256	, 308		40,290		7,200 円 一 令和2年		rrie -		令和3年	<b>÷</b>
	種類		指		標	名	単位	上段:						<b>⊢</b> ΕΩ	: 目標 下段	
								<u></u>	289	・大順	<u></u>	<del>四原 1</del> 290	)		<del>290</del>	・大順
指	成果	民	生委員・児	童委員	委員実数		人	(	279			270		_		
1=		┢						(	40, 200	)	(	40, 20	0 )	(	40, 200	$\overline{}$
	活動	民	主委員活動	旧数					38, 410		`	28, 56		<u> </u>	10, 200	
			/	>\/-				(	250	)	(	250	)	(	250	)
標	成果	全1	本研修会出	席首数			人		243			0	-			
								(		)	(		)	(		)
	指標	に関	する特記事	新型 新型	型コロナウィ	イルス感染症の	り影響に	より、	全体研修	会の「	中止や	活動件数	数が減少	した。	·	

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×			
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性				
<.	多し、 民生 民生 原に立 っい さ で る 、 民生 配 に 立 っ い る 、 、 大 き の に う い う い う い う し る う り ら う り る う ら う ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	F度の民生等 らり い・児童の民生 い い・児童らい に い い い い に い い に い い に い い に い い に い い い い い い い い い い い い い い い に い ら に る ら い ら い ら に ら 、 い い に ら 、 い い い ら 、 に い ら っ に い い い に い い い に い い い に い い い い い い	5引き続き 委員の担い 員は、新型 それぞれの 必要な援 生委員・児	民生委員・ 手確保に努 コロナウイ 地域におい 助を行い、	児童委員の めていく。 ルス感染症 て、常に住 社会福祉の	)活動をPR Eの感染予 E民の立場 )増進に努			
<b>評価年月日</b>	長 田中	寿久							

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 要援護者見守り支援事業 事務事業名 360312207 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 6 地域福祉・地域ボランティアの充実 2 市民が地域の防災・防犯の担い手となる環境の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 要援護者の見守り支援 付け ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 近年、大規模地震や集中豪雨といった自然災害が多く発生しており、自力で避難することが困難な高齢者や障事務事業本来がい者など要援護者の被災が目立っている。また、高齢化社会の進展や地域のつながりの希薄化などにより、誰の目的・成果からも気付かれずに亡くなられる「孤立死」が全国各地で発生している。そこで、住み慣れた地域で、誰もが安 心して暮らせるよう、地域一体となった要援護者の見守り支援体制づくりを進める。 福祉部社会福祉課 関係部課 所管部課

### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 「要援護者見守り支援登録台帳システム」を活用し、住民基本登録台帳情報等を反映させた情報管理を行った 上で、適時の情報提供を行った。

また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障がい者など地域の支援を必要としている方を把握するため、 要援護者見守り支援事業を推進し、民生委員・児童委員や地域の支援者と連携して見守り活動の充実を図った。

							令和	元年度			令和2	2年度	-		令和	13年度	
投	直		j	ξ :	算 額		3, 941	,000	円		542	,000	円			465,00	0 円
18	接	Ī	5	<del>Ļ</del>	算 額		3,826	, 474	円		501	,030	円	予算額	質との	比較(R3-	-R2)
	費		特別	定財源	の有無		□有	■無		□ ≉	<u> </u>	■無	Ħ			-77,00	0 円
入			正規職	員数				0.50	人			0.50	人		特	記事項	
	従事日	韻	再任用	職員数	Ţ		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減球	理由)
$\Box$		Ī	会計年	度任用	職員数		_		人		_		人			-にて使用	
	正規聙	韻	正規職	員数×	平均人件費		3, 752	, 000	円	3	,570	,000	円	トナー ため。	の購ん	人数を減ら	らした
la	人件費 参考:平均人件費						7, 504	, 000	円	7	, 140	,000	円	/_0/0			
,	再任用罪	再任用職員数×平均人件費					_		円	一 円							
<b> </b>	人件	人件費 参考:平均人件費					3, 997	, 000	円	4	, 093	, 000	円				
	会計年度任用職	員人件費	会計年	度任用	職員の人件	費	_		円	— 円							
	事業費	計(	直接費	十人作	‡費)		7,578	, 474	円	4	,071	,030	円				
	種類			指	標		名	単位		和元年度			令和2年	度		令和3年	芰
	住坎			JH	125		П	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段:		2:実績
	成果	亜捋	≅罐去目	ョウリョ	支援登録者数	τ			(	4, 900	)	(	5,000		(	5, 100	)
指	130.A.	54.1%	XIX H J	C() //	人」及立即日如	^				3, 238			3, 115				
	成果	要报	経護者 見	見守りる	支援に関する	がねっ	力事業老数	事業者	(	55	)	(	55	)	(	55	)
	13001	JZ 1/2	XIIX [] /	<u> </u>	C)X(C)X) 9 G	י נונוו ט	<b>7</b>	于小口		52			51				
	活動						自主防災組		(	4	)	(	4	)	(	4	)
標	71137	織仁	(表者を	を対象を	とした合同会	議の	の開催			7			6				_
									(		)	(		)	(		)
	指標に	こ関で	する特	記事項													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ C のりゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
「要援護者見守り支援登録台帳」を、民生委員・児童委員、 区長、自主防災組織に提供し、地域での見守り支援体制づくり を進めることができた。 また、民生委員・児童委員、区長、自主防災組織の代表者を 対象とした合同研修会を開催し、災害時や平常時における支援 者の役割について、理解を深めていただいた。	ないため、 容や周知力 地域の支 令和3年	が必要な方し 高齢者やに う法を工夫し を援者の理解 5月に災害が かにが義 いく。	章がい者が していく。 解を深める。 対策基本法	分かりやす ため、合同 等が改正さ	いよう、位 研修会を開 れ、要援護	報掲載内 開催する。 養者の個別
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 社会福祉語	果長 田中	寿久				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 敬老事業 340512210 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 4 高齢者福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 5 生きがいづくりと社会参加の推進 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 高齢者の長寿を祝し、敬老祝金等を支給することにより、敬老の意を表すとともに、住民福祉の向上に寄与す <mark>の目的・成果</mark> ることを目的としている。 所管部課 福祉部社会福祉課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

A10 A F #
令和2年度
事務事業
実施内容

久喜市敬老祝金支給要綱に基づき、9月の敬老の日前後に、当該年度に満88歳、満99歳、満100歳以上の年齢に 達する対象者に、それぞれ5,000円、10,000円、30,000円の祝金を、久喜市商工会が発行する市内共通商品券にて支給し、また、満77歳の年齢に達する対象者に、記念品を支給した。 支給方法については、前年度まで民生委員を通して行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年

度は郵送で行った。

			令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	7, 977	<b>7,000</b>	円	9	, 374	,000	円		8,	, 129, 000	円
1×	接	決 算額	6, 601	,990	円	8	<b>,</b> 403	,864	円	予算額	真との	比較(R3-I	R2)
١,	費	特定財源の有無	□有	■無		□ 1	j	■無			-1,	, 245, 000	円
入		正規職員数		0.25	人			0. 25	人		特	記事項	
	従事閥	員 再任用職員数	_		人		_		人			主な増減理	
		会計年度任用職員数	_		人			2.00	人			己支給対象	者の
	正規職		1,876	, 000	円	1	<del>,</del> 785	<u>,000</u>	円	減少の	/こ0)。		
ス	人件費	93.1737(II)	7,504	l, 000	円	7,140,000 🖰							
	再任用職				円	_		円					
<b> </b>	人件費	2 J 1:37(11)2	3, 997	, 000	円	4	4,093,000 円						
'	会計年度任用職員	ムロー及は川帆兵の八日			円			,050	円				
	事業費	計(直接費+人件費)	8, 477	, 990	円			, 914					
	種類	指標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年度	
				' '	上段:		:実績	上段:		と 実績	上段:	目標 下段	:実績
		民生委員に対する敬老事業に	関する説明及び		(	15	)	(	15	)		15	)
指		協力依頼				15			0			1 054	<u> </u>
	成果	敬老祝品贈呈数(77歳)		人	(	2, 176	)	(	2, 136	)	-	1,854	)
	$\vdash$				,	1,987	`	-	2,133	\	,	0/1	$\overline{}$
標	成果	敬老祝金贈呈数(88歳、99点	、100歳以上)	人	(	988	)	(	854	)		861	)
信	$\vdash$				,	719	`	/	843	\	,		$\overline{}$
							)	(		)	-		
	七七十二	<mark>-関する特記事項</mark> 新型コロガ	- ウイルフ 成効症/	カ成沙の	<u> </u> 	- <b>か</b> - 足 #	- 禾昌 -	へのや	力体超け	行わか	かっさ	<u> </u>	_
	担保に	-   利 9   〇付記事件     세 里 コ ロ )	ノイル人窓来征し	ル窓来り	טעעעני	.め、氏主	女貝/	ヘレノ)肋	と一切が	ココリンム	וניעו	<u> </u>	

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性、成果の方向性を示く □ 指示 □ 指示 □ 拡充 □ による □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □ は □											
U											
	行ったが、 傾向にある く必要事 敬老事 心を高める	F度に祝金の 年々め、対 るたる。 ある。 道 く る る で る で る で る る る る る る る る る る 。 し て く る る る る る る る る る く く く く の 、 で る る る る る る く る く る く る く る く る る る る	静化が進行 象者や支給 広く市民 後も近隣自	し、支給額 内容につい の高齢者福 治体の状況	でで で、再度検 はに対する で社会情勢	き者は増加 対してい 5理解と関 9等を踏ま					
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 社会福祉課長 田中 寿久											

1. 事務事	業概要			_	対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	老人クラブ活動補助事	業		事務事	業整理	番号	340512211
(A) A IE (TITLE		誰もが健康で安心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 4 高齢者福祉の充		戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 5 生きがいづくり	と社会参加の推進	る位置付け	KPI	-		
	後期基本計画成果指標との関	関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への挑	3載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果		するため、地域で活動する老	人クラブの	活動を支援	∶し、明	るい長	寿社会づくりの推進
所管部課	福祉部社会福祉課	関係部課					

	<u>2.</u>	事務	事	業の実施結果	果											
	事	和2年月 事務事業 長施内容	<u></u>	助を行った。	クラブ活動費等 越金が補助申請									人クラ	ラブに対し ⁻	て補
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
±	殳	直		予 算	章 額	3, 300	,000	円	3	, 108	,000	円		3	, 202, 000	円
J.	×	接			算 額	3, 285	,000	円	3	,093	,000	円	予算額	頁との	比較(R3-	
١.		費		特定財源の	D有無	■有	□無		■ 有	_	□無				94,000	円
1	۷.		_	正規職員数			0.10	人			0.12	人	_		記事項	
		従事閥		再任用職員数				人		_		人			主な増減理	
-	]		_	会計年度任用				人				人	■団体		び会員数の か	増を
		正規職	v_ ~	正規職員数×			, 400	円			,800	円	ぶたし	/_/_0	,, ,	
-	ζ.	人件費	7 / P P P P P P P P P P P P P P P P P P			7, 504	, 000	円	7, 140, 000		,000					
		再任用單	742	再任用職員数		_	000	円		_	000	円	_			
ı	۱,	人件費		参考:平均		3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円	_			
	ı,	会計年度任用職員		会計年度任用		4 025	400	円	2	- 0.40	000	円	-			
	4	事業費	計(	直接費+人件	·貸)	4, 035	, 400	円			, 800	円	一		<b>公知った</b> は	_
		種類		指	標	名	単位	上段:	和元年度			和2年			令和3年度 :目標 下段	-
	ŀ							上段・1	85	· <del>天</del> 禎	上权・	<del>日信 「</del> 85	技・夫領	上权。	· 日信 下段 85	· <del>天</del> 禎
±	日日	成果	老人	、クラブ団体数	ζ		団体	(	62		(	57	,			
1	Ħ.							(	3, 200	)	(	3,200	) )	(	3, 200	$\overline{}$
		成果	老人	、クラブ会員数	ζ		人		2, 153			1, 882			3, 200	
	ŀ							(	1, 181	)	(	1, 181		(	1, 181	$\overline{}$
村	票	効率	老人	、クラブ会員1	人あたりのコ	スト	円		1,525	,	`	1, 643				
		ハイチム	+/	<b>ムーー</b> ツイエレル	- W-		/14	(	300	)	(	300	)	(	300	)
		活動	老人	、クラブ活動件	-		件		552			296	-			
		指標に	関す	する特記事項	新型コロナウ	イルス感染症の	の影響に	より、	予定どお	りに	老人ク	ラブの流	舌動が出	来なる	かった。	

# 3. 評価結果と今後の方向性

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中来の庭の月を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
□ C のりずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
いづくりは、地域との結びつきを高める上で重要であり、また、老人クラブが実施している各種活動は、健康維持など介護予防に貢献しているほか、清掃活動や声かけ運動など地域に貢献している事業も多く、多数の事業を行っていることから、補助金の交付は有効な手段と考えられる。	方向にあり アンケート 事ギッパ く。また、 が継続でき	が増加する。 リ、その原 トを実施する ち向性として NSなどで居 舌力ある高 まるよう、	因把握に向る予定であては、老人 知を図り、 命者社会の	けて、本年 る。 クラブにつ 加入や新規 実現に向け	度は高齢者いて、広報 現発足を推って、老人の	に向けて 最やホーム 進してい プラブ活動
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 社会福祉語	長 田中	寿久				

80

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 生活困窮者自立支援事業 事務事業整理番号 370512301 事務事業名 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 5 生活保護制度の適正な運用 _ 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 生活保護を受給していないが、生活保護に至る可能性のある者で自立が見込まれる者に対して、生活困窮者自 事務事業本来 <mark>の目的・成果</mark>」立支援法に基づき、包括的な相談や自立支援に向けたプランの作成等を行い、自立の支援を図る。 関係部課 所管部課 福祉部生活支援課

# 2. 事務事業の実施結果

具	和2年度 事務事業 実施内容				こおける自立支援の強化を図 めのプラン作成等の自立支援	
					令和元年度	令和2年度
投	直	予	算	額	24, 080, 000 円	32,053,000 円

して、就労その他の自立に関す 付金の支給等の支援を行った。

投	直		予	算	額	24	1,080	, 000	円		32,053	,000	円		25,	860,	000	円
1X	接		決	算	額	23	3, 496	, 312	円		30,309	, 720	円	予算額	質とのは	北較(	R3-R	2)
_	費		特定財	源の有	無	<b>I</b>	有	□無			▋有	口無			-6,	193,	000	円
人		正规	見職員数	<b>文</b>				0.20	人			0.20	人		特詞	己事項		
	従事職員	再	壬用職員	員数			_		人		_		人	(予算	額の主	Eな増	咸理日	由)
$\Box$		会	計年度任	壬用職員	数		_		人		_		人		確保給			
	正規職員	-	見職員数	b×平均	]人件費	1	l,500	, 800	円		1,428	,000	円	■ ( 、	和3年			
ス	人件費		参考:	平均人	件費	-	7,504	,000	円		7, 140	,000	円	値より	も抑制		込ん	がだ
	再任用職員	_	壬用職員	員数×平	均人件費		_		円		_		円	ため。				
L	人件費		参考:	平均人	件費		3, 997	, 000	円		4,093	,000	円					
1	会計年度任用職員人作	会	十年度任	壬用職員	の人件費		_		円		_		円					
	事業費計	(直	接費+。	人件費)		24	1, 997	, 112	円		31, 737	, 720	円					
	種類		指		標	名		単位	仝	和元年	F度	4	令和2	年度	2	令和3	年度	
	作主大只		18		1/亦	70		辛世	上段:		段:実績	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標	下段:	実績
	活動 4	-:4E	351-12	フ 쇼드+日 -	-ロ=火 <i>()</i> +-米/-	•	·	/ <del>/-</del>	(	176	)	(	1, 48	37 )	(	1, 7	6	)

ı		種類	指	標	名	単位	-	可和元牛的	支		つ和 乙 年	支		で配って	牛皮	
ı		作为	18	1িক	10	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段	: 目標 下戶	设:実績	上段:	目標	下段:	実績
		活動	生活困窮に係る新	5. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	,	件	(	176	)	(	1, 487	)	(	1,7	16	)
ı	指	川刧		NIANTINEXII 30	•	''		340			2, 316			_	_	
ı		活動	住居確保給付金	七公山中州米	7	件	(	1	)	(	33	)	(	14	4	)
ı		伯刬	江泊堰水和竹亚	义和沃足什么		TT.		2			68			_	_	
ı		出出	自立相談支援のな	t めのプラン	化比州粉	件	(	88	)	(	88	)	(	88	3	)
ı	標	以木	日立怕改义派(7)		T FIX IT XX	ĬΤ		74			44			_	_	
							(		)	(		)	(			)
ı														_	_	
ı		指標に	関する特記事項													

型価結果と今後の方向性

3. 計画相条と /後の方向は						
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 司画とのり天旭大は 眉の儿天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	

当事業は、生活保護に至る前の生活困窮者に対する自立支援 策の強化を図ることを目的として、生活困窮者自立支援法に基 づき、平成27年4月から実施している。本市では、一定の資格 や実務経験を有し、地域に根ざした様々な福祉事業を行ってい る委託事業者に委託し、十分な専門的知識を持った支援員が関 係機関との連携を図りながら、相談者に応じた支援を行った。

対象となる生活困窮者は複合的な課題を抱えていることが多 く、早期の相談体制づくりや関係機関との連携が必要となる。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業所休業 等による困窮者も多く生じている。また住まいの不安を抱える 方に対して、住居確保給付金の活用も積極的に勧める必要があ る。今後も、幅広い相談の受け入れと、待つだけでないアウト リーチの観点から、庁内部局や関係機関と連携して、本人に寄 り添った包括的な支援を進めていく

令和3年度

評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生活支援課長 青木 繁

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 生活困窮の子どもに対する学習支援事業 370512302 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 施策 における位置 細施策 5 生活保護制度の適正な運用 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 経済的困窮等により支援を必要とする家庭の子どもに対する学習支援を行うことで、将来の進路選択の幅を広 の目的・成果げ、自立の促進を図る。 所管部課 福祉部生活支援課 関係部課

_2	2.	事務事	業の実施	話果											
ć	令和 2 事務 実施	2年度 事業 内容		隻受給世帯及び生活 支援、生活支援、椎			高校生	とその保	護者に	対して	て、生活!	困窮者	支立自	援法に基	ブ
			•		令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
· 托	Ļ	直	予	算 額	9, 100	,000	円	8	<b>,</b> 993	, 000	円		7,	, 573, 000	0 円
17		接	決	算 額	6, 813	, 868	円	8	<b>,</b> 715,	, 300	円	予算額	色の	比較(R3-	-R2)
١,		費	特定則	が原の有無	■ 有	□無		■ 1		□無			-1,	, 420, 000	) 円
ノ	\		正規職員数			0.10	人			0.10	人	特記事項			
	従	事職員	再任用職員		_		人		_		人	(予算額の主な増減理用			
=	1		- 11 1 1 1 1 1	壬用職員数	_		人		_		人	■ 事業に携わる人件費の 一少を見込んで計上したこ			
		規職員		数×平均人件費		,400 <del>円</del>		714,000				系の国庫負			
Z		件費		平均人件費	7, 504	, 000	円	7	, 140 _.	,000		返還額	を見込	えんでいな	
				員数×平均人件費	_		円		_	222	円	とによ	රං		
	<b>├</b>	件費		平均人件費	3, 997	,000	円	4	<b>,</b> 093	,000	円				
		度任用職員人件費		壬用職員の人件費	— П Г/ A	2/0	円		420	200	円				
	争身	業費計	(直接費+	人件質)	7, 564	, 208	円	9,429		9,300 <mark>円</mark>   令和2年		œ .		△和っケ□	<del>-</del>
	種	類	指	標	名	単位		和元年度						令和3年時	
							上段:  	385	: 実績 \	上技・	385	<del>文·夫</del> 稹 )	上段.	<u>目標 下段</u> 385	・夫領
指	<b>」</b> 活	動学	習支援延べ	参加者数		人	(	262		(	335		$\stackrel{\smile}{-}$	300	
131		-					(	47	)	(	61	)	(	61	$\overline{}$
	活	動 学	習会開催数	3会開催数		回	(	42			60			<u> </u>	
	_					<u> </u>	(	8.2	)	(	8.2	)	(	8.2	)
樗	活	動  1回	当たりの当	P均参加者数		人	`	6. 2		`	5.6	,	<u> </u>	<u> </u>	
	成果 高等学校等進学率		0/	(	100.0	)	(	100.0	)	(	100.0	)			
	以	米  尚	寺子仪寺進	子举		%		100.0			100.0				
	指	標に関	する特記事	項		-			'						

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前側とのう天心人は 盾の儿子を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
日とののゆる内皮がり事業主体を元直り	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性								
当事業は、平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行され、任意事業となっている。本市では、平成27年4月から委託により、生活困窮者の子どもに対する学習支援のほか、生活支援及び相談支援を行った。	開催としたする生活困窮様々な経済的に、学習機	度から駅に込まります。 支がら駅に込まりででは、 参加のでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりできます。 できまりできます。 できまりできまりできます。 できまり できまり できまり でき できない はんしょう はい いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいい	者に対する 増加に繋げ もは、学習i ることが多! 学を諦めて けでなく、!	一層の周知の ていく。 面や生活面、 い。学習の しまう生活[ 学校や家庭]	と積極的な 、親の教育 機会に恵まれ 困窮世帯の 以外の居場所	参加促進を 等において つない、或 子ども達 听づくりな			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生活支援語	果長 青木	繁							

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 生活保護事業 370512305 事務事業名 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 5 生活保護制度の適正な運用 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 日本国憲法第25条の「生存権の保障」に基づき、生活困窮者に対して、その困窮の程度に応じた公的扶助の適 <mark>の目的・成果</mark> 正な給付により、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、経済的・社会的自立の助長を図る。 所管部課 福祉部生活支援課 関係部課

令和元年度

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

市内在住又は市内に現在地を有する要保護者に対して、生活扶助・住宅扶助・教育扶助・医療扶助・介護扶助・出産扶助・生業扶助・葬祭扶助等の公的扶助を必要に応じて支給し、最低限度の生活ができるよう対象世帯に対する生活相談、支援、援助を行った。

令和2年度

**令和3年度** 

							で作り	7和乙年及				卫和3年及					
1	设	直		予	算	額	3,050,392	, 000	円	3, 105	, 698	,000	円	2	, 916,	721,000	0 円
1	^	接		決	算	額	2,940,391	, 923	円	3,000	, 942	, 248	円	予算額	頁とのは	比較(R3-	-R2)
		費		特定	財源の	有無	■ 有	□無		■ 1	j	□無			-188,	977,000	) 円
-	지			正規職員	<b>員数</b>		2	2.00	人		2	3.00	人		特記	書項	
		従事閥	員	再任用單	員数			1.00	人			1.00	人	(予算	額の主	Eな増減理	里由)
	ן⊏			会計年度	度任用職	員数	_		人			3.00	人			る保護の	
		正規職	_ ~	正規職員	<b>製</b> ×平	均人件費	165,088	, 000	円	164	, 220	,000	円	や高齢者被保護世帯の増加 を勘案しながら、扶助費全			
	٦l	人件費	責	参考	:平均。	人件費	7,504,000 円			7,140,000 円				体はやや減少傾向にあるこ			
		再任用聙	,,,	再任用單	鎖員数×	平均人件費	3,997,000 円			4,093,000 円						係の国県	
	١,	人件費 参考:平均人件費					3, 997	7,000 円		4, 093, 000 <mark>円</mark>			■ 金返還額を見込んでいな ■ことによる。			ない	
	] `ا	会計年度任用職員の人件費				— 円			5	, 886	, 881	円	ح د اد	000			
		事業費	計	(直接費-	+人件費	<del>[</del> )	3, 109, 476, 923 円			3, 175	, 142	, 129	円				
		種類		指	4	標	名	単1/1/			令和元年度 令和2年			度	4	令和3年周	隻
		作工人		JE	1	'l.T.	Ъ	十四	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下戶	设:実績	上段:	目標 下段	:実績
						医療・介護	・出産・生	人	(		)	(		)	(		)
1	诣	7420	業 ·	葬祭扶!	助の年間	間延べ人員				21, 482			21, 104	1			_
		活動	扶且	力費支給	埊			%	(	100	)	(	100	)	(	100	)
		711243	37(-	322	<u>'</u>			, ,		100			100				_
l.	_	成果	生活	5保護か	ら自立し	,た世帯数(	稼働・年金収	世帯	(	37	)	(	37	)		37	)
7	漂	,,,,,	人(	)増加)						32			31				_
									(		)	(		)			)
		指標に	関	する特記	事項												

	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
総合評価と判断理由		7 12 3 1 12 13	越、事業の	カリ性と見	体的内容				
  ■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 引画とのり失肥人は 眉の儿失を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
口口の事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
□ C めりゆる円反かり事業主体を允直す	塗りつぶしてく		コスト投入の方向性						
当事業は、日本国憲法における生存権保障の規定に基づき定められている生活保護法により実施される法定受託事務である。本市においても、コロナ禍における稼働収入減少による保護開始など受給世帯数が増加する傾向にある。また、高齢者世帯の増加などによって介護扶助が増加しており、医療扶助も依然高い割合を占めている。今後も法令等の厳格な適用により、生活保護事務を適正に遂行する必要がある。	基づき、日 済する制度 国で対応す 日本国憲 不可欠な事 いる点にお	本人に準じについてはるよう要望 法第25条に 業であり、	規定する生 生活困窮者( 機能してい	いる。生活に の準用では ^な 存権を個別! の最低限度に	に困窮したタなく、別の# 具体的に保障 の生活保障?	外国人を救 制度により 章する必要 を確保して			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生活支援語	表 青木	繁							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 介護給付費事業 350112402 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 5 障がい者(児)福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 自立生活の支援 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 障がい者(児)が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、「障害者の日常生活及び社会 事務事業本来 生活を総合的に支援するための法律」に基づき、必要な自立支援給付を行い、障がい者(児)の福祉の増進を図 の目的・成果 所管部課 福祉部障がい者福祉課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

障がい者等が必要な障害福祉サービス等を受けることができるよう、障害支援区分認定審査会等を経て、市は介護給付費等の支給決定をした。障害福祉サービスの利用に応じて、市は埼玉県国民健康保険団体連合会を通じて、障害福祉サービス事業者に対してサービスに要した費用から利用者負担を控除した額を支払った。

			令和元年度			令和2年度					令和3年度			
投	直	予 算 額	1, 507, 427	,000	円	1, 523,	644	,000	円			0	円	
1×	接	決 算 額	1, 464, 490	, 701	円	1, 473,	, 499	, 639	円	予算客	頁との	)比較(R3-I	R2)	
١,	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■有		□無		-1	<b>,</b> 523	, 644, 000	円	
入		正規職員数		5.50	人			5.50	人		特	記事項		
	従事職員		_		人		_		人	_	(予算額の主な増減理由)			
		会計年度任用職員数			人		_		人	自立支援給付費事業(新    規)に統合したため。				
	正規職員		41, 272, 000 円				,000		死/に	心口	しただめ。			
ス	人件費	参考:平均人件費	7,504,000 円			7,	<u>,000</u>							
	再任用職員		— 円			— 円								
	人件費	参考:平均人件費	.,,		円	4,	, 093	,000						
'	会計年度任用職員の人件費		_		円	1 510	_	100	円					
	事業費計	(直接費+人件費)	1,505,762,701 円		円	1, 512,			円			A 1 -		
	種類	指標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年度		
					上段:		: 実績	上段:		段:実績	上段	: 目標 下段	:実績	
11-	活動障	害支援区分認定審査件数		件	(	279	)	(	286	)		388	)	
指	<del>-  </del>				,	212		,	275	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	,	1 200	$\overline{}$	
	活動   介	·護給付費支給決定者数 (サービス種類別延べ人数)		人	(	1,300	)	(	1, 30			1,300	)	
	<u> </u>	(ソーレス怪規別延へ入奴)			/	1, 281	\	-	1, 25		-	60.060	$\overline{}$	
標	活動居	宅介護等給付利用時間数		時間		74, 916	)	(	79, 09			69,960		
行示					1	66,029	`	1	60, 14		-	1 20/	$\overline{}$	
	効率 介	・護給付費支給決定者数1人あた	りの事業費	千円		1, 135 1, 175	)	(	1, 17 1, 20			1, 204	)	
	上海   B	関する特記事項				1,173			Ι, Δυ	4			_	
	1日1示1に1条	もり の付記事件												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 前回とのり天旭又は一層の儿子を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充		
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	りつぶして			コスト投入	入の方向性			
居宅介護等給付利用時間数は減少しているが、事業全体での 給付費総額は増加していることから、常時介護を必要とする障	提供する。 提供事業者 介護報酬 後給付が均	手の個々の3 また、短見 手の確保に取 州の増額改3 曽加すること けた際には、	期入所等の 取り組む必 Eやサービ ヒが見込ま	受け入れ先 要がある。 ス利用者の れるため、	が確保でき 増加などに 新規の事業	るよう、 より、今 新創設の		
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   障がい者補	晶祉課長 荷	砂川 裕美						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 訓練等給付費事業 350112403 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - -第2期総合 総合振興計画 施策 5 障がい者(児)福祉の充実 施策 戦略におけ における位置 る位置付け 細施策 1 自立生活の支援 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 障がい者(児)が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、「障害者の日常生活及び社会 生活を総合的に支援するための法律」に基づき、必要な自立支援給付を行い、障がい者(児)の福祉の増進を図 事務事業本来 の目的・成果 る。 所管部課 福祉部障がい者福祉課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

4	和2年度 事務事業 実施内容	介護給付	費等の支	を給決定をし	冨祉サービス等を受けることだった。障害福祉サービスの利が した。障害福祉サービスの利が 新に対してサービスに要した!	用に応じて、市は埼玉県国民	健康保険団体連合会を通じ
					令和元年度	令和2年度	令和3年度
	直	予	筲	額	704 410 000 🖽	785 856 000 <u>m</u>	0 🖽

±	殳	直		予	算	額	704, 410	,000	円	785, 856	,000	円				0 円
J.	^	接		決	算	額	681,826	, 986	円	785, 855	, 966	円	予算額	頁との比	蛟(R3-	-R2)
		費		特定財	源の有	無	■ 有	□無		■ 有	□無	ŧ		-785,8	356,00	0 円
1	시		正	規職員数	攵			2.00	人		2.00	人		特記	事項	
		従事職	員 再	任用職員	員数		_		人	_		人	(予算	算額の主な増減理		里由)
-	ו⊏		会	計年度任	£用職員	数	_		人	_		人	自立	支援給	付費事業	(新
	ı	正規職員	//		15,008	, 000	円	14, 280	,000	円	規)に	統合し	たため。			
-	z [	人件費 参考:平均人件費		7, 504, 000		円	7, 140	,000	円							
		再任用職	_員 再	任用職員	員数×平	^工 均人件費	_		円	_		円				
١.		人件費	Ì	参考:	平均人	件費	3, 997, 00		円	4, 093	,000	円				
'	`	会計年度任用職員人	会	計年度任	£用職員	の人件費		円		_		円				
		事業費請	†(直			696,834	, 986	円	800, 135	, 966	円					
		種類		指標		名	単位	솬	和元年度	V	令和2年	度	伜	和3年	隻	
		怪块		314		你	11	丰世	上段:	目標 下段:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:目	目標 下段	: 実績
		活動	訓練笠	給付費	<b>支給</b> 油:	<del></del>		٨	(	596 )	(	596	)	(	630	)
扌	旨	/口劃 百	게까지	'씨미기 팃.	<b>文</b> 心(人)	<b>C</b> 田奴		人		589		629				

		12//		712	上段	:目標 下	设:実績	上段:	:目標 下	段:実績	上段	: 目標 下段	:実績
		活動	訓練等給付費支給決定者数	,	(	596	)	(	596	)	(	630	)
	指	归到	司师专作的复数作为定有数			589			629				
		注動	就労継続等支援給付利用者数	,	(	301	)	(	301	)	(	301	)
		归到	%以他就会文1g和1970为自数			268			286				
		か玄	訓練等給付費支給決定者数1人あたりの事業	費 千円	(	1, 107	)	(	1, 183	3 )	(	1, 272	)
	標	XI) <del>T</del>	副隊守相的負叉相次定有数1八のにりの事業	Į IIJ		1, 183			1, 272	2			
					(		)	(		)	(		)
ı		指標に	関する特記事項										

3. 評価結果と今後の方向性						
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の儿子を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□   C   のりゆる月反かり事業主体を見直り		ください。		コスト投入	入の方向性	
支給決定者数、利用者数ともに令和元年度実績より増加しており、事業全体の給付費総額も増加しているため、障がい者1人1人が、自立に向けた段階を踏みながら就労につながるよう、意欲的に各種訓練サービスを利用していることの成果であると考えられる。	スを提供す 共同生活 いており、 業所創設の	皆個々の二- する。 ま介護事業所 今後も給け の相談を受け を依頼し、+	所や就労継行が増加す けた際には	続支援事業 ることが見 、不足して	の利用の増 込まれる。 いるサーヒ	新規の事 ごスや地域
評価年月日令和3年6月28日評価者職氏名障がい者補	証課長 荷	砂川 裕美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 障がい者就労支援事業 事務事業名 350312435 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 5 障がい者(児)福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け <mark>細施策</mark> 3 障がい福祉サービスの充実 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 障がい者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障がい者の就労と生活を総合的に支援する事業を実施する の目的・成果ことにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図る。 所管部課 福祉部障がい者福祉課 関係部課

# 2. 事務事業の実施結果

1	和2年度事務事業 集施内容						の開拓、継続した就学 を社会福祉法人に委討		就労継続のための生活支 施した。
					令和元年度		令和2年度		令和3年度
投	直	予	算	額	5, 399, 000	円	5, 505, 000	円	5, 505, 000
17	接	決	算	額	5, 398, 150	円	5, 504, 300	円	予算額との比較 (R3-R2)

投	直	予 算	額	5, 399, 00	00 円	5, 50	5,000	円	5,505,000 円
1X	接	決 算	額	5, 398, 1	50 円	5, 50	4,300	円	予算額との比較 (R3-R2)
_	費	特定財源の	有無	■有□	無	■有	□無		0 円
人		正規職員数		0. (	)4 人		0.04	人	特記事項
	従事職員	再任用職員数		1	人	_		人	(予算額の主な増減理由)
⊐		会計年度任用職	<b>戰員数</b>	1	人	_		人	
	/yunnyy <del></del>	正規職員数×平	^平 均人件費	300, 10	60 円	28	5,600	円	事業経費は主に人件費で
ス	人件費	参考:平均		7, 504, 00	00 円	7, 14	0,000	円	あるが、令和3年度は増減 なしで見込んだもの。
	再任用職員	再任用職員数>	〈平均人件費	1	円	_		円	60 C 70 22 70 7 C 0 0 7 6
L	人件費	参考:平均	人件費	3, 997, 00	00 円	4, 09	3,000	円	
Γ	会計年度任用職員人件費	会計年度任用職	戦員の人件費	1	円	_		円	
	事業費計	(直接費+人件	<b>事</b> )	5, 698, 3	10 円	5, 78	9.900	円	

		ナハトノス		~/	3, 070	, 510	1 3	σ,	107	, , , , ,	1 3				
		種類	指	標	 名	単位	V	令和元年度			令和2年	隻		令和3年	度
		作力	1日	1ភ	10	丰世	上段:	目標 下段:	実績	上段	: 目標 下段	3:実績	上段:	目標下	段:実績
		活動	障がい者就労支援	ピセンターの利	田登録老粉	٨	(	444	)	(	444	)	(	444	)
=	指	心到	牌小小百帆刀又3%		用豆螺苷数	_ ^		432			428				
		活動	障がい者就労支援	爰センターが受	け付けた相談	件	(	3,388	)	(	3, 227	)	(	3, 119	)
		/白刬	件数			i i i		2,592			2, 217				
		成果	障がい者就労支援	<b>愛センター利用</b>	登録者の就労	件	(	30	)	(	30	)	(	30	)
7	標	以木	実績			i T		30			20				
		効率	登録者1人あたり	の車業费		円	(	13, 594	)	(	13, 191	)	(	13, 528	} )
		刈竿	豆螂田   八のたり	/V/ <del>学术</del> 貝		17		13, 191	Ü		13, 528				
		指標に	関する特記事項		•			•		·	•				,

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容									
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×								
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×								
□ B 事業の進め力を允直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×								
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □														
□ こ のうゆる円皮がら事業主体を允直す				コスト投入	人の方向性									
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて相談件数は減少しているが、利用登録者はほぼ横ばいであり、引き続き就労支援を必要としている障がい者の方は多い。また、同じく感染拡大の影響で、令和2年度は就労実績の目標は達成できなかったが、これは一過性のものであり、事業の重要性は何ら変わるものではなく、今後も計画どおりコストを投入していくべきと考える。	加しており 労実績や職 また、こ でも障がい 開拓企業を	がい者(発達 )、本人の特 は場定着率で コロナ禍の行 い者の就分に を と 検討してい こ た	寺性を把握 の向上へ繋 社会情勢を こ関してど こ確保する	するアセス げていくご 踏まえうな かを、委託	メントを強 要がある。 のようにき 援ができる	能化し、就 もしい状況 か、新規								
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   障がい者補	副社課長 百	沙川 裕美												

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 福祉タクシー利用料助成事業 事務事業名 350312436 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 5 障がい者(児)福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 3 障がい福祉サービスの充実 _ 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 在宅の重度心身障がい者が、福祉タクシーを利用した場合の利用料金の一部を助成することにより、障がい者 の目的・成果 の外出を容易にし、生活範囲の拡大を図る。 所管部課 福祉部障がい者福祉課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 在宅者であって、①身体障害者手帳の交付を受けている者で1級〜3級に該当する者、②療育手帳の交付を受けている者で障がいの程度が○A・A・Bに該当する者、③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者で1級〜2級に該当する者(対象者総数4,459人)の申請に基づき、タクシー初乗り料金相当額のチケット48枚分の福祉タクシー利用券を1,172人に交付した(福祉タクシー利用券と自動車燃料費利用券のどちらか選択)。

市は、当該利用券による利用があったタクシー事業者に利用料金・手数料を支払った。

ľ					令和为	元年度			令和 2	2年度			令和	13年度	
		直	予 算	額	20, 421		円	12.	. 177	,000	円			(	) 円
	投	接	決 算		18, 381		円			, 783	円	予算客	頁との	比較(R3-	
		費	特定財源の	有無	口有	■無		口有		■無	Ę		-12	, 177, 000	)円
	入		正規職員数			0.43	人			0.43	人			記事項	
		従事職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
	⊐l		会計年度任用單	战員数	_		人		_		人			外出支援事	
	ı	正規職員	正規職員数×平	^Z 均人件費	3, 226	, 720	円	3,	, 070	, 200	円	(新規	) ( <b>C</b> }	統合したた	め。
	ᅰ	人件費	参考:平均	人件費	7,504	, 000	円	7,	, 140	,000	円				
		再任用職員	再任用職員数>	平均人件費	_	円			_		円				
	١	人件費	大件費 参考:平均人件費		3, 997	,000	円	4,	4, 093, 000 <u>⊞</u>						
		会計年度任用職員人件費 会計年度任用職員の		戦員の人件費	_		円		_		円				
		事業費計			21,607	<del> </del>		15,	, 112	, 983	円				
		種類	指	標	名	単位	ŕ	和元年度		٧	令和2年	度		令和3年度	ŧ
		1至7只	18	'ነភ	Ъ	十四	上段:		実績	上段:	目標 下段		上段	: 目標 下段	:実績
		活動	クシー券交付枚	数		枚		46,023 )		( 60,05			(	56,987	)
1	指	7130	交付人数×交付	枚数)		1/		44, 460			56, 256				_
		成果 タ				枚	-	25, 451 )		(	29, 485		(	19,660	)
						ı^		21, 844			19, 409				_
		成果 タ	クシー券利用率	L**		%	(	55.3	)	(	49.1	)	(	34.5	)
1	標	,,,,,,,	/以本 (利用枚数/交付件数)			, ,		49.1			34.5				_
		効率 利	用1枚あたりの事	業費		円	(	972	)	(	989	)	(	779	)
								989			779				
		指標に関	する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充						
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性											
利用枚数・利用率いずれも減少しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者が外出を控えたことが原因であると考えられる。 通常時であれば、サービスを必要としている人は多いことから、一定の成果があるものと考えられる。	囲の拡大を 事業の案内 また、 利用券を3	- 利用料のB を図るためI 内を行ってし タクシーのを 6枚から484 ちへ適切にな	こは必要ない いく。 切乗り運賃 女へ増やし	事業であり の改定に伴 たことから	、今後も対 い、令和2 、利用者、	対象者へ本   年度から						
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   障がい者福祉課長 砂川 裕美												

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 重度心身障がい者自動車燃料費助成事業 350312437 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 5 障がい者(児)福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け <mark>細施策</mark> 3 障がい福祉サービスの充実 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 在宅の重度心身障がい者に対し、日常生活に供する自動車等の運行に係る燃料費の一部を助成することによ の目的・成果り、障がい者の日常生活の利便性向上と経済的負担の軽減を図る。 所管部課 福祉部障がい者福祉課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	· <del>非</del> 伤	事業の実施権	<del>示</del>											
=	和2年度事務事業 実施内容	でいる者でいる者でいる。 に該当する。 交付した(礼	あって、①身体障 章がいの程度がC 者(対象者総数4. 福祉タクシー利用 該利用券による私	)A・A・Bに該 ,459人)の申詞 ]券と自動車燃	当する者 青に基で 料費利	者、③精 びき、1 ⁷ 用券の。	静障害者保健 枚500円の利用: どちらか選択)	福祉手 券18枚 。	帳の交付 の自動車	rを受け 極料費	ている 利用券	る者で1級 [.] きを2,386.	受け 〜2級 人に	
				令和元	元年度		令和 2	2年度			令和	3年度		
投	直	予	算 額	20, 791	,000	円	20,655	,000	円			(	) 円	
仅	接	決	算 額	20, 354	, 260	円	20,552	,515	円	予算額	真とのと	比較(R3-	R2)	
	費	特定財源	原の有無	□有	■無		□有	■無			-20,	655,000	) 円	
入		正規職員数			0.43	人		0.43	人		特証	書項		
	従事職員	<b>再任用職員</b>	数	_		人	_		人	(予算	額の主	Eな増減理	胜)	
$\Box$		会計年度任用	用職員数	_		人	_		人	障がい者外出支援事業				
	正規職員		×平均人件費	3, 226						一 (新規) に統合したため。				
ス	人件費	参考:平	均人件費	7, 504	7, 504, 000 <del>P</del> 7, 140, 000 <del>P</del>									
	再任用職		数×平均人件費	_		円	_		円					
1	人件費	参考:平	^Z 均人件費	3, 997	,000	円	4, 093	,000	円					
1,	会計年度任用職員人	会計年度任用	用職員の人件費	_		円	_	一 円						
	事業費計	†(直接費+人	件費)	23, 580	580, 980 円 23, 622, 715 円									
	種類	指	標	名	単位		和元年度		和2年	-		6和3年度		
	12//	16	120	н	712		目標 下段:実績		目標 下段		上段:	目標 下段	:実績	
	┃   活動   目	自動車燃料券交	付枚数(交付者)	数×18枚)	枚		41,462 )		42, 294			43, 162	)	
指					,,,,		42,084		42, 948		,	10 100	_	
	成果	———————————— 自動車燃料券利用枚数			枚		39,804 )		40, 348			40, 400	)	
		一				,	40, 128	,	40, 187		,	02 (	$\overline{}$	
標	成果	成果 自動車燃料券利用率			%	(	96.0 )	(	95.4	)		93.6	)	
惊	$\vdash$					/	95.4	,	93.6	`	/	Γ00	$\overline{}$	
	効率 🕫	利用1枚あたりの	の事業費		円	(	590 ) 588	(	588 588	)		588	)	
	七七年1-1	関する特記事項	5				J00		200				_	
	1日际に	対9 の付記事場	₹											

総合評価と判断理由																		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調												
■ A 前回とのが天肥大は一層の元天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×												
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×												
日日日本代の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×												
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	   向性、成果の方   方向性を赤く涂	皆減	縮小	維持	拡充												
	りつぶしてください。コスト投入の方向性																	
交付枚数、利用枚数がともに増加しており、本サービスを必要としている方は多いことから一定の成果があるものと考える。	者(ガソ! り、また和 としてのE	燃料費助成調 リンリタント 利用者も助成 利便性向上の に考える。	ド)の方に 成事業につ れているが	も福祉事業 いて理解が 、協力事業	を理解いた 定着してま 者が減少し	だいてお 3り、事業 っている。												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 障がい者	届祉課長 R	砂川裕美				<mark>評価年月日</mark>   令和3年6月28日   <mark>評価者職氏名</mark>   障がい者福祉課長 砂川 裕美												

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 いきいきデイサービス事業 340412505 事務事業名 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 戦略におけ 施策 4 高齢者福祉の充実 施策 における位置 る位置付け 細施策 4 介護予防の推進 KP I 付け ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 家に閉じこもりがちな高齢者の心身機能の維持向上と社会的孤立感の解消を図り、要介護状態への進行を予防することを目的とし、高齢者の健康不安の解消と居宅における自立した生活継続に対する支援を行う。 事務事業本来 の目的・成果 関係部課福祉部介護保険課 各総合支所高齢者・介護保険係 所管部課 福祉部高齢者福祉課

### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 令和2年度は24会場で事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業休止、実施時間の短縮や会場の人数制限を行った。事業を休止した期間については利用者へ電話による健康チェックを実施した。 会場では、看護師による血圧測定・健康チェックや健康体操を行った。

_													
			令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	34, 421	,000	円	29	, 999	,000	円		30	, 351, 000	円
1X	接	決 算 額	33, 725	, 848	円	19	, 331	, 916	円	予算額	質との	比較(R3-I	R2)
	費	特定財源の有無	□有	■無		□ ℓ	Ī	■無				352,000	円
入		正規職員数		1.20	人			1.20	人		特	記事項	
	従事閥	再任用職員数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	!曲)
		会計年度任用職員数	_		人			2.80	人			トウイルス	
	正規職	误 正規職員数×平均人件費	9,004	, 800	円	8	, 568	,000				人費用やAEI 月が発生した	
la	人件對	参考:平均人件費	7,504	, 000	円	7	, 140	,000	円	品の場とによ	ろ増額	577 <del>元</del> 土 07 質。	ر
	再任用單	_{哉員} 再任用職員数×平均人件費	_	- 円			- 円						
١.	人件費	参考:平均人件費	3, 997	<b>7,000</b>	円	4, 093, 000 <u>⊞</u>							
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	_		円	3	, 399	,516	円				
	事業費	計(直接費+人件費)	42, 730	, 648	円	31	31, 299, 432 円						
	種類		 名	単位	f	和元年度		-	令和2年	芰		令和3年度	
	俚块	1日 1示	11	半世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	设:実績	上段:	: 目標 下段	:実績
	活動	実施会場数		箇所	(	24	)	(	24	)	(	24	)
指	心勤	大心云物致		回门		24			24				
	活動	年間実利用者数		人	(	360	)	(	380	)	(	390	)
	石動	十间关机力 自				354			288				
	成果 年	年間延べ利用者数		人	(	11,500	)	(	11,500	)	(	11,500	)
標	从未	中间延べや而省数				10, 220			1,850				
	成果	事業内容の満足度		%	(	95.0	)	(	95.0	)	(	95.0	)
						85			_				
	指標に	<mark>に関する特記事項</mark> 事業内容の満	最足度につい <u>ては</u>	、新型.	コロナ	ケイルス感	染症(	の影響	によりア	ンケー	トを実	施しなかっ	た。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を図る	未 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中未の庭の月を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ C めりゆる円反かり事業主体を允直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業の休止や人数の制限などを行い、市内24か所の会場で事業を実施した。事業が休止している間はスタッフから利用者に健康チェックのための電話をすることで、休止期間中に利用者が孤立しないように努めた。 会場では、看護師による血圧測定・健康チェックや健康体操を行い、参加者の心身機能の維持向上と社会的孤立感の解消を図ることができた。	り、利用者 地域の高 ように介護 高齢者の引 コロナウィ	音の状況に属 語齢化が進行 養予防事業を  きこもりな / ルス感染症	所規利用者であります。 おりまま できる いっこう かいまい できる 必 強 できる 必 強 できる 必 強 できる 必 できる かい できる かい できる かい	内容を計画 高齢者が要 があるため 立感の解消 止対策を行	する必要が 介護状態に 、事業の実 を図ってい い会場の環	ある。 ならない 施により く。新型 境を整
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 高齢者福祉	上課長 土屋	量 佳美				

1. 事務事	業概要	<u> </u>					_	対象	十 令	和2年度実施事業
事務事業名	地域包	賍	支援センター事	業			事務事	業整理	播号	340132504
(() A IE (() - I -	大綱	3	子どもから高齢者まで、	誰もが健康で安々	心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画	施策	4	高齢者福祉の充			戦略における位置付け		-		
における位置 付け	細施策	1	高齢者支援体制(	の整備	KPI	-				
	後期基	本語	十画成果指標との関	連 ■ 該当	□ 非該当	総合振興語	画実施計画	画への	掲載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果			「住み慣れた地域で )心身の健康の保持		その人らしい生活 寮・福祉の向上を		こめに支援な	を行う	0	
所管部課	福祉部	高虧	6者福祉課	関係部課						

### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

市内に5か所の地域包括支援センターを設置している(【市直営】久喜中央地域包括支援センター、【委託】久喜東地域包括支 援センター、菖蒲地域包括支援センター、栗橋地域包括支援センター、鷲宮地域包括支援センター)。 各地域包括支援センターに、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種を配置し、総合相談支援業務、権利擁護業務、 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等を行い、高齢者の自立に向けて、支援を行った。

							令和	元年度			4	令和2	2年度				令和	13年	度	
投	直		-	予	算	額	117, 474	, 000	円		104,	424	,000	円			123	, 411	,000	円
13×	接		ž	夬	算	額	105,031	, 897	円		101,	213	,822	円		予算額	頁との	比較	(R3-R	2)
١,	費		特	定財》	原の有	無	■ 有	□無			■有		□無				18	, 987	,000	円
入			正規職					3.50	人				2.20	人				記事項		
	従事日		再任用				_		人			_		人					<b>曽減理</b>	
		_	会計年				_		人				3 <b>.</b> 40		4	地域 営委託			ンター	
	正規職		_			人件費	26, 264		円				,000			手度で	減額	こうい 甫正を	て、 1 行っ <i>t</i>	こた
ス	人件				平均人·		7, 504	, 000	円		7,	140	,000		ð	め。				
	再任用單	1-747	_			均人件費	- 2 000		円		— 円 4,093,000 円									
	人件				平均人·		3, 997	,000	円											
	会計年度任用職					の人件費	121 205	007	円				<u>, 541</u>	円						
	事業費	(計 (	直接費	1十八	、計算)		131, 295	, 891	円	<b>Δ</b> 4π=			, 363		) 生民	<b>=</b>		A£⊓ 1	3年度	
	種類			指		標	名	単位	上段:	令和元				令和2年 上段:目標 下戶					7 年년 下段:	
									上段・	20, (		- 天禎	上权		000	:実績 )	上权		000	天順
指	活動	年間	間相談	延人数	<b>X</b>			人		26, (		,	(		382	,			000	
1,1									(	5,0		)	(		000	)	(	5. (	000	$\overline{}$
	成果	年間	引介護-	予防さ	ナービス	ス計画作成領	管理件数	件	<u> </u>	4, 8		,			382		<u>`</u>	<u> </u>		
								(	., 0		)	(	., .		)	(			)	
標														-						
									(			)	(			)	(			)
																		_	_	
	指標は	こ関	する特	記事項	頁															

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天肥文は一層の九天を図る	果の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日日本来の庭の月を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
□ こ めりゆる丹皮がり事業主体を兄直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性			
市内5か所の地域包括支援センターにおいて、高齢者の様々な相談に応じて支援を行うとともに、要支援認定を受けた方のケアマネジメントを行い、適切な介護予防サービスの利用につなげることができた。また、高齢者虐待の早期発見とその対応や、成年後見制度の紹介など、高齢者が自分らしく尊厳ある生活を送ることができるように、相談に応じて支援を行うことができた。	る。また、介 を提供する 「地域包括ケ 多様化する 年度から4か ア会議を定期	の増加に伴い 護保険の要介 アシステの相域 アシオの地域包括す 所の地域した がして がして がして がして がして がして がして がして がして がして	の一つである 護状態となっ の構築を進める に適切に対応し 接センターを 多職種による	「自立支援」の ても住み慣れた る必要がある。 し、必要な人員 委託により運 ケアプランの材	D考え方に沿った き地域で生活で 量確保を図るた 営している。 検討や、在宅医	たサービス きるように め、平成30 また、地域ケ		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 高齢者福祉	上課長 土屋	星 佳美						

1. 事務事	<u> 業概要</u>				対象	令和	02年度実施事業		
事務事業名	任意事	業(高齢者福祉語	果分)			事務事	業整理	番号	340232505
<i>₩</i>	大綱	3 子どもから高齢者まで、	誰もが健康で安心	心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策	4 高齢者福祉の充	実		戦略におけ	施策	-		
付け	細施策	2 高齢者支援サー	ビスの充実		る位置付け	KPI			
	後期基本	<b>ド計画成果指標との関</b>	連 ■ 該当	□ 非該当	総合振興語	画実施計画	画への掲	3載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	申報のほ	[営の安定化を図ると	で安心してそ ともに、要介	たの人らしい生活 ↑護者を介護する	舌を継続して る者等に対し	いくことだい、地域の乳	ができる 実情に応	るように なじた必	でするため、介護保険 で要な支援を行うこと
所管部課	福祉部高	<b>高齢者福祉課</b>	関係部課 福	祉部介護保険課	各総合支	所高齢者・	介護保	険係	

# 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

認知症サポーター養成講座、家族介護用品支給事業、配食サービス等を実施して、要介護者を介護する介護者等 に対し、必要な支援を行った。

Ī							令和:	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
ı,	投	直		予	算	額	27,975	, 000	円			,000	円	31, 134, 00		, 134, 00	0 円
1	JX	接		決	算	額	25, 077	7,867	円	25,858,985 円		円	予算額	真との	比較(R3	-R2)	
	,	費	_		原の有無		■ 有	□無		■有	■有□無				2,614,000		0 円
	$^{\wedge}$			見職員数				0.70					人			記事項	
		従事職員		£用職員			_		人		— 人			(予算額の主な		主な増減	理由)
	⊐				用職員数				人		_		人				
		正規職員		見職員数	×平均人	件費	5, 252		円			,000	円				
	ス	人件費			平均人件費		7,504	1,000	円	7,	, 140 _.	,000	円				
		再任用職	_	£用職員	数×平均	人件費	_		円		_		円				
	_	人件費	į	参考:5	平均人件費	貴	3, 997	7,000	円	4,	, 093 _.	,000	円				
	1.	会計年度任用職員人		五日十尺江川城兵の八十兵					円		_		円				
		事業費計	†(直	妾費+人	.件費)		30, 330	), 667	円			, 985	円				
		種類		指	標	į	名	単位		和元年度			和2年度			令和3年	
		12//		711	120		н	712	上段:	目標 下段	:実績	上段:		と: 実績	上段		段:実績
		活動	忍知症	サポータ	7一養成講	極開催回	可数		(	50	)	(	40	)	(	40	)
1	指	711243	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		207701					29			21				_
		成果:	認知症	サポータ	7一養成講	極受講者	<b></b> <b>当</b> 数	人	(	1,560	)	(	1,590	)	(	1,620	)
		79071	20-7-H XIII	, . i.	12/7011	,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>				1,074			452				_
		活動	記食サ	ービス辺	E配食数			件		48,500	)	(	53, 200		(	54,700	)
ľ	標	7,1,3,1						L		49, 795			53 <b>,</b> 173				_
									(		)	(		)	(		)
ı																	

### 3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり夫肥文は一層の儿夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の力を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
日でありゆる内皮がり事業主体を充邑す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
認知症サポーター養成講座については、小学生から高齢者まで幅広い年代でサポーターを養成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で講座の回数は例年に比べ少なかったが、オンライン(Zoom)による講座を開催する等、新たな試みも行った。また、配食サービスについては、高齢者の栄養改善を図るとともに在宅生活の見守りを行うことができた。	宅で介護すれる。 本人とそ できるよう	、口の増加に する家族等の まの家族が、 う、引き続き 家族介護用品 ないく。	の負担がさり 住み慣れた き各種サーロ	っに増大し に地域で安 ごスを提供	ていくもの 心して暮ら していく。	と考えら すことが		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 高齢者福祉	上課長 土屋	星 佳美						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 介護予防・生活支援サービス事業 340432509 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 4 高齢者福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け K P I 細施策 4 介護予防の推進 _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 高齢者が住み慣れた地域で生活していく中で、切れ目なく介護予防の効果を受けられるようにすることを目的 として、介護予防事業と生活支援サービスを一体としてケアマネジメントして提供することにより、自立した日 事務事業本来 の目的・成果 常生活を営むことができるようにするもの。 所管部課 福祉部高齢者福祉課 関係部課

2	. 事務事業の実施結果												
1	和2年原 事務事業 実施内容	訪問型サービスや通所型サー	-ビスなどの多	様なサ	ービスを	を提供した	た。ま	,、介語 た、負	護予防ケ 負担が一	アマネ: 定額を	ジメント? 超えて高額	を実施し額になっ	ハ oた
			令和	元年度		,	令和2	2年度			令和3年	丰度	
投	直	予 算 額	227, 353	,000	円	224	, 002	,000	円		253, 29	3,000	円
1×	接		215, 079	, 140	円	194	, 304	, 704	円	予算額	頁との比較	ҟ (R3−R	(2)
١,	費	特定財源の有無	■有	□無		■有		□無			29, 29	1,000	円
入		正規職員数		0.80	人			0.80	人		特記事		
	従事閥		_		人		_		人		額の主な		,
		会計年度任用職員数	_		人	_	_		人	・	2年度より	ノ、令和 <del>老の増</del> り	13年
	正規職	*****	•	6, 003, 200 F 7, 504, 000 F		7, 140, 000 円			一度における利用者の増加 見込まれるため。				
ス	人件費	9-3-1-37(II-R	7,504										
	再任用贈		_		円		_		円				
	人件費		3, 997	,000	円	4,	, 093	,000	円	•			
•	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	- 221 202	_		200, 016, 7				円			
	事業費	計(直接費+人件費)	221, 082	, 340	円				円		A T-		
	種類	指標	名	単位		和元年度			<b>全和2年</b>			13年度	
			0- \ "		上段:日		美績、	上段:	目標下				美績
+15		介護予防ケアマネジメント(ケ [*] 成管理件数	アブラン)作	件	(	5,000	)	(	5,000		0	, 000	
指		成 6 年 F 数			(	5,017 4,104	_	-	4,538		( )	, 132	$\overline{}$
	成果	訪問型介護予防事業利用延べ人	数	人		2,609	)	(	4, 296 2, 347			, 132	
	$\vdash$				(	5, 796		(	6, 288		( 1	, 740	$\overline{}$
標	成果	通所型介護予防事業利用延べ人	数	人		3, 790 3, 973		(	3, 487		4	, 740	
1837					(	3, 713	)	(	J, 707	)	(		$\overline{}$
								`		,		_	
	Us late		1.5% 1.5 1. (1.5	_ 。	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			1 1-5 1		NII 1 . ~ ~ 4			_

#### 3. 評価結果と今後の方向性

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
日でありずる内皮がり事業主体を充置す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
	ように、多 択できる† 本市のり 果を得られ	る様なサービ ナービスやう 犬況に応じた こる短期集「	ごスを展開 支援を充実 たサービス 中予防サー	して、サー させる必要 を提供でき ビスや、従	生活を送ったス利用対象を表して、対象を表し、気がある。を表し、短前の介護予定を図った。	謝間で効 防サービ		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 高齢者福祉	上課長 土原	屋 佳美	•	•	•			

<mark>|指標に関する特記事項</mark>|介護予防ケアマネジメント(ケアプラン)作成管理は、地域包括支援センター事業から移行して実施している。

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 -般介護予防事業 340432510 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 4 高齢者福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 4 介護予防の推進 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 高齢者が要介護状態になることを予防するために介護予防事業を実施することで、介護予防に関する知識の普 <mark>の目的・成果</mark>|及が図られる。この取組みにより、生活機能の低下予防が図られ、在宅生活を続けることができる。 所管部課 福祉部高齢者福祉課 関係部課に福祉部介護保険課の各総合支所高齢者・介護保険係

# 2. 事務事業の実施結果

=		や在宅指導	算による	教室実施な		ながら、	事業を実施した。	はつらつ	人数制限をしての事業縮小 運動教室では、事業の代替 布した。
					令和元年度		令和2年度		令和3年度
<del>+</del> Љ	直	予	算	額	25, 223, 000	円	8, 840, 000	円	22, 900, 000 <u>H</u>

ш	投	<u> </u>		,	71	PX		LJ, LLJ	,			0,010	, , ,	1 3		,	00,00	0 1 3
	IX	接		決	算	額		22,683	, 648	円		7,072	, 842	円	予算	額との比	較(R3	-R2)
	_	費		特定財	源の有	無		■有	□無			■ 有	口無	Ħ		14, 0	60,00	0 円
	시		正規	見職員数	攵				1.80	人			1.80	人		特記	事項	
		従事職員	再	壬用職員	製数			_		人		_		人	(予	算額の主	な増減	理由)
	إ⊏		会	計年度任	£用職員	数		_		人			0.92	人	R2年	F度は新	型コロブ	トウイ
		正規職員	~	見職員数	y×平均	]人件費		13,507	, 200	円		12,852	,000	円		感染症の原 め、事業で		
	٦l	人件費		参考:	平均人	件費		7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	が、R	3年度は	事業の再	開を
		再任用職		壬用職員	員数×平	均人件費		_		円		_		円		しだため。		
		人件費		参考:	平均人	件費		3, 997	,000	円		4,093	,000	円				
	[']	会計年度任用職員人	+費 会計	計年度任	£用職員	の人件費		_		円		510	, 250	円				
		事業費計	- (直	接費+。	人件費)			36, 190	, 848	円		20, 435	, 092	円				
ſ		種類		指		 標	名	_	単位	f	和力	年度		令和2	2年度	令	和3年	度
l		但主共		18		1ক্য	10		丰世	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標	下段:実績	上段:目	標下段	设:実績
1					•					1	Ο.	) \	/	0	) \	1	<u> </u>	\

		種類	指標	名	単位	•	令和元年	度		令和2年度	ŧ		令和3年度	ŧ
		俚块	1日 1示	₽	半世	上段:	目標下	段:実績	上段	: 目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績
		活動	健康相談の開催回数			(	92	)	(	92	)	(	92	)
	指	7030	医冰阳跃 7 / 川   二				80			8				
I		活動	介護予防ボランティア(はつらつ	リーダー)	,	(	20	)	(	20	)	(	20	)
		泊刬	養成事業参加者数		_ ^		22			0				
		出出	健康相談の延べ参加者数		,	(	1,000	)	(	1,000	)	(	1,000	)
	標	八木	健康相談の延べ参加有数 		_ ^		923			69				
		成果	介護予防ボランティア(はつらつ	リーダー)		(	115	)	(	125	)	(	135	)
		八木	登録者数				122			122				
ı		指標に	関する特記事項											

#### 3 評価結果と今後の方向性

令和3年6月28日

評価年月日

_3. 評価結果と今後の方向性								
総合評価と判断理由								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
□ B 事業の進め力を允直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
日でありずる内皮がり事業主体を先直す	塗りつぶしてく			コスト投え	人の方向性			
新型コロナウイルス感染症の影響で「はつらつリーダー養成講座」は中止となったが、「はつらつ体操」のYouTube配信やDVD・ポスターを作成するなど、コロナ禍であっても、介護予防を促進する新たな取組みを実施することができた。また、介護予防のための各種教室や健康相談においても、回数や定員を制限し、感染症対策に留意しながら実施方法を工夫し、高齢者の生活機能の維持・向上を図った。	れる「はこ 延伸するか つらつリー り組める。 新型コロ	つらつ運動! こめに重要 [・] - ダー」を! ようにする。 コナウイル!	を見据え、 教室」を維 である。継 養成し、住 、 ス感染症の ていた各種	持すること 続的に教室 民が主体と 状況を把握	は市民の傾の指導者でなって介護し、感染防	康寿命を ある「は 予防に取 正対策を		

土屋 佳美

評価者職氏名 高齢者福祉課長

1. 事務事	業概要		対象	令和	02年度実施事業		
事務事業名	介護サービス利用者負担	坦助成事業		事務事	業整理	番号	340312603
۸) A IE (	大綱 3 子どもから高齢者まで、	誰もが健康で安心して暮らせるまち	第2期総合	基本目標	_  -		
総合振興計画における位置	施策 4 高齢者福祉の充	実	戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 3 介護保険サービ	スの充実	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との関	関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への排	『載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果		をけ、在宅で介護(予防)サー 条的負担の軽減及び在宅介護に				香に対し	,、利用者負担の一部
所管部課	福祉部介護保険課	関係部課					

### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 居宅介護(予防)サービスを利用し、世帯全員が住民税非課税の方に対し、自己負担額の25%相当額(老齢福祉 年金受給者50%)を助成金として交付した。また、支給限度基準額を超えて居宅サービス、介護予防サービス又は 介護予防・日常生活支援総合事業を利用した場合に、支給限度基準額の1割相当額の2分の1を限度として助成金を 交付し、在宅で介護サービスを利用しやすい環境の整備に努めた。

										<b>令和</b> 2	2年度			<b>令</b> 和	3年度	
	古		予	 算	額			円				円			257, 000	) 円
投	直	⊢				46, 279					,000					
	接		<u></u> 決	算	額	41,867	<u>,625</u>	円	42	<u>, 852</u>	<u>, 770</u>	円	<b>予算</b> 8		比較(R3-	
_	費		特定則	才源の有	無	□ 有	■ 無		□≉	Ī	■無	ŧ		-8,	217,000	) 円
入		正	規職員	数			0.19	人			0. 19	人		特詞	7事項	
	従事閥	員 再	任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の主	Eな増減理	胆)
$\Box$		会	計年度	任用職員	数	_		人		_		人			の実績を置	
	正規職	溳 正	規職員	数×平均	人件費	1,425	, 760	円	1	, 356	,600	円	精査し もの。	たとこ	ろ、減と	なる
la	人件	貴	参考:	:平均人	件費	7,504	, 000	円	7	, 140	,000	円	507°			
,	再任用暗	韻 再	任用職	員数×平	均人件費	_		円		_		円				
١.	人件費	貴	参考:	:平均人	件費	3,997	7,000 <u>円</u>		4	,093	,000	円				
۲	会計年度任用職員	(人件費 会	計年度	任用職員	の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計(直	接費+	人件費)		43, 293	, 385	円	44	, 209	,370	円				
	種類		指		<del></del>	名	単位	f	和元年度	Ę	4	令和2年	度	2	令和3年原	ξ
	作主大只		111		1	10	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下戶	设:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	介雑+	ナービス	利田老魚	負担助成人数	\$t <del>7</del>	人	(	1,912	)	(	2,050		(	2,050	)
指	/山北/	ЛΟΣ	, ,,	נו וניוי	~15411-20,7 (3				1,893			1,908				
	活動	支給『	1度其消	■ 上垂	せ助成人数		人	(	78	)	(	65	)	(	65	)
	/113/1	<b>У</b> лиг.	从坐十	-124//\	_ 13/19/07 (3/				58			46				_
								(		)	(		)	(		)
標																
								(		)	(		)	(		)
	指標に	関す	る特記等	事項								<u> </u>				

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×						
日日中来の定め力を元旦り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す												
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性												
日 こ あらゆる角度から事業全体を見直す												
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 介護保険認	長 矢作	幸一										

1. 事務事	<b>耒槻安</b>		対象	1000	12年度美施事業				
事務事業名	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	事務事業	業整理都	号	340132605				
(() A IE (T) - I -	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総合	基本目標	-  -						
総合振興計画における位置	施策   4  高齢者福祉の充実	施策	-  -						
付け	<mark>細施策</mark> 1 高齢者支援体制の整備 ^{る位置付け}	KPI	_  -						
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 <mark>総合振興計</mark>	画実施計画	国への掲	載■	該当 🗆 非該当				
事務事業本来の目的・成果									
所管部課	福祉部介護保険課 関係部課 福祉部高齢者福祉課								

2	. 事務	事業	の実施	結果													
1	和2年原 事務事業 実施内容	実	態調査	・計画策	画・第8期 定支援業務 定を行った	務を委託											
							令和	元年度			令和2	2年度			令和:	3年度	
投	直		予	算	額		6,806	,000	円		4, 136	,000	円				0 円
1X	接		決	算	額		6,798	, 000	円		4, 136	,000	円	予算額	頁との比	比較(R	3-R2)
١,	費		特定則	排源の有意	Ħ		有	■無			]有	■無			-4,	136,0	00 円
入		正	規職員数	数				0.30	人			0.30 人			特記	事項	
	従事職	麗員 再任用職員数					_		人		_		人	(予算	類の主	な増減	理由)
$\Box$		会	計年度任用職員数				_		人		_		人	計画	策定に	係る業	務委託
	正規職		規職員数	数×平均	]人件費		2, 251	, 200	円		2, 142	,000	円	料か省	減とな	つにに	<i>ه</i> ره
ス	人件費	•	参考:	平均人	件費		7,504	, 000	円	7, 140, 000 F		円					
	再任用職	~~~	任用職員	員数×平	均人件費		_		円		_		円				
_	人件費	•	参考:	平均人	件費		3,997	, 000	円		4,093	,000	円				
1-	会計年度任用職員	^=1 <i>/</i> = <i>-</i> / <i>/</i> =============================		の人件費		_		円		_		円					
	事業費語	計(直	接費+	人件費)			9,049	, 200	円		6, 278	,000	円				
	種類	種類 指標						単位	全	和元年	F度 TE	4	和2年	度	全	和3年	度
	作主大只	1年次 1日 1次			יעוי	名		十四	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:		段:実績
七	活動:	舌動 介護保険運営協議会での審請			での審議回	数		回	(	<u>5</u>	)	(	6	)		3	)

ı		種類	指	標	名	単位		ロイロント	十尺		17 사비 2	- 十尺			17 JU ~	十区	
		俚块	18	信示	10	丰加	上段:	目標	下段:実績	上段	:目標	下段:	実績	上段:	目標	下段:	実績
		活動	介護保険運営協調	義会での審議			(	5	)	(	6	)	)	(	3	}	)
	指	71 43	7 DO PHI ACE IN THE	же соещь				5			(	Ó				_	
							(		)	(			)	(			)
															_	_	
							(		)	(			)	(			)
	標														_	_	
							(		)	(			)	(			)
															_	_	
		指標に	関する特記事項														

3. 評価結果と今後の方向性											
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
ローロー・東番の生み士を見古せ	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め方を見直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
ロ C ちらゆる免疫から東学を休む目直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す											
介護保険運営協議会での計画の諮問、答申を経て、新たに本市が目指すべき高齢者福祉及び介護保険制度の運営に関する基本理念や計画目標などを定めた「久喜市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し、保険料の基準額の見直しや多段階化を設定した。 今後、介護保険運営協議会でもご意見をいただき、取組内容を計画的に進めていくことから、事業は一定の効果をあげていると考える。											
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 介護保険認	果長 矢作	幸一									

#### 令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 介護認定調査事業 370432608 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 4 介護保険事業の推進 _ 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 🛚 🗆 該当 ■ 非該当 ■ 非該当 家事や身支度等の日常生活に支援が必要なため介護予防サービスの利用が効果的と考えられる場合や寝たき 事務事業本来 り、認知症等で常時介護を必要とする状態となった場合などに、本人や家族等の申請に基づき、速やかに介護認 の目的・成果 定調査を実施し、介護認定を行う。 福祉部介護保険課 関係部課 所管部課

#### 2. 事務事業の実施結果

介護認定申請に基づき、介護認定調査員等が対象者の自宅(または施設・病院等)を訪問し、国が定める調査 項目について、身体の状態や生活状況などを聞き取る。医療機関に主治医意見書の作成を依頼し、入手する。訪 問調査の結果と主治医意見書から、国の認定ソフトを用いてコンピュータ処理し、一次判定結果を得る。一次判定結果を審査のための資料として介護認定審査会に諮り、二次判定として要介護度の決定を行う。

							令	和	元年度				令和2	2年度				和34		
挼	直	Ī		予	算	額	60,8	304	,000	円		21	, 938,	, 000	円		3	5,09	7,000	円
12	' 接	<u> </u>		決	算	額	56,	771	, 319	円		20	, 850,	, 725	円	予算	額と	の比較	交(R3−	R2)
١,	費	Ì		特定則	挪の有	無	□有		■無			口有	Ī	■無	ŧ		1	3, 15	9,000	円
ス	`		正规	現職員	数			1	1.00	人			1	1.00	人		牛	寺記事	項	
	従事	翼員	再信	E用職員	員数		-	_		人			_		人	(子	算額(	の主な	增減理	曲)
=	I		会討	年度	壬用職員	数	-	_		人			2	2.00	人					
	正規		正规	現職員	数×平均	]人件費	82,5	544	,000	円		78	, 540,	, 000	円				かいては	
lz	人件	-費		参考:	平均人	件費	7, 5	504	,000	円		7	, 140,	, 000	円	里新みで	甲請者 あるた	īか瑁 -め	加する 平成30	兄込   年度
	再任用		再信	E用職員	員数×平	^Z 均人件費	-	_		円			_		円	から	更新申	-07。 3請の	認定有	一及 効期
	人件	-費		参考:	平均人	件費	3, 9	997	,000	円		4	, 093	, 000	円	間が	最長3:	年に延	延長され	
1	会計年度任用	職員人件費	△件章 会計年度任用職員の人件費				-	_		円			, 944,		円	عے	による	っもの	0	
	事業費	計	(直	妾費+	人件費)		139, 3	315	, 319	円		120	, 334	, 741	円					
	┃ ┃ 種類			指		標	名		単位	4	令和元	年度			令和2	年度		令和	13年度	Ę
	任主大只			111		'ነភ	ъ		十四	上段:			:実績	上段:		下段:実	績 上段		票下段	:実績
	活動	120万	つ 調:	查件数	,				件	(	6,8		)	(	5, 50		(	6	, 285	)
指		רטעם	<b>₩</b>	HII X/	`				- 11		6, 1				3, 7'				_	_
	活動	調和	<b>李</b> 堂:	<b>終委</b> 託	の件数				件	(	30		)	(	286	<u> </u>	(		270	)
	70 37	마마그	<b>1</b>	1715	) V				- 11		21				37				_	
	成果	延	扣涌:	知の割	合				%	(	2		)	(	25		(		25	)
標	19001	Ĺ	11XE	лн <b>о</b> л ц :	' Н				70		8.				10.				_	_
	成果	-	宁変	更の割	合				%	(	10.		)	(	10.		(	1	0.0	)
									/0		9.	8			9. !	)			_	_
	Ⅰ 指標	に関	する	特記事	項															

#### 3. 評価結果と今後の方向性

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O									
総合評価と判断理由	·	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容				
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方	縮小	×	縮小	×	×			
ローB 事業の進め方を見直9 	方向性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
□ C めりゆる円反かり事業主体を允直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性				
平成30年度から更新申請者の最大有効期間が36か月に延長さ					間が36か月				
			は更新申請						
調査業務委託の件数も減少に転じた。更新を含む新規及び区分 調査業務委託の件数も増加する見込みである。このため、調査									

変更申請についても、迅速に認定調査を実施し、主治医意見書 員の勤務日数増や調査業務委託の増などにより対応していく。 についても医療機関と適時連絡を取り、入手期間が短縮となるように努め、延期通知の割合は目標内となった。また、審査会委員の研修受講の勧奨を行い、判定変更の割合は目標内となっ 事業は <u>:定の成果を上げていると考える</u>

調査基準は全国一律とされており、今後も精度を高め、公平かつ適正に実施するよう調査員の研修の受講機会の確保に努め る。また、申請から認定までの日数については30日を目標に、 事務の迅速化に努める。

評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 介護保険課長 矢作 幸·

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 事務事業名 居宅介護サービス給付事業 370432609 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 7 社会保障制度の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 4 介護保険事業の推進 _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 要介護認定者が、自宅等において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護保 事務事業本来 険サービスを利用した際の保険給付を行い、高齢者等の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とす の目的・成果 所管部課 福祉部介護保険課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

- -	事務事業 実施内容	介護、訪問 療養介護、	問看護、 、福祉用	、介護サー 訪問リハヒ 引具貸与、居 3審査事務を	ごリテーシ <b>3宅療養管</b>
					ŕ
		マ	24	カモ	2 700

『(ケアプラン)に基づき利用した居宅介護サービス(訪問介護、訪問入浴 は、アグラングに塗っと当所した店でが展り、これ、お店が展、お店が店がます。 グョン、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所 設理指導、特定施設入居者生活介護)について、各事業所からの請求に基づ 製国民健康保険団体連合会に委託して実施し、保険給付費として支払いを **令和元年度** 令和2年度

- 1							コカロノ	1十1又		וואינו	2 + 15	Z		マナの中で		
	投	直		予	算	額	3, 700, 13	8,000	円	3, 869, 731	, 000	円	4	, 132, 787, (	)00 <mark>F</mark>	円
	1X	接		決	算	額	3, 647, 52	6, 999	円	3, 808, 420	), 451	円	予算額	頃との比較(	R3-R2)	
	_	費		特定則	源の有	無	■ 有	□無		■ 有	□ #	#		263, 056, 0	000 <mark>F</mark>	円
	入		正	規職員数	汝			0.38	人		0.38	人		特記事項		
		従事職	員 再	任用職員	員数				人	_		人		算額の主な増減		
	$\Box$		会	計年度任	壬用職員	数			人	_		人		ビス利用者の		
		正規職		規職員数	数×平均	人件費	2, 851	_	円	2, 713	,		一件つり だため	成額の増加を	兄込/	U
	ス	人件費	1	参考:	平均人	件費	7,504	,000	円	7, 140	), 000	) 円	/2/202	•		
		再任用職	V	任用職員	員数×平	均人件費	_		円	_		円				
	۲	人件費	1	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円	4, 093	3,000	円				
	1.	会計年度任用職員	Aft 会	計年度任	壬用職員	の人件費	_		円	_		円				
		事業費詞	计(直	接費+	人件費)		3,650,378	<u>, 519</u>	円	3, 811, 133	3, 651	円				
		種類		指		標	名	単位	弇	和元年度		令和2年	F度	令和3	丰度	
		主人		10		JVI	Ъ	十世	上段:		上段		段:実績		下段:実	緑
		活動	医字介	*誰サー	ビス利用	用者数(延	べ人数)	人		80,300 )	(	85,00		( 88, 3	00 )	1
	指	/112/1	,L U/I	μ <b>χ</b> /	- / (1)	i d xx (xe	-> \>\/	^`		80, 981		84, 41				
									1	^^ / ^^^ /	/	1 1/0	$\Lambda \Lambda \Lambda$	/ 1 205	$\Delta \Delta \Delta \Delta \lambda$	

	<b>種類</b>	1 指	標	名	単位	1 11.15	- 1 12 4			~		111 - 112	-
	作生大只	18	1ক্য	11	# 1	上段:目標	下段:実績	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績
指	活動	居宅介護サービス	ス利用者数	(延べ人数)	人	( 80,	300 )		85, 000 84, 418			88,300	)
扣	<u> </u>							_			/ 1	20E 00	
	活動	居宅介護サービス	ス利用日数		日		4,000 )		, 160, 00		( 1,	205,00	0)
						1, 10	9,056	ļ I,	, 177 <b>,</b> 59	)'			
						(	)	(		)	(		)
標													
						(	)	(		)	(		)
	指標は	に関する特記事項					·		·			·	

_ 3. 計画相条と / 後のが同日											
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのう天旭大は 信の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性及び事業の方向性を赤く □ おり											
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性						
居宅介護サービスの利用に応じて、居宅介護サービス費の給付を行っている。要介護認定者数の増加に伴い、サービス利用者や利用日数が増加する中、各事業所からの請求はより正確性が求められている。そのため、埼玉県国民健康保険団体連合会に各事業所からの請求内容の審査を委託し、適正な給付に努めており、事業は一定の効果をあげていると考える。  「会事業の対象を表述し、適正な給付に努めており、事業は一定の効果をあげていると考える。											
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 介護保険語	果長 矢作	幸一									

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 任意事業(介護保険課分) 事務事業名 340232627 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 4 高齢者福祉の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 高齢者支援サービスの充実 KP I _ | 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保 事務事業本来 険事業の運営の安定化を図るとともに、要介護者を介護する者等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行う の目的・成果 ことを目的とする。 所管部課 福祉部介護保険課 関係部課 福祉部高齢者福祉課

#### 2. 事務事業の実施結果

正規職員数

Ę	和2年度 事務事業 実施内容	により、実態把握に努め、 に対し、自己負担額や、費用	ちや介護サービス未利用者を 必要に応じて介護サービスの 用合計額等を記載した介護給 アアプラン点検を実施する等、	利用に関する説明を行った。 付費通知書を年2回発行すると	また、介護サービス利用者 こともに、介護給付適正化総
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
投	直	予 算 額	11,051,000 円	10, 496, 000 円	7,072,000 円
1X	接	決 算 額	10, 124, 266 円	10, 189, 270 円	予算額との比較 (R3-R2)
	費	特定財源の有無	■有□無	■ 有 □無	-3, 424, 000 円

0.20 人

従事職員 再任用職員数 人 会計年度任用職員数 5.00 人 人 正規職員 正規職員数×平均人件費 1,500,800 円 1,428,000 円 人件費 参考:平均人件費 7,504,000 円 7, 140, 000 円 ため。 再任用職員数×平均人件費 円 再任用職員 人件費 参考:平均人件費 3, 997, 000 円 4, 093, 000 円 会計年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費 円 4, 956, 436 円

(予算額の主な増減理由) 令和2年度導入の介護給 付適正化総合支援システム の導入費用が不要となった ため。

特記事項

0.20 人

16, 573, 706 事業費計(直接費+人件費) 11, 625, 066 円 円 令和元年度 令和2年度 令和3年度 種類 名 単位 指 標 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 1,420 1,440 1,480 活動 介護保険相談員訪問相談件数 件 1,474 1,729 指 12,500 12,550 12,550 ) 活動 介護給付費通知書送付人数(延べ人数) 人 12, 237 11, 166 ( ) )

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中未の年の月を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投え	入の方向性	
令和2年度はコロナ禍のため、介護保険相談員が対象者へ電話等により、サービス利用に関する相談に応じている。また、希望者については、地域包括支援センターと連携し必要なサービスに繋げている。介護給付費通知書については、サービス利用者全員に送付し、適正なサービス利用や各事業所からの正確な請求への啓発を行っている。更に、介護給付適正化総合支援システムの導入により、ケアプランを抽出し、支援内容等を点検することで、適正利用が図られ、事業は一定の効果をあげていると考えられる。	め、継続し に、そのよう て、努めもと で、第給付の かまると	して対象者( ごス利用に うなことかり ムページや!	スの需要が のサービス 対する啓発 ら、会後の 広報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大報( 大	内容に関す を図る必要 サービスの 利用し、分	る相談に応 があると考 利用手続き かりやすい	じると共 える。 等につい 情報提供
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 介護保険詞	果長 矢作	幸一				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 自殺対策事業 310512704 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 1 健康づくり・食育の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 5 精神保健と自殺対策の推進 _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 自殺対策を推進するため、相談機関の周知や人材育成を行い、不安や悩みを相談できる環境を整備する。 の目的・成果 所管部課 健康・子ども未来部健康医療課 関係部課

# 2. 事務事業の実施結果

	ホームページにおいて、自 テムを提供した。また、ゲー 喜駅前、東鷲宮駅前、栗橋馬 久喜市健康増進・食育推進	-トキーパー養成講座 R自由通路で実施した
		令和元年度

ホームページにおいて、自身や家族等の心の状態を確認するためのツールであるメンタルヘルスチェックシステムを提供した。また、ゲートキーパー養成講座を開催(11月)するとともに、自殺予防街頭キャンペーンを久喜駅前、東鷲宮駅前、栗橋駅自由通路で実施した。

久喜市健康増進・食育推進会議を開催し、久喜市自殺対策計画の進捗状況について、審議、検討を行った。

令和2年度

令和3年度

						יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	0 1 1/2			1- 1	- ' /~			1- 1-	0 1/2	
1	设	直	予	算	額	284	, 000	円		285	,000	円			170,000	0 円
1	X	接	決	算	額	249	, 876	円		249	, 450	円	予算客	質との」	北較(R3-	-R2)
	_	費	特定	財源の有	無	■ 有	□無		■ 1	Ī	□無			_	-115,000	0 円
-	入		正規職	員数			0.70	人			0.70	人		特詞	記事項	
		従事職員	再任用	職員数		1		人		_		人			Eな増減3	
	ו⊏		会計年	度任用職員	員数	1		人		_		人			-パー養成	
		正規職員		員数×平均	匀人件費	5, 252	,800	円	4	, 998	,000	円			・自殺予防 ・の啓発品	
	٦l	人件費	参考	\$:平均人	.件費	7, 504	, 000	円	7	' <b>,</b> 140	,000	円			る減額。	コロン州子
		再任用職		職員数×፯	P均人件費		円		— 円							
	,	人件費	参考	;:平均人	.件費	3, 997	,000	円	4, 093, 000 円		円					
	' [	会計年度任用職員人	会計年	度任用職員	員の人件費			円		_		円				
		事業費計	一(直接費	+人件費	)	5,502	<u>, 676</u>	円	5	<u>, 247</u>	<u>, 450</u>	円				
		種類	扌	i i	標	名	単位	f	和元年度	Ę	-	令和2年	度	-	令和3年原	隻
		12//	,,	-	120	Ц	714	上段:		:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下段	と: 実績
		活動 自	自殺予防街	頭キャン	ペーンの実	施回数		(	4	)	(	4	)	(	4	)
1	指	7,1,2,3	-1/2 3 1/3  -3						2			3				_
		成果 自	自殺予防街	頭キャン	ペーンの協	力者数	人	(	40	)	(	20	)		20	)
	ı		-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						11			25				_
l.	_	活動した	ブートキー	パー養成	講座の開催	回数		(	2	)	(	2	)		1	)
1	漂								1			1				
		成果した	ブートキー	パー養成	講座の参加	人数	人	(	200	)	(	200	)	(	70	)
									62			33				
		指標に	関する特証	よ事項  新型	2コロナウイル:	ス感染症の感染拡大	たにより、	ゲートキ	ーパー要請	講座及び	が自殺予	防街頭キー	ァンペーン	の実施回	数が減とな	った。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			人の方向性	
教職員を対象に、オンラインでゲートキーパー養成講座を開催することで、会場への移動など参加者の負担を軽減し、講座後のアンケートでも講座に対する高い評価が得られた。また、自殺予防街頭キャンペーンでは、警察署及び関係団体と連携し、こころの健康に関する相談機関やメンタルヘルスチェックシステムの利用について周知啓発することができた。	携について、 悩みを持 は今後も自 また、自 し街頭キャ	については、 、今後も強化 つ人に気づき 殺対策に取り 殺対策強化月 ンペーンを実 普及啓発を行	ごしていく必 ₹、必要な支 ∫組んでいく ]間等の機会 ξ施し、より	要がある。 援に繋げるか うえで、必勢 を捉え、警察 多くの市民に	デートキーパ 要な事業であ ≷署及び関係	一養成講座 る。 団体と連携
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 健康医療認	長 岡田	秀之				

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	感染症対策事業		事務事	業整理	番号	310612705
(() A I= (II) - I -	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期	総合	基本目標	-  -		•
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 1│健康づくり・食育の推進 <mark>戦略に</mark>	おけ	施策	-  -		
付け	<mark>細施策</mark> 6 感染症対策の推進 る位置	付け	KPI	_  -		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 <mark>総合打</mark>	辰興計	画実施計画	国への排	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	新型インフルエンザ等の感染症発生・拡大に備え、衛生用品 しい知識の普及を図る。	を備蓄	蓄する。ま	た、感	染症に	関する情報提供と正
所管部課	健康・子ども未来部健康医療課 関係部課					

# 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
卫州石牛皮
事務事業
尹沙尹未
実施内容
大心门台

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、手指消毒剤、マスク等の必要な衛生用品を備蓄した。また、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者の発生状況の情報発信や感染予防策等についてホームページやSNS、防災行政無線放送等通じて市民に情報提供し、新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口を開設し、相談対応を行った。

							令和元	元年度			令和2	2年度			令和3年	度	
抄	ᇟ	直		予	算	額	115	,000	円		8, 188	,000	円		5!	5,000	円
1,	<u>*</u>	接		決	算	額	114	, 148	円		8,073	, 841	円	予算客	質との比較	(R3-R	2)
١.	L	費		決 算 額 特定財源の有無 正規職員数 再任用職員数 会計年度任用職員数 ご規職員数 ※平均人件費 参考:平均人件費 再任用職員数 ×平均人件費 参考:平均人件費			□有	■無			有	□無			−8, 133, 000 <u>円</u>		
J	٦,		正	規職員	数			0.40	人			0.50	人		特記事	項	
		従事職	員 再	任用職員	員数		_		人		_		人		類の主な:		
=	٦L		会	計年度值	壬用職員	数	_		人		_		人	新型	コロナウィ	イルス原	感染しても
		正規職		規職員	数×平均	7人件費	3, 001	_	円		3,570	,000	円	上にマス	染拡大に。 クや手指	トり、ネ 当 <del>盂</del> ╧(	がた
-	٦L	人件費	Ì	参考:	平均人	件費	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	生用品	を備蓄する	る必要だ	バあ
	Ī	再任用職		壬用職	員数×平	^Z 均人件費	_		円		_	円			和2年度は		予
H		人件費	Ì	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円		4,093	,000	円	昇額か	増額した。		
'	ź	於計年度任用職員。	会 会	会計年度任用職員の人件費		の人件費	_		円		_		円				
	1	事業費詞	计(直	接費+	人件費)		3, 115	, 748	円	1	1,643	, 841	円		会和2年度		
		種類		指		標	名	単位		和元年	度	4	令和2	丰度		3年度	
	L	生灰		10		JAN	Н	十四	上段:	目標 下	设: 実績	上段:	目標	下段:実績	上段:目標	下段:	実績
		成果(	備蓄用	衛生用	品備蓄	数(サージ・	カルマスク)	枚	(	_	)	(		)	(	_	)
扌	i _	19001	/III EX / 1-	1 1-1 / 13		*** ( )		1/		_			165,5	00		_	_
		成果(	備蓄用	衛生用	品備蓄	数(手指消	毒液5ℓ)	本	(	_	)	(		)	(	_	)
	L	75071	/п. рц / г.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ин ио на .	~ (3 14/1)	-5//X © 0/	'					342			_	_
١.									(		)	(		)	(		)
桐	祟_															_	_
									(		)	(		)	(		)
	L	He land														_	_
		指標に	関する	5特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の儿子を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性						
令和元年度に備蓄していたマスク150,000枚を医師会等の関係機関や施設、妊婦等に配布したことにより、新たに備蓄用衛生用品としてマスク等を購入し、感染症の発生・拡大に備えることができた。また、利用できる情報伝達手段を活用し、市民に対し新型コロナウイルス感染症の新規陽性者や感染症予防策等について周知することができた。 新型コロナウイルス感染症の電話における相談窓口では、市民からの相談に応じ、市民の不安の解消につなげることができた。											

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 健康づくり・食育推進事業 事務事業名 310112709 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 1 健康づくり・食育の推進 スポーツ・健康づくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 健康づくりと食育の推進体制の整備 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 市民一人ひとりの健康づくりと食育への意識を高めるため、「第2次久喜市健康増進・食育推進計画」に掲げる の目的・成果施策を推進する。 所管部課 健康・子ども未来部健康医療課 関係部課

ム毎二左曲

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

市民の健康づくりと食育の推進を図るため、「食育セミナー」及び「健康づくり・食育推進大会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催を見送った。 第2次久喜市健康増進・食育推進計画に掲げる施策等を効果的に実施するため、久喜市健康増進・食育推進会議

をはじめとする各種会議を開催した。

**会知った**曲

ム和った曲

							令和7	T年度			令和 2	2年度			令机	13年度	5	
	投	直		予	算	額	1, 270	,000	円		228	,000	円			643,	000	円
		接		決	算	額	842	, 187	円		156	,000	円	予算額	真との	比較(	R3-R2)	)
	_	費		特定則	排の有	無	■ 有	□無			有	■無	ŧ			415,	000	円
	시		正规	現職員数	数			0.70	人			0.70	人		特	記事項		
		従事職	員 再	壬用職員	員数		_		人		_		人			主な増		
	إ⊏		会	計年度任	任用職員	数	_		人		_		人			は新型		
		正規職		現職員数	数×平均	]人件費	5, 252	,800	円		4, 998	,000	円			染症の影 催してし		
	ᅬ	人件費	Ì	参考:	平均人·	件費	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	育セミ	ナー」	及び	「健康	ブ
		再任用職		壬用職員	員数×平	均人件費	_		円		_		円			性進大会		
		人件費	Ì	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円		4,093	,000	円	置催を見	达つ/	こ <i>/こめ</i> )(	<b>り</b> 減額。	
	'	会計年度任用職員	会	計年度任	壬用職員	の人件費	_		円		_		円					
		事業費詞	十(直	接費+	人件費)		6, 094	<u>, 987</u>	円		<u>5, 154</u>	,000	円					
		種類		指		標	名	単位		和元年	度		令和 2	年度	•	令和3	年度	
		1主人共		10		100	Н	T 122	上段:	目標 下戶	设: 実績	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標	下段:実	<b>ミ績</b>
		活動	久喜市の	建康増進	き・食育推	<b>推大会実行</b>	委員会開催回数	回	(	6	)	(	2	)	(	1		)
	指	711243	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			-/-/ (1)	~~~			5			0					
		活動	久喜市	健康増	進・食剤	育推進会議	等開催回数		(	6	)	(	2	)		6		)
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		<i>(</i> ,,,,,,,,,,		3322253	3 1/31121300			6			7				_	
		成果	久喜市	食育セ	ミナー	参加人数		人	(	210	)	(		)				)
1	標							, ,	,	131			_					_
		成果	久喜市	健康づ	くり・1	食育推進大会	会参加人数	人	(	500	)	(		)				)
										429								
		指標に	関する	特記事	1月 1月	〔育セミナー〕	及び「健康づく	り・食剤	育推進大	会」は新	型コロナ	ウイル	ス感染	症の拡大に	より開	催を見え	送つた。	

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく										
コスト投入の方向性											

1. 事務事	業概要		対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業	事務事	業整理	番号	300012711
(() A   E (T) =   -	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総合	基本目標	-  -		-
総合振興計画における位置	施策 戦略におけ	施策	-  -		
付け	細施策 る位置付け	KPI	-  -		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 <mark>総合振興</mark> 記	画実施計画	国への挑	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	市内医療機関に対し各種支援を行うことで、コロナ禍における地域	或医療体制	の確保	を図る。	0
所管部課	健康・子ども未来部健康医療課 <mark>関係部課</mark>				

2	. 事務事業の実施結果															
1	和2年 事務事業 実施内容	Ě	地域医療 ン、マス?	寮の維持 クなどの	持に必要な診 )衛生用品を	シ療を継続する Ξ提供するとと	医療機 もに、	関等を 久喜市i	支援する 箶工会共	ため、通商品	感染防  券を約	ち止に資 合付した	するア [.] :。	イソレーシ	ョンガウ	
						令和	元年度			令和2	2年度			令和3年	度	
投	直		予	算	額	1		円	39	9, 773,	, 000	円		7,500		
1X	接			算	額			円	3'	7, 964,	, 036	円	予算額との比較(R3-R			
_	費			挪の有	無	□有	□無		<b>■</b> 7		□無			−32 <b>,</b> 273		
入			正規職員数	• •		_		人			0.60	人	_	特記事工		
	従事贈	従事職員     再任用職員数     一     人     一     人     「予算額の主な増減理由」」」       会計年度任用職員数     一     人     新型コロナウイルス感染														
$\Box$	たに対する市内医療機関の															
	正規報員   正規報見数															
ス				平均人		7, 504	, 000	円	7, 140, 000 🖰			見直したため。 *令和3年度予算		カモノナ カル		
	再任用明 人件	~v~ ~	再任用職員			2 007	000	円		<u> </u>	000	円		3年及丁昇 正予算(第		
۲	会計年度任用職			平均人	件質 の人件費	3, 997	, 000	円円		4 <b>,</b> 093,	, 000	円円	o額		3, 12	
	事業費		(直接費+		が八十貝			円	42, 248,		U36	円	_			
	尹未只			八丁貝/					和元年			3和2年	一	<b>今</b> 和	3年度	
	種類		指		標	名	単位		1標 下段					上段:目標		
		44=4						(	—	)	(	165	)	( -	- )	
指	成果	衛:	主用品を提	供した	医療機関数		か所		_			160	,			
		<del>**</del> 1	¬ ₩ «∧ ᠘ //	. ¥4-			件	(	_	)	(	230	)	( -	- )	
	成果	冏i	品券給付件	·安X			1+		_			220				
								(		)	(		)	(	)	
標																
								(		)	(		)	(	)	
		L														
	指標に	-関	する特記事	項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
12.77.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.	成	拡大	X	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
  □ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の方で元世外	性	休廃止	廃止・終了	×	X	×		
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
日でありゆる内皮がり事未生体を元直す	塗りつぶしてく	入の方向性						
新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、衛生用品の不足や院内における感染防止対策など、医療機関が直面した問題に対し支援を行うことで、コロナ禍においても地域医療体制の確保を図ることができた。	当面の間線 今後にま	継続していぐ	ス感染症対 くことが必 或医療を支 びていく。	要となる。				
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 健康医療語	果長 岡田	秀之						

1. 事務事	業概要	_	対象	令和	112年度実施事業
事務事業名	乳幼児健康診査事業	事務事	業整理	番号	310312908
<i>₩</i>	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総合	基本目標	_  -		
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 1  健康づくり・食育の推進 <mark>戦略におけ</mark>	施策	-  -		
付け	<del>細施策</del> 3 母子保健の充実 る位置付け	KPI	-  -		
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 <mark>総合振興</mark>	画実施計画	国への掲	■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	母子保健法第12条、第13条に基づき、乳幼児の発育発達の確認及で 基づき適切な判定を行い、乳幼児の健全な発育発達に役立てる。	が異常の早期	開発見を	行うと	ともに、健診結果に
所管部課	健康・子ども未来部中央保健センター <mark>関係部課</mark> 健康・子ども未来部子ども未	来課、教育	部指導	課	

# 2. 事務事業の実施結果

^ <u> </u>
令和2年度
事務事業
実施内容

各保健センターにおいて、集団健診により、4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診を実施した。 (受診者数:4か月児869人、10か月児853人、1歳6か月児881人、3歳児1,019人 計3,622人) 健診結果に基づき、異常なし、要精密健康診査、要経過観察、要治療等と判定し、必要に応じ事後指導を行っ

	美	実施内容 未受診者に対し、電話、はがき、訪問等により、受診勧奨、状況把握を行った。														
			未	受診者に	こ対し、電話、は			受診額								
	_					令和	元年度		ŕ	6和2	2年度			令和	13年度	
Į.	。	直		予	算 額	18,756	,000	円	11,	975,	,000	円		11,	645,00	0 円
J.	×	接		決	算 額	18,023	, 869	円	11,	760,	, 752	円	予算額との比較 (R3-R2)			-R2)
١.	. [	費	!	特定財源	の有無	□有	■無		□有		■無	+	-330,000			0 円
7	١,		正規	職員数			4.02	人		,	3.92	人	特記事項			
		従事職員	員 再任	E用職員数	<b></b>	_		人			0.08	人	(予算額の主な増減理由)			
-	ןכ		会討	年度任月	用職員数	- 人			1.47 人						)見直しに	
	ſ	正規職員		職員数〉	×平均人件費	30, 166	, 080	円	27,	988,	, 800	円	り、牛	間の傾	建診実施回 交して1回	引致か   減小! .
-	z [	人件費	į	参考:平	均人件費	7,504	, 000	円	7,	140,	,000	円	たこと			1194.2 0
		再任用職	員 再任	E用職員数	数×平均人件費	_		円	327,440 円							
١,		人件費	į į	参考:平	均人件費	3, 997	,000	円	4,093,000 円							
1	`[	会計年度任用職員人	会計	年度任月	用職員の人件費	_	円	9,	162,	, 317	円					
		事業費計	†(直接	接費+人(	件費)	48, 189, 949 円		円	49,	239,	, 309	円				
		種類		指	標	 名	単位	<u>수</u>	和元年度		4	令和2年	度	,	令和3年	度
		怪块		18	1ক্ষ	10	丰世	上段:	目標 下段:	実績	上段:	目標 下昇	设:実績	上段:	目標 下段	设:実績
		活動	重田(建言	 	<b>米</b> / ₇			(	157	)	(	155	)	(	154	)
扌	旨	カチリラ	木凹陡		<del>2</del> X		듸		157			154				
		成果(	建診受詞	<b>診</b> 変			%	(	98	)	(	98	)	(	98	)
		17,5,7	<b>生</b> ログ 又 ロ	19 <del>11</del>			70		95.6			96.8				
					費(事業費計/健診対象:		円円	(	-	)	(	-	)	(	-	)
村	票	XIIII	<b>主</b> 診対象者	数 令和元年	F度3,888人 令和2年度	3,740人	1 ,		12, 395			13, 166			_	
								(		)	(		)	(		)
		指標に	関する	特記事項	Į											

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのう失肥大は、信の九夫を囚る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×		
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
乳幼児の健全な発育発達にとって、乳幼児に対する健康診査は不可欠である。健診受診率は、昨年度より向上し、高率(95.0%以上)を維持できており、事業の成果は大きいと考える。	勧奨、状況 乳幼児の 発育発達を め、今後も 結果に基づ	兄把握に努め D発育発達の を促すととも 5乳幼児健康	の確認及び らに、保護 表診査の円 な判定を行い	異常の早期 者の不安の 骨な実施に	発見を行い 軽減に役立 努める。ま	、健全な てるた た、健診		
評価年月日 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 中央保健t	2ンター所長	長 鳥海 〕	E			·		

1. 事務事	業概要	<u> </u>							対	象	令和	02年月	度実施事	業
事務事業名	成人條	建康	診査事業					事務事	業整	理番号	-	31	02129	11
(() A I= (T) = I = I	大綱	3	子どもから高齢者まで、	誰もが健康で	安心	して暮らせるまち	第2期総合	基本目標	-	-				
総合振興計画	施策	1	健康づくり・食	育の推進			戦略におけ		-	_				
における位置 付け	細施策	2	各種健(検)診	の充実			る位置付け	KPI	-	-				
1577	後期基	本語	計画成果指標との関	<mark>関連</mark> ■ 該	当	□ 非該当	総合振興討	画実施計画	回へ	の掲載		該当	□ 非認	核当
事務事業本来の目的・成果	健(	検)	診の実施により、	生活習慣症	気の-	予防及び疾病の	の早期発見を	を行う。						
所管部課	健康・子	どもぇ	未来部中央保健センター	関係部課										

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

がん検診の対象者に、個別にがん検診の案内を通知するとともに、新たなステージに入ったがん検診の推進事業

の対象者に、無料クーポン券及びがん検診手帳を送付した。 各保健センター等で、集団がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸がん検診及び肝炎ウイルス検診)を実施した。また、医療機関で受診する個別がん検診(大腸・前立腺、乳がん、子宮頸がん及び肝炎ウイルス検診)を 実施した。

						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	185, 599	,000	円	181	, 232	,000	円		167	, 582, 000	0 円
12	接		決	算	額	170,363	, 068	円	142	, 614	,026	円	予算額	頃との	比較(R3-	-R2)
١,	費		特定	財源の有	無	■ 有	□無		■ 1		□無			-13	, 650, 000	0 円
^			E規職員				<b>4.</b> 58	人			4. 56	人			記事項	
	従事日	1	再任用職	員数		_		人			0.02	人	(予算額の主な増減理由)			
				任用職員		_		人			1. 92				委託料の予	
	正規暗	/V / \		数×平均		34, 368		円		, 558		円	上に当たっては、令和元年 度の実績を基に積算し、そ			
ス	人件			:平均人		7,504	, 000	円	7	7, 140, 000			の上で	、新	型コロナウ	イル
	再任用時	1.202			^Z 均人件費			円			<u>, 860</u>				考慮して予 とによる減	
	人件			: 平均人		3, 997	,000	円		<u>, 093</u>		円	昇山し	/c C (	こによる点	/伊只o
'	会計年度任用職				の人件費	- 004 504	円		<u>, 963</u>							
	事業費	計(	直接費+	·人件費)		204, 731, 388 円			180, 553, 249 円			<u> </u>	1	^ <del></del>	_	
	種類		指		標	名	単位		和元年度			令和2年		1.50	令和3年度	
								上段:		:実績	上段:		段:実績	上段	: 目標 下段 70	、美績、
1	活動	集団	がん検討	<b>多実施回</b>	数		回	(	79 79	)	(	80	)		79	)
指								/	43, 300	\	1	82 45, 30	0 )	-	47, 300	$\overline{}$
	成果	がん	検診延/	で受診者	数		人		43, 300 41, 225	)	(	32, 49		_	47, 300	
			受診者1人あた					(	41, 223	)	(	JZ, 43 	1	(		$\overline{}$
標	効率	令和元年	F度202,588,54	ドん検診延べ受診 8円(肝炎ウイル	レス検診等を除く)		円		4,914	,	(	5, 498	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	_		
123	<del></del>	市和∠≖	FI及178, 672, 98	円(肝炎ワイ)	レス検診等を除く)			(	7, 717	)	(	3, 470	)	(		$\overline{}$
											`		,	<u> </u>		
	指標	. 関で	る特記	<b>車</b> 頂			<u> </u>							<u> </u>		

3. 計画相本とフ及の方円は									
総合評価と判断理由									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
一八日国とのラス版スは「自の元人を囚る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×			
  □ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×			
日 日 事業の庭の別で加世事	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
日でのグラの内区がプラ学来工作と元巨・	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性				
日本人の死因の第1位はがんであり、市民の健康増進を考える上で、市で実施するがん検診は重要である。がん検診受診者数については、例年どおり、案内通知の送付やがん検診推進事業(クーポン券)及び個別検診と集団検診の併用など検診の受診につながるよう実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「受診控え」や「検診の予約枠の縮小」等の要因により、目標より下回ったと思われる。今後についても引き続き、がん検診の受診促進に向けて取り組む。	を適宜図る 内通知の説 また、カ	るとともに、 É付や啓発を ぶん検診受詞	従い、検診の 受診控えI を行うなど、 多者のうち、 を引き続きれ	こならない 受診促進 精密検査	よう、今後 につなげる	も個別案			
<b>評価年月日</b>	2ンター所長	長 鳥海	正	•		•			

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 事務事業名 健康づくり推進事業 事務事業整理番号 310112912 大綱 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総合 戦略におけ 総合振興計画 1 健康づくり・食育の推進 施策 1 スポーツ・健康づくりの推進 施策 における位置 る位置付け <mark>細施策</mark> 1 健康づくりと食育の推進体制の整備 KP I 2 埼玉県コバトン健康マイレージ事業参加者数 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 健康づくりに関する必要な知識の普及、情報の提供及び適切な指導を行うことにより、自己の健康管理に対する 意識の高揚を図り、生活習慣の改善を促す。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 健康・子ども未来部中央保健センター 関係部課

2	. 事務	事業	の実施	結果												
4	和2年 事務事業 実施内容	Ě		りのための教室を バトン健康マイレ				養教室、出	出前講	座等】						
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度		
投	直		予	算 額	3, 383	,000	円	2	, 992	,000	円		2	, 589, 00	00 円	
1X	接		決	算 額	3,087	, 207	円			, 794	円	予算額		比較(R3	-	
١,	費		特定財法	源の有無	■ 有	□無		■ 1	_	□無				-403 <b>,</b> 00	00 円	
入		ī	E規職員数	Ţ		3.72	人			3 <b>.</b> 70	人		特	記事項		
	従事閥	· ·	<b>月任用職員</b>		_		人		_		人			主な増減		
$\Box$				用職員数			人			0.01	人			<mark>きから購え</mark> コバトン(		
	正規職			(×平均人件費	27, 914		円		, 418		円			コハドン! 歩数計在原		
ス	人件			平均人件費	7,504	7, 504, 000 円			'7, 140, 000 円				整により、購入数を前年度 より減らして予算計上した			
	再任用耶	1777		数×平均人件費	_	円			_	000	円	より減 ことに			Eした	
<b> </b>	人件			平均人件費	3, 997	,000	円	4	<u>, 093</u>		円	C C 1C	5 011	₩ <b>¤</b> ₩0		
	会計年度任用職員			用職員の人件費		円 円		20		,000	円					
	事業費	計(世	直接費+人	(件費)	31, 002	, 087	円		, 101		円	<u> </u>		A10 0 F	- crisc	
	種類		指	標	名	単位		和元年度	-		和2年			令和3年		
							上段:	<del>]標 下段</del> 260	· <del>美</del> 領	上段:		ジ・夫領	上段:	<u>目標 下</u> 289	段・美領	
指	活動	健康	づくり教室	室の延べ実施回数		回	(	289	)	(	289 73				)	
扫							(	6, 700	)	(	7, 136	)	(	7, 136		
	成果	健康	づくり教室	室の述べ参加者数		人	(	7, 136	,		1, 164		_	7, 130	, ,	
							(	1,500	)	(	2,000		(	2,500	$\overline{}$	
標	成果	埼玉!	県コバトコ	ソ健康マイレージ	事業参加者数	人	`	1,684	,		2,048		<u> </u>	2,300		
	±1±-		一人当たりの紹				(	_	)	(		)	(	_	)	
	効率		丰度28,638,888 度 29,101,79	8円(埼玉県コバトン健康マ 94円	イレージ事業を除く)	円		4,013			8, 921					
	指標に	こ関す	る特記事	<mark>項</mark>												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり失応又は一層の元夫を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日日中未の庭の月を兄直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
□ C めりゆる円反かり事業主体を允直す	塗りつぶしてく	人の方向性						
食生活や運動習慣などの生活習慣を起因とする生活習慣病にかかる人が増えており、生活習慣病予防や健康増進のための健康づくりの取組みは重要である。令和2年度における健康づくり事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や縮小等の対応を講じたことにより、実施回数及び延べ参加者数とも目標を下回ったが、コロナ禍での一時的な参加控えであり需要はあると考えられる。 埼玉県コバトン健康マイレージ事業については、引き続き参加することで健康づくりの推進に努めた。	できるよう。感染症の影健康づくりの 今後も市		討する必要 i民の生活ス iである。 iを延伸する iバトン健康	がある。また タイルが変化 ために、様々 マイレージョ	E、新型コロ 比する中、そ マな事業を展 F業の啓発を	ナウイルス れに応じた 開するとと 図り、市民		
<b>評価年月日</b>	ンター所見	長 鳥海	正					

<u>1. 事務</u>事業概要 対象 令和2年度実施事業 子育て世代包括支援センター事業 事務事業名 310312914 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 1 健康づくり・食育の推進 施策 戦略におけ 1 結婚・妊娠・出産の支援の充実 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 母子保健の充実 付け 後期基本計画成果指標との関連 🗆 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 母子保健法第22条に基づき、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期からの切れ目のない支援 <mark>の目的・成果</mark>を提供することにより、妊産婦及び乳幼児等の健康の保持増進を促し、不安の軽減に役立てる。 所管部課 健康・子ども未来部中央保健センター <mark>関係部課</mark>健康・子ども未来部子ども未来課、福祉部生活支援課、福祉部障がい者福祉課、教育部指導課

#### 2. 事務事業の実施結果

=		援プランを 育て世代を	を作成し 包括支援	ノ、継続的な 受連絡会議る	な支援を行った。また、 E開催し、連携体制に	、総合的 ついて	的な支援を図るため、 劦議した。	庁内関	、支援が必要な方に個別支 係課長等を構成員とした子 のアンケート調査等も行っ
					令和元年度		令和2年度		令和3年度
投	直	予	算	額	3, 474, 000	円	292,000	円	13,000 円
1X	接	決	算	額	2,607,305	円	153, 641	円	予算額との比較(R3-R2)

	445 1	_		-,	,			,							
	挍	接		2,607	, 305	円	153	, 641	円	予算額	[との]	比較(	(R3-R	2)	
	_	費	特定財源の有無	■ 有 □無			■ 有	-279,000 円							
	入		正規職員数	1.10 人				1.10 人		特記事項					
		従事職員	再任用職員数	_	人		_		人		(予算額の主な増減理由)				
	正規職員		会計年度任用職員数	_	人			1.10 人		役務費(郵送料)と当該					
				8, 254, 400		円	7,854,000 円			センターで使用する備品の 購入費(事務用備品)を計				i(()    - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
	ス	人件費	参考:平均人件費	7, 504	,000	円	7, 140	,000	円	上して	いなし	いことし	こよる	5減	
		再任用職員		_		円	_		円	額。					
	L	人件費	参考:平均人件費	3, 997	, 000	円	4, 093	,000	円						
	Γ	会計年度任用職員人件	会計年度任用職員の人件費	_		円	3,812	, 045	円						
		事業費計	(直接費+人件費)	10, 861	, 705	円	11,819	, 686	円						
		種類	指標	名	単位	令	和元年度	ŕ	和2年	度	4	令和3	年度		
		但块	1日 1示	11	丰世	上段:目	目標 下段:実績	上段:	目標 下戶	役: 実績	上段:	目標	下段:	実績	
		活動子	子育て世代包括支援センター設置	<b>岩米</b> が	箇所	(	4 )	(	4	)	(	4		)	
	指	一到」	月 (日)(区)(区)(及じノノ 改画	<b>三</b>	回门		4		4						
		N	==4.41 N/4		41	(	4,308 )	(	4,500	)	(	6.30	00	)	

	住权	1月 1示 1口	丰四	上段:	:目標 下	段:実績	上段	:目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績
	迁動	子育て世代包括支援センター設置数	箇所	(	4	)	(	4	)	(	4	)
指	川到	1月でに「10日又版でクラー改画数	四/7		4			4				
	35	相談件数	件	(	4, 308	8 )	(	4,500	)	(	6,300	)
	以木	们成什么	П		4, 512	2		6,275				
	出	個別支援プラン作成件数	件	(	22	)	(	22	)	( 4 )	)	
標	以木	間が又iをフラフ FP以下致	IT		21			17				4 )
				(		)	(		)	(		)
	指標に	関する特記事項										

3. 計画相未とう後の方向性									
総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画がわりませなけ、屋の左中を図る	成拡大×革新改善拡大基調								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果の     拡大     ×     革新     改善     拡大基調       維持     ×     改善     現状維持     ×								
□ B 事業の進め方を見直す	方向性     縮小     ×     縮小     ×       休廃止     廃止・終了     ×     ×								
□ D 事業の進め方を見直り	性 休廃止 廃止・終了 × × ×								
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性、成果の方 皆減 縮小 維持 拡充 向性及び事業の方向性を赤く								
□ こ のうゆる円反から事業主体を允直す	はなり、 からがしてください。 コスト投入の方向性								
妊娠期から状況・経過の把握を行うことで、問題の早期発見・早期対応ができた。また、妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じたり、必要な方には個別の支援プランを作成し、継続的な支援を行えたことから、成果として相談件数が大幅に増加したと考える。さらに、継続支援を行うことで、妊産婦や乳幼児の保護者の不安を軽減し、健康の保持増進に寄与できたことも、大きな成果と考える。	子育て世代包括支援センターが機能を発揮できるよう、その存在や役割について、市ホームページや広報くき、チラシ等を活用し周知に努める。 妊産婦や乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、妊産婦や保護者の相談に対応し、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして、妊産婦や乳幼児等に対し切れ目のない支援を提供していく。								
<b>評価年月日</b>	アンター所長 鳥海 正								

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 不妊検査・不育症検査・不妊治療費助成事業 事務事業名 310312916 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 1 健康づくり・食育の推進 施策 1 結婚・妊娠・出産の支援の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 2 不妊検査・不育症検査・不妊治療費の助成件数 細施策 3 母子保健の充実 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 近年、不妊等に悩む夫婦が増加し、不妊等の検査・治療へのニーズが高まる中、検査及び治療に要する費用の の目的・成果 -部を助成することにより、経済的な負担を軽減し、検査及び治療を受ける機会の拡大に役立てる。 所管部課 健康・子ども未来部中央保健センター 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

正規職員数×平均人件費

1	和2年度 事務事業 実施内容	不妊検査・不育症検査を受けた夫婦に対し、2万円を限度として助成金を交付した。また、特定不妊治療まま男性不妊治療を受け、埼玉県不妊治療費助成事業を利用した夫婦に対し、各10万円を限度として助成金を交付た。									
			令和元年度	令和2年度	令和3年度						
投	直	予 算 額	9, 440, 000 円	10,580,000 円	8,800,000 円						
1X	接	決 算 額	8, 181, 887 円	8, 278, 766 円	予算額との比較 (R3-R2)						
_	費	特定財源の有無	■ 有 □無	■ 有 □無	−1, 780, 000 <u>円</u>						
入		正規職員数	0.40 人	0.50 人	特記事項						
	従事職員	再任用職員数	- 人	— 人	(予算額の主な増減理由)						
$\Box$		会計年度任用職員数	- 人	- 人	これまでの事業実績に基						

円

3,570,000

づき、令和3年度の交付見

正規職員 込みを精査したことによる 人件費 7, 504, 000 円 7, 140, 000 円 参考:平均人件費 減額。 再任用職員数×平均人件費 再任用職員 参考:平均人件費 3, 997, 000 円 4,093,000 円 会計年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費 円 事業費計(直接費+人件費) 11, 183, 487 11, 848, 766

3,001,600

	種類	指	<del></del> 標	<del>.</del> 名	単位		令和元年	隻		令和2年	Ę	令和3年度			
	俚块	1日	∜示	11	半世	上段:	: 目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標	下段:	実績
指	活動	不妊治療費助成金 治療)申請件数	会 (特定不好	E治療・男性不妊	件	(	105 75	)	(	120 80	)	$\smile$	12	.0	)
	成果	不妊治療費助成金 治療)交付件数	会 (特定不好	E治療・男性不妊	件	(	105 75	)	(	120 80	)		12	.0	)
標	活動	不妊検査費・不育	f症検査費助 1	加成金申請件数	件	(	30 34	)	(	30 31	)	(	3!	5	)
	成果	不妊検査費・不育	<b>育症検査費</b> 助	加成金交付件数	件	(	30 33	)	(	30 31	)		3!	5	)
	指標は	関する特記事項					·			·					

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのう天旭人は 盾の儿子を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す		縮小	×	縮小	×	×
□ B 事業の庭の力を允直9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入のプロサスの事業の	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
子どもを望む夫婦が必要な検査・治療を受けることができよう、費用の一部を助成することで、経済的な負担を軽減すことができた。 不妊検査・不育症検査・不妊治療を受ける機会の確保・拡 に寄与することができ、事業の成果は大きいと考える。	が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	の進展に伴い ・治療を受け 必要な検査 こ努める必 き、ナムペー: ホーく。	ける方の年 ・治療を早 要がある。 を望む夫婦	齢の上昇が 期に受けや に対する経	全国的な語 すくするだ 済的な負担	題となっため、さら
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 中央保付	センター所	長島海	正			

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 家庭児童相談室運営事業 事務事業名 330313004 事務事業整理番号 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 2 子ども・子育て支援の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I <mark>細施策</mark> 3 要保護児童等に対する対策の充実 付け 後期基本計画成果指標との関連 🗆 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 少子化、核家族化の進行により、児童や家庭を取り巻く種々の問題が発生している中、身近な相談機関として の目的・成果 保護者からの相談に応じ、家庭の人間関係の健全化及び、児童の養育の適正化、児童福祉の向上を目指す。 所管部課 健康・子ども未来部子ども未来課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

<b>今</b> 和った曲
令和2年度
事務事業
実施内容

家庭における児童養育方法に関すること、児童に係る家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することについて、電話、来所、家庭訪問等による相談、助言並びに指導を行った。また、ことばの発達の遅れや心身の発育が心配される児童及びその保護者を対象に、個別に実施する事業への参加を促し、専門的な指導を行った。

I					令和元	元年度		•	令和2	2年度		令和3年度					
	投	直	予 算	算 額	7,016	,000	円		796	,000	円			709,000	) 円		
	1X	接	決 算	章 額	6,877	,500	円	615, 358 <u>円</u>			予算額との比較 (R3-R2)						
ı		費	特定財源0	D有無	□有 ■無			口有	■無		-87, 000 <u>⊞</u>						
ı	시		正規職員数			1.00 人		1.00 人			特記事項						
		従事職員	再任用職員数		_		人		- ,		人	(予算	額の	主な増減理	里由)		
ı	ו⊏		会計年度任用	職員数	_		人	5		5.00 人							
ı		正規職員	正規職員数×	平均人件費	7,504			7, 140, 000 🖽									
ı	ار	人件費	参考:平均	月人件費	7,504			7,	7,140,000 円								
ı		再任用職	再任用職員数×平均人件費		1	円		- 円									
ı		人件費	参考:平均	9人件費	3, 997	,000	円	4,	093	,000	円						
ı	٦ [	会計年度任用職員人	会計年度任用	職員の人件費			円	6,	459	, 422	円						
L		事業費計	+(直接費+人件	費)	14, 381	,500	円	14,	214	, 780	円						
I		種類	指	標	名	単位	弇	和元年度		4	命和2年	隻		令和3年周	隻		
ı		作	18	125	ъ	+44	上段:		実績	上段:	目標 下段	と: 実績	上段:	目標 下段	:実績		
ı		活動	<b>丰間の相談室開設</b>			(	240	)	(	243	)	(	240	)			
ı	指	71132)	一门的	——————————————————————————————————————				240		243							
ı		活動	章がいを持つ児童や	ことばの遅れ等	のある児童と、		(	45	)	(	45	)	(	45	)		
ı		7443	その保護者を対象と	した事業の年間	の延べ日数			42			34				_		
	_	成果 4	<b>平間の家庭児童に</b>	係る相談(助	言・指導)の	件	(	1, 357	)	(	1,340	)	(	1, 131	)		
ı	標	7-30211	牛数			''		1,340			1, 131				_		
ı		効率 が	目談1件あたりの	運営コスト(事	<b>『業費/相談</b>	円	(		)	(		)	(		)		
		1	牛数)			, ,		10, 732			12, 569				_		
1		指標に	関する特記事項														

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中未の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
7.1.	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性			
核家族化や少子化の進行により、地域や家族の子育て機能が 低下しているため、子育てに不安を感じる保護者が増加してお		寺のケース↓ 員の見識の「				-層の連携		
16、身近な相談機関としての家庭児童相談室の果たす役割は大		間や他機関で				和談機関		
きい。		本制の充実			養育環境の	)向上を目		
このような中、家庭児童相談員による、養育等に係る専門的 な指導等を通じ、保護者の子育ての不安等の解消に努めること		炎及び事業を 度の久喜市			加占シ墨口	伴い、名		
ができた。	称や事業に	内容等は変	) こし 30kk 更予定であ	ニルシロメコタコ る。	地宗政国に	HVV 1		
		31 310.	~ , , _ , , ,					
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 子ども未∋		ロ ひとみ						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 子ども医療費支給事業 330413006 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 施策 における位置 細施策 4 子育て支援体制の充実 KP I _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、子どもに対する医療費の一部を支給することによ の目的・成果り、保護者の経済的負担を軽減し、子どもの健康の向上と福祉の増進を目指す。 健康・子ども未来部子ども未来課 関係部課 所管部課

## 2. 事務事業の実施結果

2	<u>2.</u>	事務事	『業の実施	<u>結果</u>							
*	事	和2年度 孫事業 孫内容	1木)火砂线	寮に係る医療費の− ∈金額を支給した。		、高額	療養費、	付加給付金を	控除し、入	院時食事療	養費標準負担額の全額
					令和	元年度		令和 2	2年度		令和3年度
· 找	٦Г	直	予	算 額	537, 438	,000	円	448, 351	,000 円		426, 467, 000 円
37	×	接		算 額	529, 337	, 055	円	410, 970	, 283 円	予算	額との比較 (R3-R2)
١,	L	費	特定財	源の有無	■ 有	□無		■ 有	□無		-21, 884, 000 <u>⊞</u>
ノ	١		正規職員数	久		4.00	人		4.00 人		特記事項
		従事職員			_		人	_	人		算額の主な増減理由)
=	٦L			E用職員数	_		人	_	人		ナ禍の影響により、医 の受診率が下がったた
		正規職員	`	枚×平均人件費	30, 016	-	円	28, 560	•		給見込み額が減少し
7	٦L	人件費		平均人件費	7, 504	, 000	円	7, 140		ー た。	ALL STATE OF THE S
	Ŧ			数×平均人件費	_		円	_	円		
	╮┡	人件費	2 3 .	平均人件費	3, 997	,000	円	4, 093			
	9	会計年度任用職員人件		任用職員の人件費	_	٥٢٢	円	-	円		
	- 1	事業費計	(直接費+)	人件費)	559, 353	, 055	円	439, 530		) <del></del>	A 1= 0 /= rt
		種類	指	標	名	単位		和元年度		2年度	令和3年度
	ŀ			A7							上段:目標 下段:実績
+1	_		を給資格証登録 登録している	録者数 6子どもの数(年度	<b>≭</b> ) )	人	(	16,900 )		800 )	( 16,700 )
指	₽ŀ		_	7」と 000数(平反			( '	16, 945 245, 000 )		767 000 )	( 234, 000 )
			を給件数 (年間の支給 ^ん	件数)		件		245,000 ) 239,817		520	( 234,000 )
		+	· 給額					9, 976, 000)		52,000)	( 414, 215, 000 )
根	票		(医療費の年	間支給額)		円	-	1, 390, 298		39,054	(111,213,000)
	ı	4.4. 登		 録者率		0.4	(	92.5		.5 )	( 92.5 )
				数/子ども数)		%		92.9		. 3	
	Ī	指標に関	関する特記事	項		•					

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天旭大は 眉の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定の力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
子ども医療費支給事業は、入院、通院ともに支給対象年齢を中学校卒業まで拡大するとともに、市内指定医療機関において保険診療医療費に係る一部負担金の窓口払い廃止を実施してきた。 この事業は、子どもの健康保持並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図るための重要な制度であるため、子ども医療費の受給資格者の登録や医療費の支給について適正に事務を行った。	き医療機関などに対しまた、子を図るため	の適正受診って、適正な	の周知を図 事務を行う 保持並びに	るとともに 必要がある 子育て世帯	としたものの 、過誤請求 。 の経済的負	や返還金
<mark>評価年月日</mark>   令和3年6月28日   <mark>評価者職氏名</mark> 子ども未著	来課長 堀口	ひとみ				

#### 1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 ファミリー・サポート・センター運営事業 事務事業名 事務事業整理番号 330513010 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 施策 2 子ども・子育て支援の充実 戦略におけ における位置 る位置付け KP I 3 ファミリー・サポート・センターの登録会員数 細施策 5 子育て環境の整備 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 子育ての援助を必要としている方(依頼会員)と、子育ての援助ができる方(協力会員)が、それぞれ会員と なってファミリー・サポート・センターが組織され、仕事と家庭を両立できる環境を整備することにより、地域 事務事業本来 の目的・成果 における子育て支援の充実を目指す。 健康・子ども未来部子ども未来課 関係部課 所管部課

## 2. 事務事業の実施結果

	• <del>す</del> が	手業の美施結果									
3	3和2年 事務事業 実施内容	としている方(依釈云貝)と、 7	子育ての援助ので 内に開催し、新規	できる方 見の会員	(協力会 を随時募	:員)を結びつけ 集し、会員数の :ともに会員募集	、地域における 増加を図った。 のための会報	る子育て支	接を行った発行	うった。 うした。	Ē必要
			令和元	元年度		令和 2	2年度		令和	13年度	
投	直	予 算 額	12, 167	,000	円	2, 431	,000 円		1	,826,000	円
100	接	決 算 額	11, 489	, 549	円	2,092	,544 円	予算額	頂との	比較(R3-I	R2)
_	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■ 有	□無			-605,000	円
入		正規職員数		0.60	人		0.60 人		特	記事項	
	従事閥	<b>]</b> 再任用職員数	_		人	_	人	(予算	額の	主な増減理	曲)
		会計年度任用職員数	_		人		8.00 人			ナウイルス	
	正規職	误 正規職員数×平均人件費	4, 502	, 400	円	4, 284	,000 円			より、講習 計画を縮小	
la	人件	参考:平均人件費	7,504	, 000	円	7, 140	,000 円			報償費や	
	再任用單	龍員再任用職員数×平均人件費	_		円	_	品費等		類となった		
١.	人件		3,997	,000	円	4,093	,000 円	め。			
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	_		円	10,580	,605 円				
	事業費	計(直接費+人件費)	15, 991	, 949	円	16, 957	, 149 円				
	種類	上 指 標	名	単位	<b>介</b>	和元年度	令和2	年度		令和3年度	F
	俚块	7日 1示	10	半世	上段:	目標 下段:実績	上段:目標	下段:実績	上段:	: 目標 下段	:実績
	活動	会員登録数		人	(	900 )	( 920		(	930	)
指	心刬	<b>公</b> 真豆嫁数				915	898	}			
	成果	援助活動件数		件	(	4, 200 )	( 4, 6	70 )	(	4, 200	)
	以未	1及功/口到什奴		П		4,668	2, 89	96			
		活動1件あたりの運営コスト		円	(	— )	( –	)	(	_	)
標	X)—	(事業費÷援助件数)		1 1		3, 426	5, 85	6			
					(	)	(	)	(		)
	指標に	関する特記事項									

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
□ □ □ 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す	向性及び事業の方向性を赤く 塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性							
共働き家庭が増加する中で、ファミリー・サポート・センターは、仕事と家庭の両立を支援し、地域での子育てを支援する事業として必要性の高い事業となっている。 このような中、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら、子育て支援の受け皿として、支援活動を行うことができた。	なく、援り 保が今後の 引き続き 会員の増り りをより	員の数に対し 力の実施に表 力課、事業となった。 一層進い、 一層進い、 一層がいく。	舌慮していっている。 同知PRに努け とともに、 土事と家庭	る状況があ め、登録会 地域で子育	り、協力会 員の増加、 てを支える	会員等の確 特に協力 い環境づく		
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   子ども未来	k課長 堀[	コ ひとみ						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 すくすく出産祝金支給事業 事務事業名 330413012 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 3 子育て支援の充実 施策 施策 における位置 細施策 4 子育て支援体制の充実 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 第3子以降の出産に対して、「すくすく出産祝金」を支給することにより、出産の奨励を図り、地域社会の活性 の目的・成果化を促進する。 所管部課 健康・子ども未来部子ども未来課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	1. 事物	分争	業の実施	<del>結果</del>											
4	令和2年 事務事該 実施内容	業	る世帯及び	き続き1年以上住  生活保護受給世帯  給額 第3子 50	詩を除く) に対	して、	出産祝	金を支給	した。 .降 25	50,000		険料、徇	數収金	等に滞納の	のあ
					令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
找	,直		予	算 額	9,350	,000	円	(	9, 250	,000	円		7,	500,000	) 円
12	₹ 接		決	算 額	7,800	,000	円	{	3, 200	,000	円	予算額	真との	比較(R3-	R2)
	費		特定財活	源の有無	□有	■無		;	<u>有</u>	■無			-1,	750,000	)円
ス	\ <u> </u>		正規職員数	ζ		0.25	人			0. 25	人	特記事項			
	従事	員	再任用職員	数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	胆由)
=	1		会計年度任	用職員数	_		人		_		人	過去	の支給	会実績から	積算
	正規單	<del>~~~</del>	正規職員数	(×平均人件費	1,876	,000	円	1,785,000 円			<mark>─</mark> したところ、支給見込み <b>─</b> 数が減少したため。			:み人	
1	人件	費	参考:	平均人件費	7, 504, 000 円			r	7, 140	,000	円	3A13 11747 OTC1C076			
	再任用	100	再任用職員	数×平均人件費			円		_		円				
L	人件	費	参考:	平均人件費	3,997,000 円			4	1, 093	,000	円				
	会計年度任用職	美人件费		用職員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接費+ <i>)</i>	(件費)	9, 676	,000	円		9, 985		円				
	種類		指	標	名	単位		和元年			和2年			令和3年度	
	1 = /		10	130	н	712	上段:		:実績	上段:		设:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	曲調	青者の数			人	(	131	)	(	144	)		121	)
拮		<u> </u>					,	119			111			1112	
	成果	支約	合者の数			人	(	129	)	(	142	)		119	)
							,	117		,	110				<u> </u>
1 <del>1</del>	<del>5</del>						(		)	(		)	-		)
樗	Ē						/		\	/		\	-		$\overline{}$
							(		)	(		)			)
	七十年1	- BB	する特記事	古											_
	fe 信	し対	9 る付記事	<del>以</del>											

総合評価と判断理由	_	今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり失応文は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元旦り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内区がり事未上体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
出産の奨励を図り、地域社会の活性化を促進するという目的を果たすため、祝金の支給事務について適切に行った。	に、広報紙	モやホームノ こり出産をタ	ページ等に 奨励し、地	よる周知を	認を徹底す 図る。祝金 性化に寄り	きを支給す
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   子ども未来	マ課長 堀口	コ ひとみ		•		

1. 事務事	<b>〔                                    </b>		対象	令	和2年度実施事業
事務事業名	青少年健全育成事業事	務事	業整理	番号	440213016
(() A IE (() - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 第2期総合 基本	目標	-		
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 4 青少年の健全育成 戦略におけ <mark> 施</mark>	策			
付け	<mark>細施策</mark> 2 青少年団体の活動支援 School Republic Re	) I			
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 <mark>総合振興計画実</mark>	施計画	画への	掲載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	健やかで社会的に自立した心豊かな青少年の育成のため、地域が見守る 動や世代間交流が活発に行われ、子どもたちの人間性や社会性が育まれる				
所管部課	健康・子ども未来部子ども未来課 <mark>関係部課</mark>				

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 青少年の健全育成を目的に活動する8団体に、合計593,159円を活動費補助金として交付し、各団体の活動を支援した。①久喜市青少年団体連絡協議会45,000円 ②久喜市青少年相談員協議会15,000円 ③久喜市社会を明るくする運動推進委員会81,000円 ④青少年育成久喜市民会議66,438円 ⑤菖蒲地区青少年育成市民会議143,998円 ⑥青少年を守る会84,851円 ⑦鷲宮地区青少年育成推進員協議会126,872円 ⑧久喜市青少年育成市民会議票橋

			30,0	00円														
								令和为	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直			予	算			2,378	,000	円	1		,000	円		2,	290,000	円
17	接		_	決	算	額		2, 137	, 746	円		844	, 419	円	予算額	質とのと	比較(R3-	R2)
١,	費		牛	寺定則	源の	有無		□有	■無		□ ≉		■無			1,	041,000	円
入				職員数					0.90	人			0.90	人			事項	
	従事日	員		用職員						人		_		人			な増減理	
					壬用墹			_		人		_		人			、コロナ禍 全育成団(	
	正規職		_			均人件費		6, 753		円			,000	円	業中止力	が相次き	、補助金(	の交付
ス	人件					人件費		7, 504	,000	円	7	<u>, 140</u>	,000	円	額が減り	少した。 質補正を	これにより 行っている	J、予 s 今
	再任用驅	~~~	_			平均人件費	1			円		_		円	和3年度	におい	ては、事業	実施
	人件	貫	_			人件費		3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円			助金額を利 年度と比較	
ľ	会計年度任用職員					員の人件費	1			円				円		なってい		
	事業費	計(	(直接	費+,	人件費	<b>†</b> )		8, 891	<del>,</del> 346	円		,	, 419	円				
	種類			指		標	=	名	単位		和元年度			6和2年			和3年度	
	12200			,,,		1/3*			- 14	上段:		:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	  青/	い 年相	談員	の人数	坟			人	(	12	)	(	12	)	(	12	)
指	,,,,,,	13		1000							11			6				_
	成果	青少	少年因	体事	業に参	参加する児童	童・绀	E徒数	人	(	780	)	(	790	)	(	795	)
										,	1,265			631		,		<u> </u>
1==										(		)	(		)			)
標													,					<u> </u>
										(			(		)			)
	北井	_ BP :	+ フ 4	+=7=	<del>-</del>													_
	指標に	」(関	9 රෑ	可記事	導場													

3. 計画相来とう後の月刊日									
総合評価と判断理由									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのう失肥大は、信の儿夫を囚る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×			
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×			
日日中来の庭の方で元世9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	が向性、成果の方 の方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
日でありずる内区がり事業主体で元巨す	塗りつぶしてく	(ださい。			入の方向性				
┃ ほとんどの青少年育成団体がコロナ禍の影響により、例年通 ┃りの活動が出来ない状況にあったが、感染防止に配慮した方法		談員の人員R の影響により							
で青少年の社会参加を促進するための事業を進めた。	から、周知	の機会が減っ	っているのが						
青少年健全育成団体の会員や、少年補導員等と連携し、公園		化していく必 取り巻く社会		変化しており	)、青少年を	予期せぬ犯			
などの青少年が立ち寄りそうな場所を重点的にパトロールする ことにより、青少年の非行への抑止力となることに加え、地域	罪から守り	、健全な育成	戊を推進して	いくためには	ま、市や関係	団体の組織			
住民に対して意識啓発を促すことができた。	を越えた連 援を進めて	携が必須でま いく	ある。引き続	き、団体との	の連携を深め	、活動の支			
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   子ども未知	と課長 堀口	コ ひとみ							

1. 事務事業概要 象校 令和2年度実施事業 地域子育て支援センター運営事業 事務事業名 事務事業整理番号 330513024 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 大綱 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 戦略におけ 2 子ども・子育て支援の充実 施策 における位置 る位置付け 細施策 5 子育て環境の整備 KPI 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 子育て中の親子が気軽に集まり、互いに交流する場や、子育てに関する情報交換等の場を提供する。 子育てに関する不安や悩み、困りごとについての子育て相談を随時実施する。 事務事業本来 市内で活動している子育て支援団体との協働事業により、各種講座や講演会を開催し、地域における子育て支援活動を推進する。 の目的・成果 子育てに関するさまざまな情報を発信し、子育てサークルの育成、支援を行う。 健康・子ども未来部子ども未来課 関係部課 所管部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

子どもたちが、安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場や、子育て中の保護者同士の交流の場を提供した。

^ 10 <del>-</del> - - -

子ともだらが、女主に楽しく遊びなから隆主に成長でさる場や、子育く中の保護者向工の交流の場を提供した。 (子育て支援事業実施数/ 久喜 33回 / 栗橋 41回 / 鷲宮 43回) 子育てに関する不安や悩み、困りごとについての子育て相談を随時実施した。(子育て相談件数/ 久喜 95件 / 栗橋 75件 / 鷲宮 40件) 市内で活動している子育て支援団体との協働事業により、各種講座や講演会を開催し、地域における子育て支援活動を推進した。 (子育て支援団体との協働事業数/ 久喜 2回 / 鷲宮 3回)

							令和法	元年度			令和:	2年度			令和	13年度		
投	直			予	算	額	16, 201	,000	円		3,586	,000	円		1	, 818, 00	0 円	
100	接			決	算	額	15, 321	, 168	円		2,969	, 530	円	予算額	頂との	比較(R3	-R2)	
_	費		华	寺定財	源の有	無	■ 有	□無			有	口無	Ħ.		-1	, 768, 00	0 円	
入			正規	職員数	攵			2.60	人			2.60	人		特記事項			
	従事閥	員 :	再任	用職員	数			2.40	人			2.40	人		(予算額の主な増減理由)			
		11.	会計	年度任	£用職員	数			人			1.00			新型コロナウイルス			
	正規職	v- ~	正規	職員数	女×平均	月人件費	19,510		円	1	8,564	,000	000 円		━症の影響により、講 ━イベントを縮小・中			
ス	人件				平均人		7,504	, 000	円		7, 140	,000	円	ことに	より、	報償費や	り消耗	
	再任用單	747 ~	再任	用職員	数×平	^平 均人件費	9,592		800 円 9,823		9,823				が減額	領となった	きた	
	人件	費	\$	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円		4, 093, 00			め。				
	会計年度任用職員	員人件費	会計	年度任	£用職員	の人件費	_		円		<b>4,</b> 063							
	事業費	計 (	直接	費+人	人件費)		44, 424	, 368	円	_	5,420							
	種類			指		標	名	単位		令和元年			令和2年			令和3年		
	1至人六			10		100	Н	十世	上段:		<b>设:実績</b>	上段		段:実績	上段	: 目標 下戶		
	活動	子音	ても	援わ	ンター	延べ利用者	<b>₩</b>		(	32,000		(	32,00		(	32,000	) )	
指	70.25	, ,		.,,,,		C 1111111	~			30, 67	1		11, 12					
	活動	講演	・譜	習会	等各種	イベント数			(	310	)	(	250		(	190	)	
	711243	P1372	` μ	,,,,	, H I	1 12 1 2/				253			118					
	成果	相談	:件数	Z				件	(	180	)	(	180		(	180	)	
標	130514	ПВ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\							210			210					
	効率				りの事			円	(	1, 380.		(		)	(		)	
						用者数)				1, 448.	]		<del>4, 081.</del>	20			_	
	指標に	_関す	する特	寺記事	項													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥文は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の月を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を充邑す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
4月及び5月、12月25日〜3月19日までの間、新型コロナウイルス感染症対策のため3センターとも閉所となったこと、また、開所の際には人数制限があったことから、支援センターの利用者数は最終的に前年度より大幅な減となった。このような中、感染症対策を実施しながら、工夫してイベント及び子育て相談等を実施した。	用者数は減と 日数を数日設 けていく。 また、利用 いく必要があ コロナ禍で	ウイルス感染 なることが予けるなどをし 者が安心して る。 、今まで以上 り添っていく	想されるが、^ て多くの保護 [*] 利用できるよ [*] に保護者の子	イベントの内容 皆の方々が利用 うに、感染症対 育てに対するる	客を充実させる 目し満足のいく 対策を徹底し環	とともに、 内容を心が 境を整えて
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   子ども未来	来課長 堀口	コ ひとみ				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 保育所運営事業 330213106 事務事業整理番号 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 2 様々な保育ニーズへの対応 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 保護者の就労や病気等の理由により、家庭において十分保育できない児童を保護者に代わって市立保育園にお の目的・成果いて保育し、児童の心身の健全な発達を図る。 所管部課 健康・子ども未来部保育課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

分園を含む公立保育園6箇所において、保育を必要とする児童に対して、通常保育、一時保育等を実施することで、保護者の仕事と家庭の両立を支援するとともに、児童の心身の健全な発達に努めた。

		•			令和元	元年度			令和2	口2年度			令和	3年度	
投	直	予	算	額	230, 049	,000	円	93	3, 379	,000	円		91,	784,00	0 円
100	接	決	算	額	212, 776	, 117	円	9(	0, 006	,866	円	予算額	真とのは	比較(R3-	-R2)
_	費	特定財	源の有無		■ 有	□無			有	□無			-1,	595,00	0 円
入		正規職員数	女		6	6.44	人		6	9.13	人		特記	書項	
	従事職	員 再任用職員	数			4.60	人			6.00	人			Eな増減理	
$\Box$		会計年度任			_		人			0.85	人	あお	ば保育	園の閉園	に伴
	正規職		女×平均人·	件費	498, 565		円		3,588		円	ク技質	的な気 より.	け入れ児 対象経費	3里の   が減
ス	人件費	2 3 -	平均人件費		7, 504	,	円		7, 140		円	少する	ため。	V.12/V-1175	213 1174
	再任用職				18, 386		円	= :, ,			円	•			
	人件費		平均人件費		3, 997			4, 093, 000 <del>P</del>			•				
'	会計年度任用職員人	五山十及日		人件費			円		9,860		円	r			
	事業費請	計(直接費+)	人件費)		729, 728, 077				3 <b>,</b> 013		円				
	種類	指	標	į	名	単位		和元年			和2年			6和3年	
	12700	,,,	121		П	' '	上段:		:実績	上段:	目標下	设:実績	上段:	目標 下段	と 実績
	活動	入所率				%	(	100 )		( 100		)	(	100	)
指	.,,,,,,,,,						93. 3%	401人/	430人	91.9%	395人	/430人	,	<u> </u>	
	活動	待機児童数				人	(	0	)	(	0	)		0	)
							,	22		,	40		,	$\overline{}$	
+255	活動(	保育所内の事	<b>坎件数</b>			件	(	0	)	(	0	)		0	)
標								4			0				_
	お	関する特記事	百												_

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
□ こ のうゆる円反から事業主体を見直り	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
護者への子育て支援や児童の心身の健全な発達に寄与することができた。 定員の弾力的な運用により、定員以上の児童を受け入れている園がある一方、定員に達していない園もある。 今後も適正な保育環境を整備しながら、適切な保育を実施する必要がある。	育需要が高るからでは、 今後と 大戸 できる できる できる できる できる かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん かっちん	も働き世帯で高まるととも高ま、保育主であるとう。 では、保育主では、 では、保育では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ちに、保護 の確保や多 て支援を行 徳設個別施	者の保育二 様な保育サ っていく。 設計画に示	ーズも多様 ービスの充 した各公立	化してい 実に努 保育園の
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 保育課長	尾﨑 弘章	章				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 私立保育所等補助事業 事務事業名 事務事業整理番号 330213108 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 2 子ども・子育て支援の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 2 様々な保育ニーズへの対応 5 障がい児保育受入施設数 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 特別保育事業を実施する私立保育所等に対して補助金を交付することにより、市民の多様化する保育ニーズに <mark>の目的・成果|</mark>対応するとともに、当該保育所等の安定した運営と保育サービスの充実を図る。 所管部課 健康・子ども未来部保育課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

特別保育事業(延長保育事業、一時預かり保育事業、低年齢児保育促進事業、障がい児保育事業、アレルギー 等対応特別給食提供事業、広域的保育所等利用事業、保育環境改善等事業、新型コロナウイルス感染拡大防止対 策事業)を実施する延べ167箇所の私立保育所、認定こども園、小規模保育事業に対して、補助金を交付した。

			•		令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
4	л.	直	予 第	<b>類</b>	170, 523	,000	円	197	, 265	, 000	円		198,	295,000	) 円
ł	殳	接	決 第		152, 339		円		•	,000	円	予算額		比較(R3-	
		費	特定財源の	有無	■有	口無		■ 有		□無			1,	030,000	) 円
1	入		正規職員数			0.30	人			0.71	人		特詞	書項	
		従事職員	再任用職員数		1		人		_		人	(予算	額の主	Eな増減理	里由)
-	⊐Į		会計年度任用單	<b>戦員数</b>			人		_		人			より施設	
		正規職員	正規職員数×I	P均人件費	2, 251	,200	円	5	,069	, 400	円	増加し	たこと	:による増	<b>領。</b>
-	z .	人件費	参考:平均		7, 504	,000	円	7	, 140	,000	円				
		再任用職員			_		円		_		円				
	_	人件費	参考:平均		3, 997	,000	円	4	<u>, 093</u>	,000	円				
ľ	١,	会計年度任用職員人件	五日十尺江川和				円		_		円				
		事業費計	(直接費+人件	費)	154, 590	, 200	円			, 400	円				
		種類	指	指標名				和元年度			和2年			命和3年度	隻
	ı	12//	70	120	н	単位	上段:		:実績	上段:	目標 下段	と: 実績	上段:	目標 下段	:実績
		活動 補	助金交付保育所数	で、市内・市外和	仏立保育所等)	箇所	(	90 )		( 110		)	(	110	)
扌	旨	7,1,3,3			2,	П.77		121			167				_
		成果特	別保育実施保育所	数(市内公立・	私立保育所等)	箇所	(	30	)	(	30	)	(	30	)
							,	32		,	35	,		14	
l.	.æ	成果障	障がい児保育受入施設数			施設	(	14	)	(	14	)	$\overline{}$	14	)
1	漂.						/	11	\	-	8	\	/		$\overline{}$
							(		)	(		)	$\overline{}$		)
		北上海(一日)	引する特記事項												_

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前画とのり天旭人は 盾の儿子を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の進め力を允良す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日とのうゆる内皮がり事業主体を充邑す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
各保育所等において、当初の目標通りに、一時預かり、延長 保育事業等の特別保育事業を実施でき、保護者の仕事と子育て の両立支援を図ることができた。また、各保育所等に補助金を 交付することにより、私立保育所等の健全な運営に寄与するこ とができた。	ためには、 施設と連携 ていく。 特別保育 営の安定と	市民の多様 当該事業に 男を図りなっ 事業を実施 きまられる。	か継続的な がら、安定 施する私立 実を図るこ	実施が求め した保育支 保育所等へ とは、子育	られること 援を行える 補助金をダ て支援の有	ごから、各 るよう努め を付し、運 可効な手段
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 保育課長	尾崎弘	章				

<u>1.事務事</u>	業概要								_	対	象 全	<u>令和</u>	12年度実施事業
事務事業名	私立保	育	所等施設整備	貴補助	事業				事務事	業整	理番号		330213109
(A) A 15 (B) - 1 - 1		3	子どもから高齢者まで、	誰もが健康	東で安心	ふして暮ら	せるまち	第2期総合	基本目標	1	_		
総合振興計画における位置	施策	3	子育て支援の充	実				戦略におけ		1	-		
付け	細施策	2	様々な保育ニー	ズへのタ	対応			る位置付け	KPI	-	-		
1577	後期基本	怙	画成果指標との関	<mark>見連</mark> ■ 月	該当	口非	該当	総合振興計	画実施計画	画へ	の掲載		該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果				っため、i	市内の	の民間係	育所等	における施	設の新規創	設に	より保	育3	環境の改善と利用定
所管部課	健康・子	7 2	も未来部保育課	関係部	課								

2	. 事務	事業の実施結果	<b>₹</b>											
=	和2年 事務事業 実施内容	国の作の句	保育所等整備3 設に係る経費を					、保育	所(2)	施設)及	及び小規	模保育	事業所(	(1施
				令和	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直	予 算	<b>類</b>	103,845	,000	円	507	7, 316	, 000	円		234, 1	53,000	円
汉	接	決 算	算 額	103,845	,000	円	440	), 683	,000	円	予算額	真との比	.較(R3-	R2)
	費	特定財源0	)有無	■ 有	□無		<b>I</b>	有	□無			-273, 1	63,000	円
入		正規職員数			0.30	人			0.40	人		特記	事項	
	従事的	再任用職員数		_		人	_		人		(予算	額の主	な増減理	曲)
		会計年度任用	職員数			人	_			人		整備数の	の減少の	た
	正規職		平均人件費	2, 251	, 200	円	2, 856,		,000	円	め。 今和25	F度3施記	<b>沙</b> 整借	
z	人件	参考:平均	1人件費	7, 504	, 000	円	7, 140,		,000	円	令和3年	F度1施記	设在 III 设整備予	定
	再任用耶		×平均人件費			円		_		円				
	人件	参考:平均	3人件費	3, 997	,000	円		1,093	,000	円				
1	会計年度任用職員	elet 会計年度任用I				円		_		円				
	事業費	計(直接費+人件	費)	106, 096	, 200	円		3, 539						
	種類	指	標	名	単位	수	和元年度			和2年			和3年度	Ę
	TEX	JH	IN	Н	712	上段:		:実績	上段:	目標下	设:実績	上段:目	標下段	:実績
	活動	保育施設の整備			<b>箇所</b>	(	3	)	(	3	)		1	)
指						,	2			3			1110	
	成果	保育所定員数の拡	大		人	(	239	)	(	195	)		110	)
						,	19		/	195	\		$\overline{}$	$\overline{}$
標	成果	待機児童数			人	(	0 22	)	(	0 40	)		0	)
行示						(		`	-	40	)	1		$\overline{}$
						(		)	(		)			)
		関する特記事項												_
	打け信息	- 因りの付む事項												

	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
┃ ┃□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
ロ A   計画とのが失肥文は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
ローB 事業の進め力を発置す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
■ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充		
■ C めりゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性			
保育所2施設、小規模保育事業所1施設の新規創設に係る経費を補助することで、利用定員の拡大を行い、待機児童の解消に寄与した。本事業等による計画的な施設整備により、令和3年4月1日時点での待機児童数は0となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり保育需要に対し供給量(定員数)が超過する状態となったことから、保育需要の変化に合わせ適切に対応できるよう、事業全体を見直していく。  評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 保育課長	保育需要にから事業の のだが、新働き世界の はより状況	4月1日時点 に対し供給 か方向性とし 型コロナウ の増加や就 資需要は可 現の変化にで 利用定員ので	量(定員数) しては縮小いス感染 が形態の多っ 変的である。 合わせた保	)が超過す とした。待 と症の影響! 様化、幼児 の待 で需要と供	る状態とな 機児童数は こよる社会 教育・保育 機児童数の 給体制のハ	こったこと は現時点で 変化、共 新無償化等 変動を踏		

<u>1.事務事</u>	業概要	<u> </u>						_	対	象 :	<u>令和</u>	02年度	<b>E実施事</b>	業
事務事業名	小規模	莫保	育改修費等支持	爰事業				事務事	業整	理番号	-	33	021311	0
(A) A I = (B) = 1 = 1	大綱	3	子どもから高齢者まで、	誰もが健康で	安心	して暮らせるまち	第2期総合	基本目標	ı	-				
総合振興計画における位置	施策	3	子育て支援の充	実		戦略におけ		ı	-					
付け	細施策	2	様々な保育ニー	ズへの対応	心		る位置付け	KPI	ı	-				
, 5	後期基	本言	十画成果指標との関	<mark>引連</mark> ■ 該	当	□ 非該当	総合振興言	画実施計画	画へ	の掲載		該当	■ 非該	当
事務事業本来 の目的・成果 と利用定員の拡大を図る。											こより	り、保育	<b>育環境の</b> で	改善
所管部課	健康・	子と	ごも未来部保育課	関係部課										

2	. 事務	事:	業の実施	結果											
=	和2年 事務事業 実施内容	€				を援事業費補助 6経費を補助し					ざき、	小規模	保育事	業所(1施	語)の新
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和3年	度
投	直		予	算	額	-		円		<b>6,</b> 499		円			0 円
10	接			算	額	_		円	16	<b>6,</b> 499	,000	円	予算額	頁との比較	
入	費			排の有	無	□有	□無		<b>■</b> 7		□無			-16 <b>,</b> 499	
人			正規職員			_		人			0.40	人		特記事	
	従事閥		再任用職員		2 1/4	_						額の主なが			
			会計年度任			_		<u>人</u>	— 人			■ 施設整備数の減少のた ■ め。			
	正規職 人件	٧ <del>、</del>	正規職員数			7 504	000	<u>円</u>	2, 856, 000 円 7, 140, 000 円			令和2年			
ス				平均人	件質 ^Z 均人件費	7,504	, 000	<u>円</u> 円		1, 140	, 000	円	令和35	F度整備予	定なし
	再仕用版   人件質			平均人		3,997	በበበ	<u>口</u> 円	<del>                                     </del>		በበበ	円	_		
۲	会計年度任用職員	員人件費			の人件費	J, 331	, 000	円		+, U93; —	, 000	円			
	事業費	計	(直接費+			_		円	10	9, 355	. 000	円			
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		h	34 /L		令和元年度		令和2年		度	令和	3年度
	種類		指		標	名	単位	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:目標	下段:実績
	活動	(兄を	育施設の整	x借			箇所	(	_	)	(	1	)	(	- )
指	川却	IN F	<b>ヨルピロズ ▽ ノユE</b>	- I/H3			回加					1			
	成果	保育	5所定昌数	の拡大	(小規模保	育施設)	人	(		)	(	19	)	(	_ )
	75051	17171	3////	()	(3 7)01)(1)(1	7,004,7	<i></i>	,			,	19	,		
+275	成果	待機児童数					人	(		)	(	0	)		_ )
標								/			/	40	\		
								(		)	(		)		)
		_ - 眼 -	する特記事	百百											
	1日/示し	- 天	9 の付記書	中央											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
■ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
■ と めつゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
した。 本事業等による計画的な施設整備により、令和3年4月1日時点での待機児童数は0となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり保育需要に対し供給量(定員数)が超過する状態となったことから、保育需要の変化に合わせ適切に対応できるよう、事業全体を見直していく。	保育需要に から事業の のだが、世界の しまえ しまえ しまえ した系	4月1日時点 対し供給量 か方向性とし 型コロナウ の増加や就等 育需要は可変 記の変化に行	量(定員数 しては縮小 イルス感染 労形態の多 変的である。 合わせた保	)が超過す とした。待 と症の影響! 様化、幼児 の待 で需要と供	る状態とな 機児童数は こよる社会 教育・保育 機児童数の 給体制のハ	でいたことは現時点で変化、共変化、共産債化等の変動を踏り
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 保育課長	尾﨑 弘建	章				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 保育士等人材確保支援事業 事務事業整理番号 330213111 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 1 積極的な経済活性化、安心して働けるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 戦略におけ 3 市内で働く人材を育て生かす 施策 における位置 る位置付け KP I <mark>細施策</mark> 2 様々な保育ニーズへの対応 6 保育士人材確保就労支援金交付対象 付け □ 非該当 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 事務事業本来 市内保育事業所における保育士等の確保に寄与することで、子どもを安心して育てることができる体制整備を の目的・成果図る。 所管部課 健康・子ども未来部保育課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	<u> </u>	事	の夫が	也給ラ	₹																
	事	和2年原 事務事業 尾施内容				業所において、 1施設、対象例		等数22人	`	用した「	祭に支				援金の-							
								令和	元年度			令和2	2年度	:		令和	13年	芰				
ŧ	殳	直		予	算	額		2,330	,000	円		5,000	, 000	円		5,	, 000,	000	円			
1.	$^{z} $	接		決	算	額		2,330	,000	円		1,900	, 000	円	予算額	頁との	比較	(R3-R	2)			
		費		特定則	材源σ	)有無		 ]有	■無			  有	■無	ŧ				0	円			
7	시		正	規職員	数				0.18	人		(	0.18	人		特	記事項	Į				
		従事閥	<b>員</b> 再	任用職	員数			_		人		_		人	(予算	算額の主な増減理			由)			
=	٦l		会	計年度	任用單	<b>職員数</b>		_		人		_		人								
	ſ	正規職	員正	規職員	数×ឆ	平均人件費		1,350	, 720	円		1, 285	, 200	円								
-	ا ۲	人件費	責	参考	:平均	1人件費		7,504	, 000	円		7, 140	, 000	円								
		再任用單	貴 再	任用職	員数:	×平均人件費		_		円		_		円								
١,		人件費	貴	参考	:平均	人件費		3, 997	,000	円		4,093	, 000	円								
ſ	`	会計年度任用職員	A 会	参考:平均人件費 会計年度任用職員の人件費				_		円		_		円								
		事業費	計(直	接費+	-人件	費)		3,680	, 720	円	3, 185		, 200	円								
		種類						指標		名		単位		和元年度			令和2年				3年度	
	L	作		111		'រភះ	111		十四	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標	下段:	実績			
		成果	保育-	一人材福	在保就	労支援金交付	分争		人	(	40	)	(	40	)	(	4	0	)			
扌	旨	15051		-> (1.2 b)	II 1/1/1/1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				26			22				_	_			
										(		)	(		)	(			)			
	L																	_	_			
١.										(		)	(		)				)			
村	票									,		,						_	,			
										(		)	(		)				)			
	ŀ	TK:T##	- 88	フ 4+ ニコ =	<b>*-</b>														_			
		指標に	. 関 🦸	る特記	事埧																	

総合評価と判断理由		_	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る		成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり夫心人は一層の儿夫を図る		の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す		成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×						
日日日本来の庭の力を見直り		性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す			向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充						
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性													
市内の保育事業所に対し、保育士等を新規雇用する際に給付する「就労のための支援金」の一部を補助することで、安定的な人材確保と運営を支援することができた。 また、市内保育事業所の保育の担い手を確保することで、特機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備に寄与した。  「あちした。  「おいている。このようなことができる体制を構成している。このようなことがら、市内保育事業所の安定的な人材確保と運営を支援し、子どもを安心して育てることができる体制を整備するためにも、本事業を継続して実施していく必要がある。													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名	保育課長	尾﨑 弘章	章										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 病児保育委託事業 事務事業整理番号 330213115 大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 3 子育て支援の充実 2 子ども・子育て支援の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I <mark>細施策</mark> 2 様々な保育ニーズへの対応 4 病後・病後児保育利用延人数 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 口 非該当 事務事業本来 乳幼児及び児童が病気中または回復期にあって、集団保育や家庭保育が困難な場合、一時的に預かる病児・病 の目的・成果 後児保育を実施し、保護者の子育て、就労等を支援するとともに、乳幼児及び児童の健全な育成を図る。 所管部課 健康・子ども未来部保育課 関係部課

	2.	事務	事	業の実施額	課											
	Ī	和2年原 事務事業 実施内容	€ .	児及び小学	後児保育は、医療 校1〜6年生までの が乳幼児及び児童	)児童を対象に	. 月~	土曜日	の週6日、	病院	に付設	生住で保さい こうしん ままい こうしん あいいい かいしん あいい かいしん あいい かいしん あいい かいしん いっぱい いいしん いいしん いいしん いいしん いいしん いいしん いいしん いい	育所等( 月の保育	こ通所 「室にす	している おいて、	5乳幼 看護師
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
l	投	直		予	算 額	14, 832	, 000	円	13	3, 107	,000	円		14,	932,00	)0 円
	1X	接		決	算 額	14, 831	,600	円	1	1,019	,600	円	予算額	頁との	比較(R3	3-R2)
	,	費		特定財源	原の有無	■ 有	□無			有	□無			1,	825,00	)0 円
1	시			正規職員数			0.40	人			0. 21	人		特詞	記事項	
		従事閥	_	再任用職員				人		_		人	(予算	額の主	主な増減	理由)
	⊐│			会計年度任	- 1.10	_		人		_		人				
		正規職	-		×平均人件費	3, 001	•	円		1, 499	_	円				
	ス	人件費			^Z 均人件費	7, 504	, 000	円	'	7, 140	,000	円				
		再任用贈	747 ~		数×平均人件費	_		円		_	200	円	•			
	$\vdash$	人件費			² 均人件費	3, 997	,000	円	4	4, 093	,000	円	•			
		会計年度任用職員			用職員の人件費	17 022	200	円	11	_ 	000	円	,			
H		事業費	計(	直接費+人	件質)	17, 833	, 200	円		2, 519		円	œ		<u>کت ، ح</u>	<del>-</del>
		種類		指	標	名	単位		和元年	-		令和2年			令和3年 目標 下	
								上权 :	<del>200</del>	・夫領	上权・	200	ス・天禎	上权・	340	<del>汉・天</del> 禎 \
l.	指	成果	病児	・病後児保	骨の利用延人数		人		323	,	(	22	)		340	
1	JH							(	JLJ	)	(		)	(		$\overline{}$
													,			
								(		)	(		)	(		
7	標													<u> </u>		
								(		)	(		)	(		)
		指標に	関す	する特記事項	<u></u>			•						•		

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画とのの大肥文は一層の元夫を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×							
□ B 事業の進め力を発直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入のプロセスの事業の	う 向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充							
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性													
新型コロナウイルス感染症の影響により病児保育よりも家庭 本事業は、保護者の仕事と子育ての両立を図る上で、重要な保育を選択する保護者が増えたと考えられるため、令和2年度 子育て支援策となっており、今後も継続して実施していく必要													
保育を選択する保護者が増えたと考えられるため、室和4年  の利用延人数は前年度より減少した。しかしながら、本事對		_发 束となつ また、病院I											
実施することで、保護者の就労や緊急の保育需要に対応する		また、iMimi 安心してお <del>-</del>											
とができ、保護者の子育て、就労等を支援し、乳幼児及びリ	童 療法人土	屋小児病院											
の健全な育成につながった。今後も保護者の子育て、就労等													
支援するため、当該事業の継続的な実施が求められることか													
ら、委託先と連携し安定した運営に努める必要がある。													
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 保育詞	長 尾崎 弘	草											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 道路愛護事業 520213204 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 付け □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 道路は、市民の生活を支えるための身近な施設であるが、その重要性は見過ごされがちである。 事務事業本来 の目的・成果 受け継いでいくため、1年を通し、市道や市で管理する道路などの清掃活動への参加をお願いし、本活動を通し て、道路と親しみ、ふれあいながら、共に安全に利用できる道路環境づくりを目的としている。 所管部課 建設部建設管理課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	事務	<u>事</u> 業	の実施	話果_												
4	事	和2年原務事業施内容		実施し	た自治会		7に道路の清掃 0区:89地区、 った。						区、	鷲宮地区	: 32地	区となっ	てお
							令和无	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
· 书	٦	直		予	算	額	4, 777	, 000	円		4, 575	, 000	円		4,	740,00	00 円
12	Z	接		決	算	額	4, 694	, 281	円		4, 147	, 320	円	予算額		比較(R3	
		費		特定則	オ源の有	無	□有	■無			]有	■無				165,00	00 円
ス	Ч		П	規職員	数			0.05	人			0.05	人		特詞	記事項	
		従事閥	員再	任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
=	ıL		£	計年度	任用職員	数			人		_		人			ウイル	
	Γ	正規職		規職員	数×平均	]人件費	375	, 200	円		357	, 000	円			こより、ª E自粛され	
1	χL	人件費	1		:平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	, 000	円			にたが、	
	Ī			任用職	員数×平	均人件費	_		円		_		円			は例年	
	Ĺ	人件費			平均人		3, 997	,000	円		<b>4,</b> 093	, 000	円	の活動	を兄と	込んでいる	5/こ
ļ '	ź	計年度任用職員				の人件費			円				円				
	-	事業費	計(正	直接費+	人件費)		5,069	, 481	円		4,504		円				
		種類		指		標	名	単位		和元年			和2			令和3年	
	L	12//		711		120	Ц	714	上段:		下段:実績	上段:			上段:		设:実績
		活動	参加	自治会σ	割合			%	(	88.	-	(	88.		(	88.8	)
指	Í									86.		, 4	61.			454.5	
		成果	作業	延長				m			000 )			000 )	( ]	<u>, 151, 7</u>	00 )
	ŀ	,							Ι,	386,		<u> </u>	173,		,	240	_
T=	F5	効率	各作	業の50	0 m当	りの平均作	業単価	円	(	340		(	340			340	)
枵	<b>デ</b> -								,	340	)	,	340	<u>)</u>	,		
									(		)	(		)			)
	-	北上西1一	問士	る特記事	古古												_
		1日信し	.  关  9	る付記書	尹坦												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 前側とのう天心人は 盾の儿子を囚る	かの	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
日日日本来の庭の力を元直す													
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト													
本事業は、すべての自治会にお願いしているが、地区の自主 的な参加であることから、すべての地区の参加には至っていない。 い。 特に、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響により、例年を下回る実施率61.8%であったが、一定の成果は見られていることから、現状維持とした。													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 建設管理語	果長 遠藤	勇三											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 道路台帳整備事業 520213205 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 付け との関連 🗆 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 道路台帳は、道路法第28条により調整・保管が義務付けられていることから、路線の認定や廃止、区域変更な どの内容に合わせ更新作業を行い、最新の情報を備えた状態で整備する必要がある。 事務事業本来 の目的・成果 また、道路台帳で管理している市道の延長及び面積は、地方交付税の算定基礎に使われることから、市の財政 運営上も重要な資料であるため、道路台帳の整備を欠かすことはできない。 所管部課 建設部建設管理課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

		<u> 구</u> '1///	ナベ	// <u>/                                 </u>	心心木												
4	事務	2年原 務事業 西内容	ī	市内4均	地区の道	路台帳を最	新の道路情報に	こよる勇	更新を行	· った。							
							令和元	元年度			令和2	年度			令和	13年度	
+1		直		予	算	額	34, 180	,000	円		32, 443,	000	円		36,	640,00	00 円
找	Ž	接		決	算	額	32,094		円		30, 260,		円	予算額		比較(R	
		費		特定則	財源の有	ī無	口有	■無			<u></u>	■無			4,	197, 0	00 円
フ	Ī		正規	見職員				0.90	人		(	0.90	人			己事項	
	従	事職	員 再	壬用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
=	]		会	計年度	任用職員	 員数	_		人		_		人	道路	台帳0	更新作:	業に係
	Ī	規職	員 正規	現職員	数×平均	匀人件費	6, 753	,600	円		6, 426,	000	円	る費用	につい	ては、	各年度
-	ш.	人件費		参考	:平均人	 、件費	7,504		円		7, 140,		円	等の状	つ始後 況によ	の認定 り増減	・廃止   するた
		任用職	員 再	壬用職	員数× ^x	P均人件費	_	-	円				円	め。	,,,,,		, 0,0
l.		人件費		参考	:平均人	件費	3, 997	,000	円		4, 093,	000	円				
1	会計年	F度任用職員	人件費 会記	十年度	任用職員	員の人件費	_		円		_		円				
	事	業費	十(直	接費+	-人件費)	)	38,848	, 300	円		36, 686,	120	円				
	<b>£</b> 1	類		指		<del></del> 標	名	単位	令	和元年	F度	ŕ	和2年	度	-	令和3年	度
	竹当	主大只		1日		1ਨਾ	71	丰山	上段:目	標下	段: 実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標下	段:実績
	汨	5動	<b>首</b>	帳のほ	<b></b> 更新回数	ı.			(	4	)	(	4	)	(	4	)
排	<u> </u>	13/)		TK V J	C#11119X	•				4			4				
	ьt	t果	<b>道路台</b>	・帳にま	きづく市	道延長		m	(	_	)	(	_	)	(	_	)
	137	~>\\ .	еи п	TKICS				'''	1,	313,	323	1,	, 312, 3	189			
									(		)	(		)	(		)
枵	<u></u>																
									(		)	(		)			)
		- 1		41.=-													
	指	標に	関する	特記	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 引画とのう天旭大は 眉の儿天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
日日日本来の年の月を元世9	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充							
日である内皮がり事業主体を元直す	入の方向性												
路線の認定や廃止、区域変更に伴う台帳の更新業務を行い、 最新の道路情報による台帳整備を行ったことにより、利用者の 利便性の向上が図られた。 引き続き、最新の道路情報を備えた道路台帳としての整備を 継続していく必要がある。 まれる。 を進めるとともに、市道を適切に管理するための資料として台 帳整備を継続する。													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 建設管理認	果長 遠藤	勇三			•	_							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 地籍調査事業 520213207 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 2 道路・公共交通の整備・充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 2 市内幹線道路・生活道路の整備 細施策 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 地籍調査には、「一筆地調査」と「官民境界等先行調査」があり、「一筆調査」は、全筆の調査のため、実施するには、非常 に長い期間を必要とすることから、現在、街区単位で市が管理する道路等と民有地との境界を明確にする「官民境界等先行調 事務事業本来 の目的・成果 査」を実施している。これまでに、菖蒲地区において、0.55km²の区域で同調査を実施し、官民境界を確定している。 所管部課 建設部建設管理課 関係部課

接 決 算 額 14,812,388 円 15,946,920 円 予算額との比較 (R3-R2)	2	. 事務	事業	の実施	結果											
投		事務事業	ŧ	当該調査	Eにより、道水路等									を取りる	<b>きとめた</b>	測量
接						令和法	元年度		<del>^</del>	和2	2年度			令和3	3年度	
接	也	直		予	算 額	16, 464	,000	円	16,	057,	, 000	円		18,8	397,00	0 円
正規職員数	18	接		決	算 額	14,812	, 388	円	15,	946,	, 920	円	予算額	頁との比	.較(R3-	-R2)
近外職員数	_	費		特定財	源の有無	■ 有	□無		■ 有		□無			2, 8	340,00	0 円
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	人		正	規職員数	Ż		0.60	人			0.80	人		特記	事項	
工規職員 正規職員数×平均人件費 (大件費 (大件費)		従事閥				_		人	-	_		人				
上規職員						_			-	_		人				
大件質   参考:平均人件費			-													
人件費       参考:平均人件費       3,997,000       円       4,093,000       円         事業費計(直接費+人件費)       19,314,788       円       21,658,920       円         種類       指       名       単位       令和元年度       令和2年度       令和3年度         上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:男績 上段:目標 下段:男       人件費       成果       地籍調査(官民境界等先行調査)実施面積       人m²       (0.53)       (0.61)       (0.75)         標       (0.55)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)       (0.65)	ス	人件算				7,504	,000		7,	140,	, 000		減する	ため。	- 1,541	
大き   19   19   19   19   19   19   19   1			742 ~			_	000		-		000					
事業費計(直接費+人件費)     19,314,788     円     21,658,920     円       種類     指     名     単位     令和元年度     令和2年度     令和3年度       上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:男     上段:目標 下段:男       成果     地籍調査(官民境界等先行調査)実施面積     ( 0.53 ) ( 0.61 ) ( 0.75       ( ) ( ) ( ) ( )       ( ) ( ) ( ) ( )	<b> </b>	人件到				3, 997	,000		4,	093,	, 000					
種類     指     名     単位     令和元年度     令和2年度     令和3年度       上段:目標     下段:実績     上段:目標     下段:実績     上段:目標     下段:実績       成果     地籍調査(官民境界等先行調査)実施面積     (0.53)(0.65)     (0.65)       (0.55)(0.65)     (0.65)(0.65)     (0.66)(0.65)       (0.55)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)(0.65)       (0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)(0.65)     (0.65)(0.65)(0.		会計年度任用職員				10 214	700		- 21	_ / F O	020					
植類     指     名     単位     上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:具体 上段:目標 上段:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下程:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下段:具体 上程:目標 下程:具体 上程:目		事業質	計(直	上接賀 + /	(件質)	19,314	, 788			<u>658</u> ,			œ	^	10 2 /T 5	<del></del>
括     地籍調査(官民境界等先行調査)実施面積     km²     ( 0.53 ) ( 0.61 ) ( 0.75 )       ( ) ( ) ( ) ( )     ( ) ( ) ( ) ( )		種類		指	標	名	単位			中华						
指     成果     地緒調査(官民境界等先行調査) 美施面積     km²     0.55     0.65       (     )     (     )     (       標     (     )     (     )								上段:		夫領 \	上段:		段・美領	上段: 日		・美領
( ) ( ) ( <u></u> <del> </del>	+5	成果	地籍訓	査(官	民境界等先行調査	)実施面積	km ²	(		)	(		)		0.75	
( ) ( ) (   ( )   (   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )   ( )	18	$\vdash$						(	0. 33	1	(	0.03	)	(		$\overline{}$
標										/					_	
標		$\vdash$						(		)	(		)	(		$\overline{}$
	標												,	<u> </u>		
	,,,,,							(		)	(		)	(		)
								<u> </u>			`			<u> </u>		
指標に関する特記事項		指標に	関する	5特記事	項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 計画とのり天旭又は一層の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充							
達りつぶしてください。 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性													
直蒲地区において国が平成27年度及び30年度に実施した基本調査の対象区域について、平成28年度から令和2年度までの計画期間において0.65km²の区域の官民境界等先行調査を実施・完了することができた。 これにより、官民境界を確定し道路用地を適正に管理することが可能になるとともに、道路台帳の精度を向上させるための境界を確定していることができた。 は内閣・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 建設管理語	果長 遠藤	勇三											

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 西堀・北中曽根線道路改良事業 事務事業名 520213305 事務事業整理番号 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 **KPI** 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 ■ 非該当 事務事業本来 久喜地区と菖蒲地区を結ぶ幹線道路を整備することにより、県道川越・栗橋線の交通渋滞の緩和を図り、周辺 の目的・成果 県道・国道と幹線道路網を構築すると共に、利便性の向上を図る。 所管部課 建設部道路建設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 整備後の境界杭の設置を行い、事業を完了することができた。

なお、整備後の交通量について調査業務を発注したところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、通常時の交通量調査ができなくなってしまったことから、委託料1,045,000円を令和3年度に繰越明許とした。

令和2年度

令和3年度

また、引き続き用地交渉を行ったが、用地の取得には至らなかった。

令和元年度

- 11					1-162	0 1 1/2			1- 1	- ' ~			1- 1-	0 1/2	
ı	投	直	予 算	額	124, 564	, 000	円	7	, 429	,000	円				0 円
ı	1X	接	決 算	額	108, 884	, 820	円	3	, 819	, 200	円	予算額	買とのと	比較(R3	-R2)
	_	費	特定財源の	有無	■ 有	□無		□ 1	Ī	■無	ŧ		-7,	429,00	0 円
	入		正規職員数			0.80	人			0.80	人		特証	書項	
		従事職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	類の主	こな増減	理由)
	⊐		会計年度任用職	战員数	_		人		_		人			҈伴い、≝	当初予
		正規職員		^Z 均人件費	6,003	, 200	円	5	, 712	,000	円	算が皆 かお		こつた。 12年度事	業で
	ار	人件費	参考:平均	人件費	7,504	, 000	円	7	' <b>,</b> 140	,000	円			発注した	
		再任用職		平均人件費	-		円		_		円			が完了で	できな
	L	人件費	参考:平均	人件費	3, 997	, 000	円	4	, 093	,000	円	かった 1 0/15		い。 を繰越明	<b>許</b>
ı	1	会計年度任用職員人	会計年度任用職	戦員の人件費	_		円		_		円	とした		· 11×10×17)	
L		事業費計	十(直接費+人件資	貴)	114, 888	, 020	円	9	<u>, 531</u>	, 200	円				
		種類	指	標	名	単位		和元年度			令和2年			和3年	
		12//	10	100	н	714	上段:		:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段:	目標下戶	段:実績
ı		活動	整備延長			l m	(	680	)	(	_	)	(		)
	指	7,1,3,1						680							_
		活動月	用地取得面積			m	(	108	)	(	108	)			)
			用 <b>地</b> 取侍 <b>山</b> 惧					0		,	0				
ı		成果	進捗状況			%	(	100	)	(		)			)
ı	標		Z=12 1/1/10				,	100		,	_				<u></u>
ı							(		)	(		)			)
ı		151±1=1													_
		指標に	関する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 引回このグチルスは 信の儿子で囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
日日日本来の定の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充							
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性													
久喜地区と菖蒲地区を結ぶ西堀・北中曽根線については、利 便性の向上を図ると共に、国道122号や県道川越栗橋線などと 幹線道路網を構築する重要な路線である。 令和元年度に整備が完了し、令和2年度に整備後の境界杭の 設置を行い、事業を完了することができた。 令知元年度に整備が完了し、令和2年度に整備後の境界杭の 設置を行い、事業を完了することができた。 「大人のがでは、利 中曽根線(西堀地区)開通。 令和2年度に整備後の境界杭の設置を行い、事業を完了。 しかし、一部の用地について、相続やその他の理由によっ て、取得ができていない箇所があるため、引き続き関係地権者 と調整を図る必要がある。 事業完了に伴い、道路新設改良事業で対応を図る。													
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路建設	課長 堀口	泰弘											

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 橋りょう長寿命化修繕事業 事務事業名 520213309 事務事業整理番号 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 継続的に安全な交通を確保すると共に、ライフサイクルコストの低減や予算の平準化を図れるように、橋梁長 の目的・成果寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕を行う。 所管部課 建設部道路建設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、工事を発注、修繕を実施した。

令和元年度

また、令和元年度に繰越明許となった2橋の修繕工事を実施した。 なお、令和2年度中に発注した、橋梁長寿命化修繕工事(久喜地区)その2については、一般競争入札により業 務を発注したが、入札不調となり、設計内容を修正したところ、当初予算に不足が生じたため、不足額を増額補 正し、事業費17,000,000円を令和3年度に繰越明許とした。

令和2年度

令和3年度

	_																
±	吺	直		予	算	額	201,500	,000	円	176	6,062	,000	円		74,	368,0	00 円
J.	×	接		決	算	額	160, 469	, 300	円	146	5 <b>,</b> 029	, 934	円	予算額	頁との」	比較(R	(3-R2)
		費		特定財	源の有無	Ħ	■ 有	□無		<b>I</b>	有	□無	ŧ		-101,	694,0	00 円
7	시		正規	見職員数	Ż			0.80	人			0.80	人		特詞	記事項	
		従事職	員 再信	壬用職員	数		_		人		_		人	(予算	額の主	主な増減	域理由)
-	٦L		会計	計年度任	· 用職員	数	_		人		_		人	橋り	よう長	寿命化	修繕事
	ſ	正規職		見職員数	X×平均	人件費	6,003	3, 200	円	Ē	5, 712	,000	円				補助事 進めて
-	z [	人件費			平均人作		7,504	l, 000	円	7	7, 140	,000	円	いるが	、国費	かがい	基準が
		再任用職	損 再信	壬用職員	数×平	均人件費	_		円		_		円				画して
١,	$\setminus$	人件費		参考:	平均人作	件費	3, 997	, 000	円		1, 093	,000	円			い予算 ため。	確保が
'	`	会計年度任用職員。	^{人件費} 会計	計年度任	用職員	の人件費	_		円		_		円	( ( (	13. 21.	_/_0/0	
		事業費詞	計(直	接費+/	(件費)		166, 472	2,500	円	151	1,741	, 934	円				
		種類		指		標	名	単位	f	和元年度	麦	2	令和2年	度	-	令和3年	F度
	L	任双		111		'וגיד	ш	十四	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標下	段:実績
		活動(	修繕計	·画				橋	(	7	)	(	7	)	(	1	)
扌	旨	70 30	12401					TIPS		7			6				
		成果	進捗状	況				%	(	100	)	(	100	)	(	100	)
		1-2021	木 连抄扒沉				/ / /		100			85					
									(		)	(		)	(		)
村	票																
									(		)	(		)	(		)

## 3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×					
B     事業の進め方を見直す       (株廃止)     (株廃止)       (株成)     (株成)       (株成)											
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を表く □ 皆減 □ 縮小 ■ 維持 ■ 拡充 □ 広交 □ 本方の方向性を表く □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □											
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性											
道路橋における安全で円滑な交通を確保するため、橋梁の現状を把握し、橋りょう点検結果を基に、中長期的、且つ効果的な手法で改修及び修繕を行い、橋りょう自体の長寿命化を図る必要がある。 令和2年度に予定していた、点検、設計、修繕等を計画に基づき点検・修繕を実施し、橋りょうの長寿命化を進捗することができた。 なお、今後、市内全ての橋梁(686橋)を対象とした修繕計画の見直しを行い、計画的に事業を進める。	て、定期点 また、橋 業を平準化 今後、優 全ての橋梁	りょう678橋 検により現状 梁数が多く、 させ、計画的 先的に点検網 (686橋)を る必要がある	《を把握し、 財政的に大 別に点検・修 課判定Ⅲ以 対象とした修	適正な橋梁の きな負担が生 繕を行う必要 上の橋梁を修	D管理を行う Eじるため、 要がある。 §繕するとと	。 段階的に事 もに、市内					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路建設認	果長 堀口	泰弘									

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	東停車場線整備事業		事務事	業整理者	号	520213314
(() A JE (2) - I -	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 🔓	第2期総合	基本目標	-  -		
総合振興計画における位置	施策   2  道路・公共交通の整備・充実     <mark>単</mark>	戦略におけ	施策	-  -		
付け	<mark>細施策</mark> 2 市内幹線道路・生活道路の整備	る位置付け	KPI	-  -		
, 5	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 A	総合振興計	l画実施計画	国への掲	■載	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	久喜東停車場線及び平沼和戸線を一体的に整備すること が構築され、周辺土地利用の活性化が図られる。	で、久喜馴	駅東口地域	におけ	る新たれ	な道路ネットワーク
所管部課	建設部道路建設課 関係部課					

## 2. 事務事業の実施結果

	· 争仍	) <b>P</b> 木		ピルロノト												
- 4	和2年 事務事業 実施内容	Ě	一部区間において、道路改良工事を実施した。													
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
+л.	直		予	算	額	116,974	, 000	円		105,517	,000	円		303,	933,00	0 円
投	接		決	算	額	113, 268		円		94, 804			予算額		比較(R3	
	費		特定則	才源の有	無	<b>■</b> 有				<b>■</b> 有		ţ		198,	416,00	10 円
入		正	規職員	数			1.10	人			1.40	人			事項	
	従事閥	員 再	任用職	員数		_		人		_		人	(予算	類の主	な増減	理由)
		会	計年度	任用職員	員数	_		人		_		人			りから圏	
	正規職	溳 正	規職員	数×平均	匀人件費	8, 254	, 400	円		9, 996	,000	円			間の工事 、付替	
ス	人件	費		:平均人		7,504	, 000	円							、事業費	
	再任用單	747	任用職	員数× ³	平均人件費			円			額とな	額となった。				
+	人件	費	参考:	:平均人	、件費	3, 997	, 000	円		4,093	,000	円				
1-	会計年度任用職員	会 会	計年度	任用職員	員の人件費			円		_		円				
	事業費	計(直	接費+	人件費	)	121,522	, 940	円		104,800	<u>, 600</u>	円				
	種類		指		標	名	単位			年度		令和2年			和3年	度
	北大大		10		JVI	Н	十四	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績
	活動	測量。	・設計等	の実施			件	(	1	)	(	2	)	(	2	)
指	71127	<i>///</i> 1	ני ומאם	ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי					1			2				
	活動	工事の	り実施				件	(	1	)	(	2	)	(	3	)
	711-13								1			2				
125								(		)	(		)	(		)
標								,			,					_
								(		)	(		)			)
	TK1#1	- 88	<b>→</b> ↓+ =¬ -	±-=												_
	指標に	_関す・	る特記事	<b>事</b> 項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	×	縮小	×	×							
<u>性</u>   休廃止   廃止・終了  ×   ×											
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を赤く □ 皆減 □ 縮小 ■維持 ■ 拡充 □ 放発の方向性を赤く □ は、□ は、□ は、□ は、□ は、□ は、□ は、□ は、□ は、□ は											
日 C めらゆる円皮がら事業主体を見直す コスト投入の方向性 コスト投入の方向性											
本路線は、市の拠点間を結ぶ重要な路線であり、市民生活の基盤となる道路であることから、継続的かつ計画的に整備を推進していく必要がある。 令和2年度は、8工区において、延長約570mの車道造成工事、9工区において、延長約240mの歩道造成工事を行い、事業の進捗が図られた。	もに、本路 延伸整備 梁を整備す 必要がある 市内の追	こ交差する。 各線の更な 情に伴い、 するため、 る。 道路交通網の 道路の整備を	る延伸整備 ド戸町境を ド戸町と協 ア形成及び	が必要であ 流れる大落 議を行いな 円滑な車両	る。 古利根川に がら、事業	新たに橋					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路建設語	果長 堀口	泰弘									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 佐間・八甫線整備事業 事務事業名 520213315 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - |-第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 における位置 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 栗橋地区と鷲宮地区を結ぶ佐間・八甫線、更に鷲宮地区と久喜地区を結ぶ鷲宮産業団地青毛線を整備すること <mark>の目的・成果</mark>で、市内を南北に縦断し、県道さいたま栗橋線の役割を補完する重要な路線となる。 所管部課 建設部道路建設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

1	和2年 事務事業 実施内容	美	一部区間において、道路改良工事を実施した。												
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算 額	175, 715	,000	円	18	6, 749	,000	円		93,	328,00	0 円
1X	接		決	算 額	76,885	, 710	円	6	8,862	, 750	円	予算額		比較(R3	
١,	費		特定財法	原の有無	■ 有	□無			有	□無			-93,	421,00	0 円
入		Ī	E規職員数	[		1.22	人			1.03	人		特記	2事項	
	従事閥	員	<b>F任用職員</b>	数	_		人		_		人			Eな増減理	
			計年度任		_		人	- 人 令和3年度に実施							
	正規職		E規職員数	(×平均人件費	9, 154		円 7,354,			_	円	事内谷	内容により減額となっ		
ス	人件			平均人件費	7,504	, 000	円		7, 140	,000	円	なお		「橋架替」	
	再任用職	HW > -		数×平均人件費			円	- 円			地元と	の調整	ミロ不測の	り時間	
<u>ا</u>	人件			平均人件費	3, 997	, 000	円		<b>4,</b> 093	,000	円	を安し	、 <del>工</del> 段 めない	内の工事	ē元亅   う.
l'	会計年度任用職員		計年度任	用職員の人件費	_		円		_		円			を事故線	
	事業費	計(i	直接費+人	、件費)	86,040	, 590	円		6, 216		円	した。			
	種類		指	標	名	単位		和元年			令和2年	度		命和3年	度
	12700		, 11	121	П	1 1-	上段:		<b>设:実績</b>	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下段	设:実績
	活動	測量	<ul><li>設計等の</li></ul>	の実施		件	(	2	)	(	1	)	(	1	)
指	.,,						,	2	,		1			<u> </u>	
	活動	工事	の実施			件	(	2	)	(	2	)		2	)
							,	<u> </u>		,	<u> </u>		,	$\overline{}$	_
1#	活動	用地	買収の実施	<b></b>		件	(	2	)	(	2	)		2	)
標							,	0	`	,	0		,	40	$\overline{}$
	活動	道路	用地取得面	面積		m³	(	49	)	(	49	)		49	)
	北井	 - 88 -	· フ #+=====	<b>万</b> 人和二左连巡达	の似せば加せ一き	<u> </u>	7 0.75	0	_ <del></del>	TI## \ _	0	4 A 1-0	左曲二	· · · · · · · · ·	$\longrightarrow$
	<mark>指標に関する特記事項</mark> 令和元年度発注の稲荷橋架替工事について、令和2年度内の完成が困難となったため、令和3年度に繰越しとなった。														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 司画とのり天旭人は 眉の儿天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の庭の月を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投人の方向性										
続的かつ計画的に整備を推進していく必要がある。 令和2年度は、延長約190mの区間において、擁壁設置や路盤 造成を行い、事業の進捗が図られた。	地権者や原市内の通道路整備を	国整備や用址 周辺住民の項 道路交通網の 正継続する。	理解と協力 D形成及び	を得ながら	進める必要	<b>がある。</b>				
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <b>評価者職氏名</b> 道路建設語	果長 堀口	泰弘								

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 平沼和戸線整備事業 事務事業名 520213316 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 における位置 細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 久喜東停車場線及び平沼和戸線を一体的に整備をすることで、久喜駅東口地域における新たな道路ネットワー 事務事業本来 の目的・成果クが構築され、周辺土地利用の活性化が図られる。 所管部課 建設部道路建設課 関係部課 建設部建設管理課

_2	. 事務	『務事業の実施結果 としています。 というでは、「おおります」 というでは、「おおります」 というでは、「おおります」 というでは、「おおります」 というできる こうしゅう しゅうしゅう しゅう											
	3和2年 事務事第 実施内容						の買り	又が完了	<b></b> 了した。				
			令和	元年度		Î	3和2	年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	81, 696	,000	円	87,	493,	000	円		43,	633,00	) 円
汉	接	決 算 額	79, 781	, 284	円	76,	689,	745	円	予算額	真との	比較(R3-	-R2)
	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■ 有		□無			-43,	860,00	) 円
入		正規職員数		0.92	人		1	<b>.</b> 15	人		特語	記事項	
	従事日	1 再任用職員数			人	-			人			主な増減理	
$\Box$		会計年度任用職員数	_		人		_		人			も引き続: りていくカ	
	正規職		6, 903		円	-		000				よくなって	
ス	人件	POTTONIA	7, 504	, 000	円	7,140,000 <mark>円</mark> し			いるこ	とから	5、減額と	なっ	
	再任用單		_		円			000		た。			
	人件	2 7 1 2 7 (1)	3, 997	,000	円	4,	093,	000	円				
	会計年度任用職	会計年度任用職員の人件費	- 07 704	074	円	0.4		745	円				
	事業質	計(直接費+人件費)	86, 684	, 964	円		900,		円の存	<del>*-</del>		۸10.2 E	<del>-</del>
	種類	指標	名	単位	上段: [	和元年度	中华		和2年			令和3年	-
					上段:	2	夫領 \	上段:日	2 2	、美領	上段:	目標 下段	・美領
指	活動	測量・設計等の実施		件		2	$^{\prime}$	(	3	)			
1日					(		1	(		)	(		$\overline{}$
	活動	工事の実施		件									
					(	9	)	(	12	)	(	7	$\overline{}$
標	活動	用地買収の実施		件		9			7				
	活動	道路用地取得面積		mi	(	3,027	)	(	3, 316	)	(	2,520	)
	伯刬			'''		3,027		•	2,917				
	指標は	こ関する特記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのう天旭大は 眉の儿子を図る	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	×	縮小	×	×						
日日日中未の年の月を見直り	方 向 性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す   向性及び事業の方向性を赤く   コスト投入の方向性   コスト投入の方向性   コスト投入の方向性   ロスト投入の方向性   ロスト投入の方向性   ロスト										
本路線は、交差する久喜東停車場線と一体的に整備を進めており、久喜駅東口地域の市民生活の基盤となる道路であることから、継続的かつ計画的に整備を推進していく必要がある。令和2年度は、橋梁の予備設計や物件調査積算業務のほか、用地買収を進め、全体の約70%にあたる約6,000㎡の買収が完了し、事業の進捗が図られた。	と協力を得また、宮 また、宮 め、宮代町 市内の道	の円滑な整件 骨ながら進む 宮代町境を対 では は は は は は は は は は は は は は は は は は は	めていく必 流れる中落 行いながら の形成及び	要がある。 堀川に新た 、事業を進 円滑な車両	に橋梁を整 める必要カ	を備するた ぶある。				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路建設語	果長 堀口	泰弘								

<u>1.事務事</u>	業概要		-	対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	鷲宮産業団地青毛線整備事業		事務事	業整理	番号	520213317
(() A I= (III - I - I	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標			-
総合振興計画における位置	施策 2 道路・公共交通の整備・充実	戦略におけ				
付け	細施策 2 市内幹線道路・生活道路の整備	る位置付け	KPI	-		
1577	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興言	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	栗橋地区と鷲宮地区を結ぶ佐間・八甫線、更に鷲宮はで、市内を南北に縦断し、県道さいたま栗橋線の役割ので				団地青	毛線を整備すること
所管部課	建設部道路建設課 関係部課					

## 2. 事務事業の実施結果

	· 尹/5	<del>                                       </del>											
	分和2年 事務事第 実施内容	業 道路・交差点詳細設計を実	<b>尾施した。</b>										
			令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	4, 694	,000	円	16	<b>5,</b> 092	, 000	円		12,	170,00	00 円
12	接	決 算 額	4,693	, 700	円	14	1, 300	, 000	円	予算額	頁との	比較(R3	-R2)
	費	特定財源の有無	□有	■無			有	■無			-3,	922,00	00 円
入		正規職員数		0.30	人			0.22	人			記事項	
	従事日	再任用職員数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
		会計年度任用職員数	_		人		_		人	令和	3年度	に実施す	る業
	正規聙		2, 251	2, 251, 200 円		1, 370, 600		■ 務内容により、微減となっ ■ た。			となっ		
ス	人件	費 参考:平均人件費	7, 504	, 000	円	7,140,000 円			/८०				
	再任用單				円	一 円							
L	人件	費 参考:平均人件費	3, 997	,000	円	4	<b>1,</b> 093,	, 000	円				
	会計年度任用職	五日十尺江川柳兵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			円		_		円				
	事業費	計(直接費+人件費)	6,944	<u>, 900</u>	円		, 870 _.		円				
	種類	   指 標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年	
	1主人人	10	н	十世	上段:目	目標 下段	:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績
	活動	  測量・設計等の実施		件	(	1	)	(	1	)	(	1	)
指	1 7 7 7 7	MOLE DATE OF THE PROPERTY OF T		_ ··		1			1				
	活動	工事の実施		件	(	_	)	(		)		_	)
		2 - 1 - 1 - 1			,	_		,		,	,		
120	活動	用地買収の実施		件	(		)	(	_	)		_	)
標					,	_		,	_	`	-		$\overline{}$
	活動	道路用地取得面積		m [*]	(	_	)	(		)			)
	北上田口	┃ <mark>こ関する特記事項</mark> ┃											_
	拍标	に対りの付記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 引回とのう失肥久は、信の九夫を囚る	のの	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	コ B 事業の進め方を見直す 病性 休廃									
日日中来の庭の力を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方   皆減   縮小   維持										
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性										
鷲宮地区と久喜地区を結ぶ本路線は、市内各地区を結ぶ重要路線であり、また、市民生活の基盤となる道路であることから、継続的かつ計画的に整備を推進していく必要がある。 令和2年度は、道路を整備していくうえで、道路及び交差点の詳細設計が完了し、事業の進捗が図られた。	う、関係 ^は がある。 市内の	前は事業が引 他権者や周辺 道路交通網の 道路の整備で	辺住民の理 の形成及び	解と協力を 円滑な車両	得ながら進	める必要				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路建設	課長 堀口	泰弘								

<u>1.事務事</u>	業概要					対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	交通安全施設管理事業	(建設部分)			事務事	業整理	番号	580213401
(() A I= (III - I - I	大綱 5 安全で調和のと	れた住みよい快	適なまち	第2期総合	基本目標	-		
総合振興計画における位置	施策 8 交通安全対策の	充実		戦略におけ		-		
付け	細施策 2 道路交通環境の	整備		る位置付け	KPI	1		
1577	後期基本計画成果指標との	<mark>関連</mark> ■ 該当 □	〕非該当	総合振興計	十画実施計画	画への排	『載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	市内に設置してある交通9 できる生活道路を確保する。			好な道路交流	通環境を維	持する	ことで、	、市民が安全に通行
所管部課	建設部道路河川課							

## 2. 事務事業の実施結果

_2	<u>. 事務</u>	<b>列事</b>	業 <i>0</i>	り実施	<u> </u>	1											
	为和2年 事務事第 実施内容	Ě	तं	う内に	設置し	,てある交通 <del>9</del>	安全施設(防護	柵、路	面標示	)の補修	及び整	経備をま	ミ施した	ō			
							令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直			予	算	額	37, 510	,000	円	37	2,769	, 000	円		17,	270,0	00 円
1X	接			決	算	額	36, 252	, 868	円	37	2,078	, 200	円	予算額	真との	比較(R	3-R2)
	費			特定則	排源の	有無	■ 有	□無		■有□無			-15, 499, 000			00 円	
入			正規	現職員	数			0.60	人			0.40	人		特語	記事項	
	従事日	員	再任	£用職	員数				人		_		人			主な増減	
				†年度					人		_		人			)影響に	
	正規暗		正規	現職員	数×平	均人件費	4,502	, 400	円	7	2,856	, 000	円	昇を稲 伽圧宝	小りる 施して	る必要が ていた広	めり、 節囲で I
ス		人件費 参考:平均人件費					7,504	, 000	円	7, 140, 000		円			修工事		
						平均人件費	_		円		_		円	送った	ため。		
_	人件	費				人件費	3, 997	,000	円	4	4 <b>,</b> 093	, 000	円				
	会計年度任用職					員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直持	妾費+	人件費	•	40, 755	, 268	円		4, 934		円				
	種類			指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年	
	12//			,11		IM	н	712	上段:	目標 下段	と: 実績	上段:		段:実績	上段:		段:実績
	活動	整備	計・2	補修状	況			件	(	70	)	(	70	)		70	)
指									,	71	,		71	,	,	100	
	成果	進技	歩率					%	(	100	)	(	100	)		100	)
									,	101			110		,		
+244									(		)	(		)			)
標									,					,	,		$\overline{}$
									(		)	(		)			)
	北上海	_ - 88-	ナフ	<b>州土ミ</b> フロ	古古												
	指標は	し 判	9 0	村記号	申坦												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 引回とのう失応人は 信の九夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日中来の庭の力を充直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
日とのうゆる月度から事業主体を充置す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性			
交通安全施設の経年劣化等に伴う補修と、新たな交通安全施設の整備により、生活道路の安全を確保することができた。	よう、生活	威少傾向にる 舌道路の安全			<b>通環境を</b> 組	持できる		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路河川	課長 小森谷	谷 隆			•			

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 520313406 道路補修事業 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 2 道路・公共交通の整備・充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 安全で快適な道づくりの推進 _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 舗装面の劣化や側溝などの破損箇所を迅速に補修し、良好な道路交通環境を維持することで、市民が安全に通 の目的・成果行できる生活道路を確保することを目的とする。 所管部課 建設部道路河川課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

正規職員

人件費

再任用職員 人件費

正規職員数×平均人件費

参考: 平均人件費

参考:平均人件費

会計年度任用職員の人件費

再任用職員数×平均人件費

3	和2年度 事務事業 実施内容	市民や区長及び道路利用? 所の補修を実施した。	皆からの要望・通報、道路パ	トロールにおいて発見された	道路や側溝蓋等の不具合箇
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
投	直	予 算 額	248, 006, 000 円	240,037,000 円	185, 231, 000 円
1X	接	決 算 額	247, 620, 755 円	217, 309, 950 円	予算額との比較(R3-R2)
_	費	特定財源の有無	■有□無	■ 有 □無	−54, 806, 000 <u>円</u>
人		正規職員数	4.20 人	3.60 人	特記事項
	従事職員	再任用職員数	- 人	0.30 人	(予算額の主な増減理由)
$\Box$		会計年度任用職員数	- 人	0.10 人	コロナ禍の影響により予
	正担聯昌	正規職員数×平均人件費	31 516 800 🖽	25 704 000 <del>M</del>	算を縮小する必要があり、

円

円

円

円

31, 516, 800

7, 504, 000

3,997,000

25, 704, 000

7, 140, 000

1, 227, 900

4,093,000

1, 105, 634

円

円

円

円

円

緊急性の低い工事を、令和 4年度以降に見送ることに

)

したため。

事業費計(直接費+人件費) 279, 137, 555 円 245, 347, 484 円 令和元年度 令和2年度 令和3年度 種類 標 名 単位 指 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 上段:目標 下段:実績 300 250 160 活動 補修状況 件 214 177 指 100 100 100 ) 成果 進捗率 % 71.3 70.8 ( ) ) 標

指標に関する特記事項

証価結果と今後の方向性

3. 計画和木Cフ俊の刀門は					
総合評価と判断理由		の課題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果の拡充	大 ×	革新	改善	拡大基調
■ A 司画とのグ夫旭人は 眉の儿夫を囚る	がの維	持  ×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向 体例	ı]ı ×	縮小	×	×
日日日本来の庭の力を元直す	性 休廃	軽止 廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性、成向性及び事業の方向性を		縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてください。		コスト投入	人の方向性	
道路や側溝蓋等の不具合箇所を早期補修したことにより、道路利用者の安全確保と道路環境を保全することができた。	よう、生活道路の			通環境を維	持できる
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路河川	果長 小森谷 隆			•	·

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 道路レスキュー事業 事務事業整理番号 520313409 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 道路・公共交通の整備・充実 戦略におけ 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 における位置 る位置付け <mark>細施策</mark> 3 安全で快適な道づくりの推進 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市民が安全で快適な道路環境を維持するため、道路等の不具合箇所を解消することにより、安心して通行でき の目的・成果る道路を目指す。 所管部課 建設部道路河川課 関係部課

2	. 事務	<u></u>	業の実施	<b>拖結果</b>												
1	和2年 事務事業 実施内容	業			レ等により、 対し速やかに	発見した道路 対応した。	の不具	合箇所(	の補修を	行った	き。また	た、通報	システ	ムによ	る市民等だ	から
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	6,383	,000	円	2	, 433	,000	円		1,	982,000	円
汉	接		決	算	額	5, 735	, 074	円	2	, 376	, 678	円	予算額	真とのと	比較(R3-	R2)
	費		特定	財源の有	無	□有	■無		□ 1	1	■無			_	451,000	)円
入			正規職員	数			3.00	人			2.00	人		特証	事項	
	従事日	員	再任用職	員数			0.80	人			0.80	人	(予算	額の主	な増減理	鼬)
$\Box$			会計年度	任用職員	数	_		人			3. 20	人			影響によ	
	正規暗	鎖員	正規職員	数×平均	引人件費	22, 512	,000	円	14	,000		<mark>─</mark> 需用費、役務費、原材料 ─ 費、備品購入費の予算を				
la	人件	費	参考	:平均人	件費	7, 504	,000 円		7, 140, 000 円				貝、岬減した		.貝(/) ]/异	Z HI
,	再任用單	職員	再任用職	員数×平	^平 均人件費	3, 197	,600	円	3	, 274	, 400	円		_		
ı	人件			:平均人		3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
۲	会計年度任用職	員人件費	会計年度	任用職員	の人件費	_		円	4	, 719	, 752	円				
	事業費	計	(直接費+	-人件費)		31, 444	, 674	円	24	,650	,830	円	•			
	種類		指		 標	 名	単位	<b>介</b>	和元年度	Ę	2	令和2年	度	f	和3年度	F Z
	作为		18		1ফ	11	丰山	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下戶	2:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動		路レスキ <i>:</i>	7 一状记			件	(		)	(		)	(		)
指	/113/1	راحار	ш / Л Т <u>-</u>	1 1////////////////////////////////////			- ' '		2,329			2,080			_	
	成果	<b></b>				%	(	100	)	(	100	)	(	100	)	
	1920/1	,C_,	у <del>т</del> ()ь.				70		100			100				_
								(		)	(		)	(		)
標																_
								(		)	(		)			)

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	で 一向性、成果の方 の方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
道路パトロールにより、発見した道路の不具合箇所について、速やかに補修作業を行ったことにより、市民が安心して通行できる道路を確保することができた。	しており、 全のため、	域において、 年間の受付 通報シスラ 引き続き道路	寸件数が2, テムからの	000件を超え 情報に対し	えている。 、早期に対	市民の安 抗すると
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 道路河川記	果長 小森谷	谷 隆				

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業		
事務事業名	河川補修事業				事務事	業整理	番号	550213414
(() A IE (III - I -	大綱 5 安全で調和のと	れた住みよい	ハ快適なまち	第2期総合	基本目標	-  -		-
総合振興計画における位置	施策 5 治水対策の充実	1	戦略における位置付け		-  -			
における位直 付け	細施策 2 治水対策の推進		KPI	_  -				
	後期基本計画成果指標との	関連 ■ 該当	総合振興計	画実施計画	画への	掲載■	該当 🗆 非該当	
事務事業本来の目的・成果	河川の補修工事を実施し、 推進を目的とする。	良好な河川環	環境を維持する	ことで、河	川環境の保	全及び	大雨時	における水害対策の
所管部課	建設部道路河川課	関係部課						

2	. 事務	事	業 <i>0</i>	り実施	結果												
3	和2年 事務事第 実施内容	美	†	5民や区	፟長から	らの要望・通	通報、河川パト	・ロール	におい	て発見さ	れた河	J川のオ	具合個	所の補何	修を実放	拖した。	
							令和	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直			予	算	額	25, 196	,000	円	43	, 206	,000	円		26, 1	14, 000	) 円
1X	接			決	算	額	25,601	, 760	円	43	,019	, 680	円	予算額との比較 (R3-R2)			-R2)
	費			特定財	源の有	無	□有	■無		□有 ■無			-17, 092, 000			) 円	
入			正規	現職員数				0.40	人			0.40	人		特記	事項	
	従事額	損	再日	£用職員	数				人		_		人	(予算	額の主	な増減理	里由)
		:	会計	<b>†年度任</b>	E用職員	数			人		_		人			破損した	
	正規職	~~	正規	見職員数	文×平均	月人件費	3, 001	-	円	2,856,000 円				川護圧	の補修 ₋ -	工事を実	・他し
ス	人件	人件費 参考:平均人件費					7,504	, 000	円	7,140,000 円				121207	0		
	再任用單					^平 均人件費			円		_		円				
_	人件			参考:			3, 997	,000	円	4	<u>, 093</u>	,000	円				
	会計年度任用職					の人件費	_		円		_		円				
	事業費	<u>計(</u>	直	妾費+ノ	人件費)	1	28, 603	, 360	円		_	, 680	円				
	種類			指		標	名	単位		和元年度			和2年			和3年	
	12//			111		13V	Ц	712	上段:	目標 下段	:実績	上段:		段:実績	上段:目		:実績
	活動	  補修	(大)	況				件	(	50	)	(	50	)	(	50	)
指								· · ·	,	45			39			100	_
	成果	  進掛	率					%	(	100	)	(	100	)		100	)
	,								,	90.0	,	,	78.0	,	,		<u> </u>
1255									(		)	(		)		_	)
標									,		,	,		`	,		$\overline{}$
									(		)	(		)			)
	北上市・	<u> </u>	トフ	#±=□ <del>=</del> =	т												_
	指標は	_	9	特記事	坦												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天旭大は 眉の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定の力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
7.1.	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
防護柵の補修や流水断面確保のための浚渫の実施により、河川・水路の安全性を保全することができた。	<b>න්</b> ති	<b>下具合箇所</b> (	の早期補修	等により、	河川環境の	)保全に努
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 道路河川語	果長 小森谷	谷 隆				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 河川改良事業 550213415 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 5 治水対策の充実 施策 における位置 細施策 2 治水対策の推進 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市内を流れている河川及び水路を計画的に整備し、水害の防止を図ることで、大雨時にも安心して暮らせる治 の目的・成果水対策の推進を目的とする。 所管部課 建設部道路河川課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	. 事務	<del>)手</del> 耒	シ	こんだ	<del>古米</del>														
Į	分和2年 事務事第 実施内容	É	治水	対策	として	水路改修に	二伴う詞	調査・測	量業務	を実施	した。								
								令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度		
投	直		j		算	額		6,008		円		1,485		円			, 851, 0	_	
1,0	接		5	央	算	額	5, 280, 000			円	1,386,000 円				予算額との比較 (R3-R2)				
١,	費		特別	定財派	原の有	無		l 有	□無		■ 有				, ,			00 円	
入		Ξ	規職	員数					0.10	人			0.10	人		特	記事項		
	従事日	事職員 再任用職員数 一 人												人	(予算	額の	主な増減	理由)	
$\Box$					用職員			_		人		_		人			70号水路	改修工	
	正規職	正規職員 正規職員数×平均人件費						750	, 400	円		714	,000	円	事を実施するため。				
la	人件	人件費 参考:平均人件費						7, 504	, 000	円	7,140,000 円								
		任用職員 再任用職員数×平均人件費						_		円	— 円								
	人件	費	参	考:☲	四均人	件費		3, 997, 000			4	4, 093	,000	円					
	会計年度任用職	員人件費 会	計年	度任	用職員	の人件費		_	円			_		円					
	事業費	計(画	接費	}+人	件費)			6,030			2, 100		,000	円					
	種類		:	指		標	名		単位		和元年			令和2年			令和3年		
	主人人		•	, n		100	Ц		十世	上段:	目標 下段	: 実績	上段:		设:実績	上段	:目標 下	段:実績	
	活動	水路	炊修□	Γ事					m	(	178	)	(	280	)	(	280	)	
指	74-3	3 24	-								0			0					
	成果	果進捗率							%	(	100	)	(	100	)		100	)	
	1,70211	,C.,>	<u> </u>						, ,		0			0					
										(		)	(		)			)	
標																			
										(		)	(		)			)	
	lla le																		
	指標に	関す	る特	記事項	良														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
口 B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
治水対策として既存水路や地形等の調査・測量を実施することで、今後の工事実施に向け、事業を推進することができた。		度の成果に ≷施する。^				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 道路河川語	展 小森谷	谷 隆				

1. 事務事	業概要				対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	開発許可区域検討事業			事務事	業整理	番号	510213506
(() A IE (III - I -		れた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	<b>2</b> 住んで	よかった、来で	てよかったと思える魅力的なまちをつくる
総合振興計画における位置	施策 1 都市機能の整備		戦略におけ	施策	1 住3	環境を割	ě備し、定住を促進
付け	細施策 2 総合的な土地利	用の推進	る位置付け	KPI	_  -		
13.7	後期基本計画成果指標との関	関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	十画実施計画	国への打	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	都市計画法第34条第11号及 適切な土地利用を誘導する。	なび第12号(産業系)に基づ	<区域の見)	直しを行う	ことで	、市街	化調整区域における
所管部課	建設部都市計画課	関係部課					

_2	<u>2.</u>	事務	事業の実施	<u> </u>												
	事	和2年度 事務事業 尾施内容	※2)の1			□場や流通業務 対を行った。	施設等	の立地を	を許容	容する、都	市計画	画法第34	4条第12 [:]	号に基づく	区域()	産
						令和无	元年度			令和2	年度			令和3年	度	
扫	η.	直	予	算	額	2,893	,000	円		2,825,	000	円			0	円
J.	×	接	決	算	額	2,695	,000	円		2,530,	000	円	予算額	頁との比較	(R3-R2	2)
		費	特定則	排源の有無	#	□有	■無		[	□ 有	■無			-2,825	, 000	円
7	\		正規職員数	•			3.00	人			3.00	人		特記事項	頁	
		従事職						人		_		人		額の主な対		
-	۱.		会計年度			_		人				人		業の目的で 直しに関す		
		正規職員				22, 512		円		21, 420,		円		を行うこと		
-	ζ.	人件費	> 1	平均人的		7, 504	, 000	円		7, 140,	000	円	ため。	_,•		
			<b>再任用職</b>			_		円				円				
ŀ	,	人件費	2 3	平均人作		3, 997	,000	円		<b>4,</b> 093,	000	円				
	L	会計年度任用職員人	ム川十尺		の人件費		000	円			000	円	4			
	4	事業費請	+(直接費+	人件費)		25, 207	, 000	円	<i>1</i>	23, 950,		円	- riv-	^ <b>*</b> -	0 <del>/</del>	
		種類	指		標	名	単位		和元			和2年			3年度	/- <del>-</del>
	ŀ							上段:目	目標	卜段:美績	上段:		段:美績	上段:目標	卜段:	美績
+	5	活動	関係機関との	相談回数	攵		回	(		)	(	4	)		_	)
扌	目							(		\		4	\			$\overline{}$
										)	(		)			)
	ŀ	-						(		)	(		)	(		_
枝	票									,			,			
1		-						(		)	(		)	(		<u> </u>
										,			,			
		指標に	関する特記事	項												

総合評価と判断理由	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性を示く □ 信が □ 縮小 □ 維持 □ 拡充 □ にないまでは、 □												
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性												
業務委託を通じて、都市計画法第34条第12号に基づく区域 (産業系)の見直しに必要となる基礎資料を作成し、区域の新 規指定及び廃止に向けた検討を進めることができたため。	条第12号に めることか	での検討や問題を に基づく区域 ができたため 度以降は、 目である。	或(産業系 カ、本事業	)の見直し を終了する	に関する方。	前性を定						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市計画語	果長 田辺	薫		•	•	·						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 液状化対策推進事業 事務事業整理番号 560113603 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 6 防災・消防体制の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 総合的な防災体制の確立 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 東日本大震災により液状化被害を受けた地区において、公共施設と宅地の一体的な液状化対策を行い、住民が の目的・成果安心して暮らせる都市基盤づくりを行う。 所管部課 建設部都市整備課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

液状化対策工事の家屋等への影響を調査する事後調査業務委託や調査結果に基づく家屋補償を実施した。液状化対策工事における仮舗装の本復旧工事が完了した。また、地下水位低下工法による液状化対策工事の効果及び家屋等への影響を確認するため、液状化対策効果検証業務委託や周辺沈下観測業務委託を実施したほか、地下水を排出するマンホールポンプの維持管理を実施した。

						令和为	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
· 找	<u>.</u> [	直	予	算	額	789, 213	,000	円	1,06	52, 551	,000	円		19,	105,00	0 円
37	×	接	決	算	額	204, 268	, 273	円	61	7,851	, 129	円	予算額	買とのは	北較(R3-	-R2)
l,	L	費	特定財	源の有	無	■ 有	□無			有	□無	Ę	-1	, 043,	446,00	0 円
フ	4		正規職員数	汝			4.00	人			4.00	人		特記	2事項	
		従事職員	再任用職員	員数		_		人			1.00	人	_		Eな増減理	
=	ן ַ		会計年度信					人		_		人			工事や家	
	1	正規職員				30, 016		円	2	28, 560		円			)完了によ >したた <i>め</i>	
7	۲ [	人件費	2 3 -	平均人		7, 504	,000	円		7, 140	_	円	3 71 12		0,2,2	
		再任用職員						円		4,093		円				
	$\downarrow$	人件費	9.5.	平均人		3, 997			4, 093, 000 円							
•	1	会計年度任用職員人	ДП Т IX I.		の人件費			円				円				
	4	事業費計	(直接費+/	人件費)		234, 284	, 273	円		50, 504		円			/ -	
	1	種類	指		標	名	単位		和元年			令和24			令和3年	
	ŀ							上段:		段:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	と:実績
11	_	活動コ	E事の実施				件	(	8	)	(	5	)			)
排	Ĭ							/	10	`		16		(		$\overline{}$
		活動家	<b>家屋事後調査</b>	業務の	実施		件		<u>8</u> 4	)	(	4				)
	ŀ							(	<u>4</u> 1	)	(	<u>4</u> 1	```	(	1	$\overline{}$
根	亜	活動 🕏	加果検証業務	の実施			件		1	,	(	<u> </u> 	,			,
12	,	-						(		)	(		)	(	635	$\overline{}$
		活動家	マ 屋補償の実	施			件	<u> </u>		,	`	79	,	<u>`</u>		
		指標に	関する特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容											
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調										
■ A 前回とのり美胞文は一層の元美を図る	<del>末</del> の	維持	×	改善	現状維持	×										
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×										
□ □ □ 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×										
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性、成果の方向性を赤く 皆減 縮小 維持 拡充																
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投人の方向性																
東日本大震災により液状化被害を受けた南栗橋地区において、再液状化を防止するための取組みとして、地下水位低下工法による液状化対策工事を実施した。事業効果の確認とともに、地下水位の低下による地盤沈下の落ち着いた状況が確認できたため、家屋事後調査を行い、調査結果に基づく家屋補償を実施した。また、舗装本復旧工事を完了するなど、事業の進捗が図られた。	の影響を訓	対策実施区域 調査した結果 対象となる。 こなる。	果を踏まえ	、補償を実	施する。											
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市整備語	果長 石井	俊			<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 都市整備課長 石井 俊											

1. 事務事	業概要			_	対象	令和	02年度	<b>医実施事業</b>
事務事業名	久喜駅周辺まちづくり	准進事業		事務事	業整理	番号	51	0313605
40 A IE 65 - I =	大綱 5 安全で調和のと	れた住みよい快適なます	第2期総合	基本目標	2 住んで	よかった、来で	てよかったと思	える魅力的なまちをつくる
総合振興計画	施策 1 都市機能の整備		戦略におけ	施策	3 都7	ト機能や	道路・4	く共交通の充実
総合振興計画 における位置 付け	細施策 3 中心市街地整備	る位置付け	KPI					
, 5	後期基本計画成果指標との	総合振興語	十画実施計画	画への排	曷載 ■	該当	□ 非該当	
事務事業本来 の目的・成果	久喜駅周辺のまちづくりる	を推進するための検討を行	い、中心市街	地の活性化	を図る	0		
所管部課	建設部都市整備課							

## 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	務事	業の実施	話果											
4	令和 2 事務 実施	事業		周辺のまちづくりを もに、今後の事業排					<i>」、</i> まちづ	(くりの)	方向性	を基本	構想と	して取り	まと
			•		令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
找	. 🗀	直	予	算 額	9,988	, 800	円		11, 495,	, 000	円		11,	000,00	10 円
13	^z   :	接	決	算 額	9, 328	, 000	円		11, 462,	, 000	円	予算額	質とのと	比較(R3	-R2)
		費	特定則	オ源の有無	□有	■無		[	] 有	■無			-	495,00	10 円
フ	\ <u> </u>		正規職員	数		2.00	人			3.00	人		特記	事項	
	従事	事職員	再任用職	員数	_		人		_		人	(予算	類の主	な増減	理由)
=	]		会計年度	任用職員数	_		人		_		人				
			正規職員	数×平均人件費	15,008		円		21, 420,		円				
7		件費		:平均人件費	7,504	, 000	円		7, 140,		円				
				員数×平均人件費	_		円				円				
	<b>├</b>	件費		平均人件費	3, 997	, 000	円		4, 093,		<u>円</u>				
•		任用職員人件費		任用職員の人件費	_	222	円				<u>円</u>				
	事業	費計	(直接費+	人件費)	24, 336	,000	円		32, 882,		円 (1-0-1-1	_	1 ^		
	種類	類	指	標	名	単位		和元			和2年			和3年	
							上段:[	1標 1	下段:実績	上段:目	標 下	段:実績、	上段:	目標下	<del>设:実績</del>
11	<u></u> 活動	動東	コまちづく	り検討業務		件	(	1	)	(	_	)			)
指	<b>-</b>						(	<u> </u>	1		1	\	(	$\frac{}{}$	$\overline{}$
	活動	動西口	コまちづく	り検討業務		件	(		)	(	1	)			,
	$\vdash$										ı				
枵	Ē												_		
12.	<u> </u>						(		)	(		)	(		)
							`			`		,	Ì		
	指	標に関	する特記事	事項					ı				I		

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天心大は 指の九天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を允直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
現地調査やアンケート調査等を行いながら、地域の課題整理 を図り、まちづくりにおける基本構想を作成することができ た。		くりの実施に 主民の理解る				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市整備認	果長 石井	俊	•	•		

1. 事務事	<u> 業概要                                   </u>						対象	令和	02年	<b>隻実施事業</b>	
事務事業名	東鷲宮駅周	辺整備事業				事務事	業整理	番号	51	10313610	
40 A IE 67 - I -	大綱 5 安3	全で調和のと	れた住み。	よい快適なまち	第2期総合	基本目標	2 住んで	でよかった、来で	- てよかったと思	える魅力的なまちをつくる	3
総合振興計画	<b>施策</b> 1 都ī	市機能の整備			戦略におけ	施策	3 都7	†機能や	道路・	公共交通の充実	ŧ
総合振興計画 における位置 付け	細施策 3 中/	心市街地整備	る位置付け	KPI	1						
, 5	後期基本計画	成果指標との関	当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への	曷載 ■	該当	□ 非該当		
事務事業本来 の目的・成果	東鷲宮駅東	西連絡地下道ハ	· バリアフリ-	-化を含む、同駅に	駅前広場等(	の整備を図	る。				
所管部課	建設部都市整備										

## 2. 事務事業の実施結果

_4	<u> </u>	争殆	8事業の実施結果											
	事	和2年原 事務事業 尾施内容	宋鳥呂釟四山側ハリナノ								工事を	実施し	、この	)うち、
				令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	£
±	殳	直	予 算 額	363, 941	,000	円	78	39 <b>,</b> 757,	, 000	円		6,	269,	000 円
1.	$^{\times}$	接	決 算 額	230, 696	, 248	円	62	23, 230,	, 153	円	予算額	頁との	比較(	(R3-R2)
		費	特定財源の有無	■有	□無			有	口無			-783,	488,	000 円
7	٨		正規職員数		1.20	人			1.20	人		特詞	記事項	
		従事閥	再任用職員数	_		人		_		人	(予算	額の主	Eな増	減理由)
-	ا د		会計年度任用職員数	_		人		_		人	東鷲	宮駅西	ョロバリ	リアフ
	ľ	正規職	員 正規職員数×平均人件費	9,004	, 800	円		8,568,	, 000	円				こより、
-	ړ	人件費	参考:平均人件費	7,504	, 000	円	7, 140, 000 円			工事に要する経費が減少し たため。				
		再任用單		-		円		_		円				
١.		人件費	参考:平均人件費	3, 997	7,000	円		4, 093,	, 000	円				
	`[	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	_		円		_		円				
		事業費	計(直接費+人件費)	239, 701	, 048	円	63	31, 798,	, 153	円				
		種類	指標	名	単位	<b>全</b>	和元年	度	4	6和2年	度	V	令和3	年度
		作工人	1日 1示	74	十四	上段:	目標 下昇	段: 実績	上段:		设:実績	上段:	目標	下段:実績
		活動	工事の実施		件	(	1	)	(	5	)	(	1	)
扌		7423			ļ ''		1			3				
		活動	修正設計業務の実施		件	(		)	(	1	)			)
		,,,,,,,	1,5 — A1,5 (1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,			,	_		,	1		,		
l,	_	活動	   資材価格等実態調査業務の実施	包	件	(		)	(	1	)			)
香	票.					,				<u> </u>				
		活動	工事施工監理業務の実施		件	(		)	(	1	)			)
		+比+西/-	- 明ナッ性引車で				_			ı				
		指標に	関する特記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調							
■ A 司画とのり天旭人は 眉の儿夫を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×							
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×							
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×							
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方 皆減 縮小 維持 拡充 向性及び事業の方向性を赤く													
塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性													
JR東鷲宮駅の東西連絡地下道については、当該地下道を利用する高齢者や障がい者等の円滑な移動を確保し、誰もが安全に安心して駅及び地下道を利用できるよう平成24年度からバリアフリー化事業を進めている。駅東口は、平成28年にエレベーター及びエスカレーターが完成し、共用開始している。駅西口は、土木、機械、電気、上屋工事を実施し、令和2年度に土木及び機械工事が完了することができた。電気、上屋工事については、令和3年6月に完成し、供用開始している。	り、バリア また、雪 を行ってい	ァフリー化の Me備したエレ	の完了を予り レベーター て、バリア	定している 及びエスカ フリー化エ	車道の段差( )。   レーターの  事に起因す	)保守点検							
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市整備語	果長 石井	俊											

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 空家等対策事業 事務事業名 510413614 事務事業整理番号 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 1 都市機能の整備 施策 1 住環境を整備し、定住を促進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 4 住環境の整備や改善 1 空き家等の適正管理への助言等による改善率 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 ■ 非該当 空家等対策の推進に関する特別措置法及び久喜市空き家等の適正管理に関する条例に基づき、空家等対策を推 事務事業本来 進し、地域住民の生活環境の保全を図る。また、空家等対策協議会の運営を行う。 空家等の適正な管理の推進及び改善が図られ、市民の安全で安心な生活に寄与する。 の目的・成果 所管部課 建設部都市整備課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

- ・空家改善率 令和3年3月末現在 相談件数490件、改善320件、改善率65.3%
- ・久喜市空家等対策協議会を令和2年8月、10月、令和3年1月と予定どおり、3回開催した。
- ・久喜市空家等の適切な管理に関する条例について協議会で検討し、令和3年3月18日に公布した。 ・空家等の適切な管理や利活用を促進するための施策について、令和3年度からの実施に向け協議会で検討し、承 認をいただいた。

							令和元	元年度			令和2	2年度	:		令和	13年	隻	
±	殳	直		予	算	額	71	,000	円		336	,000	円		6,	, 012,	000	円
3.	×	接		決	算	額	60	,000	円		175	, 672	円	予算額	質との	比較(	(R3-R	2)
		費		特定則	オ源の有	無	□有	■無			]有	■無	ŧ		5,	, 676,	000	円
1	시		II	規職員	数			1.30	人			1.70	人		特	記事項	į	
		従事閥	員 再	任用職	員数		l		人		_		人	(予算	額の	主な増	l減理E	由)
-	ן⊏		会	計年度	任用職員	員数			人			1.00	人	久喜ī 関する		等の適は		
		正規職	177	規職員	数×平均	自人件費	9, 755	, 200	円		12, 138	,000	円	急安全技	昔置の	悪いでは実施に関	元加へ 関する	業務
-	٦ [	人件	貴	参考	:平均人	件費	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	委託費	や役務		上した	
		再任用暗	, v , _	_		P均人件費	_		円		_		円	統合型:	システ	ムへ反	映する	ため
ı,		人件	貴	参考	:平均人	件費	3, 997	,000	円		4, 093	,	円	の機能法務委託	追加業?	務や所る	有者特	定業
ľ		会計年度任用職員	5人件費 会	計年度	任用職員	員の人件費			円		2,836		円	伤安心	見で司.	LU/E	,	
		事業費	計(直	直接費+	人件費	)	9, 815	, 200	円		15, 150							
		種類		指		標	名	単位		和元年			令和2年			令和3	年度	
	ļ	12//		111		120		712	上段:	目標下	段:実績	上段:		段:実績	上段:		下段:	実績
		活動	ク 宣i	市空家等	対策協	議会の開催[	<b>司数</b>		(	1_	)	(	3	)	(	4		)
扌	旨	71127	<u>/\</u>		ממו או כני כו	рж <b>Д •</b> 7 / / /   /   /				1_			3				<u> </u>	_
		成果	空き	家等の通	訂管理	への助言に。	よる改善率	%	(	65.4		(	65.6		(	65.	. 8	)
	ı	,,,,,,		31.13.17.				, ,		55.7			65.3				<u> </u>	_
ı,	_								(		)	(		)	(			)
木	票																	_
									(		)	(		)	(			)
		11 - 1															<u> </u>	_
		指標に	関す	る特記等	事項													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり美胞文は一層の元美を図る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く涂	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内及がラ事未上体を元直す	りつぶして			コスト投入	入の方向性	
久喜市空家等対策協議会では、現行の久喜市空家等の適正管理に関する条例の全部を改正し、久喜市空家等の適切な管理に関する条例を制定	を開催し、	を表の久喜市! 計画の具体的	りな施策等に	ついて協議を	を行う。	
することについて協議し、令和3年2月議会に上程した後、3月に公布す		以降は、計				
ることができた。(令和3年7月1日から施行) また、老朽化した空家等の除却や土地の利活用を促進するための新た		する特別措置 さらなる空家			り認定なと、	協議会を週
な施策について、令和3年度からの実施に向け協議を行い、承認をいただいた。		家等の活用な			る施策を今後	実施してい
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市整備認	果長 石井	俊				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 土地区画整理事業 事務事業名 510463603 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 _ |-第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 1 都市機能の整備 施策 における位置 細施策 4 住環境の整備や改善 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 🗆 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 公共施設が未整備の状態のまま、宅地化が進行し都市問題が顕在化していたことから、駅前広場や都市計画道 事務事業本来 の目的・成果路をはじめとする公共施設を整備し健全な市街地の整備を行う。 所管部課 建設部都市整備課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	<u>∠.</u>	争伤	<del>)</del>	大肥が	<del>示</del>											
	哥	和2年原 事務事業 長施内容	1 行	政代執行	行による物件移転	伝を実施し、区	域内全	域の使用				こができ	ました。			
						令和无	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
	投	直		予	算 額	25,689	,000	円	58	,716	,000	円		176	, 938, 0	00 円
	IX	接		決	算 額	20,916	, 057	円	14	, 424	, 693	円	予算額	頁との	比較(R	3-R2)
		費	4	持定財源	原の有無	□有	■無		□ ≉	Ī	■無			118	, 222, 0	00 円
	시		正規	職員数			1.45	人			2.41	人		特	記事項	
		従事閥	員 再任	用職員	数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
	⊐Į		会計	年度任用	用職員数	_		人			1.00	人			こ向けて	
		正規職	_	職員数	×平均人件費	10,880	,800	円	17	, 207	, 400	円	安託貨 め。	か増	頂となっ	たた
	٦l	人件費	<b>貴</b>	参考:平	^工 均人件費	7,504	, 000	円	7	, 140	,000	円	0,00			
		再任用單	742 ~	用職員	数×平均人件費	_		円		_		円				
		人件費	<b>貴</b>	参考:平	^Z 均人件費	3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
	٦ [	会計年度任用職員	会計	年度任用	用職員の人件費	_		円		, 470		円				
		事業費	計(直接	費+人	件費)	31, 796	, 857	円	34	, 102	, 237	円				
		種類		指	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年	
		111/7		10	137	н	712	上段:	目標 下段	:実績	上段:		2:実績	上段:		段:実績
		活動	保留地処	几分件数			件	(	4	)	(	2	)	(	2	)
1	指	7,1,2,3	гиш ол	C/3 11 X	`				2			0				
		活動	物件移軸	5補償件	-数		件	(	3	)	(	1	)		1	)
		7,4,4,5	11311121	211012(11					2			1			100	
ı,		成果			用収益開始率)		%	(	100.0	)	(	100.0			100.0	) )
7	標	,	(工地使	用 引 能 阻	積/区画整理後の	工地総囬碩 <i>)</i> —————		,	99.3		,	100.0				
								(		)	(		)	$\overline{}$		)
		11/12/-		ı+=¬ <del>±</del>	= 1											
		指標に	関する	符記爭項	<b>₹</b>											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
昭和62年2月20日から土地区画整理事業を開始し、道路等の公共施設整備は完了しており、令和2年度は、権利者との交渉が難航していた案件について、行政代執行により解決され、土地区画整理事業の進捗が図られた。		台から33年紀から、令和3				望まれて
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 都市整備語	果長 石井	俊		•		_

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 公園維持管理事業 事務事業名 事務事業整理番号 530213703 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 3 公園の緑化と水辺環境の保全 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 2 公園の管理と緑化の推進 _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 □ 非該当 ■ 非該当 事務事業本来 市内の公園等280箇所(久喜地区119箇所、菖蒲地区56箇所、栗橋地区44箇所、鷲宮地区61箇所)の適正な維持 <mark>の目的・成果</mark>|管理を行い、誰もが安心して快適に利用することができるよう良好な施設環境を維持する。 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容
7 (30, 3 H

公園内の清掃を定期的に行うとともに、草木の生育状況に応じた除草及び樹木剪定を実施した。

公園内の施設の破損又は不具合箇所を確認した場合には、当該施設の修繕等を実施した。 地域に密着した比較的小規模な公園や広場については、地域の愛着や住民の目が届きやすいという利点を活かし、地元の行政区長や班長の方を代表とする地域住民団体に、清掃や除草などの作業協力をいただきながら、協 働による維持管理に努めた。

			はいって、日本日が日	1-1-23-27-0											
					令和元	元年度		-	令和2	2年度			令和	13年度	
ŧ	殳	直	予 算	額	132,018	,000	円	150,	165	,000	円		135	, 151, 000	) 円
1.	×	接	決 算	額	130, 375	, 507	円	136,	811	, 483	円	予算額	真との	比較(R3-	-R2)
		費	特定財源の	有無	□有	■無		□有	Ī	■無	Ħ		-15	, 014, 000	) 円
7	λ.		正規職員数			5. 28	人			5 <b>.</b> 93	人		特	記事項	
		従事職員	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
-	ו⊏		会計年度任用職	战員数	_		人		_		人			る電気料の	
	ľ	正規職員	正規職員数×平	^Z 均人件費	39,621	, 120	円	42,	340	, 200				想定よりも から、光熱	
١-	ړ	人件費	参考:平均	人件費	7,504	,000	円	7,	140	,000		かりたを見直			(小貝
1		再任用職員	再任用職員数×	平均人件費	_		円		_		円	_,_,			
١.		人件費	参考:平均	人件費	3,997	,000	円	4,	093	,000	円				
	_	会計年度任用職員人件	会計年度任用職	は員の人件費	_		円		_		円				
	ľ	事業費計	(直接費+人件費	貴)	169, 996	, 627	円	179,	151	, 683	円				
		種類	 指	<del></del>	名	単位	ŕ	和元年度			令和2年度	₹		令和3年	隻
		俚块	18	你	10	丰加	上段:	目標 下段:	実績	上段:	: 目標 下段	:実績	上段:	: 目標 下段	:実績
		活動公	園遊具の保守点を	<b>全</b>		基	(	150	)	(	150	)	(	500	)
扌	旨	/山勤   ム	.困処共り水り	Χ		至		264			618				
		活動公	園内施設の修繕	(改修) 丁重		箇所	(	100	)	(	100	)	(	100	)
		/山勤 / ム		(以修)工事		四/7		110			93				
		成果 総	合体育館及び有	以心周旃勃等	の利田者	人	( (	647,000	)	(	647,000	)	(	647,000	) )
木	票	7.大木 市心	ロ仲自品及し日本	竹丛图旭成寸	מתניוילט		(	509, 390			363, 344	-			
		成果 公	園維持管理業務	等の委託契約	を締結した公	箇所	(	145	)	(	145	)	(	145	)
		園				四刀		149			151				
Г		指標に関	関する特記事項			·									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
□ C のりずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。		コスト投入	入の方向性	
公園や緑地は、市民の生活に潤いや安らぎを与えるだけでなく、都市環境の維持・改善機能、景観形成機能、都市防災機能など様々な目的と機能を兼ね備えた施設であることから、快適で安全な都市空間を創出できるよう、良好な施設環境の維持に努めた。	対応が課題 づき、効率 また、2 の洋式便器	長期間経済 種となって を は を は の の な で の で で で の で で で の で で で の で で の で で で の で で で で で で で で で で で で で	おり、策定 果的な維持 衆トイレに を行うこと	した公園施 管理に努め ついて、和 で、飛沫防	設長寿命化 る必要があ  式便器から  止に一定の	公計画に基 うる。 うフタ付き の効果が見
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 公園緑地語	果長 小島	靖之		•	•	·

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 総合運動公園管理事業 事務事業整理番号 530213704 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 3 公園の緑化と水辺環境の保全 施策 戦略におけ 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 における位置 る位置付け KP J 細施策 2 公園の管理と緑化の推進 付け ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 指定管理者制度を導入し、総合運動公園及び有料公園施設等の適正かつ効率的な管理運営に努める。 総合運動公園及び有料公園施設等の利用者の安全を確保するとともに、各施設の利便性を向上させるため、対 象施設の部分的な改修等を行うほか、老朽化した備品の更新を計画的に進める。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

		<u>カサ</u>	<u> 木ツ</u>	大心	州木													
	令和2年 事務事等 実施内容	業	ま 定を 指	た、打 行っ <i>t</i> 定管理	旨定管 こ。 里者に	理者の指定其 おいて、総合	園施設等の管理 月間が終了する 3第1体育館・1	ことか	ら、令	和3年度か のLED交	いらの	新たな	指定管理	者につ	וול	公募を行		
			体育	館屋村	艮補修	、除草・受力	〈槽の点検等の	維持管	理を行	った。								
			•				令和法	元年度			令和2	2年度			令和	13年度		
Δ.	直			予	算	額	99,010	.000	円	99	, 829	. 000	円		94	, 529, (	000	円
投	接			決	算	額	99,009	, 248	円	99	, 828	, 450	円	予算額		比較(F		2)
	費		华	寺定財	源の種	有無	□有	■無		□ 1	<u> </u>	■無	ŧ		-5	, 300, 0	000	円
入	· 🗀		正規	職員数	<b>文</b>			0.66	人			0.46	人		特	記事項		
	従事	翼員	再任	用職員	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	<b>或理由</b>	目)
			会計	年度任	壬用職	員数			人		_		人			満了に伴		
	正規職	鎖員	正規	職員数	b×平	均人件費	4, 952	, 640	円	3	, 284	, 400	円			公募を実 定管理委		
la	人件	費	\$	参考:	平均。	人件費	7, 504	,000	円	7	' <b>,</b> 140	,000	円	減少し			CD 04~1	,,,
	再任用		再任	用職員	員数×	平均人件費	_		円		_		円					
	人件	費				人件費	3, 997	,000	円	4	<b>,</b> 093	,000	円					
1	会計年度任用職	員人件費	会計	年度信	壬用職	員の人件費	_		円		_		円					
	事業費	計	(直接	費+。	人件費	<del>[</del> )	103, 961	, 888	円	103	, 112	, 850	円					
	種類			指		 標	 名	単位	f	和元年度	F	4	令和2年	度		令和3年	F度	
	1至大只			111		1255	14	+122	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段	:目標 7	段:	実績
	活動	借上	묘 (ᇀ	计学	かど)	の更新		台	(	5	)	(	5	)	(	5		)
指	1 70 = 37	I CTIVI	и (т		uc,	マン 文 州		I		4			3					
	活動		重事業	(ス	ポーツ	ノ教室、イベ	ント等)の開		(	310	)	(	1,300	)		1, 30	0	)
	7,1,-13	催							,	1, 295			884	<b>2</b> ,			<u>~</u>	_
	成果	総合	<b>今体育</b>	館及	び有料	4公園施設等(	の利用者	人		547,000		(	647,00		$\smile$	647,0	00	)
標									(	<u>609, 390</u>			363, 34	4			_	_
									(		)	(		)				)
																	_	
	指標	こ関	する特	寺記事	項								-					

3. 計画相系と / 及びが同正						
総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□   C   のりゆる月皮かり事業主体を見直り	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
早期補修等を効率的に行い、施設利用者の安全確保に努めた。	る中、良好な 引き続き、 図る。 また、総合 め、利用者の を図り、各種	な施設環境を終 指定管理者に 合運動公園及で カニーズに応じ 重スポーツ教室	合第1体育館及 維持し、利用: 制度を導入し び有料公園施 じた施設環境 室などを定期! 取り組んでい	者の安全を確 、良好かつ効 設等の利用稼 を整えるとと 的に開催し、	保していく必 率的な施設の 働率を更に向 もに、指定管	(要がある。 )管理運営を ]上させるた 「理者と連携
評価年月日	果長 小島	靖之				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 総合運動公園施設改修事業 事務事業整理番号 530113705 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 3 公園の緑化と水辺環境の保全 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 における位置 細施策 1 公園の充実 KP I _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 総合運動公園の利用者が、安心して快適に施設を利用できるよう老朽化した施設等の改修を定期的に進める。 の目的・成果 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	· 争形	<del>] 手</del> 身	良り	実施結	米													
Į	3和2年 事務事業 実施内容	美	総	合第1体育	育館非常	常用電源	設備の改修工	事を実が	もした。									
							令和:	元年度			令和2	2年度			令和	13年	芰	
投	直			予 :	<u>算</u>	額	1, 632	2,000	円	18	392	,000	円		21	, 446,	000	円
汉	接			決	<u>算</u>	額	1, 630	, 800	円	17	, 807	,900	円	予算額	頁とσ.	比較	(R3-R	2)
	費		牛	<del>持定財源</del> (	の有無		□有	■無			有	■無	Ħ		3	, 054,	000	円
入		Ī	E規	職員数				0.49	人			0.34	人		特	記事項	Į	
	従事閥	員耳	再任.	用職員数	ζ		_		人		_		人	(予算	額の	主な増	減理	由)
$\Box$		ź	会計	年度任用	職員数	Ž	_		人		_		人			<u>-                                    </u>		
	正規職	損 Ī	E規	職員数×	平均人	、件費	3, 676	, 960	円	2	427	,600	円	工芝改 め。	修工	事を実	施する	∮た
la	人件	費	参	参考:平均	均人件	費	7,504	, 000	円	7	⁷ , 140	,000	円	U) _o				
	再任用耶	哉員 F	再任.	用職員数	(×平均	人件費	_		円		_		円					
L	人件	費	参	参考:平	均人件	費	3, 997	, 000	円	4	l, 093	,000	円					
	会計年度任用職員	員人件費 名	会計	年度任用	職員の	)人件費	-		円		_		円					
	事業費	計(i	直接	費+人作	‡費)		5, 307	7,760	円	20	), 235	,500	円					
	種類			指	標	<u>.</u>	名	単位		和元年度	ŧ		令和2年	度		令和3	年度	
	任主大只			111	12	IX.	<u> </u>	十四	上段:		:実績	上段:	目標下	段:実績	上段			実績
	活動	総合	軍重	か園内は	布設の言	设計業務:	及び改修工事	件	(	2	)	(	2	)	(	2	) -	)
指	74.25	ī	~	54EE 17		WEN 192		''		3			1				_	_
	成果	総合	体育	育館及びる	<b>与料運</b>	助公園施	設等の利用者	人		647,000		(	647,00		(	647,	000	)
	174211	1.0.1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3117022	-,,,,,,,,			. (	609, 390			363, 34	14			_	_
127									(		)	(		)	(			)
標	:								,			,			,		_	<u> </u>
									(		)	(		)				)
	TP: 12E 1		- <b>-</b> - 1	+====														_
	指標に	_関す	る物	寺記事項														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
総合運動公園の利用者の安全を確保する上で、各施設の破損 箇所や不具合箇所を把握し、改修工事等を計画的に実施した。	ていないれ これらの 順次整備し 既存のが にあること	が公園には、 大態で が施設で でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった でいった にいった にいった にいる にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいまた にいま にいまた にいまた にいまた にいまた にいま にいま にいま にいまた にいまた にいまた に に に に に に に に に に	的に供用し いては、既 要がある。 ては、設備 定管理者と	ている施設 存施設の維 等の老朽化 連携を図り	がある。 持管理と並 が進行して ながら、言	対行して、 いる状況 計画的に部
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 公園緑地設	長 小島	靖之				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 有料公園施設等指定管理事業 530213706 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 3 公園の緑化と水辺環境の保全 施策 戦略におけ 3 住み続けられるまちづくりの推進 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 公園の管理と緑化の推進 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 □ 該当 ■ 非該当 指定管理者制度を導入し、有料公園施設等の適正かつ効率的な管理運営に努める。 事務事業本来 有料公園施設等の利用者の安全を確保するとともに、各施設の利便性を向上させるため、対象施設の部分的な の目的・成果 改修等を計画的に進める。 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	. 事務	<del>}事</del>	業の法	€施	結果														
	令和2年 事務事業 実施内容	É	有料 指定	·公園 :管理	施設等 者にお	の管理運営 いて、有料	営を指足 外公園が	定管理者 施設の修	*との基 :繕等(	本協定 森下緑	に基づき 地グラワ	き業務委 ウンドナ	託した イタ・	た。 一照明交	換他7件	=) を	実施し	た。	
								令和为	元年度			令和2	2年度			令和	13年	芰	
投	直		Ť	ξ,	算	額		30, 450	,000	円	3	0,730	,000	円		30	, 730,	000	円
12	接	ľ	H	<del>Ļ</del>	算	額		30, 449	, 711	円	3	0, 729	, 066	円	予算額	頁との	比較	(R3-R	2)
	費		特別	定財法	源の有無	Ħ		 l 有	■無			有	■無	ŧ				0	円
入			正規職	員数	ζ				0.36	人			0.26	人		特	記事項	Į	
	従事閥	員	再任用	職員	数			_		人		_		人	(予算	額の	主な増	減理	由)
$\Box$			会計年	度任	用職員	数		_		人		_		人					
	正規職	V — —	正規職	員数	(×平均	人件費		2,701	, 440	円		1,856	, 400	円					
la	人件	費	参	考: <u>·</u>	平均人作	<b>‡費</b>		7,504	, 000	円		7, 140	,000	円					
	再任用單	~~~	再任用	職員	数×平	均人件費		_		円		_		円					
L	人件	費	参	考: <del>3</del>	平均人作	‡費		3,997	,000	円		4,093	,000	円					
	会計年度任用職員					の人件費		_		円		_		円					
	事業費	計(	直接費	+ 人	(件費)			33 <b>,</b> 151	<u>, 151</u>	円		2, 585							
	種類		-	指		標	名		単位		和元年			令和2年			令和3		
	12791			-		173.			, ,	上段:		段: 実績	上段:	目標下	段:実績	上段			実績
	活動	施討	との 改修	多等					件	(	10	)	(	10	)		1(	0	)
指										, ,	7	0 \	-	8	<u> </u>	,	100	200	Į.
	成果	有料	斗公園旅	拖設等	等の利用	者			人		115,00		(	83,00		$\neg$	100,	000	)
	$\vdash$									-	100, 53	1	-	88, 13	0	/			$\overline{}$
標										(		)	(		)		_		)
行示										(		\	(		١	(			$\overline{}$
										(		,	(		,				/
	指標(:	関	する特語	7事	項														
	JH IMIC	-1/1	7 0 111	-U-T-1															

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天旭大は 眉の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定の力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのラッカ内皮がラ事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
指定管理者制度を導入することにより、民間事業者が有するノウハウを活用し、細部にまで行き届いたサービスを提供することができた。また、施設管理に精通した民間事業者の専門職員が常駐し、設備等の点検を日々行うことにより、不具合箇所の早期発見のほか、破損箇所の早期補修等を効率的に行い、施設利用者の安全確保に努めた。更には、市が負担すべき維持管理経費を大幅に削減することができた。	を維持し、 引き続き の管理運営 また、有 指定管理者	園施設等の表 利用者の を を 対 音を図 る の で で で の の の の で で の の の で の の で の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	安全を確保 理者制度を 設等の利用 図りながら	していく必 導入し、良 稼働率を更 、公園内の	要がある。 好かつ効率 に向上させ 除草や施設	がな施設 けるため、 よの修繕等
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 公園緑地調	果長 小島	靖之				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 (仮称) 本多静六記念 市民の森・緑の公園整備事業 事務事業名 530313707 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 3 公園の緑化と水辺環境の保全 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ における位置 る位置付け 細施策 3 公園の整備 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 「日本の公園の父」と称される本多静六博士の遺志を受け継ぎ、近年失われつつある緑を創生し、緑豊かで市 の目的・成果民の憩いの場となるような公園を整備する。 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課 環境経済部資源循環推進課

## 2. 事務事業の実施結果

		を行った。	(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園の整備に向け、相続財産管理人制度を活用し未取得部分の用地取得を行った。また、公園内に植栽する樹木の挿木管理業務及び公園と新たなごみ処理施設等の整備に必要な雨水流 出抑制施設の修正設計に着手した。									
					令和元年度		令和2年度		令和3年度			
投	直	予	算	額	89, 934, 000	円	78, 320, 000	円	7,106,000 円			
TY												

						=			1 111 1 12 1			1 11: 1 12 2			
	投	直		予 算	額	89, 934	,000	円	78, 320,	, 000	円		7, 106, 000 円		
	1X	接		決 算	額	35,626	, 390	円	66, 854,	, 048	円	予算額	頁との比較 (R3-R2)		
	_	費	特定財源の有無		無	■有□無			■有□無			−71, 214, 000 <u>円</u>			
	시		正規則	職員数	1.30 人			1.10 人			特記事項				
ı		従事職員	再任用	用職員数		1		人	_		人	(予算	類の主な増減理由)		
ı	⊐		会計算	計年度任用職員数		1		人	_		人		工事及び用地取得が		
		正規職員 人件費	正規則	職員数×平:	均人件費	9, 755	, 200	円	7, 854,	, 000	円	終了し	たため。		
	ス		参	考:平均/	件費	7, 504	,000	円	7, 140,	, 000	円				
ı		再任用職員	再任用	再任用職員数×平均人件費 参考:平均人件費		1		円	_		円				
	L	人件費	参			3, 997	,000	円	4, 093,	, 000 円					
	Γ	会計年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費			_		円	_	円						
		事業費計(直接費+人件費)		45, 381, 59		円	74, 708, 048		円						
I		種類		 指	 標	名	単位	<b>全</b>	和元年度	f	和2年	度	令和3年度		
		作主大只	1日 信		11	<b>∓</b> 111	1 (0				т. -				

		種類	指	標	名	単位	令和元年度				令和2	2年度	令和3年度			
		性規	1日	ি	白		上段:	目標	段:実績	上段	:目標	下段:実績	上段	:目標	下段:	実績
143	指	成果	公園用地の取得			地権 者数	(	3	)	(	1	)		_		
		成里	挿木管理業務委託の実施		業務	(	_	)	(	1	)	(	•	1	)	
		从木	]中小自任来仍安记00天旭 					_			1			_		
							(		)	(		)	(			)
7	漂													_		
							(		)	(		)	(			)
														_		
		指標に	関する特記事項	•					•		<u> </u>	•				

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×	
□ B 事業の進め力を允直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充	
口でありゆる円皮がり事業主体を見直り		性及び事業の方向性を赤く りつぶしてください。 コスト投入の方向性					
令和元年度終了時点で未取得だった用地を取得し、すべての公園用地の取得が完了した。 また、公園内に植栽する樹木の管理業務委託に着手することができた。	設の修正語 間を要して 今後にこ	g計は、土 [」] ているため、	他の有効利。 業務に遅 調整池や公	用や事業費 れが生じて 園施設の配	置等を検討	協議に期	
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 公園緑地語	果長 小島	靖之		•		_	

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 栗橋駅西土地区画整理事業地内公園整備事業 事務事業整理番号 530313709 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 戦略における位置付け 施策 3 公園の緑化と水辺環境の保全 3 住み続けられるまちづくりの推進 施策 における位置 細施策 3 公園の整備 KP I _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 栗橋駅西土地区画整理事業地内に、広場や遊具施設などを備えた8個所の公園を整備し、市民の憩いや健康づく の目的・成果りに寄与する場を提供する。 所管部課 建設部公園緑地課 関係部課 建設部都市整備課

## 2. 事務事業の実施結果

	. <del>事</del> 形	<del>分事</del> :	業の実施	<u> </u>													
	令和2年 事務事第 実施内容	業		区公園の整備に向け 分和元年度に設計し						設計力	が完了し	た。					
					令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度			
投	直		予	算 額	36, 200	,000	円		25,820	, 000	円		34,	990,0	00 円		
Σt	接		<del></del>	算 額	35,805	,000	円		25, 373	700	円	予算額との比較 (R3-R2)					
	費		特定財	源の有無	□有	<b>■</b> 無			□有	■無		9,170,000 円					
入	·		正規職員数	久		0.72	人		,	1.02	人		特記	記事項			
	従事履	韻	再任用職員	員数	_		人		_		人	(予算	額の主	主な増減	理由)		
	ı		会計年度任用職員数     -     人     -     人     工事内容及び範囲が異なるため。														
	正規贈	韻	正規職員数	枚×平均人件費	5, 402	, 880	円	7, 282, 800 円				るため	0				
lz	\ \ \/ <del>+</del> :	費		平均人件費	7,504	, 000	円		7, 140	, 000	円						
	再任用国	職員	再任用職員	数×平均人件費	_		円	_			円						
L	人件	費	参考:	平均人件費	3, 997	,000	円		4,093	, 000	円						
	会計年度任用職	員人件費	会計年度任	任用職員の人件費	l		円		_		円						
	事業費	計(	(直接費+)	人件費)	41, 207	,880 円		32, 656		, 500	円						
	種類		指	標	名	単位		和元年度		令和2年			令和3年				
	112.75		10	1375	ъ	十四	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下	段:実績		
	成果	実施	施設計の策	定		個所	(	1	)	(	1	)	(	1	)		
指	1 /3021	/ "	56261 - 2214			10,71		1_			1						
	成果	整備	第工事の実施	施		個所	(	1	)	(	1	)		1_	)		
							,		,	,			,				
+==	5						(		)	(		)			)		
楞							,					```	/		$\overline{}$		
							(		)	(		)			)		
	七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	<u> </u>	ᆉᇰᄹᅼᆕᄀᆂ	古古													
	拍惊	し   关	する特記事	块													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
・ A 計画とのう失態人は 眉の光失を図る											
□ B 事業の進め方を見直す											
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
口 C おらゆる角度から重要全体を目直す		向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す   向性及び事業の方向性を赤く   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/1/2   □ 1/											
13号街区公園の整備に向け、地元の意見等を取り入れながら、整備する各施設の設計や工事費の算出を行う実施設計を完了することができた。 また、11号街区公園の整備工事を実施し、令和3年1月8日より供用を開始することができた。	それぞれの なお、地 め、できる	6土地区画勢 0公園に統- 地域住民より 5限り早期し ながら、各分	-感や特色 リ公園の整 こ供用を開	を持たせる 備を待ち望 始できるよ	必要がある む声が多く うに、地元	。 (あるた E住民の意					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 公園緑地調	果長 小島	靖之									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 既存建築物耐震化補助事業 事務事業整理番号 560113803 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 6 防災・消防体制の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 総合的な防災体制の確立 付け **後期基本計画成果指標との関連** 口 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 久喜市建築物耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に工事着手し建築された、旧耐震基準の既存建 の目的・成果 築物の耐震化を図り、地震発生時の建物被害を最小限にとどめることを最終的な成果としている。 所管部課 建設部建築審査課 関係部課

**A**和二左曲

## 2. 事務事業の実施結果

今和っ生由
令和2年度
事務事業
尹伪尹未
実施内容
大心门台

市民が安心して生活できる地震に強いまちづくりの推進を目的に、市内の既存建築物に耐震補強等を実施することを推進するため、無料簡易耐震診断を実施し、耐震化に要する費用の一部を助成する制度について周知を図った。また、久喜市建築物耐震改修促進計画について、令和3年3月に令和3年度から令和7年度の取組内容を定める改定を行った。併せて、久喜市既存建築物耐震補強等補助金交付要綱の改定を行い、令和3年度から補助対象を拡充した。

**会知った由** 

					令和2	元年度			令相 2	2年度	•		令札	13年度	
投	直	予	算	額	864	, 000	円		125	,000	円		2,	500,00	10 円
1×	接	決	算	額	661	,600	円		24	, 420	円	予算額	頁との	比較(R3	-R2)
	費	特定	財源の有	無	■ 有	□無		■ 有	1	□無	ŧ		2,	375,00	10 円
入		正規職員	数			0.30	人			0.30	人		特語	記事項	
	従事閥	<b>再任用</b> 暗	員数		1		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
$\Box$		会計年度	任用職員	数			人		_		人	令和	2年度	は、国か	らの
	正規職		数×平均	1人件費	2, 251	, 200 円		2,142,000 円			円			}額に応し っている。	
ス	人件費	参考	:平均人	件費	7, 504	, 000	円	<del>9</del> 7, 140		), 000 円		DE INIL	۔ دات	, (v. 0°	
	再任用暗	W> -	員数×平	^Z 均人件費			円		_		円				
	人件費	参考	:平均人	件費	3, 997	,000	円	4, 093, 00		,000	000 円				
15	会計年度任用職員	会計年度	任用職員	の人件費			円		_		円				
	事業費				2, 912	,800	円	2	, 166	, 420	円				
	種類	指		標	名	単位	弇	和元年度		•	令和2年	度	V	令和3年	度
	作工大只	18		1ক্য	П	丰世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績
	成果	無料簡易耐力	雪診斯宝	施件数		件	(	20	)	(	20	)	(	20	)
指	130.71	תנווונאנוםן דיף אינ	REPUI (A)	אאוושע		- ''		11			17				
	成果	既存建築物耐震診断補助金交付			<b>仁</b> 类	件	(	11	)	(	11	)	(	8	)
	130.71	以行		11 92	- ' '		1		0						
	成果	既存建築物間	计电弧针	補助金交付	<b>件数</b>	件	(	5	)	(	4	)	(	3	)
標	13001		וטאטענוו			''		1			0				
	成果	既存建築物耐震改修等補助金交		等補助金交	付件数	件	(	5	)	( 4		)	(	2	)
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13113/	''		1			0				

#### 3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	方向性と具	具体的内容				
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
■ B 事業の庭の力を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
本市の既存建築物の耐震化率の向上につなげるため、補助制度により耐震化の促進に努めているが、目標件数を達成することができなかった。 事業の見直しとして、久喜市建築物耐震改修促進計画の改定及び久喜市既存建築物耐震補強等助成金交付要綱の改定を行ったため、動向を確認しながら今後の見直しを検討していく。	断実施時な 必要となる 要綱の改 たことから	D必要性にない。 など、さまで な正を行い、 なこの内容 こつなげ、ほ	ざまな機会 令和3年度 容を含めた	を通じて浸 をから補助な 情報発信を	透させてい 金交付対象 行い、補助	くことが と拡大し
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 建築審査語	果長 源関	英司				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 しょうぶ会館事業 事務事業名 130314003 事務事業整理番号 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 3 人権の尊重 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 3 隣保館事業の推進 付け □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 しょうぶ会館は、昭和60年に隣保館と児童館の複合施設として開設され、社会福祉法の第2種社会福祉事業(隣保館事業)、児 しょうが云暗は、哈和60年に隣休館と児童館の後占施設として開設され、社云福祉法の第2種社云福祉事業(隣休館事業)、児童福祉法の児童厚生施設(児童館事業)に基づき、教育・文化の向上を図るとともに、年齢や地域を越えた住民相互の交流を通して、人権意識の高揚と活気あるまちづくり並びに良好な地域コミュニテイの形成を図ることを目的として事業を実施し、隣保館として人権啓発や交流の場として役割を果たし、また児童館として児童の体力の増強や豊かな情操の育成を図っている。 事務事業本来 の目的・成果 菖蒲総合支所しょうぶ会館 <mark>関係部課</mark>総務部人権推進課、菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課、驚宮総合支所総務管理課、教育部生涯学習課 所管部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 隣保館事業としては、相談や健康器具の利用を通して、高齢者の生きがいや交流を図るデイサービス事業や、季節ごとに地域の一人暮らしの方や高齢者等を会館に招いて、料理教室、カラオケ大会や懇談会等のふれあい交流会を実施した。また、農園事業でじゃがいも、さつまいも、落花生などの作付けや収穫を実施し、子どもからお年寄りまでの世代を超えた交流を図った。児童館事業としては、年齢別の各種育成事業、各種教室を開催し、児童の健全育成を図った。

							令和:	元年度			令和 2	2年度	Ē		令村	日3年度	
±	殳	直		予	算	額	6, 386	,000	円	ļ	5, 352	,000	円		4	,521,00	0 円
3.	×	接		決	算	額	3, 555	, 650	円	1	2, 203	, 413	円	予算額	頁との	比較(R3	-R2)
		費		特定則	源の有	無	■ 有	□無			有	□無	Ħ,			-831,00	0 円
7	시		正規	見職員数	数			2.00	人			2.00	人		特記事項		
		従事職員	員 再信	£用職員	員数			1.80	人			1.80	人	(予算	算額の主な増減理		理由)
-	اد		会計	<b>十年度</b>	壬用職員	数	_		人		_		人		借上料の減額の		りた
	ı	正規職員	~	見職員数	数×平均	]人件費	15,008	,000	円	14, 280, 000 円				め。			
-	$_{z}$	人件費		参考:	平均人	件費	7, 504	7,504,000 円				,000	円				
		再任用職	員 再信	£用職員	員数×平	均人件費	7, 194	, 600	円	'	7,367	, 400	円				
ŀ		人件費		参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円	4	4, 093, 00						
'	`[	会計年度任用職員人	計年度任用職員の人件費				_		円		_		円				
		事業費計	†(直	妾費+.	人件費)		25, 758	, 250	円	23	3,850	, 813	円				
		種類	指標				名	単位	ŕ	和元年	隻		令和2年	F度		令和3年	度
		任工人		11		'וגד	14	十四	上段:		:実績	上段		段:実績	上段:	: 目標 下段	段:実績
		活動隊	<b>选保</b> 館	重業宝	施事業数	<b>∮</b> t		事業	(	34	)	(	34	)	(	22	)
扌	旨	70 30 19	74 1/1/41	于不入	加宁不为	<u> </u>		予不		20			15				
		活動	甲音館	車業宝	施事業数	\$⊅		事業	(	17	)	(	18	)	(	9	)
		7030 )	о≖хн	于不入	.//UF///\>	<u> </u>		予不		13			6				_
		成果隊	<b>选保館</b>	延べ利	用者数			人	(	40,000		(	40,00		(	25,000	)
木	票	79071	делити		713 🗆 🗸					31,602			12, 46				
		成果 児	見童館	延べ利	用者数			人	(	20,000	)	(	20,00		(	15,000	)
										9, 150			990				_
		指標に	関する	特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前側とのう天心人は 盾の儿子を囚る	かの	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ ○ おらゆる角度から重要全体を目直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す											
年齢や地域を超えた住民相互の交流を通して、人権意識の高 揚と活気あるまちづくり並びに良好な地域コミュニティの形成 を図ることを目的として、隣保館と児童館を併設した会館の特 徴を活かした地域交流事業を推進する必要があるため。 また、児童の健全育成と、女性の就労支援等のため、公的な 子育て支援施設への期待に応えていく必要がある。	を勘案しなだる。その特 の後も事 して、人権	増減にとられ がら、、 会館は活い 色を充充 き 意識のこと を 図ることか	)内容の充実 解館と児童館 地域の実情 せ、年齢や地 活気あるま	を図る必要だ を併設した特 も踏まえた 域の枠を超え ちづくり並び	がある。 詩色ある複合 『業を展開し えた住民相互	施設であ ている。 の交流を通					
<mark>評価年月日</mark>   令和3年6月28日   <mark>評価者職氏名</mark>   しょうぶ会館館長 増田 治司											

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	旧栗橋第一幼稚園園舎等解体事業		事務事	業整理	番号	710714105
(() A IE (T) - I -	大綱 7 行財政を見直し、改革を進めるまち	第2期総合	基本目標			
総合振興計画における位置	施策 1 行政改革の推進	戦略におけ				
付け	細施策 7 公有財産の有効活用	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興言		画への排	曷載 □	該当 ■ 非該当
	市有財産地である旧栗橋第一幼稚園敷地内の園舎等の住宅への飛散や、建物死角による不審火・不審者発生の地の今後の有効活用にむけての環境整備が図られる。	)建物の解体 )危険性を除	・整地を実 去する。本	施し、事業の	老朽化 実施に。	した建物部材の周辺 よって、同市有財産
所管部課	栗橋総合支所総務管理課 関係部課					

## 2. 事務事業の実施結果

	<u>. 手稅</u>	<del>リサオ</del>	ラリス	、ル巴州口	<u> </u>													
1	和2年 事務事業 実施内容	美	旧栗	橋第-	一幼稚	園園舎等解	<b>军体工事設計業</b>	務委託	を実施	<b>ンた</b> 。								
							令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	<u> </u>	
投	直		子	7	算	額	_		円		2, 266	, 000	円		44	, 891, (	000	円
1×	接		決	L	算	額	_		円		2, 200	, 000	円	予算額	頁との	比較(	R3-R2	)
_	費		特点	E財源	の有	無	□有	□無			有	■無			42	, 625, (	000	円
入		Ī	E規職	員数			_	— <u>人</u>			1.00 <mark>人</mark>				特記事項			
	従事閥	損	耳任用!	職員数	攵		_		人			0.10	人	(予算	額の	主な増	咸理由	1)
		ź	会計年	度任月	用職員	数	-		人		_		人			の設計		
	正規職	~ <del>-</del>	E規職	員数>	〈平均	]人件費	_		円	7,140,000 円			円			成したⅡ 舎等解体		
ス	人件	-	-		均人		7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円			解体」		
			耳任用I	職員数	女×平	均人件費	1		円	,		, 300	円	和3年度	き内に	実施す	るた	
<b> </b>	人件	費	参考	手:平	均人	件費	3, 997	,000	円		4, 093	, 000	円	め。				
	会計年度任用職員	員人件費 名	会計年	度任用	用職員	の人件費			円		_		円					
	事業費	計(i	直接費	+人(	件費)			円			9, 749	, 300	円					
	種類		±			標	名	単位	牟	和元年	度	4	6和2年	度		令和3	年度	
	任主大只		,	Ħ		יעון.	14	+ 44	上段:	標 下戶	设:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段	目標	下段:	<b>実績</b>
					園園	<b>等解体工</b>	事設計業務委	%	(	_	)	(	100	)	(	_		)
指	13071	託の	進捗率	<u> </u>				70		_			100					
	成果	I IH栗	橋第-	-幼稚	園園:	<b>全等</b> 解体工	事の進捗率	%	(	_	)	(	_	)	(	100	)	)
	1-2021	11/	IIFIZIS	-93 TE	ETALETA L			,,		_			_				_	
									(		)	(		)	(			)
標		L_															_	=
									(		)	(		)	(			)
	100 100				- 1												_	
	指標に	こ関す	る特記	了事項	Į													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	未 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ のうゆる円皮がら事業主体を允直す	ださい。		コスト投入	入の方向性		
令和2年度に本事業が始まり、解体工事設計業務委託を実施した。令和3年度についても、令和2年度の成果を基に解体工事を実施する予定である。市有財産地の適正管理と今後の有効活用のために、旧栗橋第一幼稚園の園舎等の建物の除去・整地は必要であり、計画どおり実施することが望ましいと考える。	令和3年 る。建物所 る。	度の解体工 解体後の敷 ^は	事完了を以 他の具体的	くって、事態活用方法に	業完了の予り ついては検	定であ 討中であ
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 栗橋総合3	支所総務管理	里課長赤	岩保宏			

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	コミュニティ祭り事業		事務事	業整理	番号	110214106
(() A J= (3) - I =	大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち	第2期総合	基本目標			•
総合振興計画における位置	<mark>  梅笠</mark>   1   コミュニティ活動の推進	戦略におけ	施策			
付け	<mark>細施策</mark> 2 □ミュニティ活動の活性化支援	る位置付け	KPI	_  -		
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	<del> </del>  画実施計画	画への打	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	地域固有のコミュニティ活動の支援を行うとともに、こるふれあいの場を創る。	コミュニテ	ィを通じて	市民相	互の連	帯感と、交流を深め
所管部課	栗橋総合支所総務管理課 関係部課 鷲宮総合支所総務	管理課				

## 2. 事務事業の実施結果

	2. 事務事業の美施結果															
1	3和2年 事務事業 実施内容	はは、	は継続す	けること さしさ・	ことした。 ・ときめき祭	-禍の影響によ 冬り・・・コロナ	ナ禍の:	影響に。	より、祭り	りの開	催は「	中止とな	った。	句け、	赤花そばの	の栽
						令和法	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	3, 288	,000	円		600	,000	円		2	, 675, 000	円
18	接		決	算	額	2,919	,000	円		565	, 138	円	予算額との比較 (R3-R2)			
	費		特定財	源の有	無	□有				1	■無		2, 075, 000			
入		正規	見職員数	攵			0.56	人			0.20	人	特記事項			
	従事閥	<b>損</b> 再信	£用職員	製数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
$\Box$		会計	十年度任	£用職員	員数	_		人		_		人	令和	2年度	は、コロフ	一禍
	正規職	損 正規	見職員数	攻×平均	习人件費	4, 202	, 240	円	1	, 428	, 000	円	の影響	により	ひ篇し	
ス	人件	費	参考:	平均人	.件費	7, 504	,000	円	7,140,000 円			円	─ 宮地区の祭りは中止と たが、令和3年度についたが、			17
	再任用單	707	壬用職員	曼数×P	P均人件費	_		円	— <u>г</u>			円			方向で、予	算計
L	人件	費	参考:	平均人	.件費	3, 997	円	4	, 093	,000	円	上をし	たた	め。		
-	会計年度任用職員	会計 会計	十年度任	£用職員	員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計(直	接費+。	人件費)	)	7, 121	, 240	円	1	<u>, 993</u>	, 138	円				
	種類		指		標	名	単位		和元年度	-		命和2年			令和3年度	-
	1主人共		10		IXI	ъ	十四	上段:		:実績	上段:		设:実績	上段	: 目標 下段	:実績
	成果	栗橋や	さいさ	・とき	めき祭り参	加催事数	件	(	55	)	(	55	)	(	55	)
指	7,0011	×1411.3							58							_
	成果	赤花そ	ば祭り	当日来:	場者数		人	(	1,000	)	(	1,000	)		1,000	)
	7,0011	,, 10 (							16,000			_				_
	成果	鷲宮コ	ミュニ	ティ祭	り来場者数		人		20,000	)	(	20,000	) )		20,000	)
標								,	14,000		,	_		,		_
	成果	鷲宮コ	ミュニ	ティ祭	り参加者(団	]体)数	団体	(	70	)	(	70	)		70	
	大学   「大学   「大学   大学   大学   大学   大学   大															
	指標に	_関する	符記事	) 中	和2年度は、	コロナ倘の影	響によ	ソ、祭り	ソの開催に	エ甲止	いため	)美績値	まなし。			

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日とのうゆる月度から事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
が、令和2年度から1つの実行委員会とし、「赤花そば栗橋やさしさとき	するにあた の場の提供 祭りは、コ 増やしてい ていく。令:	ば栗橋やさしり、今後も作と、コミュニティ祭く難しさがあれる。 マルカション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イッション・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン	董事内容の充 □ティ意識の 降りの趣旨を あるが、交流 赤花そば栗橋	実を図りなた 醸成を図る。 踏まえると、 を深めるふれ ほやさしさと	がら、コミュ 鷲宮地区コ 来場者数と れあいの場と きめき祭り、	ニティ活動 ミュニティ 参加団体を して開催し 鷲宮地区
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 栗橋総合支	所総務管理	課長赤岩	保宏、鷲宮	総合支所総	務管理課長	齋藤 清

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 コミュニティ施設管理事業 事務事業名 110314206 事務事業整理番号 大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 コミュニティ活動の推進 施策 1 戦略におけ 施策 _ における位置 る位置付け KP I 細施策 3 コミュニティ施設の整備・充実 付け 計画成果指標との関連 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 該当 □ 非該当 ■ 非該当 市民の相互交流と公共の福祉の向上に資するため、市民のコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンター等について、 IPEXの旧立メ州に公共の個型の同立に見りるにめ、中氏のコミューティ活動の拠点となるコミューティをフター寺について、施設の安全かつ快適な環境を保全するための維持管理及び修繕を行う。 (清久コミュニティセンター、菖蒲コミュニティセンター、栗橋コミュニティセンター、鷲宮東コミュニティセンター、鷲宮西コミュニティセンター、久喜市コミュニティ広場) 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 鷲宮総合支所総務管理課 **関係部課** 市民部市民生活課、菖蒲総合支所総務管理課、栗橋総合支所総務管理課

#### 2. 事務事業の実施結果

	• •	ナリカ	サオマ	<u>/フ<del>マ</del></u> 加	100万木												
	事務	2年原 多事業 他内容	ħ	施設利.	用に係る	5予約受付、	貸し出しを行	うとと	もに、	幾器類の何	保守点	検及で	び修繕を	実施した	た。		
							令和元	元年度			令和2	2年度			令	和3年度	
+л		直		予	算	額	46, 763	,000	円	55	, 785	,000	円		46	5, 139, 000	) 円
投	2	接		決	算	額	43, 955	, 978	円	48	, 024	, 883	円	予算客	頁と <i>0</i>	)比較 (R3-	-R2)
		費		特定則	オ源の有	無	<b>■</b> 有	□無		■ 1	<u> </u>		ŧ		-9	9, 646, 000	) 円
入	Ē		正規	見職員	数			0.70	人			0.40	人			記事項	
	従	É事閥!	員 再	壬用職	員数			1.40	人			0.60	人	(予算	額の	主な増減理	里由)
	ı		会	十年度	任用職員	数			人		_		人			医当初予算	
	正	規職	員 正規	見職員	数×平均	]人件費	5, 252	,800	円	2	, 856	,000	円			計上してい	
l ス		人件費		参考:	:平均人	 件費	7, 504	,000	円		, 140			事調貝等によ	食、 る減	備品購入費 。	びが
		任用職	_員 再	壬用職	員数×平	^Z 均人件費	5, 595		円		, 455			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	UIIN	O	
١.		人件費		参考:	:平均人	件費	3, 997		円		, 093			•			
	会計算	年度任用職員。	A件費 会計	十年度	任用職員	の人件費	_	-	円		_		円				
	事	業費調	†(直	接費+	人件費)		54, 804	, 578	円	53	, 336	, 683	円				
	48	重類		指		<del></del> 標	名	単位	<b>수</b>	和元年度	F.	-	令和2年	度		令和3年	隻
	15	里規		抇		信示	4	半加	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段	:目標 下段	:実績
	\ <u>:</u>	舌動 化		伴う時	11井(木谷)	口粉(耐重)	化事業を除く)		(	0	)	(	0	)	(	0	)
指	í		ラルコに	干ノ皿	마기 까다	山奴 (間)辰	10事業を励べ/	I		0			0				
	Б	北里	利用者	迷ケ				人		67,000	)	(	167, 000		(	167,000	)
	1-3	<i>x</i> , /	ם.נו וני.ו	Øλ					1	68, 207			72,678				
	Б	成果	維持管	押の不	備によ	る利田老かり	らの苦情件数	件	(	0	)	(	0	)	(	0	)
楞	1-2	~/\ /	בייים ביי	~£v/`	IMI IC O	מםנונויט	7 * 7 H H H X	''		0			0				
	፟	効変 ┃	利用者	·1 人 志	5たりの!	維持管理費		円	(	244	)	(	244	)	(	244	)
						中心口工只		ıJ		261			661				
	指	旨標に	関する	特記	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのう天旭大は 信い儿子を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日とののゆる内皮がの事業主体を充邑す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
市民が安全で快適に施設を利用できる環境を維持するため、機器類の保守点検や損傷箇所の修繕等は必要不可欠である。 コミュニティ施設の適切な維持管理や運営により、コミュニティ活動の充実が図られたことから、有効性が高いと判断した。	増えてきて 繕や大規模 また、そ	ているため、 莫な改修がが 介和2年度は 皆数が減少し	修繕料は 必要となる 、新型コロ したところ	増加傾向に 可能性があ ]ナウイル。 であるが、	や建物自体 あり、今後 る。 ス感染症の 市民が安全 感染予防に	後、緊急修 影響によ きで快適に
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <b>評価者職氏名</b> 市民生活課長 小	辞谷 修、菖蒲総合支所	総務管理課長 関口	招一、栗橋総合支所総	務管理課長 赤岩 保	宏、鷲宮総合支所総務	務管理課長 齋藤 清

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	鷲宮西コミュニティセンター調光システム改修	多事業	事務事	業整理	番号	110314207
W A 15 (5) - 1 -	大綱 1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち	第2期総合	基本目標	-		_
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 1 □ミュニティ活動の推進	戦略におけ	施策	-		-
付け	<mark>細施策</mark> 3 コミュニティ施設の整備・充実	る位置付け	KPI	-		-
, 5	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果		ただくため	、調光シス	テム改	修工事	を行う。
所管部課	鷲宮総合支所総務管理課 関係部課					

## 2. 事務事業の実施結果

	_ :_	ナック		い <del>大</del> 爪	じかロント												
4	事	和2年月 務事業 施内容	É				7ーにおけるホ 背が快適に利用					を行っ	た。				
							令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
+1	"Г	直		予	算	額			円	2	9, 128	, 000	円				0 円
找	Ž	接		決	算	額			円	2	3,870	, 000	円	予算額	頁との」	比較(R	3-R2)
		費		特定則	オ源の有	無	□有	□無			有	■無			-29,	128,0	00 円
フ	4		正	規職員	数				人			0.30	人			記事項	
	:	従事閥	損 再	任用職	員数				人		_		人	(予算	額の言	主な増減	理由)
=	]		会	計年度	任用職員	員数	_		人		_		人	改修	事業	(単年度	事業)
	Γ	正規職	溳 正	規職員	数×平均	匀人件費	_		円		2, 142	, 000	円	の完了	による	>減。	
-	, I	人件	貴	参考:	:平均人	件費	7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円				
		再任用單	韻再	任用職	員数× ^፯	P均人件費	_		円		_		円				
L		人件費	貴	参考:	:平均人	.件費	3, 997	,000	円		4, 093	, 000	円				
Γ	ŝ	於計年度任用職員	会	計年度	任用職員	員の人件費			円		_		円				
	IIII.	事業費	計(直	接費+	人件費	)			円	2	26,012	, 000	円				
		種類		指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年	
	L	任工人		11		াক্য	<u> </u>	十四	上段:	目標 下	设:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標下	段:実績
		活動	調光ミ	ノステム	.改修工	事設計		件	(	_	)	(	1	)	(	_	)
排	i _	74,3	ш. 17 С -	,,,_		7-6261		-''					1				
		活動	調光シ	ノステム	<b>.</b> 改修工	事		件	(		)	(	1	)			)
	L	,,,,,	H-37-0-			•			,	_			1	,			
	_	成果	調光ミ	ノステム	<b>.</b> 改修施	設数		施設	(	_	)	(	1	)			)
根	<b></b>												1	,			
									(		)	(		)			)
	ŀ	+15+至1-	- 88 -+ '	フルナニココ	5 T T												
		指標に	_ 関 🦸	る特記事	<b>事</b> 垻												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の儿子を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事業主体を允直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
市民が安全で快適に施設を利用できる環境を維持するため、 老朽化していた調光システムを改修した。 今回の改修により、調光システムの更新を実施することができたことから、計画どおりと判断した。	り、事業に	度の単年度 は終了となっ 施設の適 ^し こいく。	った。			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 鷲宮総合家	5所総務管理	理課長 齋	藤 清		•	_

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 農業集落排水処理施設使用料検討事業 事務事業名 事務事業整理番号 540654407 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 6 持続可能な事業運営の推進 _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 口 該当 ■ 非該当 ■ 非該当 農業集落排水事業は汚水処理費を使用料だけで賄うことができず、一般会計からの歳入不足に対する赤字補填 事務事業本来 である基準外繰入金に依存していることから、独立採算を目標に繰入金を削減するとともに、農業集落排水処理 の目的・成果 施設を使用している人と、それ以外の汚水処理をしている人との公平性を図る。 所管部課 上下水道部上下水道経営課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

平成30年度に策定した「久喜市下水道事業中期経営計画(経営戦略)」において、令和4年度までに使用料体系

の見直しを行うこととしており、その事業として使用料検討事業を実施してきた。 平成30年度に久喜市下水道事業・農業集落排水事業運営審議会に諮問した農業集落排水処理施設使用料の適正 な水準と体系について、令和2年度は久喜市下水道事業・農業集落排水事業運営審議会から答申を得た。

				令和分	元年度			令和 2	2年度			令和	3年度	
	直	予算	·····································	2, 222		円			, 000	円		1- 1-	- 1/2	0 円
投	接		章 額·	1, 982		円			, 380	円	予算額	質とのと	比較(R	
	費	特定財源の		□有	<b>■</b> 無				<u>, 000</u> 無		3 7 1 2		504,0	
入		正規職員数			0.30	人			0.30	人			事項	
	従事職員	員 再任用職員数				人		_		人	(予算	類の主	とな増減	城理由)
$\Box$		会計年度任用	職員数	_		人		_		人	農業	集落排	水使用	料の検
	正規職員		平均人件費	2, 251	, 200	円		2, 142	,000	円	討が、 了した		‡度で-	一旦終
ス	人件費	参考:平均	9人件費	7, 504	,000	円	•	7, 140	,000	円	] 0/2	1000		
	再任用職		×平均人件費			円		_		円				
	人件費			3, 997	,000	円	4	4, 093	,000	円	_			
Ι'	会計年度任用職員人	ZII 1 (ZIZ/I)		_		円		_		円				
	事業費計	計(直接費+人件	費)	4, 234	<u>, 116</u>	円		2,645	_	円		1		
	種類	指	標	名	単位		和元年			令和2年			3和3年	
	12//	711	120	н	1 1-2	上段:	目標 下段	と 実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標	段:実績
	活動	業務委託委託額	(3ヵ年合計)		千円	(	_	)	(	_	)	(	_	)
指						,			,			,		
	活動ឱ	審議会の開催			回	(	5	)	(	2	)			)
	$\vdash$					(	3	\	/	2	\	-		$\overline{}$
標						(		)	(					
ींगर	$\vdash$					(		``	(		١	(		$\overline{}$
								,	(		,			
	指標に	関する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日本の自由にあり天祀文は一層の元天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
■ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
事業経営の原則である独立採算の観点から、繰入金に依存しない自立的な経営を実現し、経費回収率100%を達成するために、農業集落排水使用料の適正な水準と体系についての検討を実施し、久喜市下水道事業・農業集落排水事業運営審議会から、農業集落排水料は下水道使用料と比較して高額であることから、現状維持の答申を得た。	り安定した て、下水道 の検討を進 また、世	使用料検討終 会経営を持続 がでいて、 を を を を を を を を を を を を を を を を を を の で の で	売するため 見直しに併 ごて使用料	に、経費回 せて、5年で を算定する	収率100%  を周期とし  人数制を、	こ向け た見直し 汚水排水
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 上下水道線	圣営課長 词	近藤 学				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 農業集落排水処理施設資産評価事業 事務事業名 事務事業整理番号 540654408 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 大綱 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 3 住み続けられるまちづくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 6 持続可能な事業運営の推進 **後期基本計画成果指標との関連** 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 □ 該当 ■ 非該当 ■ 非該当 事務事業本来 事業の経営成績や財政状態を明らかにし、経営の健全性や計画性・透明性の向上を図るため、令和3年度から農 の目的・成果 業集落排水事業に地方公営企業法を適用する。 所管部課 上下水道部上下水道経営課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 令和3年度から農業集落排水事業を地方公営企業法に適用させるため、平成30年度から令和2年度の3ヵ年で農業 集落排水処理施設資産評価業務を実施してきた。農業集落排水処理施設の建設開始時から令和元年度までの決算 書、工事台帳などを整理し、貸借対照表や減価償却費の算定に必要な資産評価を行った。

								令和:	元年度			令和:	2年度			令和	3年度	
投	直			予	拿	草	額	11, 322	2,000	円		3,645	,000	円				0 円
12	接			決	賃	算	額	11, 321	1,640	円		3,645	, 000	円	予算額	領とのと	比較(R	3-R2)
	費			特定原	<b>対源</b> €	り有無	Ħ.	□有	■無			有	■無	ŧ		-3,	645,0	00 円
入			正規	見職員	数				0.40	人			0.40	人		特証	事項	
	従事閥	員	再信	£用職	員数			_		人		_		人	(予算	算額の主	な増減	理由)
$\Box$			会詞	†年度	任用	職員	数	_		人		_		人			で農業集	
	正規職	溳	正規	見職員	数×	平均	人件費	3,001	,600	円		2,856	, 000	円	水処埋  終了し		産評価	事業が
l _z	人件	費		参考	: 平均	匀人作	‡費	7,504	1,000	円		7, 140	,000	円	で」し	1/_/_0)	0	
,	再任用單	戦員	再信	£用職	員数	×平	均人件費	_		円		_		円				
L	人件費	費		参考	: 平均	匀人作	‡費	3, 997	7,000	円		4, 093	, 000	円				
1	会計年度任用職員	員人件費	会記	†年度	任用	職員	の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直	妾費 +	-人件	費)		14, 323	3, 240	円		6, 501	,000	円				
	種類			指			<del></del> 標	名	単位	ŕ	和元年	度	4	令和2年	度	ŕ	和3年	度
	作主大只			111			1ਨਾ	111	丰位	上段:	目標 下戶	设:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標下	段:実績
	成果	農業	学佳	抜排っ	k重型	≰の餈	発産の調査	・整理率	%	(	55.9	)	(	100	)	(	_	)
指	130,70	IDQƏ	~~	/ <del>[]</del> ]3[/]	ハナオ	<b>5</b> 075	2注 マノ明日	上土土	/0		55.9			100			_	
	成果	農業	集	落排フ	k事業	€の割	F価、減価	償却費の算	%	(		)	(	100	)	(	_	)
	130.71	出、	固	定資産	≧デー	-タ0.	)作成実施	率	/0					100				
										(		)	(		)	(		)
標																		
										(		)	(		)	(		)
	指標に	.関	する	特記	事項													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
□ C のりゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
平成30年度及び令和元年度に収集・評価した資料を基にして、令和2年度は資産評価業務を完了し、令和3年度から農業集落排水事業に地方公営企業法を適用した。	等を活用し	통排水処理が ノ、経営計値 適切な経営(	画の策定や	価事業を基 使用料算定	に作成した を行い、農	:財務諸表 養業集落排
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 上下水道線	圣営課長 词	近藤 学				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 水道事業職員研修事業 540274402 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 戦略における位置付け 4 上下水道の整備 施策 3 住み続けられるまちづくりの推進 における位置 **細施策** 2 効率的な水道事業の推進 KP I _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 職員の定年退職や人事異動により、職員の水道事業に関する専門的な知識や技術の低下が想定されることか <mark>の目的・成果</mark> ら、各種研修への参加やOJTの実施により、知識や技術の習得及び継承を図る。 所管部課 上下水道部上下水道経営課 関係部課 上下水道部水道施設課

## 2. 事務事業の実施結果

2	. 事務	事:	業の実施	<b>施結果</b>												
	令和2年 事務事業 実施内容	É	業務遂 た。	対にあた	こり必要な知	口識や技術を習	得し継	承する	ため、名	各種研修	<b>会への</b>	の参加と	職員間(	かOJ	Tを実	施し
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	697	, 000	円		678	,000	円			731,0	00 円
1×	接		決	算	額	148	, 920	円		251	, 520	円	予算額	真との」	比較(R	3-R2)
_	費		特定	財源の有	無	□有	■無			有	■無				53,0	00 円
入			正規職員	数			0.10	人			0.10	人		特詞	記事項	
	従事閥	員	再任用職	員数		1		人		_		人			主な増減	
		:	会計年度	任用職員	数			人		_		人	新任	担当者	向けの	研修を
	正規職	V = -	正規職員	数×平均	引人件費	750	, 400	円		714	,000	円	人分え  新たに	5川計. 合除作	上したに	まか、    石綿作
la	人件	費	参考	:平均人	件費	7,504	, 000	円		7, 140	,000	円	業技能	講習に	係る予	算を計
	再任用耶	~~~	再任用職	員数×平	^平 均人件費			円		_		円	上した	ため。		
_	人件			:平均人		3, 997	, 000	円		4,093	,000	円				
	会計年度任用職員				の人件費			円		_		円				
	事業費	<u>計(</u>	直接費+	-人件費)	1	899	, 320	円			, 520	円				
	種類		指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年	
	12700		,,,		120	I	' '-	上段:		段:実績	上段:		段:実績	上段:		段:実績
	活動	研修	多加人数	数			人	(	10	)	(	10	)		10	)
指									15		,	16				
								(		)	(		)			)
	$\vdash$							/		\	-		\	-		$\overline{}$
標								(		)	(		)			)
ੀਨਾ								(		)	(		)	(		$\overline{}$
										,	(		,	_		,
	指標に	関す	する特記	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
やOJTの実施により、職員間での難しい事例に対する知識の 共有に努めた。	的な知識や ても、オン 種研修へ参	美会計や水泳 や技術が必ら ソラインにで かかすること なしていく。	要不可欠で よる受講等 とで、専門	あることか を積極的に	ら、コロナ 活用し、引	ー禍におい lき続き各
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 上下水道線	Y 学課長 i	近藤 学				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 水道事業徴収事務事業 540274403 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 戦略における位置付け 施策 4 上下水道の整備 3 住み続けられるまちづくりの推進 施策 における位置 **細施策** 2 効率的な水道事業の推進 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 水道事業経営の主要な財源である水道料金を確定・請求・徴収する。 の目的・成果 所管部課 上下水道部上下水道経営課 関係部課 上下水道部水道施設課

## 2. 事務事業の実施結果

	· 于沙	・ 美の美施結果													
	分和2年月 事務事業 実施内容	総水装置工事の竣工検査を 下水道使用料及び農業集落	各戸検針により水道使用量を確認し、水道料金の確定・収納・更正を実施した。 給水装置工事の竣工検査を実施した。 下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料を徴収した。 料金滞納者への督促、相談を行った。												
			令和无	元年度		令和2年度				令和3年度					
投	直	予 算 額	117, 066	,000	円	118,	140,	,000 円		118, 140, 000 円					
1×	接	決 算 額	117, 066	,000	円 118, 140, 000 円					予算額	との	比較(R	3-R2)		
_	費	特定財源の有無	□有	■ 無 □ 有 ■ 無									0 円		
入		正規職員数		1.50	人			1.50 人		特記事項					
	従事閥	<b>月</b> 再任用職員数			人	-	_	人		(予算	額の	主な増減	理由)		
		会計年度任用職員数			人	-	_	人							
	正規職		11, 256	,000	円			,000 円							
la	人件	参考:平均人件費	7, 504	, 000	円	7,140,000 円									
	再任用單				円	-	_	円							
	人件費	> J 1.37(11)	3, 997	,000	円	4,	093,	,000 円							
	会計年度任用職員	五日十尺江川柳央の八十只			円	-	_	円							
	事業費	計(直接費+人件費)	128, 322	,000	円	128,	<u>850,</u>								
	種類	指 標	名	単位		和元年度			2年度			令和3年			
	12//	111	Ц	714	上段:	標 下段:	実績			実績	上段:				
	活動	収納率(徴収率)		%	(	99.00	)	-	.00	)	(	99.00	) )		
指	.,,_,,				,	99.35	,	99	. 38	,					
					(		)	(		)	$\overline{}$		)		
	$\vdash$				,		`	,		,	,				
+##					(		)	(		)			)		
標					,		\			\			$\overline{}$		
					(		)	(		)	$\overline{}$				
	+12+至1-	関する特記事項													
	指標に	-    りつ付記事場													

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天肥文は一層の元天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の進め力を発置す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	が 前内性、成果の方 の方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日とのうゆる内皮がつ事業主体を充邑す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
水道事業の主要な財源である水道料金については、安定した 収納が必要であることから、正確な使用水量の検針業務及び使 用料の徴収業務を実施した結果、収納率(徴収率)が目標に達 していることから、適正な水道料金の徴収ができたと判断し た。	て支払いる 促進を図る また、そ いを導入し 払い方法を	を料金収納が を行っている る必要がある う和2年度か しており、そ を取り入れる	る水道使用: る。 ·らスマート 今後も使用:	者に対して 、フォンア [・] 者のニーズ	は、口座振 プリによる ⁹	議替の利用 料金支払				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 上下水道	経営課長	近藤 学								

1. 事務事	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	下水道使用料検討事業		事務事	業整理	540684409	
۸/	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	4 b	らゆる世代が健	・ 康で安心して暮らせるまちをつくる
総合振興計画における位置	施策 4 上下水道の整備	戦略におけ	施策	3 住	み続けら	れるまちづくりの推進
付け	細施策 6 持続可能な事業運営の推進	る位置付け	KPI			
13.0	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への	掲載 🗆	該当 ■ 非該当
事務事業本来 の目的・成果	下水道事業は汚水処理費を使用料だけで賄うことができ 基準外繰入金に依存していることから、独立採算を目標に と、それ以外の汚水処理をしている人との公平性を図る。	[繰入金を	会計からの 削減すると	歳入るともに	下足に対して、下水	する赤字補填である 道を使用している人
所管部課	上下水道部上下水道経営課 関係部課					

	2.	事務	事業	業の実施結果															
	事	和2年月 事務事業 長施内容	施内容																
							令和元	定年度		令和2年度					令和:	3年度	F Z		
1	殳	直		予	算 額	2	2, 108	,000	円		504	,000	円				0	円	
1	×	接		決	算 額	1	1,880	,810	円		503	予算額	真との比	比較(	R3-R2	<u>?</u> )			
١.	. l	費		特定財源	の有無	_ ;	有	■無		有	■無			−504,000 <mark>P</mark>					
1	λ.		I	規職員数				0.30	人				特記	事項					
		従事閥	損再	任用職員数	Ż.		_		人				人		(予算額の主な増減理				
-	ן⊏		숲	計年度任用	職員数		_		人		_		人	下水道使用料の 令和2年度で一旦終					
		正規職	V > -	三規職員数×	見職員数×平均人件費 2,251,200 円						2, 142	-	円	一	FB ( ⁻	- 旦終	:] [/	ر ا	
-	z I	人件費	費	参考:平	均人件費	7	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	/2008					
		再任用單			X×平均人件費		_		円		_		円						
		人件		参考:平		3	3, 997	,000	円		4,093	,000	円						
ľ		会計年度任用職員			職員の人件費		_		円				円						
		事業費	計(直	直接費+人作	‡費)		<b>1,</b> 132	,010	円		2,645		円						
		種類		指	標	名		単位		和元年			6和2			和3			
					1.5			—	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標	下段:	実績	
١.	_	活動	業務	委託委託額	(3ヵ年合計)			千円	(		)	(		)				)	
ł	自								,		,	,		`	,		_	$\overline{}$	
		活動	審議	会の開催				回	(	<u>5</u> 3	)	(	2	)					
									/	3		/		\	/			$\overline{}$	
+	票								(		)	(		)				<u> </u>	
1	示								(		)	(		)	(			$\overline{}$	
									(		)	(		)	(			)	

## 3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

3. 評価和木とラ後の万円住										
総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
■ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×				
■ B 事未の定め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性					
水道使用料について平均改定率7%引上げの答申を得た。 実施時期については、新型コロナウイルス感染症による市民 生活への影響を鑑み、適切な時期に審議会で改めて審議するこ とになっている。	し、適切な また、糸 後について	コナウイル は時期に下z 経費回収率1 ても、5年を	水道使用料 100%を達成	の見直しを はするため!	実施する。 こ、使用料(	の見直し				
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 上下水道総	YZ営課長 ù	丘藤 学								

<u>1. 事務</u>事業概要 対象 令和2年度実施事業 浄水場施設更新事業 540174502 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 1 水道施設の計画的整備 **KPI** 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 浄水場設備の耐用年数や老朽化の状況を勘案しながら計画的な施設整備を行うことにより、安全な水道水の安 の目的・成果 定供給が図られる。 所管部課 上下水道部水道施設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

老朽化した浄水場施設を更新する工事10件と工事設計業務委託を3件実施した。このうち平成30年度からの継続事業である「吉羽浄水場自家発電機設備及び配水設備更新工事」及び単年度事業である「本町浄水場直流電源装置電気設備更新工事」他6件の計8件の更新工事が完了した。

							令和法	元年度			令和2	2年度			令和	3年度			
投	直			予	算	額	1, 035, 098	,000	円	1, (	066,892	,000	円		666,	787,0	100 円		
1X	接			決	算	額	825,090	, 085	円	- 3	871, 749	, 400	円	予算額	質との」	北較(F	R3-R2)		
	費		4	寺定則	排の有	無	□有	■無		[	□有	■無	ŧ	-400, 105, 000					
入			正規	職員数	数			1.08	人			1.08	人		特詞	記事項			
	従事閥	員	再任	用職員	員数		— 人				— 人				額の主	Eな増減	(理由)		
$\Box$			会計	年度任	任用職員	数	_		人	- 人			人	更新工事の施設・設備内					
	正規職		正規	職員数	数×平均	]人件費	8, 104	, 320	円		7, 711	, 200	円	谷の選   た。	いによ	り減額	<b>Eとなっ</b>		
z	人件	費	18::	参考:	平均人	件費	7, 504	, 000	円		7,140	,000	円	/_0					
	再任用單		再任	用職員	員数×平	均人件費	1		円		_		円						
<b> </b>	人件	費	IV.	参考:	平均人	件費	3, 997	,000	円	4,093,000 円									
	会計年度任用職員	員人件費	会計	年度(	任用職員	の人件費			円		_		円						
	事業費	計	(直接	費+.	人件費)		833, 194	, 405	円	9	879,460	, 600	円						
	種類			指		<del></del>	 名	単位	ŕ	和元	年度	•	令和2年	度	2	令和3年	F度		
	生块			111		1ਨਾ	11	丰世	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標	段:実績		
	活動	  事幸	¥₩	<b>事設計</b>	-			件	(	1	)	(	1	)	(	1	)		
指	70.20	又亦	71	ועאחו	11 ×					1			3			_			
	活動	事業	折丁章	<b>事件数</b>	r			件	(	7	)	(	10	)	(	5	)		
	70.20	Σ.π	71	P11 x^	•			''		8			10			_	_		
	成果	施訓	少事片	なに伴	う断水値	<b>牛数</b>		件	(	0	)	(	0	)	(	0	)		
標	750511	,,,,,	^ 3	X11	2 1413 41	120				0			0						
									(		)	(		)	(		)		
	指標に	こ関	する	诗記事	項														

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性					
本事業は、安全・安心な水道水を使用者へ安定的に供給し続けるために重要な役割を果たしている。 令和2年度は、法定耐用年数を超過し経年劣化した設備を更新したことにより、使用者へ水道水を安定的に供給し続けることができた。	けるうえて 本事業に 平準化を図 を把握し、	は、安全・5 で、欠かせれ には、多をもし 図ると無の 設備しく必 している。	ないものでか の費用と年 こ、設備やな や施設の耐	ある。 数を要する 施設の点検	ことから、 により経年	事業費の 等劣化状況				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 水道施設語	果長 冨澤	均仁		•						

1. 事務事	業概要				対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	配水管洗浄作業事業		事務事	業整理	540174504		
40 A IE 65 - I =	大綱 5 安全で調和のとれた住	みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	-  -		
総合振興計画	施策 4 上下水道の整備		戦略におけ	施策	-  -		
総合振興計画 における位置 付け	細施策 1 水道施設の計画的整備	る位置付け	KPI	_  -			
	後期基本計画成果指標との関連 □	総合振興計	十画実施計画	国への挑	<mark>引載</mark> □	該当 ■ 非該当	
事務事業本来 の目的・成果	配水管内の濁り等を水流により排 保つ。	出洗浄する水道管の	先浄作業を	実施するこ	とによ	り、管証	路内の水質を良好に
所管部課	上下水道部水道施設課 <mark>関係部</mark>	果					

2	. 事務	<b>務事</b>	業0	)実が	<b>运結</b> 身	艮												
	分和2年 事務事第 実施内容	<b>業</b>		「内全 ・た。	域を1	65区画に分割	割し	/、排水弁等を	を用いて	配水管	洗浄化	作業を実施	施した	ことで、	管路内	]の水	質を保っ	つことが
								令和法	元年度			令和2	2年度		令和3年度			
投	直			予	算	額		21, 150	,800	円		22, 522	, 500	円	13,051,500 円			
X	接			決	算			20, 130	,000	円 20, 240, 000 円			円	予算額		比較(F		
_	費		_	特定則		)有無		□有	■無			]有	■無				, 471, 0	00 円
入				職員					0.35	人			0.35	人			記事項	
	従事日									人				人			主な増減	
						<b>戦員数</b>			100	人			000	人	● 令和2年度は全地区で 施していたが、令和3年			
	正規職	~~	-			平均人件費		2,626	,	円		2, 499		円	は久喜・菖蒲地区、令和4年度は栗橋・鷲宮地区と			令和4
ス	人件					1人件費 1.17.12 1.15.##		7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円				
	再任用軍   人件					×平均人件費				円		4 002	000	円円			区を見直 こなった	
1	会計年度任用職					3人件費 哉員の人件費	,	3,997,000 円				4, 093	, 000	円	-,-5	- " " "		
	事業費			+ <del>  上   上   上   上   上   上   上   上   上   </del>				22, 756	400	円		22,739	በበበ	円				
-			(12)		<u>ДП.</u>		_				L 和元 ^年			令和2年	度		令和3年	E度
	種類			指		標		名	単位	上段:		· 段: 実績	上段:					段:実績
	\I					NII/				(	0	)	(	0	)	(	0	)
指	活動	臨b	<b>寺酉己</b>	水管洗	诗作	業			回	·	2	,		3	,			
	成果	っした	<b>在自自、</b>	声のち	上小主				件	(	0	)	(	0	)	(	0	)
	风未	小戶	則判刀	里の古	11月				1+		6			6				
										(		)	(		)	(		)
標																		
										(		)	(		)	(		)
	lla l=	L				F 1		<u> </u>	L						- 1 - 11:			
	指標は	こ関	する	特記	事項	水質関連の	か苦	情」は、同一	-の原因	により	発生し	ノた苦情?	をまと	めたもの	りを1件と	として	いる。	

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×				
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性									
	概ね濁り等和3年度か 実施するこ 令和3年 浄作業を関	度に市内全 等の問題はから らは市、費が とで、実施 とないない えを注視し、	少なく、水 2つのブロ 用の削減を 地区見直し 地区で、水	質が保たれ ックで分け 図ることと が初年度とな 道水の濁り	ていること 、洗浄作業 した。 なるため、i 等が発生し	:から、令 (を隔年で 配水管洗 のないか、				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 水道施設認	果長 冨澤	均仁			•					

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 水道管漏水調査事業 540274505 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け **細施策** 2 効率的な水道事業の推進 KPI _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 道路等に埋設されている水道管の漏水調査を実施し、漏水を早期に発見することにより、限りある水資源を有 の目的・成果 効活用するとともに、道路陥没等の事故を未然に防止する。 所管部課 上下水道部水道施設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度
事務事業
実施内容

調査対象の水道施設(実績値35,541戸)に時間積分式漏水探知機を用いて一次調査を実施し、その後漏水が懸念される箇所について、音聴棒を用いて漏水有無判定作業を行う二次調査、漏水箇所を特定する三次調査を実施した。

					令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
	投	直	予	算 額	17, 783	, 524	円	17	, 897	, 880	円		17	, 998, 200	円
		接	決	算 額	14, 696	,000	円	16	, 511	,000	円	予算額	質との	比較(R3-	R2)
	٦ [	費		原の有無	□有	■無		口有		■無				100,320	) 円
	시		正規職員数			0.35	人			0.35	人		特	記事項	
		従事職員			_		人		_		人	4		主な増減理	
	⊐[		会計年度任	用職員数	_		人		_		人	令和3年度は、道道 南安 アンタン			
		正規職員		×平均人件費	2, 626	, 400	400 円		2, 499, 0		,000 円		<mark>─</mark> 直接、漏水探知機を使 [·] ─ <mark>音聴し、道路上の漏水</mark>		
	ᅬ	人件費	2 3 -	平均人件費	7, 504	, 000	円	7	<u>, 140</u>	,000	円	見する	る路面音聴調査を新		新た
		再任用職		数×平均人件費	_		円		_	円		に一部	地域で	で実施する	こと
	$\downarrow$	人件費	2 3	平均人件費	3, 997	, 000	円	4	<u>, 093</u>	,000	円	から、ある。	1似店(	となったも	0) (
	'	会計年度任用職員人		用職員の人件費			円				円	0,00			
L		事業費計	†(直接費+人	、件費)	17, 322	, 400	円			,000	円	ļ			
		種類	指	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
							上段:		:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	11-	活動 多	発見された漏力	K件数		件	(	30	)	(	30	)		100	)
	指						,	134	,	,	184		,	12 000	$\overline{}$
		成果 1	か月当たりの	損失を免れた水気	三 里	m³	11	788	)	(	788	10		12,000	)
	H						14	2,396.50	) <u> </u>	(	8,357.	10	-	02 E	$\overline{}$
	標	効率 有	有収率向上			%	(	93.3	)	(	93. 4 91. 4			93.5	)
	ग्रि						(	92.2	\	(	91.4	١	(		$\overline{}$
									,	(		,			,
		指標に「	関する特記事項	百											_
L				~											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 引画とのう失肥人は 眉の儿失を囚る	果の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×				
日日中来の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く</u> <u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性										
当該事業は、地中で発生する漏水を早期に発見し、修繕を実施することで、道路陥没などの事故の未然防止や漏水量の減少による水資源の有効活用が図れている。 このことから、本事業は極めて有効であり、今後も継続して実施していくべきと考える。	設している 至らないと ではなく、 の漏水を針 ととしたが	る水道管が( ころである 道路上に 発見する路	主宅に繋がる。令和3年 直接、漏水 直音聴調査 間査結果を	っていない E度は、量ス 探知機を使 を新たにー	ているが、 適所では漏 水器からの うて音聴し 部地域で実 音地域を拡	計水発見に 調査だけ 、道路上 施するこ				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 水道施設認	果長 冨澤	均仁								

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 配水管整備事業 事務事業名 540174506 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 戦略における位置付け 施策 における位置 細施策 1 水道施設の計画的整備 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 管路の老朽状況や耐震性を勘案しながら、計画的な配水管の更新を行うことにより、安全・安心な水道水の安 の目的・成果 定供給が図られる。 所管部課 上下水道部水道施設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	• <del>事</del> 份	<del>] ] 末</del>	の実施網												
1	和2年 事務事第 実施内容	É	経年管布	段替工事実施	布	設替延	長	4, 792m							
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算 額	389, 686	,600	円	420,	, 877	,000	円		430	, 387, 00	)0 円
3×	接		決	算 額	388, 822	,600	円	332,	, 678	,500	円	予算額	頁との	比較(R3	8-R2)
	費		特定財源	原の有無	□有	■無		口有	Ī	■無	ŧ		9	, 510, 00	)0 円
入		正	規職員数			2.80	人			2.80	人		特	記事項	
	従事日	損 再	任用職員	数	_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
$\Box$		会	計年度任用	用職員数	_		人		_		人		河川	野通川に	かかる
	正規職	溳 正	規職員数	×平均人件費	21, 011	, 200	円	19,	, 992	,000	円			管橋の架↓ 予定して≀	
l _z	人件	費	参考:平	^工 均人件費	7, 504	,000	円	7,	, 140	,000	円	か。	. ہے ت	JAEO C	۵/ر
,	再任用軍	戦員 再	任用職員	数×平均人件費	_		円		_		円				
L	人件	費	参考:平	均人件費	3, 997	,000	円	4,	, 093	,000	円				
	会計年度任用職	景人件費 会	計年度任用	用職員の人件費			円		_		円				
	事業費	計(直	接費+人	件費)	409, 833	,800	円	352,	, 670	,500	円				
	種類		指	標	名	単位		和元年度			令和2年			令和3年	
	生灰		10	1235	Н	十世	上段:	目標 下段	:実績	上段:		设:実績	上段		设:実績
	活動	石組士	2メント管	布設替		m	(	50	)	(	230	)	(	230	)
指	70.20	H 4413 V						50			0				
	活動	経年管	官布設替			m		5, 267	)	(	5,095	)	(	3, 780	)
	7023	72 1 1	1.1-12.11					5,634	_		4, 792				
	成果	石綿t	2メント管	布設替進捗率		%	(	98. 77	)	(	100	)	(	100	)
標	.,,,,,							98.77			98.77				
	成果	経年管	會布設替整	備延長		m		63, 415	)	(	68, 877			72, 35	4 )
								63, 782			68, 574	ļ			_
	指標に	-関す	る特記事項	₹											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引回とのう失肥久は 信の元夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の定め方を充邑す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
			入の方向性			
本事業は、安全・安心な水道水を安定的に供給していくために重要な役割を果たしている。事業実施については、漏水や出水不良等の状況を勘案しながら、老朽化している管路の更新を計画的に実施できている。また、関係機関等と調整し、同時施工によるコスト縮減を図りながら事業を推進できている。	化した多くとから、ス	k需要や経済	更新が必要 斉性を考慮	であり、多 するなどコ	額の費用を	要するこ
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 水道施設	課長 冨澤	均仁				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 合併浄化槽普及促進補助事業 事務事業名 540714601 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 7 合併処理浄化槽の普及と管理 細施策 KP I - |-付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 公共下水道区域及び農業集落排水処理区域以外において、合併処理浄化槽の普及促進を図り、公共用水域の水 質の向上を目的とする。既存の単独処理浄化槽や汲み取り便槽等からの転換設置により、公共用水域の水質保全 事務事業本来 の目的・成果 が図られる。 所管部課 上下水道部下水道施設課 関係部課

2	. 事	務事	業の実施結	果											
	令和2年 事務事 実施内	業	既存の単独 を交付した。	処理浄化槽や汲	み取り便槽等	から合	併処理	争化槽へ転	換し	,た76基	基の浄化	だ槽の設定	置者に	三対し、補具	助金
					令和	元年度		수	和2	2年度			令和	13年度	
<b>+</b> л	直	<u> </u>	予	算 額	54, 516	,000	円	54,	534	, 000	円		57	, 126, 000	円
投	接		決	算 額	52, 400	,000	円	51, '	796	,000	円	予算額	頁との	比較 (R3-	R2)
	費	Ì	特定財源	の有無	■ 有	□無		■有		□無			2	, 592, 000	) 円
入	\ <u> </u>		正規職員数			0.70	人			0.70	人		特	記事項	
	従事	職員	再任用職員数				人	-	_		人	(予算	額の	主な増減理	曲)
	l		会計年度任用	職員数			人	-	_		人				
	正規	職員	正規職員数×	平均人件費	5, 252		円			,000	円				
ス	人件	費	参考:平		7,504	, 000	円	7,	140	,000	円				
	再任用			(×平均人件費	_		円	-			円	_			
	人件	費	参考:平		3, 997	, 000	円	4,	093	,000	円	_			
l'	会計年度任用			職員の人件費	_		円	-	_	200	円	4			
	事業費	<b>貴計</b>	(直接費+人作	F費)	57, 652	, 800	円		794	, 000	円				
	種類	i	指	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
							上段:	目標 下段:	<b>実績</b>	上段:		段:実績、	上段:		:実績
11-	活動	補則	<b>小基数</b>			基	(	83 77	)	(	83	)		83	)
指	<u> </u>	+					(		_	(	76	\	(	E7 0	$\overline{}$
	成果	: 浄(	と槽設置基数に な	おける合併浄化槽の	の設置割合	%		48. 0 54. 8	)	(	55.0 56.1	)		57.0	)
	-	+					(	34.0	)	(	30. 1	)	(		$\overline{}$
楊	<u> </u>									(		,	$\overline{}$		
123	<b>`</b>	+					(		)	(		)	(		)
							<u> </u>			`		,	Ì		
	指標	に関	する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのう天旭人は 信の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃ □ □ あらゆる角度から東業全体を目直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す											
補助実績は、目標を下回る状況ではあったが、公共下水道区域及び農業集落排水処理区域外において、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換が図られた。このことにより、公共用水域の水質保全が図られ、快適で住みよい環境が構築された。	に基づきる 象の単独処 併処理浄化 業案内を引	士会形成推議 会後も継続り 処理浄化槽等 と槽への転払 引き続き掲載 合併処理浄イ	していく。 等があるた 奐を図るべ 載し、補助	市内にはま め、浄化槽 く、広報紙 事業の趣旨	だ多くの朝 処理促進区 やホームへ を市民に居	機補助対 域内の合 ページに事 別知し、理					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 下水道施語	段課長 神山	﨑 博行									

1. 事務事	業概要			対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	浄化槽管理指導事業		事務事	業整理	番号	540714602
(() A J= (3) - I =	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	-		•
総合振興計画における位置	施策   4  上下水道の整備	戦略におけ	施策	-		
付け	細施策 7  合併処理浄化槽の普及と管理	る位置付け	KPI	1		
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への排	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来の目的・成果	浄化槽の適正な維持管理の指導・啓発を行うことにより 保全が図られる。	ノ、浄化槽(	の機能が正	しく発	揮され	、公共用水域の水質
所管部課	上下水道部下水道施設課 関係部課					

2	. 事務	事	業の実施	結果													
4	令和2年 事務事等 実施内容	業	者に、浄化	化槽法は	ニ基づく、係	,ていただくた R守点検・清掃 掛管理の案内	・法定	検査受	倹の実施を	定検	き査の受ける タ	受検を確認 ブイレク	忍できた トメール	なかっ ルを発	た浄化 送した	槽管 。ま	理
						令和元	元年度		Î	3和2	2年度			令和	3年度		
投	直		予	算	額	1, 535	,000	円		802	, 000	円			908,0	000	円
۷.	接		決	算	額	1,008	, 171	円		620	, 418	円	予算額	真とのは	北較(F	R3-R2	<u>'</u> )
١,	費		特定則	挪の有	無	□有	■無		□有		■無				106,0	000	円
入	`		正規職員	数			0.50	人			0.50	人		特詞	書項		
	従事履	翼員	再任用職員	員数		_		人	_		人		(予算	(予算額の主な増減)		<b>或理由</b>	a)
	1	会計年度任用職員数				_		人	— 人								
	正規職		正規職員	数×平均	月人件費	3, 752		円			,000	円					
ス	人件			平均人		7,504	,000	円	7,	140	,000	円					
					均人件費	_		円				円					
	人件	費		平均人		3, 997	,000	円	4,	093	,000	円					
	会計年度任用職	<b>美</b> 員人件費			の人件費	_	4.54	円		_	110	円					
	事業費	計	(直接費+	人件費	1	4, 760	, 171	円		190	, 418	円	_		1		
	種類		指		標	名	単位		和元年度			和2年	-		令和3章		
								上段:目		実績、	上段:	目標 下段	: 実績	上段:	目標「		美績、
11-	活動	活動 浄化槽法定検査の受検勧奨通		検勧奨通知	数	基		13,000 )		(	9,000	)	/	7, 00	U		
指	<b>-</b>						/	12, 105	\	/	7,622	\	-	1 Γ /	=		
	成果	浄化	化槽法定検	査の実	施率		%	(	13. 0 27. 7	)	(	14.0	)		15.0	)	<u>)                                    </u>
								-	41.1	\	(	36.1	`	1		_	_
樗	5						(		,	(							
173	`—						,		`	/			/			$\overline{}$	

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る 	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本代の世の月と元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でのプラック内反がプラテモ体で元直す	ださい。			入の方向性		
令和元年度から実施している、ダイレクトメールによる浄化 槽法定検査受検勧奨文書の発送により、浄化槽の適正な維持管 理の周知が図られ、浄化槽法に基づく法定検査の実施率が目標 値を大きく超えて向上した。	い方がまだ 連携し、済 を図り、さ	ご多くいる( ) )化槽法に	る義務があった。 のが現状では 基づく適正 を検査の実だ。	ある。今後 な浄化槽の	も、県や検 維持管理事	き 査機関と 誘の周知
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 下水道施記	段課長 神山	商 博行				

<u>1.事務事</u>	業概要			対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	私道内共同排水設備設置事業		事務事	業整理	番号	540384606
(() A I= (III - I - I	大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち	第2期総合	基本目標	-		-
総合振興計画における位置	施策 4 上下水道の整備	戦略におけ	施策	-		
付け	<mark>細施策</mark> 3 下水道の整備	る位置付け	KPI	1		
1577	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
	公共下水道供用開始区域内において、私道内に2戸以_に対し工事費の一部を補助する。水洗化が促進されるこ図られる。	この下水排隙 とにより、	除を目的に共生活環境の	キ同排力 改善や	K設備を 公共用	設置しようとする方 水域の水質の保全が
所管部課	上下水道部下水道施設課 <mark>関係部課</mark>					

2	. 事務	事業	の実施	結果												
4	和2年 事務事業 実施内容	É .	補助対約 対象私道(	象私道内 内に共同	コに共同排か 団排水設備を	く設備を設置す を設置した方に	ること 対し補	ができ [。] 助金を:	る方に対 交付した	し、事 。	業の記	说明及び	案内を	配布し	,た。6件	の補助
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	14, 345	,000	円	13	3, 688	,000	円		6	, 804, 00	)0 円
1X	接			算	額	2, 844	, 000	円	6	5, 029	,000	円	予算額		比較(R	
١,	費			排の有	無	□有	■無				■無				, 884, 00	)0 円
入			E規職員数				0.20	人			0.20	人			記事項	
	従事日		<b>F任用職</b>			_		人		_		人			主な増減	
	1 TO 000															
	正規職	~~				1,500		円				円	/_0/0			
ス	人件			平均人		7, 504	, 000	円	'7	7, 140	,000	円				
					均人件費	_		円		_	000	円				
	人件			平均人		3, 997	,000	円		1, 093	,000	円				
	会計年度任用職員				の人件費	4 244	000	円	-	 7_4FD	000	円				
	事業費	(国) (国	直接費+	人計算)		4, 344	, 800	円	和元年度	7,457		円 h和2年	r#F		令和3年	r#F
	種類		指		標	名	単位	上段:							ア州3年: 目標 下	
								<u></u>	3	・大順		3	マ・天順		3	ス・大順
指	活動	補助	件数				件		3		(	6			<u> </u>	
10							<u> </u>	(	94.4	)	(	94.6	)	(	94.8	)
	成果	水洗 [/] 	化率				%		93.7	,	`	93. 2		Ì	<u> </u>	
								(		)	(		)	(		)
標																
								(		)	(		)	(		)
	指標に	こ関す	る特記事	項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天肥又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中来の庭の力を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ C のりゆる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
公共下水道供用開始区域内において、私道を介して下水道に接続する市民には、私道内に自費で排水設備を設置しなければ下水道を利用することができない。このようなことから、私道内の共同排水設備工事費用を補助することにより、市民の工事費用の軽減が図られ、各家屋の水洗化が促進された。	は、工事費 る。供用開	貴用の負担輔	軽減となる 人内が補助対	ことから必 対象期間でで	道に接続す 要不可欠な あり、継続	(事業であ
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 下水道施設	公課長 神山	﨑 博行		•		

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 下水道管布設事業 540384608 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 施策 における位置 細施策 3 下水道の整備 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 下水道事業計画区域の早期整備を推進し、快適な生活環境を確保するとともに、下水道整備率の向上及び公共 の目的・成果用水域の水質保全を図る。 所管部課 上下水道部下水道施設課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	2. 事務事業の実施結果													
	事務事業	下水道事業計画区域内の未整備区域(久喜地区:1箇所 下清久地内、菖蒲地区:2箇所 菖蒲町菖蒲・三箇地 内、栗橋地区:2箇所 栗橋北1丁目地内、鷲宮地区:2箇所 西大輪3・5丁目地内)に下水道管を布設した。												
		·	令和为	元年度		令和2	2年度		令和3年度					
投	直	予 算 額	503, 487	,000	円	469, 917	,000 円		732, 350, 000	円				
1X	接	The state of the s	407, 130	, 110	円	399, 660	,800 円	予算額との比較 (R3-R2)						
١.,	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■ 有	□無		262, 433, 000	円				
入		正規職員数     2.80 人												
	従事日	<b>酸</b> 員 再任用職員数			人	1	人		額の主な増減理的					
		会計年度任用職員数			人	1	人	下水	道管布設工事延長	長が				
	正規暗		21, 011	, 200	円	19, 992	, 000 <del>円</del>	一つ和とら カルカ	F度予算より1.4倍 ことにより、増額	音増   箔と				
ス	人件	20.12001B	7,504			7, 140		なった		_				
	再任用單		_		円	_	円							
	人件	2 J - 1 - 17 (11 A	3, 997	,000	円	4, 093								
	会計年度任用職	会計年度任用職員の人件費	_	円		_	円							
	事業費	計(直接費+人件費)	428, 141	1,310 円		419,652								
	種類	指標	名	単位		和元年度	令和2年		令和3年度					
					上段: 目			设:実績	上段:目標 下段:	実績				
	活動	整備面積		ha	(	6.35 )	( 6.88	)	( 11.44	)				
指	<u> </u>				( )	6. 21	5. 22	10 \	( 2 (10 20	$\overline{}$				
	活動	管布設延長		m		,564.30 )	( 1,895.1		( 2,679.30					
					<u></u>	, 472. 60 379 )	1, 750. 2	)	( 441	$\overline{}$				
標	活動	処理人口		人	(	479	300	,	( 441					
123				%	(	85.12	( 85.43	)	( 86.30	)				
	活動	面積整備率	ī積整備率		`	85.11	85.34							
	+15+⊞1.	こ関する特記事項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのう天旭人は 信の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本代にの力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
日でのプログラクスのプログラン	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全を図るためには、下水道事業計画区域内の整備面積を拡大させるため幹線整備は、下水道事業計画区域内における下水道の布設事業により、下水道整備が必要である。  下水道整備が必要である。  下水道事業計画区域内の整備面積を拡大させるため幹線整備を進め、公共下水道処理区域の拡充を図り、生活環境の確保と公共用水域の水質保全に努める。令和3年度は、栗橋伊坂地区の整備面積拡大に必要不可欠な幹線である、伊坂幹線の整備を進める。他の地区については、面整備を進める。											
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 下水道施設課長 神崎 博行											

<u>1.事務事</u>	業概要				対象	令和	02年度実施事業				
事務事業名	水洗便所改造資金貸付金	金事業(下水道)		事務事	業整理	番号	540384613				
(() A I= (III - I - I		れた住みよい快適なま	きち 第2期総合	基本目標			-				
総合振興計画における位置	施策 4 上下水道の整備		戦略におけ								
付け	細施策 3 下水道の整備		る位置付け	KPI	_						
1577	後期基本計画成果指標との関	<mark>関連</mark> ■ 該当 □ 非該	省 <mark>総合振興</mark>		画への挑	3載 ■	該当 🗆 非該当				
事務事業本来 の目的・成果											
所管部課	上下水道部下水道施設課	関係部課			•						

2	2. 事務事業の実施結果															
=	令和2年度 事務事業 実施内容  水洗便所改造資金貸付金制度について、広報紙への掲載や未接続世帯へ制度の案内文書を発送することにより、新規の改造資金の貸付を4件実施した。貸付金は、毎月1万円の定額償還によって回収した。															
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和:	3年度	
投	直		予	算	額	2,000	,000	円	2,000,000 円			円	2,000,000			) 円
1X	接			算	額	1, 390	円	1	,410	,000	円	予算額	真との比	比較(R3-	·R2)	
١,	費			擦の有	#	□有	■無				■無					0 円
入			正規職員数	• •			0.10	人			0.10	人			事項	
	従事的	損	再任用職員					人		_		人	(予算	額の主	な増減理	土田)
			会計年度任			_	100	人		_	200	人				
		正規職員 正規職員数×平均人件費 人件費 参考:平均人件費					,400	円	714,000 円							
ス						7, 504	,000	円	'/	, 140	,000	円				
	再任用職員		用職員 件費 参考:平均人件費			2 000	000	円			000	円				
1						3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
	事業費		会計年度任 (直接費+)		の人件質	2 140	400	円円	2	12/	000	円円				
	尹未貝	.ēl	(但汝貝丁)	八十貝)		2, 140	, 400		和元年度	, 124		和2年	r <del>ir</del>	_	和3年	ĖF.
	種類		指		標	名	単位	上段:				目標下戶				
		Н						<u></u>	3	)	<u></u>	4	)	(	4	)
指	活動	貸付	寸件数				件		5	,		4	,			
,,,	N	Ι.,					<u> </u>	(	94.4	)	(	94.6	)	(	94.8	)
	成果	水流	先化率				%	·	93.7		·	93. 2	·			
								(		)	(		)	(		)
標																
								(		)	(		)	(		)
	指標に	関	する特記事	項	<u>-</u>											

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容										
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのう天旭大は 層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×					
日日日本代の年の月で元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
┃	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充					
1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
事業の活動実績は、4件という状況であったが、水洗便所改造工事(排水設備工事)の費用は高額なことから、下水道の利用件数を増やすためには、当該事業は市民の一時的な負担を軽減させる有効な事業である。  「市民が活用しにくいということが課題である。しかし、水洗便所改造工事(排水設備工事)に係る費用は高額であることから、市民の一時的な経済的負担を軽減させることのできる有効な事業である。また、水洗化率の向上にも必要な事業であることから、広報紙掲載や戸別訪問により、事業の積極的な活用を引き続き未接続世帯に周知していく。											
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 下水道施設課長 神﨑 博行											

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名排水設備指導事業 540384614 事務事業整理番号 大綱 5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 4 上下水道の整備 施策 における位置 細施策 3 下水道の整備 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 口 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 ■ 非該当 事務事業本来 排水設備設置に係る確認・調査・指導及び特定事業場等からの排出水の監視を行うことによって、下水道管渠 の目的・成果及び処理場へ流入する排出水の水質が適正に保たれる。 所管部課 上下水道部下水道施設課 関係部課

2	2. 事務事業の実施結果															
1	令和2年度 事務事業 実施内容 排水設備設置の確認申請を受け、現地検査を実施した。特定事業場等から下水道管渠へ排出される排出水の水 質調査を業務委託にて実施した。															
						令和:	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直		予	算	額	9, 228	3,000 円		9,900,000 円				9,9	00,00	0 円	
汉	接		決	算	額	8,503	3,000	円		8,613	,000	円	予算額	質との比	較(R3	-R2)
	費		特定財	源の有	無	□有	■無			有	■無					0 円
入	工人、「「」」															
	従事日	員	再任用職員	員数		ı		人		_		人	(予算	類の主	な増減	浬由)
	会計年度任用職員数					1		人		_		人				
	正規暗		正規職員数			8, 254		円	7,854,000 円							
ス	人件			平均人		7,504	l, 000	円		7, 140	,000	円				
	再任用職員					_		円				円				
	人件			平均人		3, 997	7, 000	円		4, 093	,000	円				
ľ	会計年度任用職		会計年度任			- 47 855		円		<u> </u>	000	円				
	事業費	計	(直接費+/	人件費)		16, 757	400	円		6, 467		円		l	<u> </u>	
	種類		指		標	名	単位		和元年			6和2年			和3年	
								上段:		段:実績、	上段:		段:実績	上段:巨	標 下段	と 実績
指	活動	特別	定事業場等	の採水値	箇所数		件	(	39 39	)	(	39 39	)		39	)
百		-						(	100	1	(	100	)	1	100	$\overline{}$
	成果	排出	出水の水質	基準適位	合率		%		93.8	,	(	93.9			100	
		$\vdash$						(	75.0	)	(	)J. )	)	(		$\overline{}$
標										,	`			<u> </u>		
								(		)	(		)	(		)
	指標は	こ関	する特記事	項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 司画とのグ夫派人は 層の九夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
日日中来の進め力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
	塗りつぶしてく								
下水道法及び埼玉県流域下水道接続要綱に基づく特定事業場からの排出水を調査・監視することは、下水道管渠や処理場などの下水道施設の保全に有効であり、必要不可欠である。また、事業者に、下水道施設の使用に係る責務を継続して認識させていくことが必要である。	知する必要	使用者に対し 要がある。そ ら、事業場等	今後、下水	道管渠等を	継続して側	囲してい			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 下水道施	公課長 神	﨑 博行							

<u>1.事務事</u>	業概要						対象			令和2年度実施事業			業	
事務事業名	議会広	報	発行事業					事務事業整理番号				000	01470	04
(A) A I = (B) = I = 1	ノヘ州町	-	-				第2期総合	基本目標	-					
総合振興計画における位置	<mark>  施策  </mark> -  -						戦略におけ		_  -					
にありる仏直 付け	細施策	-	_				る位置付け	KPI						
, 5	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当					総合振興計	画実施計画	画への	)掲載 [	コ 該	当 I	■ 非該	绉	
事務事業本来の目的・成果		年4回の定例会及び臨時会の審議結果や議会の活動状況を市民に周知する。												
所管部課	議会事務	易局	議会総務課	関係部課										

## 2. 事務事業の実施結果

	2. 事務事 ^{業の} 実施結果													
	事務事業	広報委員会の運営 レイアウト作成、一般質問原稿の依頼、原稿の作成・確認・校正 事務事業 実施内容  「中国業者への指示、調整 全戸配布  「中国業者の作成・確認・校正 日本語・「中国業者の作成・確認・校正 日本語・「中国業者の作成・確認・検証・ 日本語・「中国業者の作成・確認・検証・ 日本語・「中国業者の作成・確認・検証・ 日本語・「中国業者の作成・体認・体証・ 日本語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国業者の作成・体語・「中国、中国、中国、中国、中国、中国、中国、中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中												
			令和	元年度		令和:	2年度		令和3年度					
投	直	予 算 額	5, 146	, 000	円	6, 767, 000 円			5, 569, 000					
1X	接	決 算 額	5, 136	, 699	<del>円</del> 6,309,738 <del>円</del>			予算	額との	か比較(R3-	R2)			
	費	特定財源の有無	□有	■無		□有	■無		-1	1, 198, 000	円			
入		正規職員数		0.26	人		0.26 人		特	記事項				
	従事	再任用職員数	_		人	_	人	(予算	算額の	主な増減理	!由)			
		会計年度任用職員数	_		人	_	人	- 令和	口2年月	度は、新型コ	] [			
	正規聯	_{戦員} 正規職員数×平均人件費	1, 951	, 040	円	1,856	,400 円			感染症の感 め、発行日				
l ス	人件	費 参考:平均人件費	7,504	, 000	円	7, 140	,000 円	急事態	宣言	発出中及び	解除			
	再任用		_		円	_	円	直後0	直後のものについて 布をポスティング業					
_	人件	費 参考:平均人件費	3, 997	, 000	円	4,093	,000 円	—— 作を7 託した			へ姿			
1	会計年度任用職	ムロー及は川帆兵のハー兵	_		円	_	円	BLO7	_/_0/	0				
	事業費	計(直接費+人件費)	7,087	, 739	円	8, 166								
	種類	   指 標	名	単位		和元年度		2年度		令和3年度	_			
	1主人只	10 10	.н	十四	上段:	目標 下段:実績			上段		:実績			
	活動	」 広報委員会			(	28 )		28 )	(	28	)			
指	1					29		27			_			
	活動	議会だより (PDF版) のホーム^	ページへの掲		(	4 )	(	4 )	(	4	)			
		載			, ,	4	( 24	4		240,000				
1##	成果			部		246,000 )		5, 400 )	C	248,000				
標					,	246, 400		5, 200		22.4	$\overline{}$			
	効率	一部あたりコスト 直接費/発	行部数	円	(	23.9 )		4.3 )		22.4				
	北上海(	一月ナス性記事で				20.8		4. 7			_			
	拍標I	こ関する特記事項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容											
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×						
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×						
ロ C ちらゆる免疫から東学を休む目さす		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充						
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す   向性及び事業の方向性を赤く   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/3   □ 1/												
議会だよりは、定例会の審議結果や議会の動き、状況等を広く市民に周知するための有効な手段である。 「見やすく、分かりやすい議会だよりの作成は、議会改革の第一歩」との考えの下、全議員が議会だよりの改革に取り組み、全ページカラー化や、短文での文章構成、身近な話題の特集記事等、親しみやすく分かりやすい紙面を実現している。	議会だよりは、定例会の審議結果や議会の動き、状況等を広く市民に周知するための有効な手段である。 「見やすく、分かりやすい議会だよりの作成は、議会改革の第一歩」との考えの下、全議員が議会だよりの改革に取り組み、全ページカラー化や、短文での文章構成、身近な話題の特											
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 議会総務認	果長 大熊	和幸										

1. 事務事	業概要				対象	令和	12年度実施事業					
事務事業名	議会会議録調製事業			事務事	業整理	番号	000014705					
40 A IE 67 - I -	大綱		第2期総合	基本目標	-  -							
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark>		戦略におけ	施策	-  -							
における位直 付け	<mark>細施策</mark> -  -		る位置付け	KPI	_  -							
, , , ,	後期基本計画成果指標との関連 □	総合振興計	<mark>関計画実施計画への掲載</mark> □ 該当 ■ 非該									
事務事業本来 の目的・成果												
所管部課	議会事務局議会総務課 関係語	『課										

## 2. 事務事業の実施結果

【本会議録録及び委員会会議録】会議録を15部印刷製本し、誰もが会議録を閲覧できるよう公文書館、各総合支所、図書館等に配架するとともに、会議録検索システムにより、インターネット上でも会議録を公開し、情報提供に努めた。また、永年保存用の会議録も作成した。 【所管事務調査等】委員会の所管事務調査や各種協議のための会議について、会議録を作成し、会議内容の記録

録・保存に努めた。

							令和无	元年度			令和2	2年度	Ę			令和	13年度	
±	_殳 [	直		予	算	額	15, 370	,000	円	12	, 838	,000	円			12	, 927, 000	) 円
J	×	接		決	算	額	15,009	, 377	円	12	, 284	, 751	円	1.	予算額	真との	比較(R3-	R2)
١.	. L	費		特定財	源の有	無	□有	■無		口有	Ī	■無	Ħ,				89,000	) 円
1	시		正規	見職員数	汝			0.35	人			0.37	人			特	記事項	
		従事職	員 再	壬用職員	員数				人		_		人		(予算	額の	主な増減理	里由)
-	ַו⊏		会	十年度任	壬用職	員数			人		_		人					
		正規職		見職員数	数×平	均人件費	2,626	, 400	円	2	, 641	,800	円					
-	٦.	人件費	1	参考:	平均人	件費	7,504	,000	円	7	<u>, 140</u>	<u>, 000</u>	円					
		再任用職					_		円		_		円					
		人件費	参考:平均人件費				3, 997	,000	円	4	4, 093, 000 円							
		会計年度任用職員人	会計年度任用職員の人件費						円		_		円					
		事業費記	† (直	接費+,	人件費	)	17, 635	<u>, 777</u>	円	14	<u>, 926</u>	<u>, 551</u>	円					
		種類		指		標	名	単位		和元年度			令和2				令和3年	麦
	L	12//		111		100	н	712	上段:		:実績	上段			:実績	上段:		:実績
		活動	本会議	、委員	会会諱	録の年間総	ページ数	頁	(	69,000	)	(	63, (		)	(	54,000	)
ŧ	旨	711243	1 22			1 1-3410				79, 236			58,					_
		活動	本会議	の会議	録作成	無数		l⊞	(	18	)	(	15		)		13	)
	L	7,4,-13	1 — 13		23.1177	· 111327				18			1!					_
١.	_	活動	 動 会議録検索システムアクセス作				数	件	(	16,000	)	(	51, (		)	(	42,000	)
木	票									15, 462			33, 7					_
		効率 本会議、委員会会議録の1ペート (事業費計/年間総ページ数					があたりコス	円	(	216.6	)	(	211		)	(	245.4	)
										222.6		L	255					_
L		指標に	関する	特記事	镇 会	議録検索シス	ステムアクセス作	牛数は、	令和元	年度に行っ	たシ	ステム	ム改修に	こより	、集計	†方法	が変更され	た。

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
□ B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充			
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性				
本会議の会議録は、地方自治法によりその作成が義務付けられている。また、会議を傍聴することができなかった市民等にとっては、その内容を知ることができる重要な資料であるため、必要な部数の作成・配架が求められており、これらを適正に実施することができた。また、会議録は久喜市の歴史を詳細に記した貴重な資料となりえるため、公文書館に永年保存用の会議録を引き継ぐことで、後世までの管理・保存に努めた。	また、ICT によって変化 も作成部数を いる。 今後も適ご	会議の内容を記技術の発展等 技術の発展等とするため、で を2部減らして Eな部数の作用 をる会議録検算	により、紙へこれまでも随 13部作成とす なに努めてい	ヾースでの会詞 時精査してお 「るなど、真」 くとともに、	義録の必要性   り、令和3年  こ必要な部数  インターネッ	まその時々 度について を作成して ト上で会議			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 議会総務認	果長 大熊	和幸							

<u>1. 事務事</u>	業概要				対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	議場映像インターネット配信事業			事務事	業整理	番号	000014707
W A 15 (5) - 1 - 1	大綱 -  -		第2期総合	基本目標	1		-
総合振興計画における位置	施策		戦略におけ	施策	-		
総合振興計画における位置付け	<mark>細施策</mark> -  -		る位置付け	KPI	1		
, 6 11	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当	■ 非該当	総合振興計	十画実施計画	画への	掲載 🗆	該当 ■ 非該当
	本会議の映像をインターネット配信し、	「開かれた議会	会」の実現	を推進する	0	•	
所管部課	議会事務局議会総務課 関係部課						

	<u>2.</u>	事務	事業の実施結果	果											
	事	和2年度 事務事業 実施内容	を 信した。 また、スマ	ット環境のある ートフォンやタ ついて、令和3:	⁷ ブレットから	も本会	議の映作	象が見られ	れるよ	う配信	した。	(定例:	会4回〕	)	画配
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
±	设	直	予 第	算 額	3, 322	,000	円	2,	, 940	,000	円		2	,843,000	円
J.	^	接	.,,,	算 額	3, 319	,924	円	2,	, 938	, 760	円	予算額	真との	比較(R3-	
١.	, [	費	特定財源の	の有無	□有	■無		口有		■無				-97,000	円
1	入		正規職員数			0.31	人			0.31	人		特	記事項	
		従事職員					人		_		人			主な増減理	_, ,
-	וַר		会計年度任用		_		人		_		人			においては しているUP	
		正規職員			2, 326	_	円		, 213,	,				が消耗した	
-	ス	人件費	99.12		7, 504	,000	円	7,	, 140 _.	,000	円	により	<i>、</i> バ	ッテリーを	交換
			_員 再任用職員数				円		_		円	するた め。	めの質	費用が生じ	たた
П	,	人件費	2 3 - 1 -		3, 997	,000	円	4,	, 093	,000	円	٥٥٥			
		会計年度任用職員人	四十尺17/13			4 / 4	円		_	110	円				
_	4	事業費計	十(直接費+人件	費)	5, 646	, 164	円			, 160	円			^ <del>-</del> <del></del>	_
		種類	指	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	-
	ŀ						上段:		:実績、	上段:		<b>设:実績</b>	上段:	目標 下段	:実績
l.	ь.	活動~	インターネット中	継実施日		日	(	29 30	)	(	29 30	)		29	)
ď	山		/ S / S - L - L - L - L - L	-			(	100	\	/	100	\	1	100	$\overline{}$
			成果 インターネット中継実施率(ク 中継実施日/本会議開催日数)		ンターネット	%	(	100	)	(	100	)		100	
			見見を小米ケ (ニノブウダルスグタュア				(	19, 920		(	20, 840	) )	(	22,580	$\overline{}$
<b>k</b>	票		閲見什致(フイッ 記信の再生ボタン		の合計)	件		20, 716			20, 840 23, 491			22, 300	
1	٠,		13 III 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7 117		(	20, 710	)	(	<i>L</i> J, <del>T</del> J i	)	(		$\overline{}$
							'			(		,			
	ŀ	指標に	関する特記事項	令和2年度におい	ハては、新型コ[	L コナウイ	ルス感	<b>染症の影響</b>	により	ノ、閲覧	数が増加	ロしてい	るもの	と考えられ	る。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の儿子を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ ののかの円皮がの事業主体を見直り	塗りつぶしてく		入の方向性			
本会議の映像をインターネット配信することで、議場で傍聴ができない方がライブ中継を視聴し、リアルタイムで本会議の内容を知ることができるようになった。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴者に対しインターネット中継の視聴を推奨した。また、録画配信によりいつでも会議を視聴することができることから、議会の公開度が高まっている。	容を知って 進めていく また、新 ターネット 現在イン	てもらうた。 、。 所型コロナワト中継の利用 フターネット いて、議覧	か、インタ ウイルス感 用を推奨し ト中継は本	ーネット中 染症対策の ていく。 会議のみ行	くの方に市 継について 観点からも ・ ・ ・ ・ でいるか 生委員会で	での周知を が、イン が、委員会
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 議会総務語	果長 大熊	和幸	•	•		

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 小学校プール改修事業 421115008 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 11 学校施設・設備の整備・充実 KP I _ |_ 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 市内小学校のプールは概ね30年以上経過しており、経年劣化によりプール槽のひび割れや塗装の剥離、循環設備の故障等施設全体が老朽化している。これらのプールのうち大規模改修の未実施や前回の改修から20年以上経過しているプールについて、計画的に改修又は改築を実施し、学校教育環境の向上を図る。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 教育部教育総務課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	· 十八八	) <del></del>	リ天心行	<u> </u>											
1	和2年月 事務事業 実施内容	ŧ ;	5毛小学校 5久小学校	のプールについ のプールについ	\て、改修工事 \て、改修工事	の設計 及び施	、工事》 工監理	及び旅 を行っ	近工監理を た。【事	:行っ? 野故繰;	た。 越し分】				
					令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予 :	算 額	107, 876	, 200	円	1	01,892	,000	円			(	円
汉	接		決	算 額	73, 935	, 200	円	,	101,031	,000	円	予算客	頁とのは	比較(R3−	R2)
	費		特定財源の	の有無	□有	■無			] 有	■無	ŧ		-101,	892,000	円
入		正規	見職員数			0.32	人			0.34	人		特記	7事項	
	従事閥	<b>損</b> 再倍	壬用職員数		_		人		_		人	(予算	額の主	Eな増減理	曲)
$\Box$		会訓	†年度任用	職員数	_		人			0.01	人	令和	3年度	は、当初 ⁻	<b>予算</b>
	正規職	_員 正規	見職員数×	平均人件費	2, 401	, 280	円		2, 427	,600	円	に事業 額とな		いったため	、減
ス	人件	費	参考:平均		7,504	,000	円		7, 140	,000	円	はいる	ار ه		
	再任用單	職員 再信	壬用職員数	×平均人件費	_		円		_		円				
ı	人件	費	参考:平均	匀人件費	3, 997, 000 円 4, 093, 000 円										
1	会計年度任用職員	会計	†年度任用	職員の人件費	_		円		5	, 837	円				
	事業費	計(直	接費+人件	-費)	76, 336	, 480	円	1	103, 464	, 437	円				
	種類		指	標	名	単位		和元	年度	٧	令和2年	度	4	令和3年度	Ę
	作主大只		18	小水	11	丰世	上段:目	目標 -	下段:実績	上段:	目標下	段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	宝施設	計済み箇所	<b>斤迷</b> ケ		箇所	(	1	)	(	1	)	(	1	)
指	/[] 3/]			/19/		四//		2			1				
	成果	丁事簡	所数			箇所	(	1_	)	(	1	)	(	1	)
	13/1/	成果 工事箇所数			<b>四</b> //1		1			2					
	効率			事箇所数/前年度	医実施設計済	%	(	100		(	100	)	(	100	)
標	773 1	み箇所	致)			, ,		50			200				_
							(		)	(		)	(		)
	114.			•											_
	指標に	関する	特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容			
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 前回とのう天旭人は 信の几天を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×		
  □ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×		
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
	塗りつぶしてく	てください。 コスト投入の方向性						
プール改修工事を実施することにより、適切な維持管理と教育環境の向上が図られ、安全かつ安心してプールの授業が行えることから、有効性が高い。	がある。	牧修は計画的 対修工事に登 する。			だて見直し			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 教育総務認	果長 榊原	俊彦						

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 小学校耐震化整備事業 421115009 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 11 学校施設・設備の整備・充実 KP I _ |-付け ■該当 計画成果指標との関連 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 小中学校施設の耐震化は、平成27年度に全34校完了したが、近年の大規模な地震では、非構造部材といわれる天井材の落下の 事務事業本来 被害が発生している。このため、非構造部材の耐震化を実施し、教育環境の向上と児童生徒の安全かつ快適な学校生活の確保を の目的・成果 図るものである。また、学校施設は避難所としての役割も担っており、災害発生時に避難された地域住民の安全、安心を確保す るものである。 所管部課 教育部教育総務課 関係部課

## +25+W - +1-1/4-D

	<u>2.</u>	事務	事業の実	施結	<u>果</u>											
	耳	和2年原 事務事業 ミ施内容			の屋内運動場に の屋内運動場に						施工盟	<b>造理を行</b>	った。			
			•			令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
±	设	直	7	· 1	算 額	49,013	,000	円	17	, 127	, 000	円		11,	786,00	00 円
3.	$^{\times}$	接		<u> </u>	算 額	44, 995	,800	円	13	3, 046	,000	円	予算額	買との」	北較(R3	3-R2)
١.		費	特別	官財源(	の有無	□有	■無		□ 1	有	■無			-5,	341,00	00 円
1	시		正規職	員数			0.96	人			0. 29	人		特詞	己事項	
		従事職				_		人		_		人			上な増減	
-	ו⊏		会計年			_		人 円			0.01	人			当初予算 「事及び」	
		正規職			平均人件費		., = ,			2,070	,	円			- <del>事</del> 及び ⋮め、減	
-	ス	人件費	2	匀人件費	7, 504	,000	円	7	, 140 _.	,000	円	なった	0		-,, -	
			再任用職員 再任用職員数×平均人件費			_		円		_		円	•			
П	$\downarrow$	人件費	2		匀人件費	3, 997	,000	円	4	l, 093		円	•			
		会計年度任用職員	- 11 1		職員の人件費	- F0 100	( 10	円	1.5		, 837	円	*			
	_	事業費詞	十(直接費	+人们	-	52, 199	, 640	円		, 122		円			^ 10 0 to	- crite
		種類	į	旨	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年	
								上段:		・美領	上段:		父: 美領	上段:	目標 下	段:美額
١.	当	活動	改修工事実	[施数			箇所	(	<u>4</u> 4		(	2	)			)
1	日		1-+#^生 ☆7+-	トクエナョ	ラルボ /ルターi	=b:☆+ <del>/</del> c=0.*/c/		(	100		(	100	)	(	100	$\overline{}$
			非傅运部的 改修工事必		優化率(改修工 ₽数22)	事消他設数/	%	(	40.9	,	(	45. 5	,		100	
	ı		CANOL FOR SAIDLY SALES					(	40.9	)	(	40. 0	)	(		$\overline{}$
<b>k</b>	票												,	$\overline{}$		
								(		)	(		)	(		)
								`			`					
		指標に	関する特調	記事項	改修工事済施	設数:10(H27	: 1、H3	30:4、	R元:4、	R2:1	)					

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容				
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
日日中来の定め力を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性								
非構造部材の耐震化を実施し、教育環境の向上と安全かつ快適な学校生活を確保することができ、また、避難所としても安全、安心に利用できることから、有効性が高い。		か場の非構造 改修工事で				比べ低い			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 教育総務認	果長 榊原	俊彦							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 小学校トイレ改修事業 421115010 事務事業名 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 11 学校施設・設備の整備・充実 KP I _ 付け □該当 ■ 非該当 **後期基本計画成果指標との関連** 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 小学校22校のトイレ洋式化率は約51%であり、老朽化や和式トイレが多く、衛生面や健康面に影響がある状況である。このため、トイレの改修工事を実施し、教育環境の向上と衛生的で使い易いトイレ環境の確保を図るものである。また、学校施設は避難所としての役割も担っており、災害発生時に避難された地域住民の安全、安心を確保するものである。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 教育部教育総務課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	. 争伤	于不	<u> </u>	ルビヤロノ	<u> </u>											
- 4	和2年原事務事業 実施内容	ŧ.	三箇小	\学校村	交舎のトイレに	こついて、改修	工事及	び施工	監理を	そ行った。						
						令和	定年度			令和2	2年度			令和	3年度	
投	直		予	算	額	3,855	,000	円		97, 464	,000	円			(	) 円
汉	接		決	算	額	3,058	,000	円		93,027	,000	円	予算客	頁とのは	比較(R3-	R2)
	費		特定	財源の	有無	□有	■無			■有	□無	ŧ		-97,	464, 000	)円
入		正	規職員	数			0.32	人			0.49	人		特詞	書項	
	従事閥	員 再	任用職	貴数		_		人		_		人	(予算	額の主	Eな増減理	胆由)
		会	計年度	任用單	<b>戦員数</b>	_		人			0.01	人			ま、事業/	
	正規職	員 正	規職員	数פ	P均人件費	2, 401	, 280	円		3, 498	, 600	円	かった た。	ため、	減額とな	う
ス	人件費	大件費 参考:平均人件費			]人件費	7, 504	,000	円		7, 140	,000	円	/_0			
		再任用職員数×平均人件費			_		円		_		円					
+	人件費	貴	参考	:平均	]人件費	3, 997	,000	円		4,093						
1.	会計年度任用職員				職員の人件費	_		円			, 837					
	事業費	計(直	接費+	⊦人件	費)	5, 459	<u>, 280</u>	円		96, 531	<u>, 437</u>	円				
	種類		指		標	名	単位		令和元年度			令和2年			6和3年度	ŧ
	12//		10		121		T 24	上段:	目標	下段:実績	上段:	目標 下	段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	丁事事	施数				箇所	(	0	)	(	1	)	(	0	)
指	711243						<u> </u>		0			1				_
		成果 工事実施率(工事済施設数/工			済施設数/工事	<b>『必要施設</b>	%	(	0	)	(	100	)	(	100	)
		数:14)						,	0		,	7. 1				<u> </u>
1==							(		)	(		)		_	)	
標														_		
								(		)	(		)			)
	TK/T#1-	- 88	<b>ァ ↓</b> + ニコ・	<b>士-</b> 工「												_
	指標に	- 関する	う符記	<b>事</b> 垻												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容		
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 司画とのう天旭大は 眉の儿子を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×	
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×	
口 B 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充	
	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性						
トイレの改修工事を実施することにより、教育環境の向上と 衛生的で使い易いトイレ環境を確保することができ、また、避 難所として安全、安心に利用できることから、有効性が高い。	施していく また、労	. 0	の進捗や久		修工事を言		
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 教育総務認	長 榊原	俊彦					

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 中学校耐震化整備事業 事務事業名 421115014 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 11 学校施設・設備の整備・充実 _ |-付け ■ 該当 計画成果指標との関連 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 小中学校施設の耐震化は、平成27年度に全34校完了したが、近年の大規模な地震では、非構造部材といわれる天井材の落下の 事務事業本来 被害が発生している。このため、非構造部材の耐震化を実施し、教育環境の向上と児童生徒の安全かつ快適な学校生活の確保を の目的・成果 図るものである。また、学校施設は避難所としての役割も担っており、災害発生時に避難された地域住民の安全、安心を確保す るものである。 所管部課 教育部教育総務課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	<u>'·</u>	事務	事業の実	<b>他</b> 桁 未												
4	事	和2年度 務事業 施内容	太東「	中学校の	屋内運動場に	こついて、非構	造部材	改修の	設計を行	rった。						
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
· 找	٦	直	予	算	額	68,578	,000	円		1, 265	, 000	円		14,	529,000	) 円
12	^Z	接	決	算	額	65, 694	,000	円		990	, 000	円	予算額	頁との」	<b>北較(R3-</b>	-R2)
		費	特定	財源の	有無	□有	■無			<u>有</u>	■無			13,	264,000	) 円
フ	┖		正規職員	員数			0.48	人			0.10	人		特詞	7事項	
		従事職員	員 再任用罪	<b>能員数</b>		_		人			0.18	人	(予算	額の主	主な増減3	里由)
=	] [		会計年	度任用職	<b>員数</b>	_		人			0.01	人	- 令和	3年度	当初予算	<b>ま、</b>
	Γ	正規職員	<b>正規職</b>	員数×平	均人件費	3, 601	,920	円		714	, 000	円			理業務を	
-	χL	人件費	参考	: 平均,	人件費	7, 504	,000	円		7, 140	, 000	円	9 2/2	ひりょ日む	4C & 7/	-0
		再任用職		哉員数×	平均人件費	1		円		736	, 740	円				
L	L	人件費	参考	:平均。	人件費	3, 997	,000	円		4 <b>,</b> 093		円				
Į ľ	ŝ	除計年度任用職員人		度任用職員の人件費		_		円			, 837	円				
	Ę	事業費請	†(直接費	+人件費	<b>}</b> )	69, 295	<u>,920</u>	円		2 <b>,</b> 446	, 577	円				
		種類	指	i i	標	名	単位		和元年			和2年			令和3年原	
	L	主人人	1,	1	INV	н	712	上段:		2:実績	上段:	目標 下戶	设:実績	上段:	目標 下段	:実績
		活動	改修工事実	施数			箇所	(	6	)	(	1	)	(	1	)
排							<u> </u>	,	6			0			100	_
		成果 非構造部材の耐震化率(改修)			比率(改修工	事済施設数/	%	(	100	)	(	100	)		100	)
	ŀ		改修工事必要施設数15)		<b>火15</b> )			,	66.7			66.7		,		<u> </u>
楊	<b>E</b>							(		)	(		)			)
信	<del>-</del>												\	(		$\overline{}$
							(		)	(		)			)	
	-	+15+1=1=1	囲せる性部	市古山	加格工事这位	設数:10(H28	• 2 11	00 • 1	U20 · 1	D= ·	<b>6</b> )					_
		1日信に	対9 の村記	事识员	以修工事对他	i文女X · IU (HZ8	· Z、 H	<u> </u>	п≾∪∙І√	κπ.	U)					

総合評価と判断理由	<u>.</u>	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成里	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引回とのう矢心人は 信の儿矢を囚む	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の方で元世9	性	休廃止	廃止・終了	X	X	×
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
非構造部材の耐震化を実施し、教育環境の向上と安全かつ快適な学校生活を確保することができ、また、避難所としても安全、安心に利用できることから、有効性が高い。	ことから、	が場の非構造 改修工事で	告部材の耐だを計画的に	震化率は、 実施してい	他自治体に	比べ低い
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 教育総務語	果長 榊原	俊彦	_		_	

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 中学校大規模改造事業 421115015 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け K P I 細施策 11 学校施設・設備の整備・充実 付け 計画成果指標との関連 □ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 ■ 非該当 中学校11校のトイレ洋式化率は、約35%で老朽化や和式トイレが多く、衛生面や健康面に影響があり、また、施設の老朽化に 事務事業本来 よる雨漏りが発生しているため、大規模改造工事を実施し、教育環境の向上と衛生的で使い易いトイレ環境の確保を図るもので の目的・成果 ある。また、学校施設は避難所としての役割も担っており、災害発生時に避難された地域住民の安全、安心を確保するものであ 所管部課 教育部教育総務課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	· <del>1</del> 777	J J		OHAZIV	•													
	令和2年 事務事業					、大規模改造												
	実施内容		統合に	伴い、	菖蒲中学校の	)校舎について	、大規	模改造.	工事の記	は計を行	った。							
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度			
±n	直		予	算	額	21, 978		円	36	7, 345		円			881,000	円		
投	接		決	算	額	20, 625		円		5, 736		円	予算額		比較(R3-			
	費		特定	財源の有	有無	□有	■無			有	□無			120,	536,000	円		
入	· 📉	I	規職員	数			0.32	人			0.32	人		特詞	記事項			
	従事日	損	任用職	員数		_		人			0.33	人			Eな増減理			
			計年度					人			0.01	人	令和 七甲梅	3年度:	当初予算は	[‡] 、		
	正規暗	~			均人件費	2, 401	-	円	2, 284, 800 円				大規模改造工事の設 事及び施工監理業務			、丄  実施		
ス	人件			: 平均/		7, 504	, 000	円		7, 140		円	するため、増額となった					
	再任用單	19V > -			平均人件費		- 円			1,350,690 円								
	人件		-	: 平均/		3, 997	,000	円		<u>4, 093</u>		円						
	会計年度任用職				員の人件費	22.027	200	円	20		, 837	円						
	事業費	計(世	直接費+	- 人什負	()	23, 026	, 280	円		9, 377		9100年	o <del>ʻc</del>		<b>〜</b> 和ったば	_		
	種類		指		標	名	単位		和元年	<del>                                      </del>		和2年			令和3年度 目標 下段	-		
								上权 :		ス・夫領	上权・	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ス・天禎	上段・	2	· <del>天</del> 禎		
指	活動	工事	実施数				箇所	(	0	,	(	<u>'</u> 1	,			,		
1		丁事5	 実施薬	(丁事活	 斉施設数/工事	 必要施設		(	0	)	(	100	)	(	100	$\overline{}$		
	成果	数:		(			%	`	0		`	10	,	_				
								(		)	(		)	(		)		
標	Ę.																	
								(		)	(		)	(		)		
		<u> </u>					Ĺ									_		
	指標に	こ関す	る特記	事項した	大規模改造工	事済施設数:1	(R2:	)										

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前側とのり天爬入は 盾の几天を囚る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充			
日とののはる内皮がの事業主体を元直す	塗りつぶしてく	入の方向性							
大規模改造工事を実施することにより、教育環境の向上と衛生的で使い易いトイレ環境を確保することができ、また、避難所として安全、安心に利用できることから、有効性が高い。	ついて、 また、当	が発生してる 大規模改造二学校統廃合の 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	工事を計画 D進捗や久	的に実施し	ていく。				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 教育総務認	果長 榊原	俊彦		•	•				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 児童生徒安全事業 事務事業名 事務事業整理番号 420915108 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 戦略における位置付け 施策 2 学校教育の充実 3 子どもたちの教育環境の整備 施策 における位置 細施策 9 安全の確保 KP I _ |_ 付け 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 小学校安全監視員の配置や学校遊具の点検等を行うことにより、児童生徒の安全を確保することができる。 の目的・成果 所管部課 教育部学務課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	• <del>す</del> がた	6事業の美施結果										
1	3和2年 事務事業 実施内容	・ 小・中学校の遊具につい	1て点検を行うと	こともに	、傷みた	がひどく修繕な	バ不可能	能な遊具	の撤去	及び新	しい遊具	の設
			令和:	元年度		令和	2年度			令和	3年度	
投	直	予 算 額	33, 324	1,000	円	7, 268	, 000	円		19,	734, 000	) 円
汉	接	決 算 額	31, 884	1, 271	円	6, 412	, 626	円	予算額	頁とのは	比較(R3−	R2)
	費	特定財源の有無	口有	■無		口有	■無	ŧ		12,	466,000	) 円
入		正規職員数		0.30	人		0.30	人		特記	2事項	
	従事閥	强員 再任用職員数	_		人	_		人	(予算	額の主	Eな増減理	胆由)
$\Box$		会計年度任用職員数	_		人	2	3.00	人			1日に江戸	
	正規職	_{職員} 正規職員数×平均人件費	2, 251	, 200	円	2, 142	, 000	円			たことよ スクールバ	
la	人件	参考:平均人件費	7,504	1,000	円	7, 140	,000	円			、ソールハ ∤が皆増と	
	再任用單	職員再任用職員数×平均人件費	<del>-</del>		円	_		円	たため			
١.	人件		3, 997	7,000	円	4,093	,000	円				
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	<del>-</del>		円	36, 573	, 318	円				
	事業費	計(直接費+人件費)	34, 135	, 471	円	45, 127	, 944	円				
	種類	指標	名	単位	수	和元年度	4	令和2年	度	4	令和3年度	ŧ
	但块	1日 1示	11	丰位	上段:	目標 下段:実績	上段:	目標 下	设:実績	上段:	目標 下段	:実績
	成里	┃ ┃小学校安全監視員を配置した	割会	%	(	100 )	(	100	)	(	100	)
指	13,0,7,1	17.万尺文工皿元兵と記述した	H1H	/0		100		100				
	活動	  学校遊具の更新・撤去件数		件	(	14 )	(	18	)	(	6	)
	7030	I TAME TO SAIL THAT IS A TO SA		''		20		25				
					(	)	(		)	(		)
標												_
					(	)	(		)	(		)
	ll a lee											_
	指標に	こ関する特記事項										

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引回とのう失肥久は 信の元夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日中来の庭の別で元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業のプ		皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてくた	ださい。			入の方向性	
市内全小学校に小学校安全監視員を配置し、立哨や校内の巡回を実施し、年間を通じた防犯活動を行った。 また、遊具の点検・撤去・設置をすることで、安全で安心な学校環境を維持した。	繕・撤去を	行うことで	で、快適な	学校環境を		童生徒を
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学務課長	関口 智章	<u> </u>				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 小学校要・準要保護児童就学援助事業 事務事業名 420515114 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け **KPI** 細施策 5 自立する力を育む教育の充実 _ |-<mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 学校教育法及び久喜市就学援助規則に基づき、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対し、必要な援 助を行う。このことにより、児童が安心して学校生活を送ることができ、もって、義務教育を円滑に実施するこ 事務事業本来 の目的・成果 とができる。 所管部課 教育部学務課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	. 3.3/3.3	ZI T Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z			
1	和2年度 事務事業 実施内容	広報紙やホームページを流校(学級)を通じてお知らた 請者に通知した。認定になっまた、次年度入学予定者に対	t(チラシ)を配布した。申詞 oた場合は、教育委員会が定る	める支給時期(年3回)に、京	審査を行い、その結果を申
			令和元年度	令和2年度	令和3年度
投	直	予 算 額	49,622,000 円	38, 720, 000 円	40, 122, 000 円
1X	接	決 算 額	39, 551, 300 円	34, 521, 891 円	予算額との比較 (R3-R2)
_	費	特定財源の有無	■ 有 □無	■ 有 □無	1, 402, 000 円
入		正規職員数	0.30 人	0.30 人	特記事項
	従事職員	再任用職員数	— 人	- 人	(予算額の主な増減理由)
_		A = 1 ( / )//			

会計年度任用職員数 児童数減少に伴い、令和 3年度予算は令和2年度当初 2, 251, 200 2, 142, 000 正規職員 正規職員数×平均人件費 円 予算よりも少ない金額だ 人件費 7,504,000 円 7, 140, 000 参考:平均人件費 が、令和2年度の給食費の 一部を学校給食課から支給 再任用職員数×平均人件費 再任用職員 したため減額補正したこと 参考:平均人件費 3,997,000 円 4,093,000 円 から、見かけ上増額となっ 会計年度任用職員の人件費 会計年度任用職員の人件費 円 円 ている。

事業費計(直接費+人件費) 41, 802, 500 円 36, 663, 891 円 令和元年度 令和2年度 令和3年度 種類 標 名 単位 指 上段:目標 下段: 実績 上段:目標 下段: 実績 上段:目標 下段:実績 100 100 100 成果 お知らせを配布した割合 % 指 100 100 776 766 686 ) 活動 申請件数 件 766 686 ) ( )

)

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 引画とのう天旭大は 眉の儿子を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×			
日日中来の定の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
┃	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性				
経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対し、必要な援助を行うことで、義務教育を円滑に実施することができるものと考えている。	に、広報組	氏やホーム/ P校を通じ	いて、学校 ページによ て学用品費 携を強化し	り周知する 等の支給を	。 行っている	らため、学			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学務課長	関口 智章	影							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 中学校要・準要保護生徒就学援助事業 420515119 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 - -第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ における位置 る位置付け 細施策 5 自立する力を育む教育の充実 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 学校教育法及び久喜市就学援助規則に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。このことにより、生徒が安心して学校生活を送ることができ、もって、義務教育を円滑に実施するこ 事務事業本来 の目的・成果 とができる。 所管部課 教育部学務課 関係部課

2	. 事務	事	業の実施	<b>話果</b>												
	3和2年 事務事 実施内容	業	校(学級) 請者に通	) を通じ 知した。	てお知らt 認定になっ	5用し、就学援 せ(チラシ)を った場合は、教 ミえ、平成29年	配布して	た。申	請受付後 める支給	、認定 )時期(	E及び ^ス (年3回	下認定の )に、i	審査を 就学援助	行い、 <del>る</del> ]の支給	その結果 を行っ <i>t</i>	を申 E。
						令和	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直		予	算	額	50, 705	,000	円	47	7,856	,000	円		42,5	799, 00	) 円
100	接			算	額	42, 361	, 772	円	37	7, 493	, 217	円	予算額		文較(R3-	
_	費			が の有	無	■ 有	□無		<b>■</b> ⁷		□無				)57, 00	) 円
入			正規職員				0.30	人			0.30	人		特記		
	従事的	員	再任用職			_		人		_		人			な増減理	
⊐			会計年度			_		人				人		数減少  少して	こ伴い、	予算
	正規暗		正規職員			2, 251		円		2, 142	,	円	おおいいが	900	0.00	
ス	人件			平均人		7, 504	, 000	円	7, 140							
			再任用職			2 000	円			000	円					
1	人件			平均人		3, 997	,000	円		4, 093	,000	円				
	会計年度任用職		- 11 1 1 12 11		の人件費	44 (12	072	円	20	_ \	217	円円	-			
	事業費	(at	(直接費+	人什貫)		44, 612	, 912	円		9,635		和2年	曲		和3年	÷
	種類		指		標	名	単位	上段: [	和元年月	· :実績					付っ 十月	
									100	(・大順	<u></u>	100	)		100	)
指	成果	お	知らせを配	流した!	割合		%	(	100	,	(	100	,		100	
10		<u> </u>						(	486	)	(	470	)	(	485	$\overline{}$
	活動	申	請件数				件	`	470		•	485	,			
								(		)	(		)	(		)
標	:															
								(		)	(		)	(		)
	指標	こ関	する特記事	項												

		<b>火の四日 士坐の</b>		- /_ <i></i>	
総合評価と判断理由	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	体的内容			
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	里 —	広大 ×	革新	改善	拡大基調
一 万	のが	推持 ×	改善	現状維持	×
  □ B 事業の進め方を見直す		宿小  ×	縮小	×	×
日 日 事業の庭の方で元直す	性体	廃止 廃止・終了	×	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性、原向性及び事業の方向性を		縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてください。	١,		入の方向性	
経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことで、義務教育を円滑に実施することができるものと考えている。	に、広報紙やホ また、学校を 校との情報共有	きについて、学校: トームページによ を通じて学用品費: す・連携を強化し、	り周知する 等の支給を	。 行っている	ため、学
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学務課長	関口 智彰				

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 幼稚園運営事業 410115124 事務事業名 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 1 幼児教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援 _ 付け □ 非該当 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 久喜市在住の3歳児、4歳児、5歳児を対象に文部科学省指針による幼稚園教育要領に準じた幼児教育を行い、 事務事業本来 「生きる力」の基礎となる力を育み、心身共に健やかな幼児の育成に努めるべく充実した保育環境を整え、幼稚 の目的・成果 園運営を行う。 所管部課 教育部学務課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容

特別な支援を要する園児への保育補助教諭、預かり保育及び保育補助教諭の会計年度任用職員を配置し、一人ひとりに応じた

きめ細やかな指導を行うことで、教育効果の向上を図った。 食育事業として年間12回共通食の提供を行った。保護者に向けた意識啓発として年間15回食育だよりを発行した。 園児に向けては、久喜市の栄養士から、食生活の大切さについて指導を行い、改善への意識を高めることができた。

古 字 笛 妬							令和法	元年度			令和?	2年度			令和	3年度	
投	直			予	算	額	47, 439	,000	円		9, 515	,000	円		8,	512,000	) 円
100	接		_	決	算	額	45, 931	, 670	円		8,859	, 646	円	予算額	質との」	比較(R3-	-R2)
١,	費		特	定財	源の有	無	■ 有	□無			有	□無			-1,	003,000	) 円
入			正規	職員数			1	2.00	人		1	6.00	人		特詞	書項	
	従事閥	損	再任	用職員	数			3.00	人			3.00	人			Eな増減理	
					E用職員		_		人			8.00	人			より、会	
	正規職		正規	職員数	文×平均	1人件費	90, 048	,000	円	11	4, 240	,000	円			配置し、 は人事調	
ス	人件				平均人		7, 504		円		7, 140	•	円			、件費が洞	
	再任用職員對×平均人件							11,991,000 円				,000	円	た。			
	大件費 参考:平均人件費						3, 997	,000	円		<b>4,</b> 093	•	円				
	会計年度任用職員					の人件費	_		円		40, 290,		,				
	事業費	計	直接	費+ノ	人件費)		147, 970				⁷ 5, 668		円				
	種類			指		標	名	単位		和元年			6和2年			令和3年	
	1277			7.		10.		, ,	上段:		设:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	食育	うとし	て共	通食の	提供			(	12	)	(	12	)		12	)
指										10		,	12		,	45	
	活動			意識	啓発の7	ための食育な	どよりの配布	回	(	17	)	(	17	)		17	)
		回数	X						,	17		,	15		,		<u></u>
+==	成果	偏負	食改善	率				%	(	75	)	(	80	, )		85	)
標									,	85.6		(	87.9	<u> </u>	-		$\overline{}$
									(			(		)			)
	指標に	- 朗-	オスだ	宇宙	百												
	1日信に	-  天]	9 DT	するし。尹	炽												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
日 B 事業の庭の力を允直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充			
日 C のうゆる内皮がう事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性				
特別な支援を要する幼児が増加し、支援の方法も多様化しつつある。個別の支援計画の元、会計年度任用職員を配置し一人ひとりに応じた保育を行うことにより、幼児の成長が促され、子育て支援と相乗効果が見られる。 幼児の食育環境は、家庭に左右され保護者への意識啓発が重要である。共通食の提供により、食材の提案や、幼児の偏食改善へのきっかけとなり、友達と一緒に同じ物を食べることの楽しさ、喜びが、食べることの意欲につながっている。	ることがけ 習得や遊び とが大きい くため、 ⁴ 幼児が料	を接を要する。 大切を通しの対 が。個もも の対 が を 後来にえ続けて を 伝え	集団生活 自ら考える。 対応が必要 の配置が必って心身の	を送る中で 力、友達と であり、幼 要である。 健康的な生	、基本的生 関わる力な 1児の育ちを	活習慣の など得るこ 支えてい			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学務課長	関口 智	<b>彰</b>							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 学校環境衛生事業 事務事業名 420315133 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 - -第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実 KP I _ |-付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 日常の環境衛生管理を適正に行い、清潔で快適な学習環境を維持する。児童生徒、幼児等を疾病や事故から守 <mark>の目的・成果</mark>ることにより、安全な学校、幼稚園生活を送ることができる。 所管部課 教育部学務課 関係部課

## 2. 事務事業の実施結果

	• <del>事</del> 形	8事業の実施結果 📗												
1	和2年 事務事業 実施内容	・小・中子校の樹木に書	稚園の砂場を 虫が発生した 稚園の教室等 実施した。	を安全な状態に保て に場合には、専門第 等の気流、浮遊粉し	oため、 ^業 養者に委託 びん及び揮	務委託に して、書 発性有機	より、砂場の 虫駆除を実施化合物(ホ)	の洗浄 <i>線</i> 施した。	设菌業務	を実施した。	0			業務委
				令和元	元年度		4	令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算	額	3, 932	,000	円	4,	355	, 000	円		4,	499,00	0 円
1X	接	決 算	額	3, 771	, 333	円	4,	330	, 530	円	予算額	[との]	比較(R3-	-R2)
	費	特定財源の有無	ŧ	□有	■無		口有	Ī	■無				144,00	0 円
入		正規職員数			0.50	人			0.50	人		特語	記事項	
	従事閥	再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
$\Box$		会計年度任用職員数	数	_		人			0.50	人				
	正規職	損 正規職員数×平均	人件費	3, 752	,000	円	3,	570	, 000	円				
ス	人件	参考:平均人件	-費	7, 504	,000	円	7,	140	, 000	円				
,	再任用單	_{哉員} 再任用職員数×平均	匀人件費	_		円	— 円			円				
	人件	参考:平均人件	-費	3, 997	,000	円	4,	093	, 000	円				
	会計年度任用職員	会計年度任用職員G	の人件費	_		円	1,	427	, 748	円				
	事業費	計(直接費+人件費)		7, 523	, 333	円	9,	328	, 278	円				
	種類	   指	漂	名	単位		和元年度			和2年度			令和3年	-
	主人共	JE 1	N.	·H	十四	上段:	目標 下段:	実績	上段:		:実績	上段:	目標 下段	と: 実績
	活動	学校環境衛生基準に基			校・園	(	36	)	(	36	)	(	35	)
指	70.25	(小・中学校及び市立	幼椎園数	)			36			36				
	活動	砂場の洗浄作業の実施	į		箇所	(	54	)	(	54	)	(	53	)
	70.20	(砂場数)			<u> </u>		54			54				
175	成果	学校環境衛生基準に基		検査の実施率	%	(	100.0	)	(	100.0	)	(	100.0	)
標	.,,,,,	(必要な検査数/検査)				,	100.0			100.0			100.0	_
	成果	学校環境衛生に係る自		実施率	%	(	100.0	)	(	100.0	)		100.0	)
		(必要な事業数/実施事		±1 \=	. 2414 ~	// c ^	100.0	راء		100.0				_
	指標に	関する特記事項   江面	<b>第一小字</b>	父と江面第二小	字校の	) 統 発 台	による減	少。						

総合評価と判断理由	_ 今後の課題、事業の方向性と具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調	
■ A 前回とのグ天旭人は一層の元天を図る		維持	×	改善	現状維持	×	
  □ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	方 縮小 縮小	×	縮小	×	×	
日日日本代の近の方で元巨り	性 1	休廃止	廃止・終了	×	×	×	
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性向性及び事業の方向		皆減	縮小	維持	拡充	
	塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性						
文部科学大臣が定める、学校環境衛生基準に基づく検査の取組みと、市が独自に実施する学校環境衛生の向上のための取組みであり、必要不可欠な取組みであると考える。		、児童生	上徒、幼児 ^会	等を疾病、	事故から守	3適な学習 で で るととも	
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 学務課長	関口 智彰						

1. 事務事	業概要		対象	令和	12年度実施事業			
事務事業名	小・中学校等放射線量測定事業	事務事	業整理	番号	420315202			
(A) A IE (The I I I	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 第2期	<b>基本目標</b>	_  -					
総合振興計画 における位置 付け	施策 2 学校教育の充実 戦略に	おけ 施策						
	細施策 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実 る位置	KPI	_  -					
	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 <mark>総合振</mark>	興計画実施計	画への挑	『載■	該当 🗆 非該当			
事務事業本来 の目的・成果 実施する。								
所管部課	教育部学校給食課 関係部課							

## 2. 事務事業の実施結果

	• <del>す</del> がた	<del>8事業の美施結果</del>										
	令和2年度 事務事業 実施内容 学校給食用食材の放射性物質の検査を行った。											
			令和	元年度		令和	2年度		令和	3年度		
投	直	予 算 額	1,820	,000	円	1,051		490,000 <u>円</u>				
12	接 決 算 額		1,690,295 円		955	予算額	予算額との比較 (R3-R2)					
	費	特定財源の有無	□有			□有  ■無			-561,000 円			
入		正規職員数		0.24 人			0.08 人		特記事項			
	従事閥	再任用職員数	_		人	- 人		(予算	(予算額の主な増減理由			
		会計年度任用職員数	_	- 人		- 人			当該事業予算での業務遂			
	正規職		1,800		円		,200 円		<mark>─</mark> 行は、令和3年7月 <b>─</b> 了するため。		、ぐ終し	
la	大件費 参考:平均人件費		7,504,000 円		7,140,000 円			3 7 3/2078				
	再任用單			- 円 3,997,000 円		— 円 4,093,000 円						
	人件	2 3 1 37 (11 54										
l '	会計年度任用職員	ム川十尺江川柳央・ババー兵			円							
	事業費	計(直接費+人件費)	3, 491	, 255	円	1, 526						
	種類	   指 標	名	単位		和元年度		2年度	令和3年度			
	12791	34 13			上段:	目標 下段:実績			上段:		:実績	
	活動	給食食材の検査回数			(	107 )		68 )	(	50	)	
指					103			<u>56</u>				
					(	)	(	)			)	
					,		,		,		$\overline{}$	
標					(	)	(	)			)	
行示					(	1	(	1	1		$\overline{}$	
						,	(	,			-	
	指揮に	L C関する特記事項										
	コロゴボル											

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容								
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×			
□ D 事業の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充			
日でのうゆる丹皮がう事業主体を元直り	塗りつぶしてく		コスト投入の方向性						
給食食材の放射性物質の検査を実施することにより、児童生徒等が安全で安心な環境の中で学校生活を送ることができたと考える。 なお、令和2年4月、5月に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため小・中学校を臨時休業したことに伴い、学校給食を停止した。また、夏季休業期間に授業を行い、学校給食を提供したため、当初予定していた検査回数に変更が生じた。									
<b>評価年月日</b> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 学校給食課長 折原 誠									

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 学校給食運営事業 事務事業名 421215206 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 戦略におけ 施策 3 子どもたちの教育環境の整備 における位置 る位置付け KP I 6 地場産農産物を取り入れた学校給食食材の割合 細施策 12 学校給食の充実 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 児童生徒の心身の健全な発達に資するため、安全安心で栄養バランスを考えた学校給食を提供する。また、学 の目的・成果校給食を通じて伝統的な食文化への理解や望ましい食習慣を養う。 所管部課 教育部学校給食課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

_ 4	<u> </u>	争猕	事業の美施結果									
	事	和2年原 事務事業 尾施内容	地産地消を推進す	するため、 献立表や食	地場産農産物 食育だよりの配	を取り  布を行	入れた [:] った。	学校給食を提供		`を取り <i>」</i>	入れた学校給食	きを提
					令和元	元年度		令和2	2年度		令和3年度	
t	殳	直	予 算	額	1, 200, 041	,000	円	1, 129, 869	,000 円	1	, 231, 589, 00	00 円
J.	×	接	決 算	額	1, 136, 560	, 455	円	1, 120, 146	, 308 円	予算額	頁との比較(R3	3-R2)
١.		費	特定財源の有無	ŧ	■ 有	□無		■有	□無		101, 720, 00	00 円
1	λ		正規職員数		1	0.90	人		9.41 人		特記事項	
		従事閥	員 再任用職員数			3.54	人		3.67 人	(予算	類の主な増減	理由)
-	ןכ		会計年度任用職員数	数	_		人	_	人		3年度は、給食	
	ľ	正規職	員正規職員数×平均人	人件費	81, 793	,600	円	67, 187	, 400 円	回数が	増加し、また、 降は、全小・「	. 第2   11学校
١.	ء ا	人件費	参考:平均人件	-費	7, 504	,000	円	7, 140	, 000 円	分の調	理等業務を業績	下于12 務委託
		再任用職	_{战員} 再任用職員数×平均	匀人件費	14, 149	, 380	円	15, 021	, 310 円	で実施	するため。	
١.		人件費	参考:平均人件	-費	3, 997	,000	円	4, 093	, 000 円			
ľ		会計年度任用職員	会計年度任用職員 ⁽²⁾	の人件費			円	_	円			
		事業費詞	計(直接費+人件費)		1, 232, 503	, 435	円	1, 202, 355	,018 <mark>円</mark>			
		種類	指	漂	名	単位	令	和元年度	令和2年	度	令和3年	度
	ı	住块	JH 1	亦	11	丰世	上段: 目	目標 下段:実績		段:実績		段:実績
		活動	学校給食の提供回数			回	(	188 )	( 169	)	( 188	)
扌	百	71137)	) 1X1111X ** 1X1   XX			П		172	169			
		活動	学校給食の提供食数			食		132,039)	(1,901,5		(2,092,0	18)
		70.33	) IXHIDOVICINDOX					967, 699	1, 929, 8			
			季節の食材や行事食、		、伝統料理等	食		376, 233 )	( 305, 01		( 369, 23	7)
木	票.	,,,,,,	を取り入れた給食の提	:供致			3	343, 120	308, 01			
		活動	地場産農産物を取り入	れた学校組	給食食材の割	%	(	16.1 )	( 16.4	)	( 16.7	)
				<del></del>	/- <del> </del>		A 1.1	22.3	20.7	<del></del>		
		指標に	: <mark>関する特記事項</mark> 地場	<b>産農産物</b>	を取り入れた学	P校給食	段材の	割合は、総合技	辰興計画の目標 かんしょうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	景値に基	づくものとし	た。

総合評価と判断理由 今後の課題、事業の方向性と具体的内容									
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調			
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×			
□ B 事業の進め方を見直す	方向件	縮小	×	縮小	×	×			
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×			
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充			
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性				
学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図るとともに、食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として位置付けられており、安全で安心な学校給食を安定的に提供していく必要がある。 なお、令和2年4月、5月に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 小・中学校を臨時休業したことに伴い、学校給食を停止した。また、夏季休業期間に授業を行い、学校給食を提供したため、当初予定していた提供回数等に変更が生じた。	等により等 また、行 は、食物で	らいしい学校 学校給食の3 今和3年8月7 アレルギーダ J組んでいく	充実を図る。 から稼働す 対応食の提	。 る久喜市立	学校給食も	2ンターで			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学校給食詞	果長 折原	誠							

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 学校給食センター整備事業 事務事業名 事務事業整理番号 421215207 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 戦略における位置付け 3 子どもたちの教育環境の整備 施策 における位置 K P I 細施策 12 学校給食の充実 _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 安全で安心なおいしい学校給食を将来にわたり安定的に提供するため、新たな学校給食センターを整備する。 の目的・成果 所管部課 教育部学校給食課 関係部課 財政部アセットマネジメント推進課

#### 2. 事務事業の実施結果

É	=:	7.17		ノロション												
	耳	和2年原 事務事業 実施内容	(仮私	j) 久喜ī	市立学校給食	ミセンター新築	工事等	を実施	した。 							
						令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
ŧ	殳	直	予	算	額	479,930	,000	円	2,932	, 037	,000	円	1	, 923,	076,000	) 円
3.	×	接	決	算	額	110, 957	, 940	円	1,357	, 391	, 400	円	予算額	頁との」	比較(R3-	·R2)
١.		費	特定	財源の有	ī無	■ 有	□無		■ 有	j	□無		-1	, 008,	961,000	) 円
7	۱^		正規職員	数			2.00	人			3.65	人		特詞	記事項	
		従事閥	<b>再任用</b> 職	貴数				人		_		人			主な増減理	
=	וַכ		会計年度	<b>E任用職</b>	員数	l		人		_		人			校給食セ	
		正規職		数×平均	匀人件費	15,008	,000	円	26	, 061	,000	円			第の年次計 13年度分開	
-	۱,	人件費	. 22	:平均人		7, 504	,000	円	7	', 140	,000	円	和2年月	き分と.	比べ継続	費年
		再任用贈	N>	战員数× ³	P均人件費			円		_		円		低く説	定してい	るた
١,		人件費		:平均人		3, 997	,000	円	4	<b>,</b> 093	,000	円	め。			
'		会計年度任用職員		<b>E任用職</b>	員の人件費			円		_		円	•			
		事業費	計(直接費-	+人件費	)	125, 965	<u>, 940</u>	円	1,383	_		円				
		種類	指	ì	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
		12//	16		IXV	н	7 12	上段:		:実績	上段:		设:実績	上段:		:実績
		活動	工事・設計領	等の実施			件	(	6	)	(	2	)		3	)
扌	旨	.,,						,	6	,	,	2			11	_
		活動	整備事業に	伴う関係	機関との打	ち合わせ	回	(	20	)	(	20	)		16	)
								,	23		,	49		,	100.0	<u> </u>
4	<b></b>	成果	工事の進捗	割合			%	(	12.5	)	(	81.0	)		100.0	)
作	票							-	10.2	\	,	65.0	\	,		$\overline{}$
								(		)	(		)			)
		北上海に	明士っ姓号	市店												_
		指標に	関する特記	争坦												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でのうずる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投え	入の方向性	
久喜市立学校給食センター新築(建築、電気設備、機械設備)工事は、アセットマネジメント推進課に執行委任を行い、技術的な協力を得ながら、令和3年7月末の完成に向け計画的に整備を進めている。 また、同工事に関連する各種業務委託についても、適切に実施した。	る予定であ 月からの当 また、当	7月末に久喜 5り、栗橋は 学校給食徒が 学校給食管理 の準備を確認	雪小学校等( 共までに完 里システム(	の配膳室に 了するよう	ついても、 整備を行う	令和3年8 。
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学校給食認	果長 折原	誠				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 学校給食費補助事業 事務事業名 421215208 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 3 子どもたちの教育環境の整備 施策 における位置付け 細施策 12 学校給食の充実 KP I _ |-後期基本計画成果指標との関連 🛘 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進する。 の目的・成果 所管部課 教育部学校給食課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	于7刀	于木	V) <del>/</del> /	他和未	•											
,	事務	12年原	ŧ				度をお知らせ ている保護者				て補助st	金を交	付した。				
							令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
· 书	$_{\scriptscriptstyle \perp} \Gamma$	直		予	算	額	14,030	,000	円		9, 354	, 000	円		14,	472,00	0 円
10	Z	接		決	算	額	11,966	,603	円		8, 426	, 421	円	予算客	質との	比較 (R3-	-R2)
		費		特定	財源の	有無	□有	■無			有	■無			5,	, 118, 00	0 円
J			正	規職員	数			0.24	人			0.16	人			記事項	
	勜	羊事職	員 再	任用暗	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
=	]		会	計年度	任用職	<b>員数</b>	_		人		_		人			は、小・	
	I	E規職	溳 正	規職員	数×平	均人件費	1,800	, 960	円		1, 142	, 400	円			美(4月、5 _. 貴無償化(	
-	ر ا	人件費	貴	参考	:平均。	人件費	7,504	, 000	円		7, 140	, 000	円				
	再	任用暗	~~	任用暗	員数×	平均人件費			円		_		円	補助金	を交付	付しなかっ	た
L		人件費	貴	参考	:平均。	人件費	3, 997	,000	円		<b>4,</b> 093,	,000	円			度は、全 を交付する	
1	会計	年度任用職員	i人件費 会	計年度	任用職	員の人件費			円		_		円	め。	177) 314 (		)/ <u>C</u>
	事	業費	計(直	接費+	⊦人件費	1)	13, 767	, 563	円		9, 568	, 821	円				
	利	重類		指		標	名	単位		和元年			6和2年			令和3年	-
	1	主次		11		<b>ी</b> क	<u>п</u>	十四	上段:		设:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下段	と:実績
	Б.	成果	補助名	· 交付	<del>と</del> 数			人	(	304	)	(	321	)	(	317	)
拮	<u> </u>	2021	11112111							304			312				_
	\;;	舌動	保護者	・市門	えへの周	引知			(	2	)	(	2	)	(	2	)
	Ľ		11112			37.11				2			2				_
١.	_								(		)	(		)	(		)
標	<b>#</b>								,						,		
									(		)	(		)			)
	_	V 1= 1		- 14 =-·	+												_
	打	旨標に	-関す	る特記	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり美胞文は一層の元美を図る	<del>末</del> の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
□   C   のりゆる円反かり事業主体を見直り	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
学校給食費補助金を交付したことで、保護者の経済的負担を 軽減し、子育て支援の推進が図られたものと考える。 なお、令和2年4月、5月に、新型コロナウイルス感染症の感 染拡大防止のため小・中学校を臨時休業したことに伴い、学校 給食を停止し、また6月~8月に学校給食費無償化を行ったた め、交付金額が減少した。	していく。 また、労	D経済的負担 学校事務職員 変化に努めて	員や庁内関			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 学校給食詞	果長 折原	誠				

1. 事務事	業概要				対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	教育指導事業			事務事	業整理	番号	420115310
(() A J= (3) - I =	大綱 4 心豊かな人材を育み、	郷土の歴史文化を大切にするまち	第2期総合	基本目標			-
総合振興計画における位置	施策 2 学校教育の充実		戦略におけ	施策	-  -		
付け	細施策 1 学ぶ意欲と確か	な学力を育む教育の充実	る位置付け	KPI	_  -		
	後期基本計画成果指標との	関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への打	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	市内小・中学校児童生徒だの学習活動の充実を図る。	が課題に対して、主体的に取り	り組める体質	験学習や課	題解決	学習等	を実施し、児童生徒
所管部課	教育部指導課	関係部課					

#### 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	事務	事業の実施結果									
	事	12年度 務事業 施内容	・仕去が削売本及び	評価テス ップテス	くんの改訂、改 くいを行い、児	善を行 童生徒	った。 の学力[	句上を図った。	i o			
					令和元	元年度		令和2	2年度		令和3年	度
扫	$_{\scriptscriptstyle{L}}$	直	予 算	額	4,663	,000	円	4, 559,	, 000 円		3, 326	,000 円
1.	×	接	決 算	額	4, 204	, 432	円	3, 280,	, 375 円	予算額	頁との比較	(R3-R2)
		費	特定財源の有無		□有	■無		□有	■無		-1, 233	,000 円
7	┖		正規職員数			0.40	人		0.40 人		特記事項	頁
	1	従事職員	<b>再任用職員数</b>		_		人	_	人	(予算	額の主な地	曽減理由)
=	וב		会計年度任用職員数		_		人	_	人	社会	科副読本評	呼価テスト
	Ī	正規職員	正規職員数×平均人 ⁴	件費	3,001	,600	円	2,856,	, 000 円	および	久喜市ステ トにコンヒ	「ツブアツ
-	z	人件費	参考:平均人件費	貴	7, 504	,000	円	7, 140,	, 000 <del>円</del>	使用す	ることに伴	- ユータを     ・  ・
		<b>耳任用職</b>	員 再任用職員数×平均	人件費	_		円	_	円		減した為。	
١,		人件費	参考:平均人件費	貴	3, 997	,000	円	4, 093,	, 000 円			
ſ	会	計年度任用職員人	会計年度任用職員の	人件費	_		円		円			
	哥	事業費計	†(直接費+人件費)		7, 206	,032	円	6, 136,	, 375 <mark>円</mark>			
		種類	指標標		名	単位	牟	和元年度	令和2年	度	令和:	3年度
	Ľ	任文尺	1日 小木	:	П	十四		目標 下段:実績				
		活動	社会科副読本「私たちの	)ク壴 l F	11副製木	円		315,600)	( 1, 315, 6		(1,31	5,600)
扌		70.20		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		, ,	1,	067, 462	981,50	0		
							(	)		)	(	)
	L									,		
١,	_						(	)	(	)	(	)
村	票						,	,		,		
							(	)	(	)		)
	L	北上西(一)	明士で性記事で									
		指標に	関する特記事項									

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	果の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投え	入の方向性	
副読本評価テストについては、「思考力判断力表現力」の一層の充実を図るよう出題内容の改善を行った。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ロボットコンテスト等が中止となったが、ICTを活用し、「オンラインくき検定」を実施するなど、主体的に学ぶ機会の充実を図ることができた。	紙の解答月 用し、CBT 児童生徒 ことと併t むことがで	ステップア・ 用紙で行って 化を図るこ まに身に付け さ、これから できるよう、	ていたもの ととした。 けるべき情 らの時代に	を、一人一 報活用能力 求められる	台のChromo も系統的に 資質・能力	ebookを活 育成する
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 指導課長	川羽田	惠美			•	

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 教育活動補助事業 事務事業名 420815316 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 大綱 第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 3 子どもたちの教育環境の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 8 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進 7 中学校卒業時に英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 市内小・中学校児童生徒の学習活動の補助、部活動等の大会参加における保護者の負担軽減を図る。また、学 事務事業本来 校施設の瑕疵並びに学校業務遂行上の過失に起因する事故、学校管理下における児童生徒、学校支援者の事故を の目的・成果 補償することにより安心して活動できる環境を整える。 所管部課 教育部指導課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 市内小・中学校児童生徒美術展覧会の会場借上げ、市内中学3年生に対する英語検定受験料の補助、部活動等で関東大会や全国大会へ出場する児童生徒の交通費、運搬車借上げ費等の補助を行った。また、学校教育活動に対する災害賠償補償保険に加入した。

						令和	元年度			令和2	2年度			令和3	年度	
投	直		予	算	額	20,845	,000	円	1	19,677	,000	円		12, 4	51,000	円
JX	接		決	算	額	18, 738	, 577	円	1	11,662	, 327	円	予算客	頁との比	較(R3-	R2)
١,	費		特定	財源の有	無	■ 有	□無			有	□無	ŧ		-7, 2	26,000	) 円
入			正規職員	数			0.40	人			0.40	人		特記	事項	
	従事的		再任用單					人		_		人			な増減理	
				<b>E任用職</b>		_		人			0.10	人			舌動外部打 したため。	
	正規聯				均人件費	3, 001		円		2,856		円	・英語村	食定受験制	料補助金を	を過年
ス	人件			:平均人		7, 504	, 000	円		7, 140	<u>,000</u>	円	■ 度の実績・R2年間	責を元に! gは 新	見直したが 型コロナワ	こめ。 ウイル
	再任用時	1.747			平均人件費	_		円				円	ス感染症	定対応とし	して修学カ	旅行宿
	人件			:平均人		3, 997	,000	円		4,093		円	泊キャン 一ため。	ソセル料を	を予算措置	置した
'	会計年度任用職				員の人件費	-	4.00	円		2, 299		円	12000			
	事業費	計(	(直接費-	+人件費	)	21, 740	, 177	円		16,817		円		•		
	種類		指	i	標	名	単位		和元年			令和24			和3年度	
								上段:		段:実績、	上段:		段:実績	上段:目	標 下段	:実績
11-	成果	中等	P校卒業に する生徒に	時に英検 の割る	3級相当以上	この英語力を	%	(	70	)	(	70	, )		70	
指		ΉŞ	の土作					/	55.9		/	57.	<u>,                                     </u>	/		$\overline{}$
								(		)	(		)			
								/			(			1		$\overline{}$
標	i									)	(		,			
1স								(		``	(			(		$\overline{}$
										,	(		,			
	指標!	_ 閏-	する特記	事項												_
	10.19.1		ם מושם כ	ナス												

総合評価と判断理由	今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	盛 拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 引画とのう失肥人は 眉の儿失を囚る	がの維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	が が	×	縮小	×	×
日日中来の庭の力を元巨り	性 休廃止	廃止・終了	X	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性、成果の方向性及び事業の方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
	塗りつぶしてください。			入の方向性	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、多くの事業等が中止となったが、実施した事業等に係る会場費や交通費、受験料等を補助し、児童生徒が活動しやすい環境を整えるとともに、保護者の負担を軽減することができた。また、児童生徒や学校支援者が安心して活動することができた。	今後も学校教育活 行うとともに、児童! 境整備を進めていく。	生徒や学校			
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 指導課長	川羽田 恵美				

<u>1.事務事</u>	業概要			_	対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	教職員研修事業			事務事	業整理	番号	420715317
(() A I= (III - I - I	大綱 4 心豊かな人材を育み、	、郷土の歴史文化を大切にするまち	第2期総合	基本目標	-  -		-
総合振興計画における位置	施策 2 学校教育の充実	-	戦略におけ		-  -		
付け	細施策 7 教職員の資質・	能力の向上	る位置付け	KPI	_  -		
1577	後期基本計画成果指標との	関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計		画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	各種研修会の実施や各学	校の校内研修を充実させるた	めの支援を	行い、教職	員の資	質の向	上を図る。
所管部課	教育部指導課	関係部課					

#### 2. 事務事業の実施結果

	• <del>す</del> がた	5 <del>77</del> 5	美の夫が	也和木												
	3和2年 事務事業 実施内容	美				関する研究委員 数増加に伴い				導書を購	入した	<u>-</u> - 0				
						令和:	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額	2, 973	3,000	円		45,851	, 000	円		1,	827, 00	)0 円
汉	接	Ī	決	算	額	2, 738	3, 287	円		45, 379	, 932	円	予算客	真との	比較(R3	3-R2)
	費		特定則	財源の有	無	口有	■無			l 有	□無			-44,	024, 00	)0 円
入			正規職員	数			0.40	人		(	0.50	人		特記事項		
	従事閥	損	再任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	理由)
			会計年度	任用職員	員数	_		人		_		人	令和2年度は、			
	正規職	損	正規職員	数×平均	匀人件費	3, 001	,600	円		3,570	, 000	円	<mark>─</mark> 科書改訂及び学 <del>─</del> 伴い、教師用教			
la	人件	費	参考	:平均人	.件費	7,504	1,000	円	7, 140,		, 000	円	┛書を購入する必要が		る必要がる	あった
	再任用耶	職員	再任用職	員数× ^工	P均人件費	_	- 円			_		円	が、令	和3年	度は購入	の必
L	人件	費	参考	:平均人	.件費	3, 997	3,997,000 円			4,093	, 000	円	要かな なった		ったため》	<b> </b>
	会計年度任用職員	員人件費	会計年度	任用職員	員の人件費	l		円		_		円	<i>'</i> & ) / c	0		
	事業費	計 (	(直接費+	-人件費)	)	5, 739	9, 887	円		48 <b>,</b> 949	, 932	円				
	種類		指		標	名	単位		和元年			和2年			令和3年	
	任主大只		111		াক্য	11	十四	上段:	目標 下	段:実績	上段:		段:実績	上段:	目標 下戶	设:実績
	活動	     外音	R講師をお	21.1た授	業研究会の	<b>司数</b>		(	25	)	(	25	)	(	25	)
指	7030	711			不明儿五卯	→×^			25			31				
								(		)	(		)	(		)
								(		)	(		)	(		)
標																_
								(		)	(		)			)
	1212			+												_
	指標に	こ関す	する特記	事項												

総合評価と判断理由			今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る		成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ 八 引回とのう矢爬久は 信の元矢を囚る		の	維持	×	改善	現状維持	×
┃ ┃□ B 事業の進め方を見直す		方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日中来の進め方と元巨り		性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す			向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事余主体と元世が		つぶしてく			コスト投入	人の方向性	
多くの教職員が各種研修会、校内研修に意欲的に参加の成果を授業実践に生かすことができた。久喜市版未来の実現に向けて、市内34校の職員が参加する研究委員会、修会を開催し、教職員のICTの活用に係る資質・能力の向図ることができた。	の教室 する 及び研 体的 J上を 容を	る外部指 りには、 を中継、	導者等に。 ICTを活用	よる指導内 し、オンラ 画配信する	容の共有化 インによっ	び専門的な を推進して って各学校( り多くの学	いく。具の研修内
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 指導	尊課長 川羽	羽田	惠美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 コミュニティ・スクール事業 事務事業名 事務事業整理番号 420815321 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 2 学校教育の充実 3 子どもたちの教育環境の整備 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 8 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進 KP I _ |_ 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しな の目的・成果がら子供達の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。 所管部課 教育部指導課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	· ·	事務	事業の実施結果										
2	事務	2年度 务事業 他内容	・市内34校を学校運営協議会 ・オンラインによる学校運営 ・学校運営協議会活動報告書 ・指導主事による学校運営協	常協議会全員研 書を作成し、市	修会を 内小中	行った。 学校へ	,						
				令和元	元年度		令	和2年度	=		令和:	3年度	
挼	ļ	直	予 算 額	2, 312	,000	円	3, 0	95,000	円		2, '	739,000	) 円
1>		接	決 算 額	2, 101	, 753	円	2, 9	07, 304	円	予算額		比較(R3-	
_		費	特定財源の有無	■ 有	□無		■有	□無				-356,000 <u>F</u>	
入			正規職員数		0.40			0.40				事項	
		(事職)		_		人	_		人	(予算	額の主	な増減理	里由)
=	_		会計年度任用職員数	- 2 221	400	人	0.0	0.20					
		·規職員 人件費		3, 001		円		56,000					
ス	·		アイロック・アクスに 英	7, 504	, 000	円	7, 1	40,000					
		任用職員 人件費		2 007	000	円	4.0		円				
1	·⊢		9.1.1.20VII K	3, 997	,000	円		93,000					
		業費計		E 102	25.2	円		62, 543					
	<del>事</del> :	未貝司	「但按其十八件頁)	5, 103	, ၁၁၁	円	和元年度	25, 847	<u></u> 令和2年	r#=		和3年	<b>+</b>
	種	重類	指標	名	単位	上段: 目			<u> ア州とサ</u> : 目標 「FF				: 実績
	H						1	\	· 口/示 「+ 1	· 大順		1	)
指	<b>注</b>	插 学	学校運営協議会全員研修会実施[	回数	回		1	/   (	<u>i</u>	,	<u> </u>		,
31-			W I L M W I L - + A I L M A A M I L - I F			(	34	) (	34	)	(	33	$\overline{}$
	污	括動   学	学校運営協議会指導主事学校訪問	問	回		34	`	34		_		
	Г					(		) (		)	(		)
標	Ę												
				_		(		) (		)	(		)
		- 1											

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天祀又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の力を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事未上体で元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業等があり、予定されていた活動を縮小して行った。コロナ禍においても各校工夫しながら学校運営協議会を行い、学識経験者、地域住民、保護者からのご意見を伺い、反映させた学校運営を推進することができた。	善を図って な開催にて	より充実し7 ていく。ま7 ついて、指4 長を推進し [−]	た各学校に 尊主事の学	おける学校	運営協議会	の定期的
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 指導課長	川羽田	恵美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 中学生学力アップ教育推進事業 420515322 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 2 学校教育の充実 施策 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け **細施策** 5 自立する力を育む教育の充実 KP I _ 付け 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 中学生の基礎学力の定着と発展的な学力向上、学習習慣の定着を図ることを目的としている。成果として毎週1 の目的・成果 回放課後2時間の個別学習の支援により、参加生徒の学力が向上し、学習習慣が定着する。 所管部課 教育部指導課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	争份	事業の実施結	<del></del>											
	事	和2年原 事務事業 尾施内容	10001 快無後	校に、中学生学 に開設し、個別	⁴ 力アップ教育 川学習を支援す	事業「 ること	くき本体 により、	樹塾」を 、学習習	設置し 慣の定	、学習 着と言	習支援員で 学力の向_	を派遣し 上を図る	ンた。 ること	毎週1回 :ができた	年間。
					令和表	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
抄	ᇧ	直	予	章 額	3, 322	,000	円	4	l <b>,</b> 921,	, 000	円		4,	, 818, 00	0 円
10	ᄝ	接	決	章 額	3,036	, 579	円	4	l, 669,	, 191	円	予算額	との	比較(R3-	-R2)
		費	特定財源の	り有無	■ 有	□無		■ 1		□無			-	-103,00	0 円
J	시		正規職員数			0.40	人			0.40	人		特	記事項	
		従事閥	員 再任用職員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
_	اد		会計年度任用	職員数	_		人		_		人				
	ı	正規職	員 正規職員数×	平均人件費	3,001	,600	円	2	2, 856,	, 000	円				
-	ا ۲	人件費		9人件費	7, 504	,000	円	7, 140, 000 円			円				
		再任用單	職員 再任用職員数	×平均人件費	_		円		_		円				
L		人件費	参考:平均	<b>匀人件費</b>	3, 997	,000	円	4	I, 093,	, 000	円				
1	`[	会計年度任用職員	会計年度任用	職員の人件費			円		_		円				
		事業費	計(直接費+人件	費)	6, 038	, 179	円	7	, 525,	, 191	円				
		種類	指	標	名	単位	仝	和元年度	¥	4	和2年	隻	•	令和3年	度
		作	18	135	14	+ 44	上段:		:実績	上段:		:実績	上段:	目標 下段	と: 実績
		活動	設置校1校あたり	の放課後学習生	2施回数		(	20	)	(	30	)	(	30	)
扫	占 E	71137)	改造人口人のだっ		CNE CHAN	П		20			30				
		成果	参加生徒の久喜市ス	テップアップテ	ストにおける学	レベル	(	1.2	)	(	1.2	)	(	1.2	)
	L	79021	カレベルの伸び(参	加校平均との比	蚥)	- ""		1			1.4				
			参加生徒に対する	意識調査にお	ナる活動満足	%	(	85.0	)	(	90.0	)	(	90.0	)
村	票.	7,0011	度			, ,		98.0			98.0				_
			参加生徒に対する	意識調査にお	ナる学習理解	%	(	85.0	)	(	88.0	)	(	88.0	)
			認知度	1				98.0			98.4				_
		指標に	関する特記事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのう天旭大は 眉の儿子を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
  □ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事未上体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
平均値より1.4レベル上回った。また、本事業に参加した生徒に意識調査を継続して実施したところ、活動に対する満足度は98.0%、学習理解認知度は98.4%であった。これらのことから、参加生徒の学力が向上し、学習習慣の定着が図られたと評	実現するこの し、適切に行 学校へ訪問	とが課題である 各学校に配置 し依頼すると に加え、大学 努める。本事 るが、参加生	る。また、 置することが こともに、学 学等の関係機 事業は県の補 徒が毎年学力	指導技術に 課題である。 習支援員を研 関へプレゼン 助を受けて Dを伸ばして	定期的な開 催保するため いを行うなど <b>!</b> 施しており	援員を確保 催について に、より積極 、本年度で
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 指導課長	川羽田	恵美				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 社会教育推進事業 460215403 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 6 生涯学習の推進 戦略における位置付け 施策 における位置 KP I 細施策 2 保護者の交流機会の提供・支援 付け ■ 該当 計画成果指標との関連 総合振興計画実施計画への掲載 🗆 該当 □ 非該当 ■ 非該当 家庭における子育てに関する課題を解決するための学習機会を提供し、子育てへの思いや悩みを共有する。また、子育てへの不安を解消するために、学校・家庭・地域が一体となって子育てを支援する。 ボランティア手帳事業は小中学生に手帳を配布し、ボランティア活動を通じてお互いに助け合い、人を思いやる気持ちを育て、ボランティア意識の高揚を図る。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 教育部生涯学習課 関係部課

2	. 事務	務事業の実施結果											
4	和2年 事務事業 実施内容		戦やスキルを学 小中学生のボ	ぶととうシテ	もに、 ィア意	現同士の 戦の啓発	青報交 及び向	換を行	うこと				
			令和元	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	1,040	,000	円		844	,000	円		1	, 207, 000	円
1X	接		872	,120	円		550	, 521	田	予算額	真との	比較(R3-I	R2)
١,	費	特定財源の有無	□有	■無		口有		■無				363,000	円
入		正規職員数		0.35	人			0.10	人		特	記事項	
	従事的	<b>强</b> 員 再任用職員数	_		人			0.20	人			主な増減理	,
$\Box$		会計年度任用職員数	_	人			_		人	令和2年度予算について は、新型コロナウイルス			
	正規職		2,626	-	円	,			円	は、新染症の	影響に	コナライル こより、事:	ス窓   業が
ス	人件	9.0 · 1 / 3/(11)	7, 504			7		,000	円	中止と	なった	たことに伴	い、
	再任用耶				円			, 600	円		を補正	E(減額)	し
	人件		3, 997	,000	円	4	<u>, 093</u>	,000	円	た。			
'	会計年度任用職員	ムロー及江川城央のバー兵			円		_		円				
	事業費	計(直接費+人件費)	3, 498	<u>, 520</u>	円		,083	<u>, 121</u>	円				
	種類	】    指   標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
	1277	711	П	- 1	上段:		:実績	上段:目		设:実績	上段:		:実績
	活動	- 子育て講座の参加者		人	(	1,100 )		( 1, 100				1, 100	)
指	.,,					1,106	,	,	<u>1, 107</u>	,			_
	活動	家庭教育フォーラムの参加者		人	(	100	)	(	0	)		0	)
	.,,				,	64		,	0	,	,	40	_
1375	成果	家庭教育学級の参加数		学級	(	40	)	(	40	)		40	)
標					,	34	,	-	12	,	-		$\overline{}$
					(		)	(		)			)

3. 評価結果と今後の方向性

指標に関する特記事項

総合評価と判断理由			今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を	図ス	成 果 の	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日本 計画とのう天地文は 層の九天では	적인	の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す		方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
■ B 事業の庭の力を充直す		性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
<ul><li>□ C あらゆる角度から事業全体を見直</li></ul>	₫	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ めらゆる内皮がつ事業主体を允良	9	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
「人づくり」の出発点は家庭である。その家屋 少子高齢化、核家族化等、近年大きく変化し、本 少傾向にある。その変化の中で、家庭や地域の孝 いることなどから、「家庭教育」では、保護者に 的な責任があることや国・地方公共団体は、家庭 を規定している。本市においては家庭教育の重撃 ろであり、家庭の教育力を高めていく必要がある 般の事業の進め方を見直し継続的に実施していく	ト市の子ども数も年々減 效育力の低下が叫ばれて こ子どもの教育の第一義 達教育支援に努めること 更性を認識しているとこ ることから、家庭教育全	し、講施やでで、 まない できない できない かっちょう かっこう かっこう アドバイ はい かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	教室を実施す すいない フォージンドグ でで 積極的に で を 積極的に	「る際の指導 を備する必要 こついては、」 の観点から、 玉県と連携を 三活用し、引	者の斡旋や+ がある。 5年間の実績 令和2年度か 図りながら、 き続き、各様	ン、事業の効 ナポートを行 を踏まえると ら実施しない 久喜市在住 交における講 肖を図ってい	い、当事業 こともにスいこととし の家庭教育 座等の充実
評価年月日 令和3年6月28日 評価	者職氏名 生涯学習言	果長 坂東	勝則				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 事務事業名 文化振興事業 470115408 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 2 住んでよかった、来てよかったと思える魅力的なまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 7 歴史・文化の継承と活用 戦略における位置付け 施策 2 市の魅力を生かし、交流人口・関係人口を増加 における位置 1 文化芸術団体の育成・支援 細施策 KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 の目的・成果 を鑑賞する機会を提供することで、本市の文化振興の充実を図る。 所管部課 教育部生涯学習課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

_2	<u>.                                    </u>	事業の実施結果											
1	和2年度 事務事業 実施内容	┊ ※次の事業については、新	月催回数:2回 型コロナウイル	・出演団	団体数: 症の感	3団体 ・ 染拡大防」	延べれ	観客数 :め中」	:355人 上		玉県美	<b>美術展覧会</b> 之	入選
			令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
投	直	予 算 額	3, 908	, 000	円	1,	252	,000	円		2	, 169, 000	円
18	接	決 算 額	3, 347	, 873	円		469	, 560	円	予算額	真との	比較(R3-I	R2)
_	費	特定財源の有無	□有	■無		口有	Ī	■無				917,000	円
入		正規職員数		1.60	人			1.60	人		特	記事項	
	従事職	員 再任用職員数	_		人		_		人			主な増減理	
		会計年度任用職員数	_		人			0.60	人			予算につい	
	正規職		12,006		円			,000 円		は、利染症の	コナウイル こより、事	ス窓   業が	
ス	人件費	20.120MIX	7,504	, 000	円	7,	140	,000	円	中止となったことに 予算額を補正(減額			L١,
	再任用職		_		円		_	200		予算額 た。	を補」	E (減額)	
	人件費	2 3 1 1 3 (1) 5	3, 997	,000	円			,000		/ <b>C</b> 0			
	会計年度任用職員	会計年度任用職員の人件費	15 254	2072	円			, 131	円				
	事業費	計(直接費+人件費)	15, 354	, 273	円			, 691	円	<del></del>		人们入左曲	_
	種類	指標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年度	
					上段・日	<del>3億 下段 405                                   </del>	大領	上段・	420	マ・夫領	上段。	· <u>目標 下段</u> 435	· <del>夫</del> 領
指	成果	久喜市美術展出品者数		人		354		(	119		$\stackrel{\smile}{-}$	433	
111					(	2, 250	)	(	2,400	)	(	2,600	$\overline{}$
	活動	久喜市美術展入場者数		人		1,739			436			2,000	
	\T <del>T</del> L /	<b>(たい) コンサートの中共口出</b>			(	8	)	(	8	)	(	8	)
標	活動	街かどコンサートの実施回数				9			2				
	活動	市民芸術祭入場者数		人	(	800	)	(	800	)	(	800	)
	.,,,,					622			中止				
	指標に	関する特記事項											

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
■ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止、縮小となったことにより、活動の発表や鑑賞の機会が大きく減少した。そのような中、実施した事業については、目標値の達成はできなかったが、コロナ禍という状況を考慮すると一定の成果が上げられたものと判断する。 しかし、高齢化の進展等により、文化芸術活動に参加する市民が全体として減少傾向にある状況は変わらないため、様々な形で文化芸術に触れる機会を増やし、文化活動への参加を促せるよう事業内容を見直しながら継続的に実施していく。	ることや、 と考えられがら取り組 を事業に ていまた、各	進展等により コロナ禍であ る。そのため んでいて、と かいて、と か学生などか 文化団体の事業 内容の充実	る状況を考 り、既存の事 更がある。 更方法や周知 で参加しやす ま業について	えると、今後業の安定的な 方法を見直し いよう改善を も、団体相互	後、事業の拡 は運営及び充 しながら、個 を図る。 豆の情報交換	大は難しい 実を図りな 々に活動し
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生涯学習認	果長 坂東	勝則				

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 生涯学習推進事業 460115411 事務事業名 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 6 生涯学習の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 1 多彩な生涯学習機会の提供 付け 指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 人々の価値観やライフスタイルが多様化し、市民の生涯学習に対する意識や活動範囲は広範・多岐にわたるとともに、その成果が適切に評価され、社会に還元される機会が増加することが求められてる。このような中、市民に様々な学習機会を提供するとともに、市民一人ひとりが「だれでも」「いつでも」「どこでも」自由に学ぶことができ、その学習の成果が適切に生かされ 事務事業本来 の目的・成果 るような生涯学習社会の実現を図る。 所管部課 教育部生涯学習課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習出前講座、生涯学習人材バンクともに活用が少なかった。 生涯学習だより「まなびすと久喜」については年2回の発行であったが、生涯学習推進部の広報部会の活動縮小に伴い、1回の 発行にとどまった。

生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」や生涯学習推進大会「まなびすと久喜」については新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止のため、中止となった。

							令和元	元年度			令和2	2年度			令和	3年度	
· 书	<u>,</u> [	直		予	算	額	1,882	,000	円		713	,000	円		1,	690,00	0 円
12	`	接		決	算	額	1,820	, 774	円		548	, 106	円	予算額	真とのは	比較(R3-	-R2)
١,	L	費	特	持定財	源の有	無	□有	■無		□ 1	j	■無				977,00	0 円
7	١		正規	職員数	ζ			0.35	人			0.10	人		特記	書項	
		従事職員	再任用	用職員	数		_		人			0.20	人			Eな増減理	
=	• L				用職員				人		_		人			予算につ	
		正規職員	~	職員数	(×平均	了人件費	2,626		円			,000	円			lナウイル こより、事	
1	۷ [	人件費	=		平均人		7, 504	,000	円	7	' <b>,</b> 140		円	中止と	なった	:ことに伴	Ĺ١,
	1	再任用職員 再任用職員数×平均人件 人件費 参考:平均人件費					_		円			<u>, 600</u>	円		を補正	(減額)	し
	Ļ	2 J 1 1 2 3 (1) A				3, 997			4	4, 093, 000 <u>H</u>			た。				
ľ	9	会計年度任用職員の人件				_		円			円						
	-	事業費計	(直接	費+/	(件費)		4, 447				, 080		円				
		種類		指		標	名	単位		和元年度			令和2年			6和3年	
	L	12797		,,,		1/3*		, ,	上段:		:実績	上段:		设:実績	上段:	目標 下段	と:実績
		活動	上涯学習	推進さ	大会「	まなびすと	久喜」の参加	人	(	3,500	)	(	3,000	)		500	)
指	Í	1	<b>首数</b>						於	12,6004	<u> </u>	,	0	,			_
					大会「	まなびすと	フォーラム」	人	(	200	)	(	200	)		_	)
	ŀ	の参加者数						,	227	\	/	0		,	20		
+2	E5	成果 生涯学習出前講座の実施数		実施数		講座	(	30	)	(	30	)		30	)		
枵	₹ -								/	25	\	-	18	\			_
									(		)	(		)			)
	ŀ	+15+1=1=1	狙するお	‡=] <del>=</del> b·	百合	ロ2年度は 女子	型コロナウィルフ	成物学の	早く組むしま	-1) [± <i>t</i>	ングドナレ	· 力 吉 :	Τ-7× Γ±+	<i>&gt;7ヾ</i> 士 レ −	7 =	/ · * # · ·	
		指標に	対りるか	すむ 事・	<b>卢</b>	114年反は、新	型コロナウイルス	念栄証の	小が誓にす	、ツ、「まん	YU 9 C	. 八吾」	及び「まる	109 C .	フォーフ	ム」を中止	_∪/こ。

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日本・計画とのグ天旭人は一層の元天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す	の 方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
■ D 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入のプロセスで事業の	う 向性、成果の方 うち向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ めつゆる内皮がつ事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
教育基本法第3条の生涯学習の理念に基づき、市民一人ひとりが「7れでも」「いつでも」「どこでも」自由に学ぶことができるように事の展開を図った。 生涯学習研修大会、生涯学習推進大会はともに中止となったが、複回にわたる会議の中で、これまでの実績を振り返るとともに、今後の向性について協議した。	業 習活動の打 選に 選に 選に 選に 選い では では では では では では では では では でする でする でする でする でする でする でする でする でする でする	教育振興基 推進を図る。 生涯学出大題を 野のでを は、 と は、 生涯 と は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	、また、学 性進するで 「まな、「ま とない、新た とない、新た	習情報の提 めの体制を と久喜」の なびすと久 な形で開催	供、指導者  整備する。  参加者数の  喜」と「ま  できるよう	がの育成や の減少、会 なびすと が、生涯学
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生涯学	]課長 坂東	勝則				

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 人権教育推進事業 事務事業名 450115415 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 5 人権教育の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP J 細施策 1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進 付け 計画成果指標との関連 ■ 該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 □ 非該当 市民一人ひとりが、人権が尊重される社会を確立する担い手であることを認識し、様々な人権問題に対する正 事務事業本来 しい理解と認識を深め、人権問題の解決に主体的に取り組めるよう人権教育を推進する。 の目的・成果 人権教育を推進することにより、差別意識の解消と人権意識の高揚が図られる。 所管部課 教育部生涯学習課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 社会人権教育指導者養成講座を開催した。参加者数は、合計で117人である。また、人権教育に関する取組内容をまとめた啓発冊子を2,000部作成し、小・中学校及び幼稚園などに配布した。

人権教育啓発ビデオの貸出しを実施した。貸出し件数は合計36件である。教育集会所において、各種教室・講座や人権学習、地域住民の交流事業などを実施した。集会所事業参加者数は合計557人である。

						令和	元年度			令和?	2年度			令和	13年度	
投	直		予	算	額 額	4,560	,000	円	2	, 381	,000	円		4,	, 690, 000	) 円
1X	接		決	算	算 額	3, 750	, 438	円	1	, 971	, 533	円	予算額	頁との	比較(R3-	-R2)
	費		特定	財源σ	)有無	□有	■無		□ 1	<u> </u>	■無	ŧ		2,	, 309, 000	) 円
入			正規職員	員数			2.00	人			2.00	人		特	記事項	
	従事日	磒	再任用單	戦員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	里由)
			会計年限	5任用1	職員数	_		人		_		人			予算につい	
	正規聙		正規職員	員数× ³	平均人件費	15,008	, 000	円	14	, 280	,000				コナウイル こより、多	
lス	人件	費	参考	:平均	1人件費	7,504	, 000	円	7	, 140	,000	円	来症の事業が	お書い	こなり、多こなったこ	とに
	再任用單	職員	再任用單	00000000000000000000000000000000000000	×平均人件費	_		円		_		円	伴い、	予算額	質を補正(	
١,	人件	費	参考	:平均	1人件費	3, 997	3, 997, 000			4,093,000 円			額)し	た。		
	会計年度任用職	員人件費	会計年限	5任用1	職員の人件費	_		円		_		円				
	事業費	計	(直接費	+人件	費)	18, 758	, 438	円	16	, 251	, 533	円				
	種類		指	5	標	名	単位	f	和元年度	F Z	-	令和2年	芰		令和3年	芰
	性块		1E	1	标	10	半世	上段:	目標 下段	:実績	上段:	目標 下段	と: 実績	上段:	目標 下段	:実績
	活動	Ь-	TAL棒	数容研	修会の開催数			(	4	)	(	4	)	(	4	)
指	石劃	<u> </u> '		扒戶训	多去り用   主数				4			0				
	成果	ا املاء	<b>△人</b> 権教	<b></b>	者養成講座の	<b>参加</b> 老数		(	325		(	325	)	(	325	)
	130,70	1112	ムノヘイモナス	HIHA	日良以醉庄♡	多加音数			273			117				
	成果	野人	なっき	<b>所</b> 重業	参加者数			(	1,571	)	(	1,574	)	(	1,577	)
標	13001	I) /	八日米五	ハチボ					1,366			523				
	成果	一	下集会所	<b>重</b> 業参	加老数		人	(	490	)	(	490	)	(	490	)
					лн <b>п</b> х∧				362			34				
	指標は	こ関	する特証	事項												

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
日本計画とのう失肥大は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
■ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
■ 日 事業の定め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事未上体を元直す	塗りつぶしてく	ださい。			入の方向性	
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止、縮小となった。また、現在も様々な人権問題が発生している現状から、引き続き事業を推進する必要があるものの、人権問題への関心や認識を高め、その問題解消に繋げる即効性のある事業構築は困難である。 よって、今後は、コロナ禍における事業実施への工夫を加えつつ、市民に対する意識啓発や注意喚起などに粘り強く取り組んでいきたいと考える。	悩んでいる上 今後、教室 るよう効果的 市民が、人 的に取り組め 等を見直しな	るような人権 ながら改善を図 集会所事業に	こおいては、 能方法や内容を まか事業の改善 まる正しい理解 を教育を推進す 図る。	参加者数が著しを見直しながら を見直しながら きを図る。 解と認識を深ら するため、講真	しく減少となら、多くの市」 め、人権問題 座内容及び募	っている。
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 生涯学習詞	表 坂東	勝則				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 図書館管理運営事業 事務事業名 460515418 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 第2期総合 総合振興計画 施策 6 生涯学習の推進 施策 戦略におけ における位置 る位置付け KP J 細施策 5 図書館サービスの充実 _ 付け ■ 該当 **後期基本計画成果指標との関連** □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 図書館利用者が安心して利用できる施設環境を維持管理し運営していくとともに、市民の多種多様な学習情報のニーズに応え、市民の学習活動や、地域連携を支援する図書館として、質の高い図書館サービスの提供を図る。図書館の管理運営を円滑に行うことで、「市民の暮らしに役立つ、市民に身近な図書館」を実現する。 事務事業本来 の目的・成果 所管部課 教育部生涯学習課 関係部課

	<u>2.</u>	事務	事業の実施	話果_												
		和2年度 事務事業 ミ施内容	料の貸出、 入。寄贈i Wi-Fiの設	返却、 資料の選 置、利	予約、レフ 建定、装備、 用者用イン	指定管理者へ ファレンス等力 受入。除籍資 ターネット端	ウンタ 料の選 未の設置	一業務) 定、廃  こ、おは	、資料 集。)、 なし会、	整備事自主事 映画	業(購 業(デ 会等)。	計入資料 デジタル 。	の選定、 アーカ・	発注イブの	、装備、 導入、フ	受
			(人各中)	<b>业国</b> 青郎	は と	会の開催(3回、 会和-	元年度	<b>屮</b> ഥ)。	(人名中)	少和2		上个门理	呂力軒(		。 3年度	
	ſ	 直	予	 算	 額	237, 200		円	245		, 000	円			328, 000	) 円
扎	殳	接	決	 算	額	236, 712		円		, 322		円	予算額		少数(R3-	
		費		源の有		■ 有	<del>, ∪</del> 無		■ 1	•	<del>, . c ,</del> □ 無		3 71 2		287, 000	
7	۷ŀ		正規職員数	数			2.00	人			2.00	人			2事項	
		従事職員	員 再任用職員	員数			1.00	人			1.00	人	(予算	額の主	Eな増減理	里由)
-	٦Į		会計年度	壬用職員	数	-		人		_		人			LED照	
		正規職員		数×平均	人件費	15, 008	-	円		, 280	,	円			、菖蒲区 (修工事の	
-	۲ .	人件費	25.	平均人		7, 504		円		, 140		円	ほか。	,,,,,,,,,,,	(1)2—3.17	""
		再任用職				3, 997		円		, 093		円				
ŀ	٠.	人件費	. p.j.	平均人		3, 997	,000	円	4	, 093	,000	円				
		会計年度任用職員人	- 11-1 1 12-11		の人件費		201	円	2/2		1/17	円	_			
	4	事業費計	十(直接費+	人件質)		255, 717	, 391	円		, 695		円の行	œ		<u> ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲ ۲</u>	<b>-</b>
		種類	指		標	名	単位	上段: [	和元年度	· :実績		和2年	· <u>设</u> 段: 実績		令和3年度 目標 下段	
	ŀ							上权 :	142	· 天祺 \		0 (県平均		上权•	県平均	・天限
‡		活動	人口1人当た	りの図	書購入費		円	(	193	,	(17	195	首化) <b>)</b>		<u> </u>	
,	<b>"</b>	»			35 ( <del>)</del> .   . <del>  .   .   .   .   .   .   .   . </del>			(	5.00	)	(	5.15	)	(	5.30	)
		成果	人口1人当た	りの年	間貸出冊数		₩	`	5. 16		`	2.86	,	_		
	ľ	成果	 人口1人当た	いの書	<b>主</b> 粉		m	(	3	)	(	3	)	(	県平均	)
村	票	八木 ノ	ハロ・ハヨ/こ	ソの敵	<b>音</b>		πσ		3. 18			3. 21				
								(		)	(		)	(		)
		指標に	関する特記事	耳 数	直の算出方:	去は、埼玉県図	凶書館協	会が発	行する「	埼玉(	ひ公立[	凶書館」	に準じ	ている	o o	

# 3. 評価結果と今後の方向性

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の儿子を凶る	成果の方向性	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
□   C   のりゆる円反かり事業主体を見直り	塗りつぶしてく			コスト投入	人の方向性	
実やデジタルアーカイブの導入など、来館以外による図書館利用の促進を図った。今後も来館型、非来館型それぞれにあったサービスの充実を図るとともに、興味や関心を持つ新規事業を 実施し、新たな利用者獲得に繋げていきたい。	場に苦慮し するための の閲覧スへ は、既存の く。また、 切に資料を 書内容の 新	)新たな書き ペースを減ら )閲覧スペー 利用者ニー を除籍し、リ で実を図って	今以上に蔵 架スペース うすことも ースを維持 ーズを的確 又容能力の	書数を増や を確保しな 検討しなけ しながら、 に捉えた資	すには、資ければならればならな ればならな 配架を工夫 料の選定を	が、既存 い。当面 もしてい を行い、適
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 生涯学習慧	果長 坂東	勝則				

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 社会体育推進事業 事務事業整理番号 480215502 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 8 スポーツ・レクリエーション活動の充実 1 スポーツ・健康づくりの推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実 KP I 付け <mark>後期基本計画成果指標との関連</mark> ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市民の健康づくりや体力の向上に資するため、各種大会等を開催し、スポーツ・レクリエーション活動への参 の目的・成果加機会の充実を図る。 所管部課 教育部スポーツ振興課 関係部課

	2.	事務	事業の実施結果									
	틬	和2年原 事務事業 実施内容	中止した。							ュースポ	ーツ教室	室を
Ī				令和元	元年度		令和 2	2年度		令和3	年度	
1	投	直	予 算 額	1, 443	,000	円	405	,000 円		80	09,000	円
	JX	接		1, 339	,050	円	101	,162 円	予算額	質との比較		
	,	費	特定財源の有無	■ 有	□無		■有	□無			04,000	円
1	入		正規職員数		0.30	人		0.30 人		特記事		
		従事職				人	_	人		額の主な		
1	⊐		会計年度任用職員数	_		人		人		大会記念 等の増額	記品やそ(	の他
		正規職		2, 251	-	円	2, 142		/日本七日日	サッカ目的	81C Q Q	•
	ス	人件費	2 J - 1 - 37 (11 A	7, 504	,000	円	7, 140					
		再任用職		_	200	円	_	円				
	<b>-</b>	人件費	> 1 - 1 - 10 (II) K	3, 997	,000	円	4, 093					
		会計年度任用職員	五川十尺江川柳兵の八川兵		250	円		<u>円</u>	_			
ŀ		事業費	計(直接費+人件費)	3, 590	, 250	円	2, 243					
		種類	指標	名	単位		和元年度	令和2年			和3年度	-
				A		上段: [		上段:目標 下				・美績
	指		スポーツ・レクリエーション大会 参加者数	会、教室等の	人		8,900 ) 5,970	( 19, 20			9,500	
1	百		>//i-i-i			(	30 )	( 30	) (	(	30	$\overline{}$
		成果	スポーツ競技大会出場選手奨励会	金交付件数	件	(	29	6	)		<u> </u>	
						(		(	)	(		$\overline{}$
,	標					(	,	\	,			/
ľ	IXIX					(	)	(	)	(		$\overline{}$
						`	,	`	,	<u>`</u>		-
		指標に	関する特記事項					l		<u> </u>		

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の月を元直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
本来、市民の健康づくりや体力の向上に資するために各種大会や教室等を開催すべきところであるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、スポーツ・レクリエーション大会等を中止した。 各種スポーツ競技の振興を図る上で、全国大会等に出場する選手に対する奨励金を交付することは大変有効である。	民の多様化部署と連携いく必要がまた、市世代の市民	F民の健康で 民が参加し [*] −ツ・レク!	ズを捉えた。 D開催方法 づくりや体 やすい各種	スポーツ教 等について 力の向上に 大会や教室	室等の開催   、引き続き   資するため   等を開催す	ぎや、関係 - 検討して - 検討して - に - に - こととも
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 スポーツ技	長興課長 舒	鈴木 洋寿			•	

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 学校体育施設開放事業 事務事業名 事務事業整理番号 480115505 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 1 スポーツ・健康づくりの推進 施策 8 スポーツ・レクリエーション活動の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け 細施策 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実 KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲において開放することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動 **の目的・成果** に親しむ場を提供する。 所管部課 教育部スポーツ振興課 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	事務	事業(	<u>の</u> 表所	也結果														
	事	和2年原 事務事業 長施内容	1	市内に	おけるハ	小・中学校3	4校の村			の体育					を促進し				
								令和为	元年度			令和2	2年度			令和	03年	度	
l _±	殳	直		予	算	額		415	,000	円	1	, 172	,000	円			536	,000	円
3.	×	接		決	算	額		266	, 466	円		942	, 842	円	予算額	頁との	比較	(R3-R	2)
		費		特定則	<b>才源の有</b>	無		有	■無		■ 有	1	□無	ŧ			-636	,000	円
7	ᄾ		正	規職員	数				1.00	人			1.60	人		特	記事項	頁	
		従事閥	<b>員</b> 再	任用職	員数			_		人		_		人	(予算	額の	主な均	曽減理I	由)
-	⊐Į		会	計年度	任用職員	員数		_		人		_		人	備品	納入	費に係	る事業	業費
		正規職		規職員	数×平均	匀人件費		7, 504	, 000	円	11	, 424	,000 円		備品及	ひ修	<b>語料</b> 0.	)减額。	
-	٦l	人件費	責	参考:	: 平均人	件費		7,504	, 000	円	7	, 140	,000	円					
			再任用職員 本任用職員数×平均人件					_		円		_		円					
l,		人件費			: 平均人			3,997	,000	円	4	, 093	,000	円					
ľ	'	会計年度任用職員				員の人件費		_		円		_		円					
		事業費	計(直	接費+	人件費	)		7, 770	, 466	円			, 842						
		種類		指		標	名		単位		和元年度			令和2年				3年度	
		12//		111		1237	Н		712	上段:	目標 下段	:実績	上段:		设:実績	上段			実績
		活動:	学校体	育施部	開放学	校数			校	(	34	)	(	34	)	(	3	3	)
扌	自	,,,,,,,,	3 1741.1		4,7,5,5,7,7,5						34	,		34	<b>2</b> ,			<u> </u>	_
		成果	学校体	育施設	別用者	数			人		16,000	)	(	216,00			216,	, 000	)
											71,956		,	117, 14	:1	,			Ź.
4	票									(		)	(		)				)
1	示									(			/		\				$\overline{}$
										(		)	(		)				)
		指標に	関する	な特記	<b>主</b> 佰														$\overline{}$
		コロルドロ	- IXI 7 C	בטם ניו ע	ナース														

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 前側とのう天旭人は 盾の儿子を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×
日日日本来の庭の力を元巨り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充
日でありゆる内皮がり事未生体を先直す	塗りつぶしてく	(ださい。			入の方向性	
学校体育施設を開放することで、市民がスポーツ・レクリ	新型コロ	コナウイル				
エーションに親しみ、健康の保持増進と体力の維持向上に寄与することができた。今後も利用者が安心して快適に利用ができ		℡囲 ♡、 施語 学校体育施語			いく必要か	
るよう、学校や利用団体と調整を図りながら、学校体育施設を		とや利用団は				
開放していく。	いく。					
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 スポーツ語	辰興課長 🔅	鈴木 洋寿		•		

1. 事務事	業概要				対象	令和	02年度	実施事業	<b>美</b>
事務事業名	久喜マラソン大会事業			事務事	業整理	番号	480	315506	
40 A IE 67 - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷	<b>注の歴史文化を大切にするまち</b>	第2期総合	基本目標	4 あらら	りる世代が健	康で安心して暮	らせるまちをこ	つくる
総合振興計画	施策 8 スポーツ・レクリ	エーション活動の充実	戦略におけ	施策	1 ス <i>ī</i>	ポーツ・	・健康づく	くりの推	進
総合振興計画 における位置 付け	<mark>細施策</mark> 3 スポーツ・レクリエーショ	ョン活動を通じた市民交流の促進	る位置付け	KPI	_  -				
13.7	後期基本計画成果指標との関連	総合振興計	l画実施計画	国への排	『載■	該当	□ 非該当	á	
事務事業本来 の目的・成果	市のスポーツ振興と市の認知	1度の向上を図るため、久喜	喜マラソンス	大会を実施	する。	·			
所管部課	教育部スポーツ振興課 関	<b>長孫部課</b>							

#### 2. 事務事業の実施結果

_2	. 事務	事業(	ひ 実 派	<b>西結果</b>													
1	3和2年原 事務事業 実施内容	~ ,-		ロナウイ <i>.</i> ンを実施		Eの感染拡大防	〕止の観	点から ^っ	マラソン大会	会を	中止し	、その	代替え	事業と	こしてを	オンラ	1
						令和:	元年度		令	和2	年度			令和	13年	隻	
投	直		予	算	額	10, 253	3,000	円	9,7	750,	000	円		10	, 247,	000	円
仅	接		決	算	額	5, 168	3, 289	円	2,8	366,	901	円	予算額	頁との	比較	(R3-R	2)
	費		特定則	オ源の有無	Ħ.	□有	■無		■有		□無				497,	000	円
入		正規	現職員	 数			2.25	人		(	). 90	人		特	記事項	Ī	
	従事閥	員 再	壬用職	員数		_		人	_	_		人	(予算	額の	主な増	減理日	由)
$\Box$		会	計年度	任用職員	数	_		人	_	_		人		間外勤務手当の増		の増額	訂こ
	正規職	正規職員 正規職員数×平均人件費				16,884	, 000	円	6,4	126,	000	円	よる。				
la	人件費	人件費 参考:平均人件費				7,504	, 000	円	7,140,000 円			円					
		再任用職員 本任用職員数×平均人件				ı		円	_	-		円					
	人件費	Ì	参考:	:平均人作	費	3, 997	,000	円	4, 0	)93,	000	円					
15	会計年度任用職員	会	計年度	任用職員	の人件費			円	_	-		円					
	事業費詞	计(直	接費+	人件費)		22, 052	2, 289	円		<u>92,</u>	901	円					
	種類		指	;	標	名	単位		和元年度			和2年			令和3		
	12//		111		127	н	712		目標 下段:	<b></b> 美績	上段: [			上段	目標		実績
	成果	久喜マ	ラソン	/大会申込	者数		人		5,000	)	(	5,500	)	(	3, 0	00	)
指							, ,		5, 577			966				_	<u> </u>
								(		)	(		)				)
								,		,				,			$\overline{}$
標								(		)	(		)				
示	-							/		<u>,                                    </u>			\	-			$\overline{}$
								(		,	(		)		_		)
	指標に	関する	、 と と と と と に し こ は こ に り こ り こ り こ り ら り ら り ら り ら り り り り り り	巨百													_
	担信に	対りる	71寸66号	<del>芦</del> 切													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 前回とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ B 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す □ スト投入の方向性、成果の方向性及び事業の方向性を赤く □ 皆減 □ 縮小 ■ 維持 ■ 拡充 □ 位性及び事業の方向性を赤く □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □											
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性											
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から久喜マラソン大会を中止した。しかし、久喜マラソン大会に代わる事業としてオンラインマラソンを実施し、コロナ禍におけるランナーへ走る機会の提供と、参加を通じて久喜市を知ってもらう機会を提案することにより、全国各地から喜びの声が寄せられ、市のスポーツ振興と市の認知度の向上が図られた。  「会後、コロナの終息を見据えた久喜マラソン大会も検討しながら、市のスポーツ振興と市の認知度の向上を目途に、引き続き、実行委員会組織において大会を開催していく。											
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   スポーツ排	<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> スポーツ振興課長 鈴木 洋寿										

<u>1.事務事</u>	業概要	_	対象	令和	112年度実施事業
事務事業名	健幸・スポーツ都市宣言推進事業	事務事	業整理	番号	310115508
(() A IE (III - I -	大綱 3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち 第2期総合	基本目標	4 ass	りる世代が健	- 康で安心して暮らせるまちをつくる
総合振興計画における位置	<mark>施策</mark> 1│健康づくり・食育の推進 <mark>戦略におけ</mark>	施策	1 ス <i>ī</i>	ポーツ・	・健康づくりの推進
付け	<mark>細施策</mark> 1 健康づくりと食育の推進体制の整備 ^{る位置付け}	KPI	1 新た	なスポーツ	/事業・イベントの実施(累計)
13.7	後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 <mark>総合振興</mark>	計画実施計画	画への排	『載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	久喜市「健幸・スポーツ都市」宣言の趣旨を広く市民に啓発する 啓発の一環としてスポーツに関するさまざまな事業やイベントを むきっかけづくりができ、都市宣言の目指すスポーツを通じた市B	中歩せっし	\- I- F	/ \ <del>+</del>	民がスポーツに親し ことができる。
	教育部 スポーツ振興課 関係部課				

#### 2. 事務事業の実施結果

1	和2年月 事務事業 実施内容	ŧ	<ul><li>・啓発看板</li><li>・ネックス</li><li>・啓発動画</li></ul>	i(3か所 トラッフ i作成(1	事・市民投票 )、懸垂幕 パ(正職員1, 8本) ノトの開催(	(3か所) 300本、 <del>1</del>	、横断幕 会計年度	<b>訃(3か</b> 剤 任用職員	f)の設t €1,000本	置 (a) ・公	用車マグ	ネット		(50台分1(	)0枚) の作	戓	
							令和为	元年度			令和2	2年度			令和3年	F度	
投	直		予	算	額		_		円		4,608	,000	円		1, 49	9,000	円
17	接		<u>決</u>	算	額		_		円		4, 046	, 301	円	予算額	頃との比較		2)
٦.	費			排の有	無		有	□無			- 13	■無	_		-3, 10	9,000	円
入			正規職員				_		人			1.00	人	_	特記事		
	従事閥	員	再任用職				_		人		_		人		類の主な		
			参考:平均人件費				_		人				人		マークのを板の設置		
	正規職		正規職員数×平均人件費 参考:平均人件費				<u> </u>		円	7,140			円	ズの製	作といった	た取組∂	タが
ス	人件			-			7,504	,000	円		7, 140	,000	円	▋終了し	、動画作	成はスポ	ぱー
	再任用單	~~~						000	円			000	円	ツ活性	化事業に	移行し、 作りマラ	 ෭カ
_	人件						3, 997	,000	円		4,093	,000	円		配布のみ		
	会計年度任用職員		参考:平均人件費 会計年度任用職員の人件費 (直接費+人件費)					円		_ 11 10/	201	円	め。				
	事業費	計	(直接質+	人件費	)		_		円		11, 186	_	円 0.17.0.4	- ct-	A 1-	- A- A-	
	種類		指		標	名		単位		和元年			令和2年			13年度	<b></b>
									上段:目	3標 「	·段:美績	上段:	日標	段:美額	上段:目標	<b>下段:</b>	<b>美領</b>
指	活動	趣旨	<b>旨普及のた</b>	めの取	組実施数			取組	(		)	(		)			)
拍									(		\	-	<u> </u>		-		_
									(		,	(		,			)
									(		)	(		)	(		$\overline{}$
標											,					_	/
									(		)	(		)	(		$\overline{}$
									Ì			, i		•			
	指標に	関	する特記事	1 令	和3年度以降	峰は指標	をスポ	ーツ活	性化事業	業(48	01215509	) に _統	<b>充合</b> 。		•		

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり美胞文は一層の元美を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
□ こ のうゆる円反から事業主体を兄直り	コスト投入	人の方向性				
動に取り組むきっかけ作りができるよう、オンラインや動画配信などの新しい手法も活用しながら啓発に取り組んだ。新型コ	に久喜市 PR事業な ンイベント 事業(480 令和3年	「健幸・スァ などに特化す へを含むスァ 1215509)の 度の本事業	ポーツ都市 することと ポーツイベ の中で目標 では、ロコ	」宣言の趣 したため、 ントに関し 設定を行っ ゴマーク入 ^い	シートを含まります。というというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	体的には ウオンライ -ツ活性化 ことする。 スクキッ
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 スポーツ排	長興課長 銀	鈴木 洋寿				

1. 事務事	業概要	_	対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	スポーツ活性化事業	事務事	業整理	番号	480215509
40 A IE 67 - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 第2期総合	基本目標	<b>4</b> あらは	る世代が健	康で安心して暮らせるまちをつくる
総合振興計画	施策 8 スポーツ・レクリエーション活動の充実 戦略におけ		1 Zī	ポーツ・	健康づくりの推進
総合振興計画 における位置 付け	細施策 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実 る位置付け	KPI	1 新た	なスポーツ	事業・イベントの実施(累計)
, , , ,		十画実施計画	画への挑	<b>引載</b>	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	久喜市における市民のスポーツ実施を活性化することを目的とし さまざまなスポーツや運動の事業・イベントを実施することによ なスポーツとのかかわりを創出することができる。	ている。 り、市民の	スポー	ツ実施な	が活発となり、多様
	教育部スポーツ振興課 関係部課				

#### 2. 事務事業の実施結果

	• <del>事</del> 份	事業の	<b>气心心</b> 心														
	3和2年原 事務事業 実施内容	* _\				くきスポ!」? = (11,000本)	0	ノ、スポ	パーツ			動画な	どを発信	-			
						令和无	元年度			令和2	2年度			令和	03年度	ŧ	
投	直	=	<b>F</b>	算	額	_		円		1, 248	, 000	円		3	, 115,	000	円
1X	接	3	夬	算	額			円		647	, 076	円	予算額	頁との	比較(	(R3-R2)	)
_	費	特	定財源	の有類	Ħ	□有	□無			]有	■無			1	, 867,	000	円
入		正規聯	員数			-		人		,	1.00	人		特	記事項		
	従事閥	員 再任用	職員数	数		1		人		_		人			主な増		. ,
$\Box$		会計年	度任用	用職員	数			人		_		人			オリンし		学
	正規職		員数:	×平均	]人件費			円	7, 140, 00				大連携観戦チケット (12,024千円) につ			пΙ	
ス	人件費	参	考:平	均人	件費	7,504	,000	000 円		7, 140		円	上による中止のため		め減額	補	
	再任用單				均人件費	_		円				円			。令和3		
_	人件費	2	均人		3, 997	,000	円		4, 093	, 000	円			ンピッ? ットに1			
l '	会計年度任用職員				の人件費			円				円	してい			- С µ	_
	事業費	計(直接	<b>貴+人</b>	件費)		_	•	円		7, 787		円					
	種類		指		標	名	単位		和元年			令和2年			令和3		
	127/		, H		127		1 1-	上段:	∃標 ┐	段: 実績	上段:	目標下	段:実績	上段			<b>  夫  長  長  長  大  大  大  大  大</b>
	活動	新たなス	ポーツ	事業	・イベント(	の実施	件	(	_	)	(	_	)		3		)
指	.,							,		,		2				_	<u></u>
								(		)	(		)				)
	$\vdash$							,		,	,			,		_	$\overline{}$
標								(		)	(		)				<u>)                                    </u>
信示								(		\			\	(			$\overline{}$
								(		)			)		_		-
	七七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	問する性	ショウ シャン・ション シャン・ファイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マ	<u>5</u>	112年度以及	は健幸・スポ	い/耂/7:	   	化准束	* / 2101	15500	) WF:	亜た幼스				_
	担保に	- 対9の行	心事均	マープト	II3平反以阵	=は)廷羊・人小	一フ郁	마므리	<b>E</b> 進手	未(3101	12208	ノリガ百化	示で抗口	0			

総合評価と判断理由	-	今後の課題	題、事業の	方向性と具	体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調						
■ A 前回とのり天旭又は一層の儿子を凶る	成果の	維持	×	改善	現状維持	×						
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×						
コスト投入の方向性、成果の方 ・ は現												
<u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性												
スポーツ振興課設置初年度ということで、今までに取り組むことができなかった手法を検討し、Instagramを活用してオンラインによる随時のスポーツ情報発信に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の流行により、実際に市民を集めてのスポーツイベントを実施することはできなかったが、家にいながらスポーツに取り組むきっかけを作ることができた。	今後についまえ、オンラ 様な市民の野 ていく。また ポーツ都市 オンライン・ て実施してい	ラインイク 環境に合れ た、事業 <i>の</i> 宣言推進事 イベント <i>の</i>	ベントとリ Oせた事業 D内容を整 B業(3101	アルイベン ・イベント 理し、令和 15508)で写	の考案・実  2年度に健 実施した動	図り、多 施を図っ 幸・ス 画作成・						
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 スポーツ排	長興課長 鈴	木 洋寿										

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 体育施設管理事業 事務事業整理番号 480115512 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 4 あらゆる世代が健康で安心して暮らせるまちをつくる 第2期総合 総合振興計画 施策 1 スポーツ・健康づくりの推進 8 スポーツ・レクリエーション活動の充実 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け <mark>細施策</mark> 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実 KP I 付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 市民の健康の保持増進を図るため、スポーツ・レクリエーションに親しむ場としての体育施設の充実を図る。 の目的・成果 所管部課 教育部スポーツ振興課 関係部課

#### 古を古米の中状は田

	. 事務	<del>}事</del>	業の実施	話果								
4	令和2年 事務事等 実施内容	業		動広場ナイター照明 調設備更新工事を身		菖蒲温	水プー.	ルオーバーフロ	コー用ろ過ポン	プ更新	工事及び菖	蒲温水
					令和元	元年度		令和	2年度		令和3年	度
投	直		予	算 額	174, 864	, 000	円	185, 877	', 000 円		168, 567	,000 円
12	接		決	算 額	174, 830	, 646	円	182, 126	, 653 円	予算額	質との比較	(R3-R2)
_	費		特定則	排の有無	■ 有	□無		■ 有	□無		-17 <b>,</b> 310,	,000 円
ス	`		正規職員	数		0.30	人		0.80 人		特記事項	Į
	従事履	員	再任用職員	員数			人	_	人		類の主な増	
=	1			壬用職員数	_		人	_	人		請負費にお	
	正規聯	<del>~~~</del>	正規職員数	数×平均人件費	2, 251		円	5, 712		上事の	大幅な減額	lo
7	人件			平均人件費	7, 504	,000	円	7,140	-			
				員数×平均人件費	_		円	_	円			
	人件			平均人件費	3, 997	,000	円	4,093				
ľ	会計年度任用職			壬用職員の人件費	_	0.11	<u>円</u>	_	円			
	事業費	計 (	(直接費+	人件費)	177, 081	, 846	円	187, 838	<del>-</del>	<u> </u>	^ <u></u> -	
	種類		指	標	名	単位		和元年度	令和2年			3年度
							上段:	目標 下段:実績		段:実績		
11-	活動	開場	易日数			日	(	350 )	( 350	)	( 35	50 )
指	-						( )	356	297	20 )	/ 201	000
	成果	体育	育施設利用	者数		人		81,000 )	( 281, 0		( 281,	000 )
	_						(	15, 755	131, 6	70	1	
樗	5						(	,	(			,
12]	<b>`</b>						(	)	(	)	(	
							`	,	`		<u>`</u>	
	指標	こ関す	する特記事	項					<u> </u>			

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成 果	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 前回とのり天旭又は一層の几天を図る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本来の庭の月を元直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
日とのうゆる内皮がう事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性					
新型コロナウイルス感染症の影響により体育施設の利用が低下する中、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ場として体育施設の充実と計画的な修繕等を行い、快適な利用環境を整備している。 また、指定管理者制度を導入することで、民間事業者のノウハウを活用しながら安全で快適な施設や新たなサービスが提供できるとともに経費の節減を図ることができる。	修繕を行っ 市民がス 続き、指定	その機能を終っていく必ら スポーツ・し ミ管理者に、 さだけでなく	要がある。 レクリエー よる施設の	ションに親 管理運営を	!しむ場とし 行い、安全	ノて、引き 全で快適な				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 スポーツ技	<mark>評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名  </mark> スポーツ振興課長 鈴木 洋寿									

1. 事務事	業概要					対象	令和	02年度実施事業
事務事業名	鷲宮運動広場公衆トイ	レ改修事業			事務事	業整理	番号	480115513
(() A IE (1) - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、	郷土の歴史文化を	大切にするまち	第2期総合	基本目標	4 あらk	りる世代が健	・ 康で安心して暮らせるまちをつくる
総合振興計画における位置	施策 8 スポーツ・レク	リエーションシ	活動の充実	戦略におけ		1 ス7	ポーツ・	・健康づくりの推進
付け	細施策 1 スポーツ・レク	リエーション	施設の充実	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との	<mark>関連</mark> ■ 該当 〔	□ 非該当	総合振興計	十画実施計画	国への排	3載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	鷲宮運動広場をはじめ付え	近の公共施設利用	用者等の利便的	生を図るたる	め、公衆ト	イレを	設置する	るもの。
所管部課	教育部スポーツ振興課	関係部課		•				

#### 2. 事務事業の実施結果

	. 事務	事業(	ひ 夫が	地 市米													
1	和2年限事務事業 実施内容	/ / / /			さはじめとし き託及び鷲宮							させる	るため、	鷲宮運	動広場么	∖衆トイ	レ改
							令和为	元年度			令和2	2年度			令和3	3年度	
投	直		予	算	額		1, 444	,000	円	3	6,047	, 000	円			(	) 円
18	接		決	算	額		1, 411	,000	円	3	5,076	, 635	円	予算額	頁との比	.較(R3-	R2)
	費		特定則	オ源の有	無		<u>有</u>	■無			有	□無			-36,0	47,000	) 円
入		正	規職員	数				0.08	人			0.30	人		特記	事項	
	従事職	員 再	任用職	員数			_		人		_		人	(予算	額の主	な増減理	里由)
$\Box$				任用職員				人		_		人			て工事だ	が完	
	正規職	員 正規	規職員	数×平均	1人件費		600	, 320	円		2, 142	, 000	円	了した	ため。		
la	人件費	Đ	参考:	:平均人	件費	•	7,504	,000	円	7, 140		, 000	円				
			壬用職	員数×平	^Z 均人件費		_		円		_		円				
	人件費	Đ	参考:	:平均人	件費	•••	3, 997	,000	円		4,093	, 000	円				
	会計年度任用職員	会 会	計年度	任用職員	の人件費		_		円		_		円				
	事業費詞	十(直	接費+	人件費)		í	2,011	, 320	円		7, 218	, 635	円				
	種類		指		標	名		単位		和元年			令和2年			和3年度	
	12//		111		125	н		T 124	上段:	目標 下戶	<b>设:実績</b>	上段:	目標 下	设:実績	上段:目	標 下段	:実績
	成果	丁事実	施数					件	(	_	)	(	1	)	(	_	)
指	1742 1												1				_
									(		)	(		)			)
	$\vdash$											,		,			
1==									(		)	(		)			)
標	$\vdash$								,		`			`			<u></u>
									(		)	(		)			)
	北海一	88 士 7	⋗ ル <del>ナ</del> ニファ	5.15													_
	指標に		7村記号	<del></del> 事 以													

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方 向 性	縮小	×	縮小	×	×
ロ B 争来の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充
口 C のりずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投	入の方向性	
施設改修の管理業務委託及び工事を実施したことにより、公 衆トイレの改修工事が完了した。		(レ改修工事)		、市民及び	施設利用者	作の供用を
評価年月日   令和3年6月28日   評価者職氏名   スポーツ抵	長興課長 銀	冷木 洋寿	•			·

1. 事務事	業概要		_	対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	文化財保護事業		事務事	業整理	番号	470415602
(() A IE (T) - I -	大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち	第2期総合	基本目標			-
総合振興計画における位置	施策 7 歴史・文化の継承と活用	戦略におけ	施策	-  -		
付け	細施策 4 文化財の保存・継承	る位置付け	KPI			
	後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への打	曷載■	該当 🗆 非該当
事務事業本来の目的・成果	文化財の保護と活用等を通じて、郷土に対する愛着心様々な事業を行うことにより、郷土に対する愛着心の					
所管部課	教育部文化財保護課 関係部課					

2	. 事務	事	業の実施網	吉果											
2	令和2年 事務事等 実施内容	業		査の実施、指定文化財の説明板の説										成活動へ	の支
					令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
挼	直		予	算 額	3, 648	,000	円		2,838,	, 000	円		2,	858,000	) 円
17	接			算 額	3, 219	, 493	円		1, 914,	, 825	円	予算額	頁との	比較(R3-	R2)
١,	費		特定財源	原の有無	□有	■無			有	■無				20,000	) 円
ス			正規職員数			1.10	人			1.10	人			記事項	
	従事₩	員	再任用職員		_	人				人	(予算	額の	主な増減理	曲)	
	' <u> </u>		会計年度任				人	_ 			人				
	正規聯	~~		×平均人件費	8, 254		円	7,854,000 円							
ス	人件			均人件費	7, 504	,000	円	7,140,000 🖰							
	再任用	1-00		数×平均人件費	- 2 000	000	円			000	円				
1	人件			均人件費	3, 997	,000	円		<b>4,</b> 093,	, 000	円				
	会計年度任用職			用職員の人件費	11 400	002	円		0 7/0	025	円				
	事業費	(計 	(直接費+人	件質)	11, 473	, 893	円	1n — 4	9, 768,		円の欠	r <del>i</del>		<b>公和った</b>	<b>+</b>
	種類		指	標	名	単位		和元年			和2年			令和3年原 目標 下段	_
	-						上权 :	380	段・夫領	上权・	380	ス・夫領	上权・	380	・天禎
指	活動	郷:	上伝統芸能後	継者育成活動の	実施回数	回	(	385	,		63	,	$\overline{}$	<del></del>	
15		<u> </u>					(	1	)	(	1	)	(	1	)
	活動	指別	定文化財の説	明板の新設件数		件		<del>-                                    </del>	,		<u>'</u>	,	_		,
							(	•	)	(	<u>'</u>	)	(		)
標	Ę								,			,	_		
							(		)	(		)	(		)
										-		-			
	指標	こ関	する特記事項	Į į		-	-					'			

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容	
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	成 果 の	維持	×	改善	現状維持	×
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×
□ D 事業の進め方を見直り	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充
日でありずる内皮がり事業主体を元直す	塗りつぶしてく			コスト投入	入の方向性	
	しやすい我 めとまながもに、 情報にして にいる。 はいるとは、 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。		ていく。 比財につい り調査報告 ジて指定措 定に関わら	ては、今後 書等の刊行 置の検討を ず、事業を	も継続的に 物により定 行う。 進める中で	調査を進 着を図る で得られた
<mark>評価年月日</mark> 令和3年6月28日 <mark>評価者職氏名</mark> 文化財保認	養課長 堀下	为 謙一				

1. 事務事	業概要				対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	市指定文化財「吉田家	水塚」運営事業		事務事	業整理	番号	470515604
40 A IE 65 - I =	大綱 4 心豊かな人材を育み、	郷土の歴史文化を大切にするまち	第2期総合	基本目標	-		
総合振興計画における位置	施策 7 歴史・文化の継	承と活用	戦略におけ	施策	-		
付け	細施策 5 文化財の活用		る位置付け	KPI	1		
	後期基本計画成果指標との	関連 □ 該当 ■ 非該当	総合振興計	<del> </del>  画実施計画	画への排	曷載 □	該当 ■ 非該当
事務事業本来 の目的・成果		家」を、市民共通の財産とし 別に行うことで、文化財の活り				•	
所管部課	教育部文化財保護課	関係部課					

#### 2. 事務事業の実施結果

	<u> </u>	事務	事ま	きい夫に	施結果	-																																		
4	事	令和2年度 事務事業 実施内容 本・土・日曜日の公開、小学校の団体見学など公開日以外の臨時公開を行った。 大・土・日曜日の公開、小学校の団体見学など公開日以外の臨時公開を行った。 を和2年度 令和3年度																																						
								令和为	元年度			令和2	2年度			令和	13年度																							
抄	$_{\scriptscriptstyle{\Lambda}} \Gamma$	直		予	算	額		1,695	,000	円	1	,550	,000	円		1	,537,0	00 円																						
13	×	接		決	算	額		1,554	, 921	円	1	,022	,602	円	予算額	真との	比較(R	3-R2)																						
		費		特定	財源の	有無		有	■無		□1		■無				-13, 0	00 円																						
J	┖		Ī	E規職員	数				0.50	人	0.50 人				特記事項																									
	1	従事職	_員 拝	任用暗	貴数			_		人		_		人	(予算	額の	主な増減	(理由)																						
=	]		4	計年度	<b>E任用</b> 職	<b>員数</b>		_		人		_		人																										
	_ [i	正規職		E規職員	数×平	均人件費		3, 752	,000	円	3,570,000 円			円																										
-	٦L	人件費	ŧ	参考	:平均。	人件費		7,504	,000	円	7,140,000 円			円																										
	耳	再任用職	V> -	任用暗	战員数×	平均人件費		_		_		_		_		_		_		_		_		_		_		_		_		円	_			円				
<b> </b>	Ĺ	人件費			:平均。			3,997	,000	円	4	, 093	,000	円																										
'	会	計年度任用職員				員の人件費		— 円			— 円																													
	틕	事業費	計(i	直接費-	+ 人件費	<b>)</b>		5, 306	<u>, 921</u>	円	4, 592, 602 円																													
		種類		指	i	標	名		単位		和元年度			令和2年		令和3年度																								
	L	12//		,11		125			714	上段:		:実績	上段:	目標 下段	:実績	上段:		段:実績																						
		成果	吉田	家水塚(	の公開日	∃数			l⊟	(	152	)	(	153	)	(	154	)																						
拮	Ĭ_	,,,,,,								,	154		,	91	,	,	1 50																							
		成果	吉田	家水塚(	の見学者	<b></b> <b>当</b> 数			人	(	1,700	)	(	1,700	)	$\smile$	1, 70	) )																						
	H									-	1,604	\	-	495	`	-		$\overline{}$																						
桐	<del></del>									(		)	(		)			)																						
行表	<del>-</del>									(		\	(		`	1		$\overline{}$																						
												,	(		)			,																						
	-	お 押に	関す	る特記	<b>車</b> 佰																																			
		コロルドに	1719	חם ויו פ	子"六																																			

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容						
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調					
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を凶る	の	維持	×	改善	現状維持	×					
□ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×					
□ □ □ 事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性及び事業の		皆減	縮小	維持	拡充					
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す   向性及び事業の方向性を赤く   コスト投入の方向性   コスト投入の方向性											
吉田家水塚は、その施設自体が市指定文化財であることから、恒久的に保護していくとともに、水塚の歴史や役割等についても、引き続き市内外に発信していく必要がある。 なお、公開日数及び見学者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、62日間休館したことなどにより実績値は大幅に下がったものの、アルコール消毒や入館者数制限等の感染対策の徹底の上で、水塚の安全な公開に努めたものである。											
<b>評価年月日</b>	護課長 堀	为 謙一									

1. 事務事業概要 対象 令和2年度実施事業 事務事業名 郷土資料館運営事業 470615606 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 - |-第2期総合 総合振興計画 施策 7 歴史・文化の継承と活用 戦略における位置付け 施策 における位置 KP I 6 郷土資料館の充実 細施策 付け ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 郷土資料館で収集・分類、保存している資料を調査研究し、展示や講座に活用することで、郷土の歴史や久喜 市の魅力を市内外に発信することを目的とする。 様々な事業を行うことにより、郷土資料館を生涯学習の場として位置付け、郷土に対する愛着心の醸成に寄与 事務事業本来 の目的・成果 することができる。 所管部課 教育部文化財保護課 関係部課 教育部生涯学習課

#### +26+W 4 + H-/-

2	. 事	務事	<b>8事業の実施結果</b>													
4	令和 2 ³ 事務事 実施内	業	所蔵資 もちゃ展 行った。	料の収集	集・分類及び 新たな市指定	が保存、収蔵品 E文化財』の開	展『ち M催、『	ょっと 古文書 [:]	むかしの 学習会』	道具た や『鷲	: ち』 :宮催!	・スポッ <b>5楽神楽</b>	ト展『『 伝承教』	ちょっ 室』 <i>の</i>	)とレトロ )開催など	なお を
						令和	元年度			令和2	2年度			令和	13年度	
挼	L	直	予	算	額	4, 239	,000	円	2	703	,000	円		2	, 447, 000	) 円
12	4	妾	決	算	額	3,972	, 892	円	2	2, 239	, 646	円	予算額	真との	比較(R3-	R2)
_		貴	特定	財源の有	無	■ 有	□無		■有□無				-256,000 円			
ス	`		正規職員	数			2.00	人			2.00	人		特	記事項	
	従事	職員	再任用職	員数		_		人		_		人	(予算	額の	主な増減理	胜由)
=	1		会計年度					人		_		人				
	正規		正規職員			15,008		円		l, 280		円				
7		牛費		:平均人		7, 504	,000	円	7, 140, 000 円							
					P均人件費	_		円				円				
	人作	牛費		: 平均人		3, 997	,000	円	4	l, 093	,000	円				
ľ	会計年度任用				員の人件費	_	_ F			_		円				
	事業	費計	(直接費+	-人件費	)	18, 980	, 892	円		519		円			^	
	種類	Į l	指		標	名	単位		和元年度			和2年			令和3年月	
								上段:日		:実績	上段:		设: 実績 、	上段:	目標 下段	:実績
11-	活動	カ┃郷ニ	土資料館の	の開館日	数		日	(	290	)	(	290	)		290	)
指	-							-	286	`	1	120	\	1	7 000	$\overline{}$
	成果	₹ 郷:	土資料館(	の入館者	数		人	(	7, 900 8, 835	)	(	7, 900 1, 652			7,900	
	_	+						(	30.0	)	(	30.0	)	(	30.0	$\overline{}$
楊	成果	₹┃収歳	蔵品展のス	入館者数	(1日当た	り)	人	(	19.1	,		11.9	,		30.0	
123	<u> </u>	+						(	17.1	)	(	11.7	)	(		$\overline{}$
								`			`		,			
	指標	に関	する特記	事項												

総合評価と判断理由	今後の課題、事業の方向性と具体的内容							
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成甲	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
■ A 計画とのり天旭又は一層の九天を図る	成果の	維持	×	改善	現状維持	×		
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×		
口口の事業の進め力を允直す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す	コスト投入の方向性の性及び事業の方向	性、成果の方向性を表く	皆減	縮小	維持	拡充		
口でありゆる内皮がり事業主体を元直す	達りつぶしてくだ	さい。		コスト投入	入の方向性			
休館したことにより実績値は大幅に下がったものの、収蔵品展	取り組んでい 今後も郷土資 また、特別 調査研究等の 久喜市の魅力 の見直しにも	いきたい。 資料館とし 別展につい の準備作り 力を発信し も努めてい	また、小って可能ない いてはテー・ いてはテー・ そを進めていていく中・	中学校から 限り対応し マを早めに いきたい。	ていきたい 決定し、前 また、郷土	いては、 \。 「年度から この歴史や		

令和2年度実施事業 1. 事務事業概要 対象 公民館運営事業 事務事業名 460415703 事務事業整理番号 大綱 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 - -第2期総合 戦略におけ る位置付け 総合振興計画 施策 6 生涯学習の推進 施策 における位置 細施策 4 公民館活動の充実 KP I _ |-付け 後期基本計画成果指標との関連 ■ 該当 □ 非該当 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 □ 非該当 事務事業本来 生涯学習活動、地域活動等の拠点施設として、公民館の円滑な運営を図る。 の目的・成果 所管部課 教育部中央公民館 関係部課

	. 事	<u>務事</u>	業の実施結	果									
4	令和 2 章 事務事 実施内	業	施設利用に 施設利用団 援した。	ついては、南2 体及び地域活動	\$民館を除く72 加団体に対し、	公民館 <i>0</i> 印刷・	)52部屋 コピー	屋を市民に提供 サービス等を打	:した。 是供し、生涯	<b>王学習</b> や地	域における	活動を	支
					令和元	元年度		令和	2年度		令和3年	度	
投	, i	直	予	算 額	23, 433	,000	円	4, 824	1,000 円		3, 552	,000	円
×ι	1 接			算 額	22, 454	22, 454, 114 円			9,018 円	予算額	額との比較	(R3-R	2)
١,	費	貴	特定財源の	の有無	■ 有	■ 有 □無			□無		-1, 272	,000	円
入			正規職員数			3.84	人		4.23 人		特記事項		
	従事	職員	再任用職員数			1.68	人		1.75 人		算額の主なり		
			会計年度任用				人		2.25 人 2.200 円		]2年度に老績 (6公民館		
	正規		正規職員数×		28, 815	,	円	30, 202	<mark></mark> 台)を	■ 印刷機(6公民館/各館1 ■ 台)を更新したことにより			
ス	人作	+貫	参考:平均		7, 504		円	7, 140	令和33	年度は備品	購入費	が	
	再任用		_		6, 714	,	円	7, 162			いるため。		
	人作	†貝	参考:平均		3, 997	,000	円	4, 093					
	会計年度任用	用職員人件費		職員の人件費	- 	12.1	円	4, 441	•				
	事業	貫計	(直接費+人件	-賀)	57, 984	, 434	円	46, 165		) 左阵	Δíπ	2 左曲	
	種類	Į	指	標	名	単位		和元年度	令和2			3年度	ch/±
							上段:			下段:実績			美領
指	活動	b 公E	民館貸出部屋数	女(上段:貸出	限度部屋数)	部屋	(	72, 160 ) 24, 793	( 71,	952 ) 175	( /1,	952	
1E		/\ F					(	35.00	( 35.		( 35	. 00	$\overline{}$
	成果		民館利用率 貸出部屋数/貸	出限度部屋数)	×100%	%		34.36	19.		( 33	. 00	
	_						( :	381,000		000 )	( 381	, 000	$\overline{}$
楞	成果	公[	民館利用者数			人		351, 741		750	<del>\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ </del>		
	÷4	7 7115	T # 1   + + 1	10771			(	250 )	( 2!		( 2	50	)
	効率	≦  村 月	用者1人あたり	ハハコスト		円		165	3				
	指標	に関	する特記事項	4月1日から5月3	1日まで、新型ニ	ロナウ	イルス感	染症の感染拡大	予防として臨	時休館を実	施したこと等	手による	) ₀

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	具体的内容					
■ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成果の	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
■ A 引回とのう失肥久は 信の元夫を囚る	の	維持	×	改善	現状維持	×				
□ B 事業の進め方を見直す	方向性	縮小	×	縮小	×	×				
日日日本代の庭の力を充置す	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
┃ ┃□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く</u> <u>塗りつぶしてください。</u> コスト投入の方向性										
公民館は生涯学習活動、地域活動等の拠点施設として、多くの市民が気軽に利用できる場所である。 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じて開館することで、市民が安心して集い、学べる機会の確保に寄与している。	適で安心で 新型コロ ら、引き組	総合保険へ( できる学習) コナウイル! 売き、施設 者の安全確(	環境の維持 ス感染症対 利用時にお	を図る。 応の長期化	が見込まれ	いることか				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 中央公民	館長須田	諭								

1. 事務事業概要 令和2年度実施事業 対象 公民館事業推進事業 460415704 事務事業名 事務事業整理番号 4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち 基本目標 _ |-大綱 第2期総合 総合振興計画 施策 6 生涯学習の推進 戦略におけ 施策 における位置 る位置付け KP I 細施策 4 公民館活動の充実 _ 付け 総合振興計画実施計画への掲載 ■ 該当 後期基本計画成果指標との関連 □ 該当 ■ 非該当 □ 非該当 事務事業本来 各種講座、教室等を開催して市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館事業を通じて市民に交流とふ <mark>の目的・成果</mark>れあいの場を提供する。 所管部課 教育部中央公民館 関係部課

#### 2. 事務事業の実施結果

令和2年度 事務事業 実施内容 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、多くの事業が中止となった一方、感染防止対策を徹底のうえ実施可能な講座等について、中央公民館1事業、南公民館1事業、西公民館1事業、森下公民館5事業、栗橋公民館2事業、鷲宮公民館2事業、久喜市公民館連絡協議会事業(公民館全体事業)2事業及び市民企画事業1事業を実施した。

これらの事業は、各公民館の運営委員会議等で市民のニーズを踏まえ計画・立案され、事業当日は公民館運営委員が職員とともに運営を行った。

**今和2年度** 

今和り年度

**今和元年度** 

						<b>令和</b> 7	<b>T</b> 年 度						令和3年度				
投	直		予	算	額	2,064	, 000	円		981	,000	円		1,	, 767, 00	0 円	
1X	接		決	算	額	1, 638	,803	円		354	, 912	円	予算額	質との	比較(R3·	-R2)	
١,	費		特定則	挪の有	無	□有	■無		口有		■無	ŧ			786,00	0 円	
入			正規職員数	数			3. 18	人			3.50	人		特	記事項		
	従事日	員	再任用職員	員数			1.39	人			1. 44	人			主な増減理		
$\Box$			会計年度	壬用職員	数	_		人			1. 87	人			は新型コ		
	正規暗		正規職員数	数×平均	1人件費	23, 862	-	円			,000	円	─ ウイルス感染症の感染状況 ─ 等を踏まえ一部事業を中止				
ス	人件	費	参考:	平均人	件費	7, 504		円 7, 14			,000	円	とし、	補正	予算により	減額	
	再任用單	1-747			^工 均人件費	5, 555		円	<del>9</del> 5, 893			円	補正を	行った	こため。		
	人件	費		平均人		3, 997	円	4, 093, 000 <u>⊞</u>									
1	会計年度任用職	はまた。 会計年度任用職員の人件費				一 円			5,916,375 円								
	事業費	業費計(直接費+人件費)				31,057	, 353	円	37,	<u>, 155</u>	, 207	円					
	種類		指		標	名	X   単位		和元年度		2	令和2年	度		令和3年	<b></b>	
	生水		10		JAN		十四	上段:		:実績	上段:		段:実績	上段:		と: 実績	
	活動	小 に	民館の事業	:数			事業	(	90	)	(	90	)	(	90	)	
指	74,25		-VAH V	.21			予べ		78			15					
	活動	小F	民館事業の	延べ盟	催日数		l⊟	(	300	)	(	300	)	(	300	)	
	711273			دارا، پ	шм				232			81	_			_	
	成果	小F	民館事業の	延べ参	加者数		人	(	13,000	)	(	13,00		(	13,000	)	
標	75071		- OMD -3>/C>		<b>7</b>				12, 291			1,012				_	
	効率	参加	四者1人あ	たりの	コスト		円	(	2,700	)	(	2,700		(	2,700	)	
									2,527			36, 71				_	
	指標は	こ関	する特記事	1 令	和2年度は新	型コロナウイル	レス感染	症の感	染状況等を	を踏ま	え多く	の事業	が中止と	:なった	きことによ	る。	

総合評価と判断理由		今後の課	題、事業の	方向性と具	体的内容					
□ A 計画どおり実施又は一層の充実を図る	成	拡大	×	革新	改善	拡大基調				
日本の自由にあり天祀文は一層の元天を図る	×	改善	現状維持	×						
■ B 事業の進め方を見直す	成果の方向性	縮小	×	縮小	×	×				
■ D 事業の進め力を允直す 	性	休廃止	廃止・終了	×	×	×				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す		向性、成果の方	皆減	縮小	維持	拡充				
□ C あらゆる角度から事業全体を見直す <u>向性及び事業の方向性を赤く</u> 塗りつぶしてください。 コスト投入の方向性										
市内8公民館において、各地区や市民のニーズを踏まえた各種講座、教室等を開催し、多様な学習機会を提供するとともに、地域の住民の交流・ふれあいの場を提供している。 一部の講座等においては、従来の開催方法では密になる場面や多くの人が接触する場面を回避することが難しいことから、事業の進め方を見直す必要がある。	ら、各地区 踏まえた事	コナウイル MIT の特徴を MIT を実施し MIT MIT MIT MIT MIT MIT MIT MIT MIT MIT	tかした事 し、多様な	業、また社 学習機会と	会や市全体	の課題を				
評価年月日 令和3年6月28日 評価者職氏名 中央公民館	铥 須田	諭		•						

<u>1. 事務事</u>	業概要				_	対象	令和	12年度実施事業
事務事業名	市民体育祭事業				事務事	業整理	番号	480315705
(() A I= (III - I - I	大綱 4 心豊かな人材を育み、	郷土の歴史文化	を大切にするまち	第2期総合	基本目標	-		-
総合振興計画における位置	施策 8 スポーツ・レク	リエーション	ン活動の充実	戦略におけ		-		
総合振興計画 における位置 付け	細施策 3 スポーツ・レクリエー	ション活動を通じ	た市民交流の促進	る位置付け	KPI	1		
1577	後期基本計画成果指標との	関連 ■ 該当	□ 非該当	総合振興計	画実施計画	画への排	曷載 ■	該当 🗆 非該当
事務事業本来 の目的・成果	市民にスポーツ、レクリニミュニティの連帯感を醸成す		かに親しむ機会 [:]	を提供する	とともに、	地域住	民の交流	流の場を提供し、コ
所管部課	教育部中央公民館	関係部課						

#### 2. 事務事業の実施結果

市内8地区(中央地区:中央公民館、青葉地区:青葉公民館、江面地区:南公民館、清久地区:西公民館と清久小学校との共催、東地区:東公民館、菖蒲地区:森下公民館、栗橋地区:栗橋公民館、鷲宮地区:鷲宮公民館)で開催を予定していた市民体育祭については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、参加者を含めた関係者すべての安全を確保する観点から、全て中止とした。

<u> </u>							令和元年度			令和2年度					令和3年度			
投	直		j	٢	算	額	5, 72	3,000	円			0	円		5	, 297, 000	) 円	
	接		決 算 額		4, 477, 949 円		円	0 円			予算額	予算額との比較 (R3-R2)						
١,	費		特定財源の有無			□ 有 ■ 無			□有 ■無				5, 297, 000 円					
入			正規職員数			0.44 <mark>人</mark>		0.48 人				特記事項						
	従事閥	員	再任用職員数			0.19 人			0.20 人				(予算額の主な増減理由)					
			会計年度任用職員数			人		0.26 人				令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ8地区全て中止とし、						
ス	正規職 人件費	V = -	正規職員数×平均人件費			3,301,760 円			3, 427, 200 円									
		費	参考:平均/			件費	7, 504, 00		円	7, 140, 000 円		補正子	█ 補正予算により皆減とした █					
	再任用職 人件費		再任用職員数		数×平	均人件費	759	), 430 <mark>円</mark>			818	,600	円	ため。	ため。			
1		費	参考:平均人件費			3, 997, 000		円	4,093,000 円									
1-	会計年度任用職員の人件費					の人件費	<u>円</u>		円	810, 745 <del>円</del>								
	事業費	計(直接費+人件費)				8, 539, 139		円	5,056,545 円									
	種類		指標			名	単位	令和元年度		Ę	令和2年		年度			ŧ		
			•	111		120	Н	7-12	上段:		:実績	上段:		下段:実績	上段	: 目標 下段	:実績	
	成果	開催地区数			地区		(	8	)	(	8	)	(	8	)			
指	75071	171311						1.0		4	0							
	活動	準備	準備会等会議開催回数						(	30	)	(	30	)	(	30	)	
標	74,23									39			0				_	
	成果	市區	市民体育祭の延べ参加者数					人	(	14,000	)	(	14, 0	00 )	(	14,000	)	
	7,74,11	., _								6,000			0				_	
	効率	参加	参加者1人あたりのコスト				l 円	(	800	)	(	800	) )		800	)		
						· <del></del>		<u></u>	1,423			0	= 1 1 1	L.,				
指標に関する特記事項 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ8地区全て中」										て中止と	こした	ことによる	00					

総合評価と判断	理由								
□ A 計画どおり実施又は一層の充	宇を図る	成果の方向性	拡大	×	革新	改善	拡大基調		
ロ A   同画とのの <del>文</del> 旭文は	<del>大</del> で囚る		維持	×	改善	現状維持	×		
■ B 事業の進め方を見直す			縮小	×	縮小	×	×		
■ B 事業の庭の力を充置す			休廃止	廃止・終了	×	×	×		
□ C あらゆる角度から事業全体を	・目直す	コスト投入の方向性及び事業の	向性、成果の方 方向性を赤く	皆減	縮小	維持	拡充		
日でのうずる内皮がう事業生体を	塗りつぶしてく		コスト投入の方向性						
市民体育祭は、区長会をはじめ地域		各地区の体育祭は長い歴史があり、地域の協力を得て、ス							
て、スポーツ・レクリエーション活動		ポーツ・レクリエーション活動を通し住民間の交流と親睦の醸							
とともに、各地区の住民間の交流と親睦の醸成に寄与する貴重  成に寄与する貴重な機会であることから、今後も継続してい									
な機会である一方、密になる場面や多くの人が接触する場面を  ことが大切である。									
回避することが極めて難しいことから、新型コロナウイルス感   再開にあたっては、参加者を含めた関係者すべての安全が確									
染症の感染防止対策を徹底することに	う、事前の	前の打合せから当日まで┃							
式に対応するよう、事業の進め方を見	見直す必要がある。	の全てにおいて、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を							
		徹底した運営を行うことが課題である。							
評価年月日 令和3年6月28日	評価者職氏名 中央公民館	馆長 須田	諭						